

Title	KEO多部門モデル作成と「時短」の経済効果に関するシミュレーション
Sub Title	
Author	吉岡, 完治(Yoshioka, Kanji) 新保, 一成(Sinpo, Kazushige)
Publisher	Keio Economic Observatory (Sangyo Kenkyujo), Keio University
Publication year	1990
Jtitle	Keio Economic Observatory occasional paper. J No.15 (1990. 8)
JaLC DOI	
Abstract	<p>「労働時間短縮」、「高齢化社会にかけたの就業問題」、「外国人不法労働」、どれをとっても最近の深刻な課題である。又それらは別々に独立している課題ではなく相互に関連している。「この景気の過熱状態の時期に労働時間短縮なんてとんでもない。もし、それを実行するなら実質的に不法労働の増加を認めることになるのではないか」とか「将来の高齢化社会の貯えのためにもっともっと長時間労働を実行すべきではないか」などはその一例である。又これら労働の問題を考える時、他の経済の状態を一定として考えるにはやはり問題がある。ケインズの有効需要政策による雇用増出の処方箋を引きだすまでもなく、雇用問題はその時の景気や財政金融政策と密接にからんでいる。我々が労働時間の短縮の課題を考えるさい、「他の事情一定」の考えによってもたらされるペシミズムにおちいらないためには、財政、金融、生産、国際貿易などと労働時間との相互依存関係を明確にしておく必要がある。もし経済の一般的相互依存の範ちゅうで労働時間の短縮を考えるならよりオプティミスティックなシナリオが描けるかもしれない。たとえば生産量一定にしておけば労働時間短縮は明らかに労働者不足をかもしだすであろう。そして、それは賃金にはねかえり物価上昇を招くであろう。しかし他方で我国は流通の構造調整問題もかかえている。もし大店舗等の規制がなくなれば小規模な生産性の低い事業所は駆逐される可能性を持っている。つまり片一方で労働の不足を懸念しながら他方で労働の過剰性を憂えていることになる。従って時短と構造調整のポリシーミックスは双方互いにおぎないあうことになる。又この過熱経済をおさえるため金融のひきしめを行いその結果労働時間短縮を行ったとしよう。そうすれば一人あたりの生産量、つまり一人あたりの取り分は低下したことになる。その生産量の不足分をうめるべく輸入拡大をしたとしよう。やはりこの場合のシナリオも一人あたりのウェルフェア水準を比較的低下させず労働時間短縮と貿易の黒字減しが同時に達成されることになる。「時短」という課題を労働の個別問題にとじこめるのではなく経済全体にスコープを広げることによって、ややもすればおちいりがちなペシミスティックな帰結からオプティミスティックな希望が開けてくるのである。このような観点に立って時短の経済効果を分析するには、どうしても経済全般の相互依存関係を描写可能な計量経済モデルが必要になる。従って我々の研究の大半はかかる計量モデルの作成に時間がさかれた。このセクションの研究ではそのモデルがいかなる構造をもっているか、そして我々の経済資料にあてはめた場合どの程度経験的妥当性をもつかのテストをふまえ、そのモデルによって労働時間短縮のシミュレーション分析を行う。ここで展開されるモデルは我が国経済を8つの産業に分別した多部門ケイジアン・モデルであり、比較的大型モデルの中に入る。作成開始は一年前なのでパイロット的研究の域に止まっている。特に、海外の活動や金融セクターの行動方程式は、ある場合には外生変数扱いしており、いまだ未完の域を出ない。しかしともかく、Total, Final Testを経由して、財政、金融政策などに関するシミュレーション実験を行なっている。それらはむしろ、このモデルの経験的妥当性によって、読者諸氏の御批判、コメントを期待するための材料を提供するものと考えている。</p>
Notes	
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10182218-00000015-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10182218-00000015-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

KEIO ECONOMIC OBSERVATORY

OCCASIONAL PAPER

1990年8月

---

---

KEO 多部門モデル作成と  
「時短」の経済効果に関するシミュレーション

吉岡完治  
新保一成

---

---



CALAMVS GLADIO FORTIOR

KEIO ECONOMIC OBSERVATORY  
(SANGYO KENKYUJO)

KEIO UNIVERSITY

J.No.15

K E O 多部門モデル作成と  
「時短」の経済効果に関するシミュレーション\*

吉岡 完治  
新保 一成  
慶應義塾大学

\*) 本稿はプレリミナリーなものであり、ここに含まれる不備な点や論旨にかかわるコメントを歓迎する。

## 1. はじめに

「労働時間短縮」、「高齢化社会にかけた就業問題」「外国人不法労働」、どれをとっても最近の深刻な課題である。又それらは別々に独立している課題ではなく相互に関連している。「この景気の過熱状態の時期に労働時間短縮なんてとんでもない。もし、それを実行するならば実質的に不法労働の増加を認めることになるのではないか」とか「将来の高齢化社会の貯えのためにもっともっと長時間労働を実行すべきではないか」などはその一例である。又これら労働の問題を考える時、他の経済の状態を一定として考えるにはやはり問題がある。ケインズの有効需要政策による雇用増出の処方箋を引きだすまでもなく、雇用問題はその時の景気や財政金融政策と密接にからんでいる。我々が労働時間の短縮の課題を考えるさい、「他の事情一定」の考えによってもたらされるベシミズムにおちいらないためには、財政、金融、生産、国際貿易などと労働時間との相互依存関係を明確にしておく必要がある。もし経済の一般的相互依存の範ちゅうで労働時間の短縮を考えるならよりオプティミスティックなシナリオが描けるかもしれない。たとえば生産量一定にしておけば労働時間短縮は明らかに労働者不足をかもしだすであろう。そして、それは賃金にはねかえり物価上昇を招くであろう。しかし他方で我国は流通の構造調整問題もかかえている。もし大店舗等の規制がなくなれば小規模な生産性の低い事業所は駆逐される可能性を持っている。つまり片一方で労働の不足を懸念しながら他方で労働の過剰性を憂えていることになる。従って時短と構造調整のポリシーミックスは双方互いにおぎないあうことになる。又この過熱経済をおさえるため金融のひきしめを行いその結果労働時間短縮を行ったとしよう。そうすれば一人あたりの生産量、つまり一人あたりの取り分は低下したことになる。その生産量の不足分をうめるべく輸入拡大をしたとしよう。やはりこの場合のシナリオも一人あたりのウェルフェア水準を比較的低下させず労働時間短縮と貿易の黒字減しが同時に達成されることになる。「時短」という課題を労働の個別問題にとじこめるのではなく経済全体にスコープを広げることによって、やすすればおちいりがちなベシミスティックな帰結からオプティミスティックな希望が開けてくるのである。

このような観点に立って時短の経済効果を分析するには、どうしても経済全般の相互依存関係を描写可能な計量経済モデルが必要になろう。従って我々の研究の大半はかかる計量モデルの作成に時間がさかれた。このセクションの研究ではそのモデルがいかなる構造をもっているか、そして我々の経済資料にあてはめた場合どの程度経験的妥当性をもつかのテスト

をふまえ、そのモデルによって労働時間短縮のシミュレーション分析を行う。

ここで展開されるモデルは我が国経済を8つの産業に分別した多部門ケイジアン・モデルであり、比較的大型モデルの中に入る。作成開始は一年前なのでパイロット的研究の域に止まっている。特に、海外の活動や金融セクターの行動方程式は、ある場合には外生変数扱いしており、いまだ未完の域を出ない。しかしともかく、Total, Final Test を經由して、財政、金融政策などに関するシミュレーション実験を行なっている。それらはむしろ、このモデルの経験的妥当性によって、読者諸氏の御批判、コメントを期待するための材料を提供するものと考えている。

## 2. モデルの大枠と考え方

このモデルを作るにあたって我々は次の2つのことに主として心がけた。

(1) ケインジアン・マクロモデルの分析視野である短期景気変動を描写できること。そして、財政金融政策による景気調整の定量的性質をさぐること。

(2) そのことによる産業構造や就業形態の変化、物価問題などに答えるために産業を区分して多部門化をはかること。短期の累積として長期を考え経済成長に伴う産業構造の変化などを描写できること。

以上の2点であったが前者については、いわゆるマクロ経済学として理論化、議論が集中してなされるところであるが後者についてはあまりない。従ってここでは後者の説明をおこなう。ただこのモデルは、KEO多部門モデルの今後のためのパイロット・モデルということから、前者との関係を明らかにしておくことが便利であろう。そのため、モデルの構成を説明するにあたって、いかにマクロ・リレーションが多部門モデルに組込まれ描写されるか、という方法をとった方が便利であろう。そのため、我々が多部門モデルを作るにあたってイムプリシットに想定していたマクロ・リレーションを解説することから始めよう。

吉川氏(1984)は、モジリアニのケインジアン・モデル(1944)をもちいて近年のマクロ理論の論争点をきわめてうまく整理している。この多部門パイロット・モデルを作るにあたって我々もモジリアニのケインジアン・モデルを参考にした。次にあげる4つの方程式体系は、我々が暗黙に描いていた多部門化の背後にあるマクロ経済リレーションであると理解されたい。

〈このパイロット多部門モデルの背後にあるマクロ関係〉

(1) *I-S* 関係 (総需要決定式)

$$Y = C(P, Y) + I\left(\Delta C, r - \frac{\Delta P}{P}\right) + \bar{G}$$

ただし

$Y$ : 実質国民所得

$r$ : 名目利子率

$P$ : 一般物価

$C$ : 実質消費

$I$ : 民間総資本形成

$G$ : 政府支出

—: 変数の上の—印は外生変数を示す,

±: 変数の下の±は、該当変数の偏微係数の符号を示す。たとえば、 $C(P, Y)$  は消費が一般物価  $P$  と、所得  $Y$  によって決定されることを示し、前者が上昇すると消費が下落すること、後者が上昇すると消費が上昇することを示している。

(2) *L-M* 関係

$$\frac{\bar{M}}{P} = L(r, Y)$$

$\bar{M}$ : 貨幣供給量

$r$ : 名目金利

(3) 労働需要関係 (財の供給関数)

$$Y'(L; K_{-1}) = \frac{\bar{W}}{P}$$

$$\Leftrightarrow P = P(Y, \bar{W}; K_{-1})$$

$\bar{W}$ : 賃金率

$K_{-1}$ : 期首生産設備 (先決内生)

(4) 資本ストックの形成関係

$$K = (1 - \bar{\delta})K_{-1} + I$$

$\bar{\delta}$ : 資本減耗率

$K$ : 期末生産設備

この4つのマクロ方程式の大きな特徴の1つは、労働供給関係が明記されない点にある。そして、それと表裏をなして賃金を外生変数として扱っている。この点がいわゆるモジリアニ解釈によるケイジアンマクロリレーションの特徴であるが、ここでそれを用いたのは2つの意味を持っている。1つはいうまでもなく吉川やモジリアニが示したようにこの関係によって、ケインズの有効需要命題が記述できる必要条件を兼ねそなえていることである。同時に第2は、この多部門モデル作成の第2ステップとして、小尾、宮内による労働市場のサブモデルとの接合を考えているためである。(この点に関しては小尾(1983)、小尾 中島 宮内(1989)、宮内(1990))

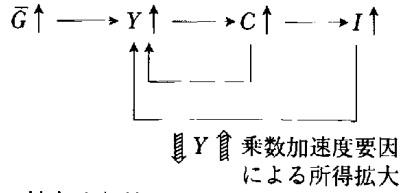
この4つの方程式を若干解説しておく次のようになる。先ず第1のI-S関係式であるが消費関数・投資関数をモジリアニより若干、直接的に表現している。今一般物価 $P$ を与件としておけば、所得水準に依存して消費が決まること、消費の増分つまり需要の拡大要因によって投資が決まる。消費と投資と政府支出 $G$ の合計として総需要である所得が決まるという、いわゆるハンセン・サミュエルソン・モデルの視野を表現している。(2)のL-M関係式は、貨幣の需給バランスを示す式でまったくヒックス以来の伝統的な関係式を示している。(3)の労働需要関係はケインズが示した古典派の第一命題、つまり労働の限界生産力が実質賃金に一致するところまで労働が必要されるということを示している。これは又、生産者の短期利潤極大から導かれるものでありそれを書きかえれば財の供給量と一般物価水準を示すいわゆる供給関数になる。(4)の資本ストックの形成式は(1)~(3)で決まった民間資本形成が設備化し次期の資本ストックをなすという関係を示しており、次期の短期均衡を動かしていくかなめとなっている。

以下、節をわけてこの4つの関係がどのように多部門化されるかを示そう。

## 2-1. 総需要決定の多部門化

(1)の総需要決定式を再度確認していただきたい、そこでもし物価水準 $P$ 、名目金利水準 $r$ を与件としておこう、その条件下で政府支出 $\bar{G}$ を拡大すればその分だけ総需要 $Y$ が拡大する。もし物価や金利が影響を与えることなくその需要増分を生産(生産所得 $Y$ )がまかなえるとすればその分、分配所得が増加する。その分配所得の増加は消費関数を通じて消費を拡大させる。そのことによって更に総需要が拡大される。いわゆる教科書的な有効需要理論を示している。更に消費の拡大は投資関数を通じて投資の拡大を誘発し更に加速度的に総需要を拡大させるという関係を示している。いわゆるハンセン・サミュエルソン・モデルのエッセンスをこの一本の式は示している(図1)。これを多部門化するにあたって、次の点を

図1. I-S 関係のみによる政府支出拡大の効果



(注) 拡大は↑ 縮小は↓印で示す

心がけた。

(イ) このような関係は、あくまで財が一種類あるという近似想定のもとでなされるがゆえに、総需要、生産と分配が三面等価になることを用いてきわめて単純化される。多部門化ではそうはいかない。

(ロ) 多部門化のためには、各産業別の生産はグロスの概念で表現することが好ましいと思われるがそのために産業連関分析的な関係をそこに同時に組み込まなければならない。消費や投資の財別需要が財別最終需要を形成しそれが産業連関的波及によってどれだけ財の生産誘発を生みだすかを表現する必要がある。

(ハ) そのように誘発された各財の生産額は、その生産にたずさわる各部門の付加価値を誘発する、それが部門別の生産所得であり分配所得となる。マクロの1変数で  $Y$  と記述したものは、このように若干複雑な形態をとる必要がある。

(ニ) 更にマクロの関係式では、輸出入のとり扱いは、さほどむづかしくなく国内財の総需要と総供給を若干調整するだけですが(従って(1)式では無視されていたが)多部門化にあっては、特に輸入に関してはそうはいかない。そのため国産品と輸入品に関する各財別のシェアファンクションを用いることによってその点を処理しておこう。このような観点にそって総需要決定の多部門化を次のように行う。

◎消費関数

$$C_i = C_i(P_{0_1}, \dots, P_{0_n}, Y) \quad (i=1, \dots, n) \quad \text{①}$$

$C_i$ :  $i$  財実質消費

$P_{0_i}$ :  $i$  財価格 ( $i$  輸入国産コンポジット財価格)

$Y$ : 分配所得

◎投資関数

$$I_{ij} = I_{ij}(\Delta x_j, r - \frac{\Delta P_{0_i}}{P_{0_i}}) \quad (i, j=1, \dots, n) \quad \text{②}$$



$I_{ij}$ :  $j$ 財生産主体の $i$ 投資財購入量

$x_j$ :  $j$ 財の生産額

①は各財別の消費関数で、それらが分配所得と各財価格水準によって決まることを示している。②は主体別、財別投資の投資関数で、 $j$ 財生産主体がそれ自らの加速度要因 $\Delta x_j$ と投資財にかかわる実質金利 $r - \frac{\Delta P_{O_i}}{P_{O_i}}$ に依存して決まることを示している。

さて、モデルの大枠を理解してもらうため、最終需要を消費支出 $C_i$ 、民間資本形成 $I_i$ 、政府支出 $\bar{G}_i$ 、輸出 $\bar{E}_{x_i}$ とし、それらが決定された際に各国産財の生産量 $X_i$ と、輸入量 $IM_i$ がどのように誘発されるかを示そう。そのためまず、産業連関表の販路構成式を次のように示そう。

$$P_{O_i}[\sum_j \bar{a}_{ij} x_j + C_i + I_i + \bar{G}_i] = P_i(x_i - \bar{E}_{x_i}) + P_{M_i} IM_i$$

$\begin{matrix} \nearrow \\ (i \text{ コンポジット} \\ \text{財価格}) \end{matrix}$

$\begin{matrix} \nwarrow \\ (i \text{ 財国内総需要量} \\ (\psi_i)) \end{matrix}$

$\begin{matrix} \nwarrow \\ (i \text{ 国産財} \\ \text{の国内向} \\ \text{供給量 } S_i) \end{matrix}$

$\begin{matrix} \nwarrow \\ (i \text{ 輸入財} \\ \text{供給量}) \end{matrix}$

ただし、

$\bar{a}_{ij}$ :  $j$ 国産財生産1単位生産のために用する $i$ コンポジット財投入量で固定投入係数を仮定しておく。

$\psi_i$ :  $i$ 財の国内総需要量(コンポジット財)

$S_i$ :  $i$ 国産品国内向供給量

$IM_i$ : 輸入量

この式は $i$ 財の販路構成が、国産品と輸入品によって供給され、名目でバランスをとっていることを示している。ここで、任意の $i$ 財内で、国産品と輸入品が、完全競合でも完全補完でもない状態を表現するため、次のような数量に関する集計関数ないし、それと双対の価格関数を想定しよう。

◎集計関数

$$\psi_i = \psi_i(S_i, IM_i)$$

◎双対の価格関数

$$P_{O_i} = P_{O_i}(P_i, P_{M_i})$$

これは、ペトリ(1980)(1984)やアーミントン(1969)らの研究以来、国際貿易の決定モデルに有用性が主張されてきている、いわゆるシェア・ファンクション的接近の背後の関係を示している。もし、関数のflexibilityと推定の単純性を考え

$$P_{O_i} = [\alpha_i, (1 - \alpha_i)] \begin{bmatrix} \ln P_i \\ \ln P_{M_i} \end{bmatrix} + \frac{1}{2} [\ln P_i, \ln P_{M_i}] \begin{bmatrix} -\beta_i & \beta_i \\ \beta_i & -\beta_i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \ln P_i \\ \ln P_{M_i} \end{bmatrix} \quad \textcircled{3}$$

価格関数に *Trans-log* 型を前提とすれば、次のような国産、輸入に関するシェアファンク  
ションが示される。

$$\begin{bmatrix} \frac{P_i S_i}{P_0 \Psi_i} \\ \frac{P_{M_i} I M_i}{P_0 \Psi_i} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \alpha_i \\ 1 - \alpha_i \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} -\beta_i \beta_i \\ \beta_i - \beta_i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \ln P_i \\ \ln P_{M_i} \end{bmatrix}$$

ただし、 $\alpha, \beta$  は  $0 < \alpha_i < 1, \beta_i > 0$  を示すパラメーター

もし、国産、輸入のシェアについて、この  $\alpha, \beta$  が推定されれば、それを用いて販路構成は、  
次のように変形できる。

$$X = [P - P_0(I - \Delta)A]^{-1} [P_0(I - \Delta)(C + I + \hat{G}) + P \cdot \bar{E}_x] \quad (4)$$

$$IM = P_M^{-1} \Delta P_0 [AX + C + I + \hat{G}] \quad (5)$$

ただし、

$$\Delta = \begin{bmatrix} (1 - \alpha_1) + \beta_1 \ln \frac{P_1}{P_{M_1}} & & & \\ & \ddots & & \\ & & \ddots & \\ & & & (1 - \alpha_n) + \beta_n \ln \frac{P_n}{P_{M_n}} \end{bmatrix}$$

$P, P_M, P_0$  はそれぞれ、国産輸入コンポジット財価格を対角要素とする対角行列その他の変数  
はベクトル化してある。

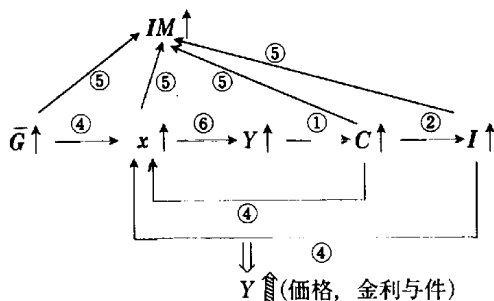
この④、⑤式は、価格、金利を与件として①、②によって、最終需要が決定されれば、そ  
れに応じて、財別の生産誘発、輸入誘発がどの程度になるかを示す式となる。

他方、分配所得  $Y$  は、産業連関表の費用構成から、価格を与件として、次のように決まる。

$$Y = \sum_j (P_{0j} a_{ij}) x_j \quad (6)$$

この一連の①～⑥式が総需要決定の多部門化へする方法である。その結果、先の図1で示し  
た政府支出の乗数、加速要因による総需要増加効策は、次のように書き換えられる。

図2. 金利、価格を与件とした  
政府支出拡大の総需要拡大効果



2-2. L-M 関係の若干の修正

(2) の L-M 関係については、今回のパイロットモデルでは余り手がつけられていない。国際的資本移動をむかえてどのように修正すべきか、又、産業別の情報はどのように加えるべきか、等の重要な課題は、この研究では留保されている。そして今回のモデルでは、次のような関数のスペシフィケーションを想定している。

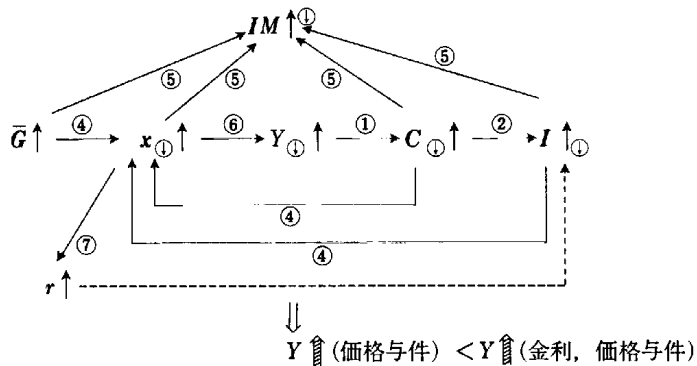
$$\bar{M} = K(r) \cdot g(P_1 X_1, \dots, P_n X_n) \quad (7)$$

貨幣需要方程式は、ケンブリッジ学派的な貨幣の保有動機にもとづく考え方で、アービン・フィッシャーに由来する取引動機にもとづく考え方の2つに分れるとされる。したがって前者は、分配所得に、後者は支出所得に依存するが、マクロではそれが識別不能であった。ここではどちらかといえば後者の立場での貨幣需要関数が示されている。

近年我国の景気の拡大期以前からマーシャルの  $K$  が所得水準や金利を与件として異常に高くなっていることが日銀当局などによってしばしば指適されてきた。おそらくそれは国際化やストックの取引によるという要因も大きいと考えられるが、見逃してならないのは同時に貨幣流通速度の遅いサービス産業や不動産取引などの全体に占める産業割合の増加とも相関を持っている。そのようなことを考慮して各部門の取引量に対する貨幣需要弾力性が異りうることを念頭においた持定化をもくろんでいる。

このモデルにおいても IS-LM 分析が示すように、もし貨幣供給量  $\bar{M}$  を与件とすれば政府支出  $\bar{G}$  の拡大効果は先の図2で示したような乗数加速度効果を減殺する効果をもっている。景気拡大によって生産量が上昇した場合、金利が上昇し民間投資が減り全体として又景気を引き下げるといふ、いわゆるクラウド・アウト効果をもっている。(図3)

図3. 金利を内生化し、価格を与件とした政府支出拡大の総需要拡大効果



(注) ①は金利上昇によるクラウド・アウト効果

### 2-3. 供給関数の多部門化

(3) で示された労働需要関数ないし財の供給関数は、生産量拡大に伴って物価水準がどの程度上昇するかを示している。したがって短期的需要拡大が物価上昇効果によってどの程度減殺するかを示すかなめとなっている。多部門化にあたって、我々は、各セクターに次のような短期生産関数を前提とした。

$$x_j = \min \left\{ f_j(L_j; K_{j-1}), \frac{X_{1j}}{a_{1j}}, \frac{X_{2j}}{a_{2j}}, \dots, \frac{X_{n_j}}{a_{n_j}} \right\}$$

これは、産業別の生産量（グロス概念） $x_j$ が、中間財、 $X_{1j}, \dots, X_{n_j}$ と、期首設備  $K_{j-1}$ 、労働インプット  $L_j$  によって達成されること、そして、中間財とそれ以外は、ファクター・リミテーションな関係となっていることを想定している。これに生産者の合理性を前提とすれば上式は次のように書き換えられる。

$$\begin{aligned} X_{ij} &= a_{ij}x_j \\ L_j &= f_j^{-1}(x_j; K_{j-1}) = L_j(x_j; K_{j-1}) \end{aligned}$$

上の式は、固定投入係数  $a_{ij}$  と、生産量  $x_j$  により、 $j$  部門の  $i$  中間投入が決定されることを示し、先の 2-1 の販路構成で説明を留保していたところである。又、下の式は、期首設備  $K_{j-1}$  を与件として、生産の拡大にともないどの程度労働インプットが必要かを示している。ここで通常の短期生産関数における労働の限界生産力通域から

$$\frac{\partial L_j}{\partial x_j} > 0 \quad \frac{\partial^2 L_j}{\partial x_j^2} < 0$$

を仮定しておこう。この生産関数にもとずいて、各セクターの短期限界費用は次のようになる。

$$\frac{\partial C_j}{\partial x_j} = \sum_j P_{0j} a_{ij} + \frac{\partial L_j}{\partial x_j}(x_j, K_{j-1}) \cdot \bar{W}_j$$

この限界費用は、上の労働の限界生産力通域から、生産量拡大に伴い逓増することが示される。

$$\frac{\partial^2 C_j}{\partial x_j^2} = \frac{\partial^2 L_j}{\partial x_j^2} \cdot \bar{W}_j > 0$$

もし、 $j$  部門が純粋競争の状況にあるなら、 $j$  部門の財格価  $P_j$  はこの限界費用に一致する。ここでは、不完全競争要因や、辻村 (1975) による市場感応弾性要因を考慮し、 $j$  財供給者が直

面する需要の価格弾性  $\bar{\eta}_j$  を用いて、次のように供給関数を示そう。

$$P_j = \left( \frac{1}{1 + \frac{1}{\bar{\eta}_j}} \right) \left[ \sum P_{0i} a_{ij} + \frac{\partial L_j}{\partial x_j} (x_j; K_{j-1}) \bar{w}_j \right] \quad (8)$$

ただし、

$P_j$ :  $j$  国内財の価格

$\bar{w}_j$ :  $j$  部門の賃金率 (外生)

$\bar{\eta}_j$ : 需要の価格弾力性 (外生)

$$(+1 > \bar{\eta}_j > -\infty)$$

この各部門の財供給関数は次のことを示している。まずこのモデルでは当面外生扱いたした  $\eta_j$  であるが、辻村・黒田(1974)が各財の供給者が直面する短期想定需要関数と呼んだ需要関数の価格弾力性である。おそらく、該当  $j$  財の価格弾力性が高いほど、又、該当市場の競争者が多いほど弾力的となり  $-\infty$  に接近し、限界費用プライシングに接近すると考えられる。又、それらを与件としても、市場で石油危機前のような超過需要が予想されたりした結果、急性多占(辻村, 続(1975))が生じたり、生産拡大=供給制限的な、したがって、投機在庫が急激に高まる状況(吉岡(1974))では、 $\eta$  は非弾力的となり、価格と限界費用が乖離するものと考えている。しかし、このパイロット・モデル作成においては深く立入らず当面与件としている。さて、この項を与件とすれば、 $j$  財の価格は、限界費用が高まればそれだけ上昇することを示しており、中間投入価格  $P_{0i}$  や、生産の拡大、賃金の上昇によりどの程度該当部門の物価が上昇するかを示す式となっている。

この財の供給関数と、先に示した。トランスログ集計関数を連立させれば、

$$P_j = \left( \frac{1}{1 + \frac{1}{\bar{\eta}_j}} \right) \left[ \sum P_{0i} a_{ij} + \frac{\partial L_j}{\partial x_j} (x_j; K_{j-1}) \bar{w}_j \right] \quad (8)$$

$$P_{0i} = [\alpha_i, (1 - \alpha_i)] \begin{bmatrix} \ln P_i \\ \ln P_{M_i} \end{bmatrix} + \frac{1}{2} [\ln P_i, \ln P_{M_i}] \begin{bmatrix} -\beta_i \beta_i \\ \beta_i - \beta_i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \ln P_i \\ \ln P_{M_i} \end{bmatrix} \quad (3)$$

と  $P_i, P_{0i}$  が同財決定される。

つまり、外生である賃金  $\bar{w}_j$ 、輸入財価格  $\bar{P}_{M_i}$  を与件とすれば、総需要  $x_j$  に対応して、国内物価  $P_j$  ( $j=1, \dots, n$ )、コンポジット財価格  $P_{0i}$  ( $i=1, \dots, n$ ) が上の方程式によって決まることになる。この供給関数を内生化することによって、政府支出拡大の総需要拡大効果がどのように変わるかを先と同様図示しておこう。(図4)



### 3 パイロット・モデルの内容：方程式体系の推定およびモデルのテスト

前節で、パイロット・モデルのねらい、概要、および方程式体系の大枠を示してきた。本節では、パイロット・モデルの実証化にあたっての方程式体系の具体的な特定化および、そのパラメータの推定について述べることにする。また、最後に、モデルの経験的妥当性をトータル・テストならびにファイナル・テストによってチェックする。

具体的にモデルの内容を説明する前に、以下の点をことわっておく。(1) 推定の試行錯誤の結果、各構造方程式の説明変数が、前節で示されたものと異なり得る。(2) 産業別付加価値額の分配がより詳細に記述されること、統計上の不突合を埋め合わせるために、若干の統計関係式を追加したことにより方程式の数自体が増加している。(3) 変数名の記述が前節のものとは異なり、コンピューターによる計算に即した表記法になっている。また、部門名および変数名については、表 5.1-1, 5.1-2, 5.1-3 を参照されたい。

また、パイロット・モデルの具体的な記述は、モデルの実際の運行、解法に即して行うことにする。このモデルは、151 個の内生変数と 198 個の外生変数を持ち、73 本の構造方程式と 78 本の定義式から構成される。モデルは、次に示すブロックごとに逐次的に解かれ、全体の需給がバランスするまで繰り返し解かれることになる。

**短期供給ブロック** 産業別資本ストック、就業者数、ならびに財の供給量を所与として、年間労働時間が決定される。決定された年間労働時間と時間当たり賃金率を所与にして、国産財の供給価格と需要価格(国産-競争輸入複合財の価格)が、供給関数群および輸入シェア関数群を連立することによって決定される。

**分配ブロック** 短期供給ブロックで決定された諸変数を所与として、産業別の付加価値額が決定され、家計外消費支出、雇業者所得、純間接税支払額、営業余剰に分配される。

**金融ブロック** 短期供給ブロックで決定された産業別産出額と貨幣供給額を所与として、貨幣需要関数から利子率が決定される。

**需要ブロック** 上記各ブロックで決定された諸変数を所与として、マクロ消費関数、マクロ投資関数からマクロの家計消費支出、民間固定資本形成が決定され、数量-価格コンバーターを通じて財別の最終需要量が決定される。さらに、前節の(4)、(5)式により、財別の需要量、輸入量が決定される。

短期供給ブロックで初期値として与えられた財別供給量と需要ブロックで決定された財別需要量から算定される超過需要量が、許容誤差範囲内に収束したことをもって、体系が短期的に均衡したとみなされる。さらに、前節(9)式により、民間資本形成がストック化され、次期の産業別資本ストックが決定され、この資本ストックを所与にして、次期の産業別就業者数が決定される(この際に用いられる労働需要関数は前節のものとは異なる)。このようなメカニズムによって、モデルはダイナミックに運行していくことになる。以下、各ブロックごとに方程式体系とその推定結果を述べることにする。

### 3.1 短期供給ブロック

#### 3.1.1 生産関数および短期供給関数

前節で示したように、我々が前提とした産業別の短期生産関数は、次のようなものであった。

$$X_j = \min \left\{ f_j(L_j, K_{j-1}), \frac{x_{1j}}{a_{1j}}, \frac{x_{2j}}{a_{2j}}, \dots, \frac{x_{nj}}{a_{nj}} \right\}$$

この定式化では、期首の資本ストック  $K_{j-1}$  を所与として、労働投入量  $L_j$  が短期的に調整されることになる。パイロット・モデルの実証化にあつたては、産業別の就業者数と期首の資本ストックの間には、

$$L_{j-1} = L^j(K_{j-1}) \quad (j = 1, \dots, 7)$$

なる関係があるものとして、労働投入に関して就業者数の投入と労働時間を区別した（ここで、 $L^j$  は、労働需要関数である）<sup>1</sup>。期首の資本ストック  $K_{j-1}$  と就業者数  $L_{j-1}$  を所与として、産業別の生産量は、次のような生産関数によって決定されるものとする。

$$X_j = \alpha_j (L_{j-1} h_j)^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j} \quad (j = 1, \dots, 7)$$

ここで、 $h_j$  は、年間労働時間であり、 $\{\alpha_j \mid j = 1, \dots, 7\}$ 、 $\{\beta_j \mid j = 1, \dots, 7\}$ 、 $\{\gamma_j \mid j = 1, \dots, 7\}$  は、生産関数のパラメーターである<sup>2</sup>。また、中間財需要は、固定投入係数によって決定される。

$$x_{ij} = a_{ij} X_j \quad (i = 1, 2, \dots, 9 \quad j = 1, 2, \dots, 8)$$

ここで、 $\{a_{ij} \mid i = 1, \dots, 9, j = 1, \dots, 8\}$  は、固定投入係数で外生変数である。この生産関数では、期首の資本ストックおよび就業者数を所与として、産業別の供給量が与えられると、年間労働時間が次のように決定される。

$$h_j = \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1}{\beta_j}} \quad (j = 1, \dots, 7) \quad (1)$$

次に各産業の生産コストの定義式を

$$\begin{aligned} C_j &= \left( \sum_{i=1}^8 p_{O_i} a_{ij} + p_{M_9} a_{9j} \right) X_j + VBC_j + L_{j-1} h_j w_j + BSD_j + NTAX_j \\ &= \left( \sum_{i=1}^8 p_{O_i} a_{ij} + p_{M_9} a_{9j} \right) X_j + VBC_j + L_{j-1} h_j w_j + BSD_j + \frac{tax_j}{1 + tax_j} p_{C_j} X_j \\ &\quad (j = 1, \dots, 8) \end{aligned}$$

とする。ここで、 $\{C_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  は、 $j$  部門の生産コストで、 $\{w_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  は、時間当たり賃金率、 $\{BSD_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  は、営業余剰 + 固定資本減耗<sup>3</sup>、 $\{NTAX_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  は、純間接税である。また、 $\{tax_j \mid j = 1, \dots, 8\}$

$$tax_j \equiv \frac{NTAX_j}{p_{C_j} X_j - NTAX_j} \quad (j = 1, \dots, 8)$$

<sup>1</sup>労働投入の単位をこのようにマン・アワーで扱うことには様々な議論があるだろう。吉岡(1990)、早見(1990)、清家(1990)を参照されたい。

<sup>2</sup>公務(8部門)は、外生的に扱っている。

<sup>3</sup>いわゆる資本費は、 $BSD_j$ に含まれると考えている。資本設備は、短期的に所与と考えているから、 $\partial BSD_j / \partial X_j = 0$ である。



で定義される純間接税率であり、時間当り賃金率  $\{w_j \mid j = 1, \dots, 8\}$ 、とともに外生変数である<sup>4</sup>。先の生産関数を前提にして導かれる各産業の短期限界費用は、次のようになる。

$$\frac{\partial C_j}{\partial X_j} = \sum_{i=1}^8 p_{O_i} a_{ij} + p_{M_9} a_{9j} + \frac{L_{j-1} w_j}{\alpha_j \beta_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1-\beta_j}{\beta_j}} + \frac{tax_j}{1+tax_j} p_{C_j} \quad (j = 1, \dots, 7)$$

また、

$$\frac{\partial^2 C_j}{\partial X_j^2} = \frac{1-\beta_j}{\beta_j^2} \frac{L_{j-1} w_j}{(\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j})^2} \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1-2\beta_j}{\beta_j}} \geq 0 \quad (j = 1, \dots, 7)$$

となり、前節で示したように、 $0 \leq \beta_j \leq 1$  のもとで、生産量拡大に伴い短期費用が増加することが示される。

さて、上の短期限界費用式と生産者の利潤極大行動より前節の(8)式、短期供給関数は次のようになる。

$$p_{C_j} = \frac{\eta_j(1+tax_j)}{1+\eta_j+tax_j} \left[ \sum_{i=1}^8 p_{O_i} a_{ij} + p_{M_9} a_{9j} + \frac{L_{j-1} w_j}{\alpha_j \beta_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1-\beta_j}{\beta_j}} \right] \quad (2)$$

(j = 1, \dots, 5, 7)

ここで、 $\{\eta_j \mid j = 1, 2, 3, 4, 5, 7\}$  は、想定需要の価格弾性値で、当面外生的に与えられる。ただし、公

<sup>4</sup>賃金率の内生化に関する展望は、宮内(1990)、小尾(1983)、小尾・中島・宮内(1989)参照。

益部門（6部門）、公務（8部門）の価格は外生的に決定されるものとする。<sup>5</sup>

さて、我々は、上で示した生産関数のパラメータを様々な形で推計してみたが、モデルの運転に耐え得るパラメータを得ることができなかった。生産関数自体の特定化をも含めて、今後のモデル開発における課題としたい。そこで、我々は、生産関数のパラメータ $\beta_j$ に各部門の労働分配率を与えた。すなわち、

$$\beta_j = \frac{YE_j}{p_{C_j}X_j}$$

として、 $\gamma_j = 1 - \beta_j$ とすることにした。また、想定需要の価格弾力性は、供給関数から逆算した。モデルで用いた生産関数のパラメータと想定需要の価格弾力性が表 3.1.1-1 に示されている。

<sup>5</sup>短期供給曲線の形状を考えてみよう。いま、

$$J = \frac{\eta_j(1 + tax_j)}{1 + \eta_j + tax_j}$$

とする。短期供給関数(2)式を産出量 $X_j$ で偏微分すると、

$$\frac{\partial p_{C_j}}{\partial X_j} = J \frac{1 - \beta_j}{\beta_j^2} \frac{L_{j-1}w_j}{(\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j})^2} \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1-2\beta_j}{\beta_j}} \geq 0$$

となるから、 $0 \leq \beta_j \leq 1$ で短期供給曲線は右上がりである。 $X_j$ に関して逓増的に右上がりか、逓減的に右上がりかを確かめるために、さらに、 $X_j$ で偏微分すると、

$$\frac{\partial^2 p_{C_j}}{\partial X_j^2} = J \frac{(1 - \beta_j)(1 - 2\beta_j)}{\beta_j^3} \frac{L_{j-1}w_j}{(\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j})^2} \left[ \frac{X_j}{\alpha_j L_{j-1}^{\beta_j} K_{j-1}^{\gamma_j}} \right]^{\frac{1-2\beta_j}{\beta_j}} \geq 0$$

となる。 $-1 \leq \eta_j \leq \infty$ であり、 $tax_j$ も正負どちらの値も取り得るから、 $J$ の符号は、一般的にはわからない。したがって、

$$\begin{cases} J \geq 0 \\ 0 \leq \beta_j \leq \frac{1}{2} \end{cases} \quad \text{または} \quad \begin{cases} J \leq 0 \\ \frac{1}{2} \leq \beta_j \leq 1 \end{cases}$$

のとき、短期供給曲線は、産出量の拡大とともに逓増する形で右上がりである。また、

$$\begin{cases} J \geq 0 \\ \frac{1}{2} \leq \beta_j \leq 1 \end{cases} \quad \text{または} \quad \begin{cases} J \leq 0 \\ 0 \leq \beta_j \leq \frac{1}{2} \end{cases}$$

のとき、短期供給曲線は、産出量の拡大とともに逓減する形で右上がりである。

表 3.1.1-1: 生産関数のパラメータと想定需要の価格弾力性

Year	$\beta_1$	$\beta_2$	$\beta_3$	$\beta_4$	$\beta_5$	$\beta_7$
1960	.36505	.22354	.14211	.12353	.16614	.29964
1961	.38127	.21410	.14836	.11750	.15339	.28254
1962	.38199	.23808	.15565	.13335	.17221	.28846
1963	.40264	.24847	.16027	.12891	.18386	.30516
1964	.39285	.25594	.16451	.12495	.17126	.30164
1965	.36769	.29479	.17182	.13120	.18730	.31795
1966	.38033	.28338	.17128	.12738	.18306	.31872
1967	.44780	.25873	.17897	.12285	.16990	.31261
1968	.47906	.24476	.18925	.12881	.16533	.32103
1969	.52457	.23771	.19296	.12331	.16466	.32330
1970	.51177	.23184	.19350	.11711	.17151	.33049
1971	.52898	.25662	.20646	.13034	.18677	.35286
1972	.47693	.26251	.20915	.13142	.19849	.35277
1973	.40799	.25129	.20336	.12809	.20104	.36729
1974	.40308	.26883	.20967	.12247	.20926	.38098
1975	.40719	.29399	.21901	.13560	.23845	.40777
1976	.38250	.30012	.21959	.12753	.22538	.41301
1977	.40865	.30894	.22295	.13345	.22679	.42094
1978	.41134	.31540	.22120	.13621	.22068	.42098
1979	.37704	.29580	.22183	.12264	.21360	.40807
1980	.38965	.30264	.21862	.11066	.19775	.39474
1981	.38271	.30444	.22325	.11691	.20098	.40266
1982	.39008	.32121	.22238	.12150	.20690	.39634
1983	.36927	.33171	.22200	.12642	.20941	.39359
1984	.35825	.32872	.22623	.12665	.19942	.39376
1985	.36405	.32912	.22969	.13143	.19988	.38598
Year	$\eta_1$	$\eta_2$	$\eta_3$	$\eta_4$	$\eta_5$	$\eta_7$
1961	2.42058	1.55691	2.06593	1.40652	1.43809	1.97563
1962	2.24140	1.64537	1.99717	1.37845	1.51261	2.13248
1963	2.34826	1.52478	2.06243	1.37851	1.47868	2.43695
1964	2.42956	1.63495	1.90400	1.42440	1.46853	2.35877
1965	2.42742	1.75862	1.89751	1.43276	1.47014	2.75850
1966	2.29231	1.62872	1.86269	1.43713	1.46557	2.85628
1967	2.69826	1.48753	1.98821	1.45818	1.59829	2.61058
1968	1.91812	1.51403	1.92582	1.45352	1.44166	3.00926
1969	2.13108	1.57304	1.86521	1.44092	1.45253	2.92276
1970	1.94936	1.81408	1.81147	1.43489	1.49067	3.13682
1971	1.75832	1.88157	1.85986	1.40676	1.50247	2.90936
1972	1.98210	1.82562	1.76345	1.43545	1.50732	2.89080
1973	2.10709	1.81941	1.84841	1.45694	1.58756	2.88215
1974	2.12313	1.62872	1.64114	1.31415	1.49419	2.77211
1975	2.14207	1.89973	1.68195	1.22636	1.34086	3.00403
1976	2.10990	1.82913	1.84018	1.24961	1.43417	2.88772
1977	2.17956	1.76930	1.82546	1.24059	1.47857	3.06148
1978	2.43801	1.87303	1.77035	1.33054	1.44145	3.04023
1979	2.21806	1.81870	1.74094	1.35938	1.47544	3.01063
1980	1.90760	1.75070	1.66900	1.33857	1.57708	2.83059
1981	2.05499	1.75399	1.86983	1.23615	1.51104	2.91873
1982	2.06928	1.72680	1.80526	1.25693	1.45465	2.89044
1983	2.03933	1.67452	1.87021	1.26149	1.53676	2.95217
1984	2.01018	1.59764	1.77701	1.33363	1.57573	2.78235
1985	2.08753	1.68732	1.75902	1.36576	1.50899	2.82751

### 3.1.2 国産・輸入シェア関数

前節で示したように、各商品の需要主体（生産主体としての産業、消費主体としての家計）が消費する商品は国産品と輸入品によって供給される。そこで、国産品と輸入品の不完全代替性を表現するために、次のようなトランスログ価格集計関数を想定した。また、この価格集計関数は、 $p_{C_i}$ 、 $p_{M_i}$ に

関して単調な1次同次凹関数であると仮定する<sup>6</sup>。また、輸入財価格  $\{p_{M_i} \mid i = 1, \dots, 9\}$  は、円建てで、ドル建ての輸入価格を  $\{p_{M_i}^* \mid i = 1, \dots, 9\}$  とすると、

$$p_{M_i} = p_{M_i}^* EXRATE \quad (i = 1, \dots, 9)$$

である。ここで、 $EXRATE$  は、年平均為替レートで、1ドル当りの円を示す。

$$p_{O_i} = \exp \left[ \alpha_{O_i} + \alpha_{D_i} \ln p_{C_i} + \alpha_{M_i} \ln p_{M_i} + \frac{1}{2} \beta_{DD_i} \ln p_{C_i}^2 + \beta_{DM_i} \ln p_{C_i} \ln p_{M_i} + \frac{1}{2} \beta_{MM_i} \ln p_{M_i}^2 \right] \quad (3)$$

ここで、 $i = 1, 3, \dots, 7$  であり、2部門建設業と8部門公務に輸入はない。すなわち、 $p_{O_2} = p_{C_2}$ 、 $p_{O_8} = p_{C_8}$  である。また、 $\{\alpha_{O_i}, \alpha_{D_i}, \alpha_{M_i}, \beta_{DD_i}, \beta_{DM_i}, \beta_{MM_i} \mid i = 1, 3, \dots, 7\}$  は、価格集計関数のパラメーターである。われわれの価格データは、1970年を1.0とする指数系列である。したがって、 $\alpha_{O_i}$  は、恒等的にゼロである ( $\alpha_{O_i} = 0$ )。また、集計関数の1次同次性より、

$$\alpha_{D_i} + \alpha_{M_i} = 1, \quad \beta_{DD_i} + \beta_{DM_i} = 0, \quad \beta_{MM_i} + \beta_{DM_i} = 0$$

したがって、

$$\beta_{DD_i} = \beta_{MM_i}$$

また、集計関数の凹性より、

$$\beta_{DD_i}, \beta_{MM_i} \leq 0$$

である。

国内に対する商品  $i$  の総供給は、名目で

$$p_{C_i} X_i - EX_i + p_{M_i} IM_i$$

である。ただし、 $EX_i$  は、商品  $i$  の輸出額で、 $IM_i$  は、商品  $i$  の輸入量である。したがって、国内の商品  $i$  に対する総需要のうち国産品、輸入品のシェア  $v_{D_i}$ 、 $v_{M_i}$  は、

$$v_{D_i} = \frac{p_{C_i}(X_i - EX_i)}{p_{C_i}(X_i - EX_i) + p_{M_i} IM_i}$$

$$v_{M_i} = \frac{p_{M_i} IM_i}{p_{C_i}(X_i - EX_i) + p_{M_i} IM_i}$$

$$= 1 - v_{D_i}$$

シェア  $v_{D_i}$ 、 $v_{M_i}$  を上記のパラメーターの制約を課して、集計関数によって表すと、

$$v_{D_i} = \alpha_{D_i} + \beta_{DD_i} \ln \frac{p_{C_i}}{p_{M_i}} \quad (4)$$

$$v_{M_i} = \alpha_{M_i} + \beta_{MM_i} \ln \frac{p_{M_i}}{p_{C_i}} \quad (5)$$

<sup>6</sup> 1次同次性の仮定は、指数論的に要請されるものである。つまり、国産価格  $p_{C_i}$  と輸入価格  $p_{M_i}$  が同じ比率で変化した場合、集計された価格指数  $p_{O_i}$  も同じ比率で変化するという性質を持たせることになる。同様に、単調性の仮定は、国産品、輸入品のどちらかの価格が上昇した場合、集計価格も上昇するという性質を持たせることになる。また、凹性は、国産品と輸入品の不完全代替性を表現するためのものである。

を得る。パラメーターの制約条件より、この内の1本を推定すれば所望のパラメーターを得られることになる。我々は、輸入シェア関数(5)式のパラメーターをOLSで推定する。その際に、 $\beta_{MMi} \leq 0$ を満たさない商品については、 $\beta_{MMi} = 0$ とする。すなわち、そのような商品については、コブ-ダグラス型の集計関数を想定することになる。推定されたパラメーターは、以下の通りである。

表 3.1.2-1: 輸入シェア関数のパラメーター

部門	$\alpha_M$	$\beta_{MM}$	$\bar{R}^2$	D.W.
1. 農林水産	0.052474304 (37.43)	-0.010224284 (-1.89)	0.09322	0.86740
3. 在来部門	0.041827705 (15.47)	-0.088896969 (-3.07)	0.25223	0.57075
4. 素材部門	0.052395328 (31.40)	0.083759741 (7.73)	0.70168	1.28785
5. 加工組立部門	0.036262187 (43.64)	-0.005820933 (-1.03)	0.00243	0.96759
6. 公益部門	0.038876829 (15.65)	-0.019649875 (-1.13)	0.01057	0.43865
7. サービス部門	0.011171979 (28.26)	0.014633971 (6.53)	0.62495	0.68092

$\bar{R}^2$ は、自由度修正済み決定係数。  
D.W.は、ダービン・ワトソン比

### 3.1.3 国産価格と集計価格の同時決定

先に示した6本の短期供給関数(2)式と6本のトランスログ価格集計関数(5)式を連立することによって、国産価格 $\{p_{C1}, p_{C2}, p_{C3}, p_{C4}, p_{C5}, p_{C7}\}$ と集計価格 $\{p_{O1}, p_{O3}, p_{O4}, p_{O5}, p_{O6}, p_{O7}\}$ が同時決定される。解法はGauss-Seidel法である。これらの価格が決定されたのちに、 $p_{O2} = p_{C2}$ 、 $p_{O8} = p_{C8}$ が代入される。

## 3.2 分配ブロック

与えられた産業別供給量 $\{X_j | j = 1, \dots, 8\}$ のもとで、短期供給ブロックにおいて価格 $\{p_{Ci}, p_{Oj} | i = 1, \dots, 8\}$ が決定されると、定義によって産業別の付加価値額が次式によって求められる。

$$V_j = \left[ p_{Cj} - \sum_{i=1}^8 p_{Oj} a_{ij} - p_{M9} a_{9j} \right] X_j \quad (j = 1, \dots, 8) \quad (6)$$

(6)式で決まる付加価値は、家計外消費支出、 $\{VBC_j | j = 1, \dots, 8\}$ 、雇用者所得、 $\{YE_j | j = 1, \dots, 8\}$ 、営業余剰+固定資本減耗、 $\{BSD_j | j = 1, \dots, 8\}$ 、純間接税支払、 $\{NTAX_j | j = 1, \dots, 8\}$ という形で分配される。これは、前節において(6)式で分配所得 $Y$ として簡単に説明されていたところである。

### 3.2.1 家計外消費支出

$$VBC_j = bc_j V_j \quad (j = 1, \dots, 8) \quad (7)$$

ここで、 $\{bc_j | j = 1, \dots, 8\}$ は、総付加価値額 $V_j$ に占める家計外消費支出の割合で、外生的に与えられる。

### 3.2.2 雇用者所得

我々が、生産関数上で生産要素として用いた  $L_j$  は、産業別の就業者である。一方、我々が、資料の上で労働に対する分配として観測するのは、雇用者所得である。ここで、雇用者とは、生産活動に従事する就業者のうち自営業主と家族従業者を除く全てのものである。モデルでは、雇用者所得を次のような線形の統計関係式によって求める。

$$YE_j = \alpha_{Y_j} + \beta_{Y_j} L_{j-1} h_j w_j \quad (j = 1, \dots, 8) \quad (8)$$

$\{\alpha_{Y_j}, \beta_{Y_j} \mid j = 1, \dots, 8\}$  は、雇用者所得式のパラメーターである。推定されたパラメーターは、以下の通りである。

表 3.2.2-1: 雇用者所得式のパラメーター

部門	$\alpha_{Y_j}$	$\beta_{Y_j}$	$\bar{R}^2$	D.W.
1. 農林水産	-184.12829 (-2.94)	0.97615105 (76.48)	0.99591	0.78171
2. 建設業	210.87705 (2.48)	0.99546615 (127.75)	0.99853	1.38397
3. 在来部門	323.97245 (3.82)	1.0792867 (123.61)	0.99843	2.26615
4. 素材部門	32.340191 (0.45)	0.97314227 (104.920)	0.99782	1.56378
5. 加工組立部門	-77.235741 (-0.56)	1.0164937 (81.48)	0.99640	1.21935
6. 公益部門	147.00209 (2.23)	0.98426029 (145.53)	0.99887	1.99411
7. サービス部門	-97.678539 (-0.83)	1.0102703 (401.75)	0.99986	1.82429
8. 公務	47.989441 (1.80)	1.0397862 (287.89)	0.99971	1.17296

$\bar{R}^2$  は、自由度修正済み決定係数。

D.W. は、ダービン・ワトソン比

### 3.2.3 純間接税

外生的に与えられた純間接税率  $\{tax_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  によって、純間接税支払額は、次のように決まる。

$$NTAX_j = \frac{tax_j}{1 + tax_j} pc_j X_j \quad (j = 1, \dots, 8) \quad (9)$$

### 3.2.4 営業余剰+固定資本減耗

家計外消費支出,  $\{VBC_j \mid j = 1, \dots, 8\}$ , 雇用者所得,  $\{YE_j \mid j = 1, \dots, 8\}$ , 純間接税支払,  $\{NTAX_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  が決定されると残差として営業余剰+固定資本減耗,  $\{BSD_j \mid j = 1, \dots, 8\}$  が求められる。

$$BSD_j = V_j - (VBC_j + YE_j + NTAX_j) \quad (j = 1, \dots, 8) \quad (10)$$

### 3.3 金融ブロック

前章「2-2  $L-M$ 関係の若干の修正」において、産業間の貨幣の流通速度の違いを表現し得る貨幣需要関数の定式化として(7)式、

$$\bar{M} = k(r)\varphi(p_{C_1}X_1, \dots, p_{C_8}X_8)$$

が提示された。パラメーターの符号条件として、

$$\frac{\partial \bar{M}}{\partial r} \leq 0, \quad \frac{\partial \bar{M}}{\partial p_{C_j}X_j} \geq 0 \quad (j = 1, \dots, 8)$$

が満たされなければならないだろう。この定式化に基づき様々な関数型を特定化してパラメーターの推定を行ってみたが、残念ながら上記のパラメーターの符号条件を満足する関係式を見いだすことができなかった。しかし、我々が提起した問題は、経済のサービス化という産業構造の変化の局面において重要な課題であると思われる。よって、この問題は、今後のモデル開発の課題として残しておくことにして、本パイロット・モデルでは、次の貨幣需要関数を用いることにした。推定方法は、 $OLS$ である。

$$\begin{aligned} \ln M2CD = & -1.980596 - 0.03214671 \ln RI + 1.1331291 \sum_{j=1}^8 p_{C_j}X_j \\ & (-5.871449) \quad (-2.602002) \quad (90.26314) \\ \bar{R}^2 = & 0.997398 \quad D.W. = 0.9280 \end{aligned} \quad (11)$$

ここで、 $M2CD$ は、名目貨幣供給量 ( $M2+CD$ ) で外生的に与えられる。カッコ内の数値は  $t$  値で、 $\bar{R}^2$  は、自由度修正済み決定係数、 $D.W.$  は、ダービン・ワトソン比である。また、 $RI$  は、全国銀行貸出約定金利である。短期供給ブロックで  $\{p_{C_i} \mid i = 1, \dots, 8\}$  が決定されると、この方程式によって  $RI$  が解かれることになる。

#### 3.3.1 需要ブロック

需要ブロックは、前章の「 $I-S$ 関係 (総需要決定式)」に対応している。前章では、総需要は、消費需要と投資需要から構成されるものとされ、さらに、多部門化の指針として、各財の消費関数は、消費者の主体行動から、また、投資関数も主体別、財別に定式化された。

しかし、パイロット・モデルでは、モジリアーニ解釈のケインジアン・マクロ・モデルにより近い方法で需要 (最終需要) を把握することにした。つまり、消費、投資といった需要項目をマクロ・リレーションで把へ、外生的に与えられる財別配分係数 (数量-価格コンバーター) で財別の需要量を求めるという方法である。

モデルで用いられる産業連関表で把えられる三面等価の原則より、

$$\begin{aligned} GDP &= \sum_{i=1}^8 p_{C_i}X_i - \sum_{i=1}^8 \sum_{j=1}^8 p_{O_j}x_{ij} \\ &= BC + CP + CN + CG + IP + IG + Z + EX - \sum_{i=1}^9 p_{M_i}IM_i \\ &= GDE \end{aligned}$$

が成立している。ここで、 $BC$ は、家計外消費支出、 $CP$ は、家計消費支出、 $CN$ は、対家計民間非営利団体消費支出、 $CG$ は、政府消費支出、 $IP$ は、民間固定資本形成、 $IG$ は、公的固定資本形成、 $Z$ は、在庫純増であり、いずれも名目で評価されている。このうち $BC$ 、 $CN$ 、 $CG$ 、 $Z$ は、当面外生変数として扱う。また、 $IG$ も外生変数であるが、貨幣供給量  $M2CD$ 、為替レート  $EXRATE$ とともにモデルの政策変数である。

### 3.3.2 国内最終需要項目別価格

モデルでは、まず、各最終需要項目別の価格が決定される。

$$\mu = B'p \quad (12)$$

ここで、 $\mu = (\mu_{BC}, \mu_{CP}, \mu_{CN}, \mu_{CG}, \mu_{IP}, \mu_{IG}, \mu_Z)$  は、最終需要項目別の価格ベクトルで、 $p = (p_{O_1}, \dots, p_{O_8}, p_{M_9})$  は、需要価格ベクトルである。 $B$ は、外生的に与えられる数量-価格コンバーターで、

$$F = [F_{ij}] \begin{bmatrix} BC_1 & CP_1 & CN_1 & CG_1 & IP_1 & IG_1 & Z_1 \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots \\ BC_9 & CP_9 & CN_9 & CG_9 & IP_9 & IG_9 & Z_9 \end{bmatrix} \bar{g} = [\bar{g}_j] = \begin{bmatrix} BC/\mu_{BC} \\ CP/\mu_{CP} \\ CN/\mu_{CN} \\ CG/\mu_{CG} \\ IP/\mu_{IP} \\ IG/\mu_{IG} \\ Z/\mu_Z \end{bmatrix}$$

とすると、

$$B = [b_{ij}] = \begin{bmatrix} F_{ij}/p_i \\ \bar{g}_j \end{bmatrix}$$

で、観測値から計算される。つまり、最終需要項目別の価格 $\mu$ は、財別の需要価格 $p$ を反映する形で、レオンティエフ・タイプの集計によって求められる。

### 3.3.3 消費関数・投資関数

次に、モデルの内生変数である名目の家計消費支出と民間固定資本形成が決定される。各生産部門によって生み出された付加価値のうち、 $\{YE | j = 1, \dots, 8\}$  と  $\{BSD | j = 1, \dots, 8\}$  を消費に支出される分配所得とし、さらに、習慣形成効果を取り入れることによって、次のマクロ消費関数が推定された。

$$\begin{aligned} CP = & 1310.666 + 0.4503943 \quad YE + 0.1402075 \quad BSD \\ & (3.517772) \quad (16.04447) \quad (2.968350) \\ & + 0.4307464 \quad CP_{-1} \\ & (12.82451) \\ \bar{R}^2 = & 0.999859 \quad D.W. = 2.2365 \end{aligned} \quad (13)$$

ここで、

$$YE = \sum_{j=1}^8 YE_j, \quad BSD = \sum_{j=1}^8 BSD_j$$



である。

次に、民間固定資本形成が投資関数によって決定される。前章で示されたように、投資は、加速度因子と実質利率に依存する。様々な、投資関数の計測が行われた結果、次のものを最終的に採用した。

$$\begin{aligned} \ln IP = & -0.13041381 + 0.89454684 \ln CP + 0.23781191 \ln EX \\ & (-0.11) \quad (2.29) \quad (0.74) \\ & - 0.19688751 \ln EX_{-1} - 1.3735122 (RI - \ln \frac{\mu_{IP}}{\mu_{IP-1}}) \\ & (-0.70) \quad (-1.53) \\ \bar{R}^2 = & 0.98427 \quad D.W. = 0.62235 \end{aligned} \quad (14)$$

### 3.3.4 項目別国内実質最終需要および財別国内最終需要

前もって決定された最終需要項目別価格 $\mu$ と家計消費支出 $CP$ 民間固定資本形成 $IP$ ならびに $BC$ ,  $CN$ ,  $CG$ ,  $IG$ ,  $Z$ から項目別の国内実質最終需要 $g = (g_{BC}, g_{CP}, g_{CN}, g_{CG}, g_{IP}, g_{IG}, g_Z)$ が計算される。

$$g_{BC} = BC/\mu_{BC} \quad (15)$$

$$g_{CP} = CP/\mu_{CP} \quad (16)$$

$$g_{CN} = CN/\mu_{CN} \quad (17)$$

$$g_{CG} = CG/\mu_{CG} \quad (18)$$

$$g_{IP} = IP/\mu_{IP} \quad (19)$$

$$g_{IG} = IG/\mu_{IG} \quad (20)$$

$$g_Z = Z/\mu_Z \quad (21)$$

さらに、数量-価格コンバーターによって財別の実質最終需要 $f = (f_1, \dots, f_9)$ に変換される。

$$f = Bg \quad (22)$$

前章で示された $I-S$ リレーションは、すべて実質で評価されていた。したがって、消費関数自体が価格効果を内在させていた。モデルでは、この実質化の過程において価格効果をインプリットに表現している。

### 3.3.5 財別総需要量の決定

産業連関表の販路構成より財別の総需要量は次のように決定される。これは、前章の(5)式に相当する。

$$\begin{bmatrix} X_1 \\ X_2 \\ \vdots \\ X_8 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} p_{C1} - p_{O1}(1 - v_{M1})a_{11} & -p_{O1}(1 - v_{M1})a_{12} & \dots & -p_{O1}(1 - v_{M1})a_{18} \\ -p_{O2}(1 - v_{M2})a_{21} & p_{C2} - p_{O2}(1 - v_{M2})a_{22} & \dots & -p_{O2}(1 - v_{M2})a_{28} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ -p_{O8}(1 - v_{M8})a_{81} & -p_{O8}(1 - v_{M8})a_{82} & \dots & p_{C8} - p_{O8}(1 - v_{M8})a_{88} \end{bmatrix}^{-1}$$

$$\begin{bmatrix} p_{O1}(1 - v_{M1})f_1 + EX_1 \\ p_{O2}(1 - v_{M2})f_2 + EX_2 \\ \vdots \\ p_{O8}(1 - v_{M8})f_8 + EX_8 \end{bmatrix} \quad (23)$$

さらに、競争財の輸入量が、

$$IM_i = \frac{v_{Mi}(p_{Ci}X - EX_i)}{p_{Mi}(1 - v_{Mi})} \quad (i = 1, 3, \dots, 7) \quad (24)$$

によって計算され、非競争輸入財の輸入量が、

$$IM_9 = \sum_{j=1}^8 a_{9j}X_j + f_9 \quad (25)$$

によって計算される。

### 3.4 需給均衡—短期におけるモデルの収束

需要ブロックで決定された財別の総需要量を

$$X^D = (X_1^D, X_2^D, X_3^D, X_4^D, X_4^D, X_5^D, X_6^D, X_7^D, X_8^D)$$

としよう。また、短期供給ブロックで初期値として与えた供給量を

$$X^S = (X_1^S, X_2^S, X_3^S, X_4^S, X_4^S, X_5^S, X_6^S, X_7^S, X_8^S)$$

としよう。このとき、モデルの均衡条件は、

$$X^D = X^S$$

である。さて、初期値として与えた財の供給量を  $X^{S^1}$  とし、1 回目のイタレーションで解かれた財別の需要量を  $X^{D^1}$  とすると、1 回目のイタレーションにおける超過需要は、

$$X^{D^1} - X^{S^1}$$

である。2 回目のイタレーションは、超過需要が生じている財については、供給量を増やし、超過供給が生じている財については供給量を減らすことによって始められる。我々が用いたモデル解法の原則は、

$$k = \{i \mid \max |X_i^{D^{n-1}} - X_i^{S^{n-1}}|\}$$

なる財  $k$  について、

$$X_k^{S^n} = X_k^{S^{n-1}} + \frac{X_k^{D^{n-1}} - X_k^{S^{n-1}}}{2}$$

として、第  $n$  回目のイタレーションを始めることである。そして、

$$\sum_{j=1}^8 |X_j^D - X_j^S| \leq \epsilon$$

に収束したとき、モデルは均衡に至ったと解釈する。モデルで用いた変数は、10 億円単位で測られているから、超過需要の絶対値の合計が 10 億円以下になったときに収束したと判断する。すなわち、 $\epsilon = 1$  である。

### 3.5 資本蓄積および就業者数の決定

#### 3.5.1 資本蓄積

我々は、部門別の資本ストック蓄積式を次のように考えている。

$$K_j = IP_j^* + (1 - \delta_j)K_{j-1} \quad (26)$$

ここで、 $IP_j^*$ は、部門別の実質粗投資額で、 $\delta_j$ は、経済的償却率である。需要ブロックで求められた  $IP$ は、新  $SNA$  の民間国内総固定資本形成に対応している。したがって、まず、この  $IP$ を部門別に配分しなければならない。そこで、配分係数を次の算式で求めて外生的に与えることにする。

$$c_j = \frac{IP_j}{\sum_{i=1}^7 IP_i} \quad (j = 1, \dots, 7)$$

ここで、 $IP_j$ は、資本ストック推計額から計算される部門別の実質粗投資額で、

$$IP_j = K_j - (1 - \delta)K_{j-1} \quad (j = 1, \dots, 7)$$

である。

さらに、我々が用いている部門別の資本ストックは、新  $SNA$  では、公的国内総資本形成に含まれている政府企業を民間に格付けて推計されている<sup>7</sup>。したがって、なんらかの方法で需要ブロックで求められた  $IP$ をふくらませてやらないと、資本ストック推計との整合性を保てないことになる。そこで、

$$\gamma = \frac{\mu_{IP} \sum_{i=1}^7 IP_i}{IP + IG}$$

なる比率を外生的に与えることによって、資本蓄積式に現われる  $IP_j^*$ を次のように求める。

$$IP_j^* = c_j \frac{\gamma(IP + IG)}{\mu_{IP}} \quad (j = 1, \dots, 7)$$

#### 3.5.2 部門別就業者数

我々は、 $SFS$ 生産関数に基づいて資本設備とその設備に対する配置人員（就業者数）の間に次の関係があるものと想定していた<sup>8</sup>。

$$K_j = \alpha L_j^{\beta} L_j \quad (j = 1, \dots, 7)$$

しかし、式の形が示す通り、この定式化は、就業者数が単調に増加していることを前提にしているから、1970年代に入ってから製造業部門における就業者数の低下傾向を追うことができない。1970年代の石油危機を境にして投資の形態も生産能力拡張型投資からエネルギー節約型投資に転換し、さらに、 $ME$ 化の進展により部門別の資本ストックを構成する資産構成に変化があったのも事実であろう。また、それらを背景にして、労働投入と資本投入の生産要素相対価格に変化が生じていたのも事実であろう。

<sup>7</sup>資本ストックの推計の詳細については黒田・吉岡(1984)参照。

<sup>8</sup>この定式化の詳細については、辻村・黒田(1974)参照

実際に、上記のSFS型が使用に耐え得たのは、建設部門とサービス部門のみであった。そこで、パイロット・モデルでは、就業者数が急激に減少している在来部門、素材部門については、新たな説明変数として、1期前の就業者数を加えることによって、さらに、加工組立部門、公益部門には、資産構成の変化の代理変数として、素材部門と加工組立部門の産出比率を加えることによって処理をした。推計された方程式群は、以下に示すとおりである。

$$\ln L_1 = 9.8775831 - 0.30768492 \ln K_1$$

(96.05)                      (29.22)

$$\bar{R}^2 = 0.97152 \quad D.W. = 0.19618$$

$$\ln L_2 = 4.8049177 + 0.16521109 \ln K_2$$

(80.40)                      (22.94)

$$\bar{R}^2 = 0.95457 \quad D.W. = 0.46631$$

$$\ln L_3 = 1.6197285 - 0.098476161 \ln K_3 + 0.762950621 \ln L_{3-1}$$

(3.45)                      (-1.54)                      (9.86)

$$\bar{R}^2 = 0.82104 \quad D.W. = 2.39075$$

$$\ln L_4 = 0.73265142 - 0.013596074 \ln K_4 + 0.89857831 \ln L_{4-1}$$

(2.02)                      (-2.23)                      (13.63)

$$\bar{R}^2 = 0.89075 \quad D.W. = 1.12205$$

$$\ln L_5 = 0.68541062 - 0.06120559 \ln K_5 + 0.96379546 \ln L_{5-1}$$

(1.94)                      (-1.89)                      (10.47)

$$+ 0.015636523 \frac{X_5}{X_4} \ln K_5$$

(2.52)

$$\bar{R}^2 = 0.96880 \quad D.W. = 1.64046$$

$$\ln L_6 = 1.0717486 + 0.023614103 \ln K_6 + 0.78293993 \ln L_{6-1}$$

(4.74)                      (1.11)                      (13.78)

$$- 0.0041259139 \frac{X_6}{X_4} \ln K_6$$

(-1.10)

$$\bar{R}^2 = 0.97129 \quad D.W. = 2.15195$$

$$\ln L_7 = 5.2868093 + 0.23210440 \ln K_7$$

(68.87)                      (30.43)

$$\bar{R}^2 = 0.97472 \quad D.W. = 0.16871$$

以上のプロセスによって次期の部門別資本ストックおよび就業者数が決定され、モデルはダイナミックに展開して行くことになる。

### 3.6 内挿テスト

本節では、1960-1985年の観測期間に関するモデルの内挿テストの結果を報告する。モデルの内挿テストには、トータル・テストとファイナル・テストの2種類がある。周知の通り、トータル・テストは、モデルの外生変数と先決内生変数に実績値を与えて、モデルが解いた内生変数と実績値の整合性を単位期間ごとにテストするものである。また、ファイナル・テストは、外生変数のみに実績値を与え、先決内生変数には、前期に解かれた理論値を与えて、モデルが解いた内生変数と実績値の整合性を観測期間を通じて連続的にダイナミックにテストするものである。

巻末の表Aが、全内生変数についてのトータルおよびファイナル・テストの結果である。表で、OBSは観測値、TOTALはトータル・テストの結果、FINALはファイナル・テストの結果である。

全体的には、ほぼ満足のいく結果であると考えてよいと思う。今後の課題として残された点を若干指摘しておこう。年間労働時間が、供給量の変化にかなり敏感に反応し、観測値の滑らかな動きに比べて変動が激しくなっている。また、貨幣需要関数によって解かれた金利が、オーバー・エスティメイトになっている期間が多い。これらは、構造方程式の改善ならびに用いる資料をも含めて、今後のモデル開発の過程で検討せねばならないところである。

輸入シェアの当てはまりも非常に悪いことが目につく。これは、輸入シェア関数自体のフィットが悪いことが最大の原因である。需要価格に引き戻した場合には、輸入シェア自体が非常に小さいためほとんど影響しないのであるが、輸入額や貿易収支としてみた場合に悪影響を与えている。観測値と対応させてみても、国産と輸入価格の相対価格だけで説明しようとするにかなり無理があり、今後より自律的な構造方程式の研究が必要である。

## 4 政策シミュレーション

本章では前章で実測されたモデルを使って政策シミュレーションを行い、パイロット・モデルの性質をさらに深く探っていくことにする。第2節で述べてきたように、このモデルは、ケインズの有効需要の原理に基づいた多部門モデルである。よって、我々は、まず財政支出拡大の有効需要誘発効果、ならびに金融政策の効果が、パイロット・モデルでどのように作用するかを実験する。さらに、第2節で示した労働時間短縮のシナリオを、為替レート調整政策による輸入拡大によってどのように実現するかをシミュレートしてみることにする。

これから行なう全てのシミュレーションは、各政策の短期的なインパクトがどの程度であるかを探るために行われる。したがって、シミュレーションの結果は、トータル・テストと比較される。また、比較は、各時点でトータル・テストの結果から何%変化したかを1980年と1985年の期間における変化率の最小値と最大値を用いて何%から何%変化したという形で記述することを原則とする。よって、何%から何%変化したと言う場合には、決して統計的な予測の信頼区間等を示しているのではないことをあらかじめことわっておく。

また、シミュレーションの結果の詳細は、巻末の表B(財政政策シミュレーション)、表C(金融政策シミュレーション)、表D(財政・金融政策ポリシー・ミックス)、表E(為替レート調整政策)、表F(為替レート調整政策と金融引締め政策のポリシー・ミックス)に示されている。表中の変化率もトータル・テストからの変化率を示している。読者の方々には大変恐縮であるが、表中にはモデルの変数名のみを示し、その内容を示していない。表をご覧になる際には、表5.1-2、表5.1-3の変数リストを同時に参照されたい。

#### 4.1 財政・金融政策

まず、パイロット・モデルの性質を探る意味合を兼ねて、次のような財政・金融政策シミュレーションを1980-1985年についておこなう。

1. 各年について財政支出（公的固定資本形成  $IG$ ）を10%拡大する。
2. 各年について貨幣供給量  $M2CD$ を10%増加させる。

シミュレーションの結果は巻末の表Bおよび表Cに示されている。表4.1-1は、1980-1985年の公的固定資本形成  $IG$  と貨幣供給量  $M2CD$  および金利  $RI$  の系列である。また、カッコ内の数値は、トータル・テストにおける総付加価値額  $V$  にしめるそれぞれの比率である。

表 4.1-1: 公的固定資本形成・貨幣供給量・金利

年	$IG$	$M2CD$	$RI$
1980	22888.3 (0.0898)	208985.9 (0.8201)	8.32
1981	24278.8 (0.0861)	232041.7 (0.8232)	7.79
1982	24142.7 (0.0838)	250466.1 (0.8696)	7.23
1983	23586.4 (0.0786)	268692.7 (0.8954)	7.05
1984	23105.4 (0.0714)	289714.2 (0.8955)	6.06
1985	21608.2 (0.0643)	314938.7 (0.9366)	6.52

(備考)  $M2CD$ は  $M2$ +譲渡性預金。

$RI$ は全国銀行貸出約定金利。

カッコ内の数値は、トータル・テストにおける総付加価値額にしめるそれぞれの比率である。

表 4.1-1 に見るように、この次期の財政・金融政策の特徴は、財政再建による緊縮財政と金利が弱含みに推移したことである。

まず、財政支出拡大および金融緩和が総付加価値に短期的に与える効果を弾力性と短期乗数<sup>9</sup>で比較してみよう（表 4.1-2）。

<sup>9</sup>弾力性は、 $S$ をシミュレーションで得られた総付加価値、 $T$ をトータル・テストのそれとすると、

$$s = \frac{S - T}{T}$$

を財政支出の変化率で除したものである。また、乗数は、 $S - T$ を総付加価値のシミュレーションとトータル・テストの変化額とすると、これを財政支出の変化率で除したものである。したがって、乗数は、弾力性にトータル・テストにおける財政支出/総付加価値（表 3.1 のカッコ内の数値）の逆数をかけたものである。

表 4.1-2: 財政・金融政策の有効需要誘発効果

年	財政政策		金融政策	
	弾力性	短期乗数	弾力性	短期乗数
1980	0.1232	1.3965	0.1268	0.1546
1981	0.1200	1.3932	0.1156	0.1404
1982	0.1210	1.4435	0.0978	0.1125
1983	0.1155	1.4694	0.0903	0.1008
1984	0.1052	1.4731	0.0957	0.1069
1985	0.0972	1.5126	0.0776	0.0829

弾力性でみた場合、両政策の効果にさほど差がない。短期乗数で比較すると、一見、財政政策の効果のほうが大きく見えるが、同じ10%といっても表4.1-1が示すように、*IG*と*M2CD*の規模にはかなりの差がある。後で明らかになるが、このモデルの性質によれば、*GDP*を一定に保つような財政・金融政策の組合せは、財政支出の20%拡大と貨幣供給量の10%削減である。短期乗数を時系列でみると、財政政策乗数の時系列的な上昇と金融政策乗数の時系列的な縮小が特徴になっている。

さて、第1章で述べたように、財政政策と金融政策は、それぞれ異なるチャンネルを通じて総付加価値に波及する。財政支出の拡大は、まず総需要を拡大させ、さらに乗数および投資の加速度効果を通じて総需要拡大効果をもたらす。また、*L-M*リレーションを通じて金利、物価を上げることによって、マクロの総需給バランスに若干の減殺効果をもたらす。一方、金融緩和政策は、貨幣需要関数を通じて金利を下げ、それが投資関数を通じて民間設備投資を拡大させ、総需要拡大に波及するというチャンネルを持つ。特に、我々の多部門モデルでは、この2つの異なるチャンネルは、産業構造を変化させていくことがわかる。つまり、財政政策は、公的固定資本形成の中にしめるウェイトの大きい建設部門の需要拡大から達成される。また、金融政策は、マクロ・リレーションで把えた投資関数を経て達成されるから、投資財関連部門（建設、加工組立部門）への効果が大きい。このことを産業別の年間労働時間、物価への効果をみることによって確かめてみよう。

財政支出10%の拡大は、建設部門の年間労働時間を4%程上昇させ、素材部門で約2%上昇させた。その他の部門では、ほとんどの部門で1%以下である。一方、金融の10%緩和によって、建設部門で1.8%から3%、加工組立部門および素材部門で1.4%から2%程度、年間労働時間が上昇した。他の部門は、財政政策の場合とほぼ同様である（表4.1-1）。

また、財別の国産価格でみると、財政支出拡大は、建設部門および素材部門の国産価格を1%から1.3%程度上昇させる。他の部門については、0.2%内外である。一方、金融政策では、建設部門と加工組立部門の国産価格が0.7%から1%ほど上昇し、素材部門で0.8%から1.3%上昇している。このように価格への効果でみた場合、総じて財政支出拡大の方が価格へ与える影響は、大きい。これは、一般物価でみても明かで、財政支出拡大は、一般物価を1980年の0.54%から1985年の0.36%上昇させるのに対し、金融政策では、1980年の0.47%から1985年の0.23%程度である。

このように、産業別の指標への効果をみると、2つの政策のチャンネルの違いが明かである。また、両政策のシミュレーションで明かであるが、建設部門の需要拡大は、素材部門の需要拡大の呼び水になっていることもわかるであろう。さらに、財政政策の価格への効果が、この期間時系列的に縮小していることは、短期乗数が時系列的に拡大していることの1つの要因であろう。

## 4.2 財政・金融のポリシー・ミックス

これまで、財政・金融政策それぞれ別々にシミュレートすることにより、両政策のチャネルならびに効果の違いを明らかにさせてきた。両政策の効果をさらに比較するために、GDPをトータル・テストの水準に一定に保つような財政支出拡大と金融引締めを同時に行ってみる。このモデルの性質に基づけば、GDPの水準をほぼ一定に保つ財政・金融政策の組合せの1つが、財政支出の20%拡大と金融の10%引締め（貨幣供給量の10%縮小）である。これは、1980-1985年の期間に実際に取られた政策と対照的なメニューである。

シミュレーションの結果は巻末の表Dに示されている。まず、産業別の年間労働時間でみると、建設部門では、財政支出拡大の効果によって4.3%から5.8%も増加し、素材部門でも1.3%から2%増加する。一方、投資関連の加工組立部門では、0.8%から1.3%程度短縮する。その他の部門では、若干の増加がみられる。これは、ポリシー・ミックスの結果、金利が3%から5%程度上昇し、財政支出拡大にもかかわらず投資が3.3%から5.8%シュリンクするという、いわゆるクラウドディング・アウトの結果、加工組立部門の需要が減ったためである。

また、財別の国産価格でも、建設部門で1.2%から1.4%、素材部門で0.8%から1.2%上昇し、加工組立部門で0.2%から0.4%低下を示している。その結果、一般物価は、0.4%から0.5%程度の上昇を示した。

その際に、分配所得は1%以下で上昇し、その結果、民間消費は名目で0.5%内外伸びたが、実質消費はほとんど変わらなかった。

マクロ・リレーションでは、ポリシー・ミックスは、クラウド効果による投資のシュリンクをもたらしたが、消費構造には中立的であったといえる。また、貿易収支は、2%から4%の改善がみられた。

次に、ポリシー・ミックスによる産業構造の変化を産業別の発生付加価値と就業者数の変化からみてみよう。発生付加価値では、建設部門で5%から6%と急激な上昇を示し、素材部門で2%から3%の上昇を示したが、加工組立部門では1.4%から2%の程度の減少を示した。その他の部門では、一般物価の上昇と同程度に若干の上昇を示している。その結果として、建設、公益、サービス部門での就業者数は増加し、その他の部門では縮小気味であった。

## 4.3 労働時間短縮のシナリオ

ここで、第2節で示した労働時間短縮のシナリオをもう一度振り返ってみよう。「労働力不足に象徴される経済の過熱状態に対して金融の引締めを行い、同時に労働時間短縮を行ったとしよう。そうすれば、1人当りの生産量つまり1人当りの取り分は低下したことになる。その生産量の不足分を埋めるべく輸入拡大をしたとしよう。この場合、1人当りのウェルフェア水準を低下させずに労働時間短縮と貿易収支の黒字減らしが同時に達成できるだろう。」

これまでのシミュレーションで金融引締めが加工組立部門を中心に労働時間短縮の効果を持つことは明らかである。その場合に国内生産量も縮小することも自明である。しかし、どのように輸入拡大を図るかがまだ明かでない。パイロット・モデルで輸入拡大を図る道は、輸入シェア関数を通じて、国産価格が輸入価格よりも相対的に高くなることによって、輸入財に対する代替効果を生じさせることである。そこで、我々は、為替レートの高誘導によって円建ての輸入価格を低下させることによって、国産財から輸入財への代替を促進させるという方法をとった。為替レートに関する想定は、1980年代の円安を経験せずに、1979年の観測値218.96円/ドルから1988年の128.8円/ドルまで、直線的に円高方向に推移するというものである。これは、この期間に実際にとられた政策とは逆に、金融



引締め政策によって、金利裁定が働き、円高に向かったという想定である。次の表は、為替レートの観測値とシミュレーションで用いる想定値である。

表 4.3-1: 為替レートの想定

年	観測値	想定値
1980	226.88	204.81
1981	220.48	191.58
1982	249.01	179.20
1983	237.53	167.62
1984	237.55	156.79
1985	238.54	146.66

さて、パイロット・モデルでは、名目総輸出を外生変数として扱ってきた。このシミュレーションに際しては、次のように名目総輸出の為替レート弾力性を推定し、価格効果のみを効かせるという極めて単純な定式化をもちいる。

$$\ln EX = 0.003795437 \ln EXRATE \quad (34)$$

為替レートの想定値に対する名目総輸出は、次の表の通りである。

表 4.3-2: 名目総輸出額

年	OBS	SIML
1980	34543.4	33201.6
1981	39804.6	37681.9
1982	40499.5	35442.5
1983	40604.8	35232.5
1984	46526.5	39189.1
1985	47544.7	38767.1

(備考) OBS は実績値。

SIML はシミュレーションの結果。

#### 4.3.1 為替レート調整政策

金融引締めと為替レート調整政策のポリシー・ミックスを行なう前に、為替レート調整政策の効果のみを抽出しておこう。シミュレーションの結果は巻末の表 E に示されている。このシミュレーションでは、国産財から輸入財への代替が、どの程度起きるか、それによって年間労働時間が、どの程度短縮するかが焦点になる。

表が示すように、円建て輸入価格が下がった結果、実質の輸入量は、農林水産で 10% から 56%、在来部門で 20% から 100%、素材部門で 6% から 31%、加工組立部門で 11% から 60% の上昇を示している。また、国産財の実質生産量は、どの部門でも 2% から 8% 程度減少している。

さて、ここで注目すべきは非競争輸入財の輸入量の変化である。非競争輸入財は、財の性質からいって、ほとんどが中間投入として使用される。したがって、短期的には固定投入係数によって中間投

入を把えることができるから、国産財の減少は、非競争輸入財の輸入量を短期的に減少させることになる。実際にシミュレーションの結果、実質数量で1%から6%の減少である。競争輸入財の増加率に比べて、その減少率は低いものであるが、総輸入にしめる非競争輸入財のシェアは、この期間で40%から50%をしめている（図4.3.1-1）。これは、天然資源の賦存量に乏しい日本の構造的な特徴である。

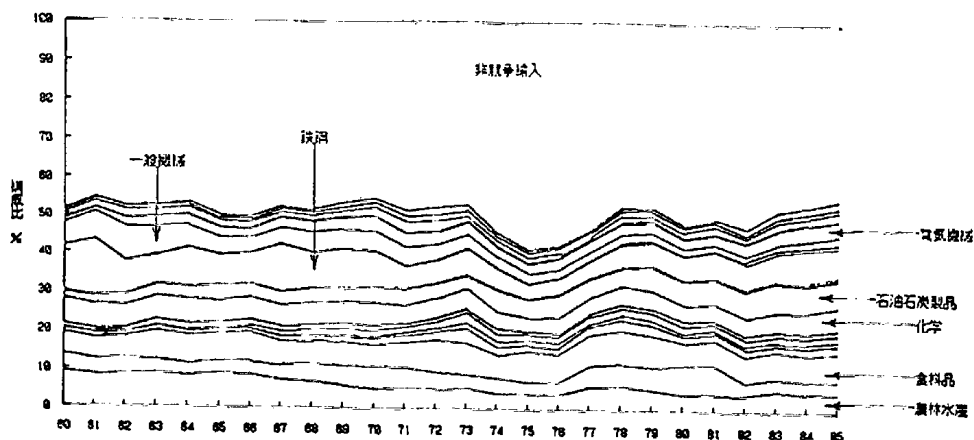


図 4.3-1: 日本の輸入構造

その結果として、このような急激な為替レートの円高にもかかわらず、名目輸入額は5%から16%も減少した。貿易収支は次のようになる。

表 4.3.1-1: 為替レート調整政策による貿易収支

年	TOTAL	SIML
1980	-3.9	450.5
1981	6256.0	6277.0
1982	5775.9	5725.1
1983	7151.1	6787.6
1984	10854.6	9117.7
1985	13238.3	10258.1

(備考) TOTAL はトータル・テストの結果。

SIML はシミュレーションの結果。

先の単純な定式化によって、名目輸出額が3%から18%減少しているのので、1982年以降の貿易収支は改善されるが、たとえば、1985年では48.6%と大幅な円高にもかかわらず、貿易黒字の減少は22.5%であった。競争輸入財すなわち製品輸入の大幅な拡大がなければ、為替レート調整政策のみによる貿易収支の大幅な改善は望めないであろう。

以上の結果、年間労働時間は、農林水産部門で2%から10%、在来部門で3%から18%、素材部門で4%から21%、加工組立部門で2%から16%の短縮となった。また、国産価格が下がったため、実質の国内総生産は1985年で0.4%の減少となった他は、0.1%から0.8%の増加となった。また、1人当りの取り分の指標として実質消費支出をみれば、0.8%から2.6%上昇している。

#### 4.3.2 金融引締めと為替レート調整政策による労働時間短縮シミュレーション

さて、これまでは為替レートは外生的に変化するものと考えてきた。ここでは、金融引締めによる金利の上昇が、金利裁定によって円高をもたらすというシナリオを考えてみよう。ただし、パイロット・モデルでは、貨幣供給量も為替レートも外生変数である。よって、金利裁定式をもちいて金利と為替レートを連動させているわけではなく、貨幣供給量の水準と為替レートの水準は全く独立決定した。ここでは、各年貨幣供給量を15%減少させることにする<sup>10</sup>。また、シミュレーションの結果は巻末の表Fに示されている。

表4.3.2-1は、このポリシー・ミックスによる実質輸入額と実質国内生産額のトータル・テストからの変化率を1980年から1985年の期間における最小変化率と最大変化率の幅で示したものである。先の為替レート調整シミュレーションの場合と同様に、競争輸入財の輸入の大幅な増加と、それと競合する国産財の減少がみてとれる。さらに、非競争輸入財は、国産の減少にともなって輸入額が減少している。

表 4.3.2-1: 実質輸入額および国内生産額・価格の  
トータル・テストからの変化率

部門	実質輸入額	実質国内生産	国産価格
1. 農林水産部門	8.3% - 55.8%	-2.6% - -8.1%	-1.6% - -5.5%
2. 建設部門	—	-3.1% - -3.6%	-3.0% - -5.6%
3. 在来部門	16.2% - 101.5%	-2.5% - -9.4%	-3.2% - -11.3%
4. 素材部門	2.1% - 28.7%	-2% - -6.5%	-6.4% - -17.7%
5. 加工組立部門	5.5% - 56.3%	-2.7% - -7.5%	-4.2% - -12.2%
6. 公益部門	14.6% - 92.5%	-2.1% - -7%	—
7. サービス部門	8.9% - 58.3%	-1% - -1.3%	-0.9% - -2.3%
8. 公務	—	0.3% - 1%	—
9. 非競争輸入財	-2% - -6.5%	—	—

(備考) 各欄の-で結ばれた数値は、時系列的な変化率の最小値と最大値を示す。

その結果、名目の輸入額は、表4.3.2-2が示すように7.8%から18%の減少である。また、貿易収支は、1980年では、大幅に黒字に転じ、1983年以降5%から20%の黒字の改善がみられる。

<sup>10</sup>金利と為替レートに関してマンデル-フレミング・モデルを用いた1つの試論として中島・河井(1990)を参照されたい。

表 4.3.2-2: 貿易収支の変化

年	輸入	輸出	貿易収支
1980	32061.8 (34547.3)	33201.6 (34543.4)	1139.8 (-3.9)
1981	30757.7 (33548.6)	37681.9 (39804.6)	6914.3 (6256.0)
1982	29258.8 (34723.6)	35442.5 (40499.5)	6183.6 (5775.9)
1983	28422.0 (33453.7)	35232.5 (40604.8)	6810.5 (7151.1)
1984	29609.3 (35671.9)	39189.8 (46526.5)	9580.5 (10854.6)
1985	28164.1 (34306.3)	38767.1 (47544.7)	10603.0 (13238.3)

(備考) カッコ内の数値はトータル・テストの結果である。

表 4.3.2-3 は、このポリシー・シミュレーションによる労働時間短縮の効果である。この表は、このポリシー・ミックスによる労働時間のトータル・テストからの変化率を 1980 年から 1985 年の期間における最小変化率と最大変化率の幅で示したものである。

国内生産額の減少の大きい、農林水産部門、製造業での効果が大きく、年間労働時間にして、農林水産業で 71-240 時間、在来部門で 141-500 時間、素材部門で 218-587 時間、加工組立部門で 159-438 時間の短縮を示している。

表 4.3.2-3: 労働時間短縮の効果

部門	変化率 (最小変化率-最大変化率)
1. 農林水産部門	-3.3% - -10.8%
2. 建設部門	-4.6% - -5.8%
3. 在来部門	-5.4% - -19.2%
4. 素材部門	-8.7% - -23.0%
5. 加工組立部門	-6.7% - -18.7%
6. 公益部門	-2.9% - -10.2%
7. サービス部門	-1.2% - - 1.7%

(備考) 変化率はトータル・テストからの変化率である。

次にマクロ経済指標の変化をみてみよう。表 4.3.2-4 にみるように、実質投資は、8.1%から 9.5%の落ち込みを示し、実質国内総生産も 0.3%から 1.3%程度低下している。このように、景気は弱含みになり、経済成長率も若干低下してしまうことは免れないようである。しかし、表 4.3.2-1 が示すように、国産の減少した製造製品の価格がかなり低下するため、一般物価も 2.1%から 5.8%ほど低下している。さらに、実質の消費水準も 1980 年では、1.9%ほど落ち込んだものの、それ以降では 0.2%から 2.3%の

伸びを示している。このように、国内生産は減少するものの、消費量は増加する。1人当りでみたウエルフェア水準を実質消費額で測れば、このシミュレーションは、1人当りのウエルフェアを低下させずに労働時間短縮を実現したということになるだろう。

表 4.3.2-4: マクロ指標への効果

年	実質投資	実質消費	実質 GDP	一般物価
1980	25296.0 (27448.1)	58371.5 (59514.1)	106848.7 (107984.6)	2.23269 (2.28035)
1981	26276.6 (28507.3)	61913.9 (61772.7)	113116.8 (114351.2)	2.32266 (2.37852)
1982	26314.4 (28714.5)	64037.1 (63012.2)	115049.1 (115428.2)	2.31393 (2.41649)
1983	27330.0 (29829.6)	66347.5 (65209.9)	118229.9 (118999.2)	2.33420 (2.44169)
1984	29781.2 (32657.2)	69079.9 (67691.9)	125233.6 (126370.1)	2.35298 (2.48199)
1985	30815.6 (33895.2)	70739.3 (69141.0)	128554.4 (130231.6)	2.34826 (2.49169)

(備考) カッコ内の数値はトータル・テストの結果である。

最後に、金融引締めと為替レート調整政策による労働時間短縮のシナリオに関するシミュレーションの結果をまとめておこう。

1. 金融引締めと為替レート調整による輸入拡大によって労働時間短縮は期待できる。
2. 輸入拡大により国内生産が減少し、景気は弱含みになり、経済成長率も若干低下する。
3. 貿易収支は若干程度改善する。
4. 国内物価が下がり、実質消費水準は上昇する。

## 5 データおよび変数リスト

モデルで使用したデータの離型が、図 5.1 に示されている。また、その下は、モデルの部門分類表(表 5.1-1)である。

図が示すように財取引のデータは、産業連関表で完結している。この産業連関表の特徴は、コントロール・トータルズが新 SNA に一致するように、公表産業連関表を再推計していることである。この特性によって、産業連関表と他の経済統計の接合が容易になっている。

周知のように、産業連関表は、1960年から5年ごとの公表であるが、我々は、以下の方法で時系列産業連関表を推計した。産業別の付加価値および最終需要の項目計については、時系列で『国民経済計算年報』(経済企画庁)で得ることができる。行政管理庁他の産業連関表および通産省の産業連関表延長表は、商品(アクティビティ)ベースであるのに対して、新 SNA の付加価値は産業ベースであ

る。ゆえに、まず、新 *SNA* の *V* 表を用いて、産業別の付加価値を商品別の付加価値に変換する。この商品別付加価値と新 *SNA* から得られる最終需要および *V* 表の商品産出額を与えて、5 年毎の公表産業連関表をベンチにして *KEO-RAS* 法で時系列産業連関表を推計した (*KEO-RAS* 法については、辻村・黒田 (1974) 第 4 章を参照)。また、商品別の国産価格および輸入価格は、通産省の産業連関表延長表のデフレーターをディビジア指数の離散近似型であるトランスログ指数で集計することによって作成した。この時系列産業連関表の体系外の変数として、産業別の資本ストックならびにその経済的償却率、産業別就業者数、貨幣供給量、金利、為替レートが必要である。産業別の資本ストックならびに経済的償却率は、国富調査をベンチにして、経済企画庁『民間粗資本ストック推計』から得られる産業別の投資額その他の資料を用いて、恒久棚卸法によって産業別資産形態別に推計されている。推計の詳細については黒田・吉岡 (1984) を参照されたい。産業別就業者数は、新 *SNA* ベースである。貨幣供給量は *M2*+ 譲渡性預金であり、金利は全国銀行貸出約定金利を用いた。また、為替レートは、東京外国為替市場のスポット価格の年平均値である。

表 5.1-2、表 5.1-3 は、内生変数および外生変数リストである (アルファベット順)。

表 5.1-2: 変数リスト (内生変数)

変数番号	変数名	内容
1.	<i>BP</i>	貿易収支
2.	<i>BSD</i>	総営業余剰・固定資本減耗
3-9.	$\{BSD_j   j = 1, \dots, 7\}$	<i>j</i> 部門営業余剰・固定資本減耗
10.	<i>CP</i>	家計最終消費支出
11-19.	$\{F_i   i = 1, \dots, 9\}$	<i>i</i> 財実質最終需要
20-26.	$\{g_k   k = BC, CP, CN, CG, IP, IG, Z\}$	<i>k</i> 最終需要項目実質最終需要
27.	<i>GDE</i>	国内総支出(生産)
28.	<i>GDEP</i>	国内総支出(生産)デフレーター
29-35.	$\{H_j   j = 1, \dots, 7\}$	年間労働時間
36.	<i>HMFG</i>	年間労働時間製造業計
37-43.	$\{IM_i   i = 1, 3, \dots, 7, 9\}$	<i>i</i> 財実質輸入額
44.	<i>IP</i>	民間国内総固定資本形成
45-51.	$\{K_j   j = 1, \dots, 7\}$	<i>j</i> 部門実質資本ストック
52-58.	$\{L_j   j = 1, \dots, 7\}$	<i>j</i> 部門就業者数
59-65.	$\{\mu_k   k = BC, CP, CN, CG, IP, IG, Z\}$	<i>k</i> 最終需要項目デフレーター
66.	<i>NEX</i>	総輸出額
67.	<i>NIM</i>	総輸入額
68-76.	$\{NTEX_i   i = 1, \dots, 9\}$	<i>i</i> 財の純輸出額
77-84.	$\{NTX_j   j = 1, \dots, 8\}$	<i>j</i> 部門の純間接税
85-90.	$\{pC_i   i = 1, \dots, 5, 7\}$	国産 <i>i</i> 財価格
91-99.	$\{pM_i   i = 1, \dots, 9\}$	輸入 <i>i</i> 財円建て価格
100-106.	$\{pO_i   i = 1, \dots, 7\}$	<i>i</i> 財の需要価格 ( $pC_i, pM_i$ の集計価格)
107.	<i>RGDE</i>	実質国内総支出(生産)
108.	<i>RI</i>	金利(全国銀行貸出約定金利)
109.	<i>TH</i>	平均年間労働時間
110.	<i>TL</i>	総就業者数
111.	<i>V</i>	総付加価値
112-119.	$\{V_j   j = 1, \dots, 8\}$	<i>j</i> 部門付加価値額
120-127.	$\{VBC_j   j = 1, \dots, 8\}$	<i>j</i> 部門家計外消費支出
128-134.	$\{vM_i   i = 1, \dots, 7\}$	輸入シェア
135-142.	$\{X_i   i = 1, \dots, 8\}$	<i>i</i> 財総需要(供給)
143.	<i>YE</i>	総雇用者所得
144-151.	$\{YE_j   j = 1, \dots, 8\}$	<i>j</i> 部門雇用者所得

表 5.1-3: 変数リスト (外生変数)

変数番号	変数名	内容
152-223.	$\{a_{ij} \mid i = 1, \dots, 8, j = 1, \dots, 9\}$	投入係数
224.	$BC$	家計外消費支出
225-287.	$\{b_{ik} \mid i = 1, \dots, 9,$ $k = BC, CP, CN, CG, IP, IG, IZ\}$	数量・価格コンバーター
288-294.	$\{c_j \mid j = 1, \dots, 7\}$	投資配分係数
295.	$CG$	政府最終消費支出
296.	$CN$	対家計民間非営利団体消費支出
297-303.	$\{\delta_j \mid j = 1, \dots, 7\}$	$j$ 部門経済的償却率
304-309.	$\{\eta_j \mid j = 1, \dots, 5, 7\}$	$j$ 部門想定需要価格弾力性
310.	$EXRATE$	年平均為替レート
311.	$\gamma$	国内総固定資本形成民間・公的比率
312.	$H_s$	公務部門年間労働時間
313.	$IG$	公的国内総固定資本形成
314-320.	$\{\theta_j \mid j = 1, \dots, 7\}$	部門別投資比率
321.	$L_s$	公務部門就業者数
322.	$M2CD$	貨幣供給量 ( $M_2 + CD$ )
323-324.	$\{p_{C_i} \mid i = 6, 8\}$	国産 $i$ 財価格
325-333.	$\{p_{M_i}^* \mid i = 1, \dots, 9\}$	ドル建て輸入 $i$ 財価格
334-341.	$\{bc_j \mid j = 1, \dots, 8\}$	$j$ 部門家計外消費支出/付加価値比率
342-349.	$\{w_j \mid j = 1, \dots, 8\}$	$j$ 部門時間当賃金率



## 参考文献

- [1] Armington,P.S.(1969) "A theory of products distinguished by place of production", *IMF Staff Papers* 16, pp.159-177.
- [2] 小尾恵一郎 (1983)「ケインズ一般理論における失業の計測と賃金較差形成機構—労働市場の順位均衡モデルによる分析」,『三田学会雑誌』, 76 巻, 4 号.
- [3] 小尾恵一郎・中島隆信・宮内 環 (1989)「重層的市場均衡の概念による労働市場の分析」,『三田商学研究』, 32 巻, 1 号,pp.160-192.
- [4] 黒田昌裕, 吉岡完治 (1984)「資本サービス投入量の測定—部門別, 資産形態別資本ストック」,『三田商学研究』, 27 巻, 4 号,pp.12-30.
- [5] 清家 篤 (1990)「労働時間短縮の視点」, unpublished mimeo.
- [6] 辻村江太郎 (1975)「スタグフレーションと市場機能—需給バランスと競争圧力—」, *Keio Economic Observatory Review*, No.1.
- [7] 辻村江太郎, 黒田昌裕 (1974)『日本経済の一般均衡分析』, 築摩書房.
- [8] 続幸子 (1975)「スタグフレーション期におけるトイレット・ペーパー市場の分析—売手多占, 買手負占の変化測定—」, *Keio Economic Observatory Review*, No.1.
- [9] 中島隆信・河井啓希 (1990)「KEO モデルの国際面での拡張に向けての一試論 マンデル=フレミングモデルによる日米経済のマクロ分析 1970-1987」, *Keio Economic Observatory Occasional Paper*, J.No.13.
- [10] 早見 均 (1990)「雇用量・労働時間・投資の決定図式」, *Keio Economic Observatory Occasional Paper*, .
- [11] Petri,P.A.(1980) "A Ricardian model of market sharing", *Journal of International Economics* 10, pp.201-211.
- [12] Petri,P.A.(1984) *Modeling Japanese-American Trade*, Harvard University Press, Cambridge:MA.
- [13] 宮内 環 (1990)「労働市場のモデル」, *Keio Economic Observatory Occasional Paper*.
- [14] Modigliani,F.(1944) "Liquidity preference and the theory of interest and money", *Econometrica*, January.
- [15] 吉岡完治 (1975)「スタグフレーションと企業の在庫投資行動」, *Keio Economic Observatory Review*, No.1.
- [16] 吉岡完治 (1990)「労働時間短縮についての一試論」, *Keio Economic Observatory Occasional Paper*, J.No.11.
- [17] 吉川 洋 (1984)『マクロ経済学研究』, 東京大学出版会.

表 A-1: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	BP			BSD		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-613.7	-746.1 (-132.4)	-746.1 (-132.4)	8036.6	7787.0 (-249.7)	7787.0 (-249.7)
1962	-341.7	-654.0 (-312.3)	-653.8 (-312.1)	8737.7	8829.4 (91.7)	9049.6 (312.0)
1963	-631.4	-762.0 (-130.6)	-789.8 (-158.4)	9682.8	10089.2 (406.4)	10402.1 (719.3)
1964	-608.2	-647.5 (-39.3)	-655.8 (-47.7)	11704.2	11675.2 (-29.0)	11868.7 (164.5)
1965	200.7	-302.1 (-502.8)	-310.1 (-510.8)	12907.2	13835.6 (928.4)	14010.6 (1103.5)
1966	-70.5	-390.4 (-319.8)	-436.4 (-365.8)	14864.1	14958.3 (94.2)	15155.7 (291.6)
1967	-724.9	-780.1 (-55.2)	-798.8 (-73.8)	17474.1	16635.3 (-838.8)	16582.5 (-891.5)
1968	-287.0	-464.3 (-177.3)	-408.5 (-121.5)	21069.0	19739.2 (-1329.8)	19286.1 (-1782.9)
1969	-12.2	74.9 (87.1)	135.6 (147.8)	24879.6	22321.3 (-2558.3)	21849.7 (-3029.9)
1970	321.5	861.0 (539.5)	950.2 (628.7)	30054.2	27368.4 (-2685.9)	26782.6 (-3271.7)
1971	1115.2	993.3 (-121.9)	1048.3 (-66.9)	29979.5	28584.2 (-1395.4)	27637.6 (-2342.0)
1972	1009.8	704.1 (-305.7)	644.1 (-365.7)	34314.6	31860.2 (-2454.5)	31165.4 (-3149.2)
1973	-1100.3	-377.6 (722.8)	-465.6 (634.7)	40680.0	37616.9 (-3063.2)	36859.8 (-3820.2)
1974	-2672.6	-1767.7 (904.9)	-1684.4 (988.2)	44918.1	45758.3 (840.3)	44091.6 (-826.5)
1975	-568.9	414.5 (983.4)	304.5 (873.4)	45819.9	45783.8 (-36.1)	45160.1 (-659.8)
1976	133.4	-36.7 (-170.1)	-250.6 (-384.0)	50972.6	51505.6 (533.0)	51508.2 (535.7)
1977	1838.7	448.8 (-1389.9)	432.7 (-1406.0)	56200.9	57070.1 (869.2)	57145.1 (944.2)
1978	3309.5	2506.1 (-803.4)	2441.3 (-868.2)	65095.5	65455.8 (360.3)	65654.5 (559.1)
1979	-2498.6	923.2 (3421.8)	923.0 (3421.6)	71972.3	72594.2 (621.9)	72738.2 (765.9)
1980	-3828.4	-3.9 (3824.5)	359.2 (4187.6)	77231.7	79273.9 (2042.2)	78300.9 (1069.3)
1981	1622.9	6256.0 (4633.1)	6459.1 (4836.2)	83154.0	87357.1 (4203.1)	85996.1 (2842.1)
1982	741.1	5775.9 (5034.8)	5871.6 (5130.5)	85216.6	87442.9 (2226.2)	86962.7 (1746.1)
1983	3905.2	7151.1 (3245.9)	7427.1 (3521.9)	88183.3	92323.4 (4140.1)	92126.3 (3943.0)
1984	7336.5	10854.6 (3518.1)	11260.6 (3924.1)	95688.4	99416.7 (3728.2)	98900.3 (3211.9)
1985	9926.5	13238.3 (3311.8)	13422.8 (3496.3)	104457.0	105389.4 (932.5)	105763.7 (1306.7)
相関係数		.87920	.87231		.99889	.99864
Theil's U		.29842	.30975		.01781	.01817

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-2: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	720.9	806.5 ( 85.7)	806.5 ( 85.7)	238.3	135.0 ( -103.3)	135.0 ( -103.3)
1962	791.9	810.6 ( 18.8)	732.4 ( -59.5)	270.4	309.4 ( 39.0)	373.1 ( 102.7)
1963	782.5	816.2 ( 33.7)	749.9 ( -32.6)	290.2	335.1 ( 44.9)	313.1 ( 22.9)
1964	826.9	899.3 ( 72.3)	872.3 ( 45.4)	266.6	361.2 ( 94.7)	342.2 ( 75.6)
1965	1132.3	1143.6 ( 11.3)	1136.1 ( 3.7)	198.5	512.1 ( 313.7)	416.6 ( 218.1)
1966	1205.1	1173.2 ( -31.9)	1194.2 ( -10.9)	187.1	439.2 ( 252.2)	254.5 ( 67.4)
1967	982.8	1115.0 ( 132.2)	1136.0 ( 153.2)	243.9	312.8 ( 68.9)	142.9 ( -101.0)
1968	831.9	577.7 ( -254.2)	595.9 ( -236.0)	588.6	611.5 ( 22.9)	559.1 ( -29.4)
1969	522.2	457.7 ( -64.5)	471.5 ( -50.7)	1014.2	809.2 ( -205.1)	908.2 ( -106.0)
1970	594.5	417.2 ( -177.3)	428.1 ( -166.4)	1809.5	1535.6 ( -273.9)	1812.9 ( 3.4)
1971	302.5	16.1 ( -286.4)	45.6 ( -256.9)	1892.6	2225.7 ( 333.1)	2381.9 ( 489.3)
1972	975.8	792.6 ( -183.1)	904.2 ( -71.6)	2103.9	2564.4 ( 460.4)	2606.5 ( 502.6)
1973	2117.2	1923.4 ( -193.8)	2151.8 ( 34.6)	2582.2	2977.3 ( 395.0)	2998.4 ( 416.2)
1974	2304.2	2273.4 ( -30.8)	2629.5 ( 325.3)	2750.6	3582.9 ( 832.4)	3443.4 ( 692.8)
1975	2512.1	2454.1 ( -58.0)	2745.7 ( 233.5)	3747.3	5120.8 ( 1373.5)	5297.4 ( 1550.2)
1976	2986.0	2927.4 ( -58.7)	3128.0 ( 142.0)	3303.4	4767.3 ( 1464.0)	4617.9 ( 1314.5)
1977	2835.4	2805.1 ( -30.3)	2893.7 ( 58.4)	2967.7	4536.5 ( 1568.7)	4185.6 ( 1217.9)
1978	2974.5	3198.2 ( 223.7)	3176.1 ( 201.6)	3805.5	5703.0 ( 1897.5)	5338.2 ( 1532.8)
1979	3385.3	3493.6 ( 108.3)	3347.1 ( -38.2)	5196.6	6411.2 ( 1214.5)	5637.9 ( 441.3)
1980	2463.7	2367.9 ( -95.7)	2212.2 ( -251.4)	4804.7	6000.5 ( 1195.8)	5090.9 ( 286.1)
1981	2864.8	2969.5 ( 104.6)	2840.6 ( -24.3)	6200.4	6921.2 ( 720.8)	6179.9 ( -20.6)
1982	2568.0	2760.0 ( 191.9)	2675.0 ( 106.9)	4627.1	5306.3 ( 679.2)	4881.7 ( 254.7)
1983	2944.0	3094.7 ( 150.7)	2939.0 ( -5.0)	2582.0	3469.0 ( 886.9)	3343.1 ( 761.1)
1984	3235.9	3454.0 ( 218.1)	3294.1 ( 58.2)	2788.3	3037.6 ( 249.2)	3104.1 ( 315.8)
1985	3004.1	3474.4 ( 470.3)	3345.5 ( 341.4)	3178.3	3791.2 ( 612.9)	4518.5 ( 1340.2)
相関係数		.99201	.99239		.98195	.97311
Theil's U		.03929	.03677		.12523	.10954

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-3: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1152.3	805.4 (-346.8)	805.4 (-346.8)	1248.0	1439.7 (191.6)	1439.7 (191.6)
1962	1176.5	778.6 (-397.9)	834.5 (-342.0)	1109.0	1254.3 (145.4)	1227.6 (118.6)
1963	1411.9	1071.2 (-340.7)	1152.7 (-259.2)	1363.4	1581.8 (218.4)	1558.1 (194.7)
1964	1510.6	1009.9 (-500.7)	1036.7 (-473.9)	1894.4	2093.5 (199.1)	2052.2 (157.8)
1965	1679.3	1075.2 (-604.2)	1033.2 (-646.1)	1965.6	2513.4 (547.8)	2517.3 (551.7)
1966	1965.6	1216.0 (-749.6)	1248.7 (-716.9)	2257.6	2521.5 (264.0)	2582.2 (327.6)
1967	2031.5	1351.4 (-680.1)	1405.9 (-625.6)	2758.5	2917.3 (158.8)	2994.3 (235.8)
1968	2425.6	1767.2 (-658.4)	1633.0 (-792.6)	3185.8	3216.4 (30.6)	3282.7 (96.9)
1969	2676.2	2030.8 (-645.4)	1947.8 (-728.4)	4090.3	3721.3 (-369.0)	3777.0 (-313.3)
1970	3108.3	2607.2 (-501.1)	2505.9 (-602.3)	5330.8	4984.5 (-346.3)	5008.8 (-322.0)
1971	3100.3	2823.5 (-276.7)	2874.2 (-226.0)	5281.6	4904.6 (-377.0)	4896.8 (-384.8)
1972	3247.3	2763.0 (-484.3)	2805.9 (-441.4)	6010.6	5297.4 (-713.2)	5427.6 (-583.1)
1973	4000.3	3765.8 (-234.5)	3789.9 (-210.4)	7509.0	6348.4 (-1160.6)	6447.1 (-1060.2)
1974	4938.5	4850.7 (-87.8)	4240.5 (-698.0)	7005.4	8712.2 (1706.8)	8541.8 (1536.4)
1975	4685.7	4967.5 (281.8)	4812.5 (126.8)	6104.9	6926.4 (821.4)	6434.2 (329.2)
1976	5009.2	5572.8 (563.6)	5957.5 (948.4)	7122.3	7841.2 (718.9)	7472.8 (350.5)
1977	5697.9	5942.2 (244.3)	5952.8 (254.9)	7286.1	7926.9 (640.8)	7684.3 (398.1)
1978	5944.1	6495.9 (551.7)	6655.4 (711.3)	10396.7	11097.5 (700.8)	11298.4 (901.7)
1979	6078.2	7163.7 (1085.5)	7129.8 (1051.6)	11016.3	13302.3 (2286.0)	14100.4 (3084.1)
1980	6043.4	7162.1 (1118.7)	6981.6 (938.2)	10704.6	14506.7 (3802.1)	15027.8 (4323.2)
1981	7144.9	9754.5 (2609.5)	10013.3 (2868.4)	10342.4	16004.1 (5661.8)	15805.4 (5463.1)
1982	7507.7	9827.8 (2320.1)	9856.0 (2348.3)	10173.7	14234.8 (4061.2)	14642.7 (4469.1)
1983	8407.6	10649.2 (2241.6)	10554.8 (2147.2)	9646.4	13911.7 (4265.2)	14182.6 (4536.2)
1984	7957.9	10089.1 (2131.2)	9688.0 (1730.2)	11478.8	17517.5 (6038.6)	18025.9 (6547.0)
1985	7688.4	9495.6 (1807.1)	9344.1 (1655.7)	11712.1	16123.6 (4411.5)	16051.1 (4338.9)
相関係数		.99160	.98752		.96453	.96384
Theil's U		.10685	.10720		.14847	.15510

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-4: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	894.8	1051.9 ( 157.1)	1051.9 ( 157.1)	852.8	834.1 ( -18.7)	834.1 ( -18.7)
1962	1027.4	1412.8 ( 385.4)	1409.6 ( 382.1)	933.9	948.8 ( 14.9)	897.7 ( -36.3)
1963	1053.8	1468.4 ( 414.5)	1504.4 ( 450.6)	1062.6	1088.0 ( 25.4)	1038.4 ( -24.2)
1964	1401.1	1650.2 ( 249.0)	1677.8 ( 276.7)	1171.4	1247.6 ( 76.2)	1217.0 ( 45.6)
1965	1342.9	1895.5 ( 552.6)	1984.2 ( 641.3)	1322.7	1345.4 ( 22.7)	1357.0 ( 34.3)
1966	1459.5	1811.0 ( 351.5)	1914.1 ( 454.7)	1510.7	1584.4 ( 73.7)	1624.8 ( 114.1)
1967	2157.5	2266.6 ( 109.1)	2341.5 ( 184.0)	1737.4	1793.8 ( 56.4)	1871.7 ( 134.3)
1968	2834.6	2680.9 ( -153.7)	2620.9 ( -213.7)	2025.5	2159.7 ( 134.2)	2213.4 ( 187.9)
1969	3340.6	2834.8 ( -505.8)	2792.4 ( -548.1)	2392.4	2575.1 ( 182.7)	2630.9 ( 238.5)
1970	3940.4	3555.4 ( -385.0)	3429.3 ( -511.2)	2458.5	2618.8 ( 160.3)	2665.3 ( 206.8)
1971	3793.4	3813.9 ( 20.5)	3813.3 ( 19.9)	2266.0	2687.1 ( 421.1)	2617.3 ( 351.3)
1972	4001.5	3962.3 ( -39.2)	4047.5 ( 46.0)	2096.4	2447.4 ( 351.1)	2469.4 ( 373.0)
1973	4530.8	4428.6 ( -102.2)	4566.1 ( 35.3)	1945.2	2669.3 ( 724.1)	2623.7 ( 678.5)
1974	4829.3	5423.0 ( 593.7)	5236.2 ( 406.9)	1779.9	1948.3 ( 168.4)	2245.6 ( 465.7)
1975	4021.4	3760.3 ( -261.1)	3324.7 ( -696.6)	2732.8	3224.0 ( 491.3)	3391.2 ( 658.5)
1976	5184.4	5320.0 ( 135.6)	5322.1 ( 137.7)	3422.3	4101.8 ( 679.5)	4148.8 ( 726.5)
1977	5445.4	5936.1 ( 490.7)	6096.4 ( 651.0)	5439.2	5879.2 ( 440.0)	6035.0 ( 595.8)
1978	5747.5	6307.1 ( 559.6)	6500.5 ( 753.0)	6189.8	6844.1 ( 654.3)	6797.6 ( 607.8)
1979	6027.9	6583.7 ( 555.8)	7005.8 ( 978.0)	5781.9	6512.5 ( 730.7)	6243.9 ( 462.0)
1980	7520.6	9071.7 ( 1551.1)	9286.4 ( 1765.8)	6721.5	6775.7 ( 54.2)	6601.2 ( -120.3)
1981	8598.8	9747.4 ( 1148.5)	9195.9 ( 597.1)	7372.1	6972.8 ( -399.3)	6832.8 ( -539.2)
1982	8646.8	9137.2 ( 490.4)	8216.9 ( -430.0)	7290.8	7500.2 ( 209.4)	7031.6 ( -259.2)
1983	8792.2	10497.9 ( 1705.8)	9712.2 ( 920.1)	8288.5	8310.5 ( 22.0)	8051.5 ( -237.0)
1984	10852.0	13254.9 ( 2402.9)	12017.4 ( 1165.4)	9832.7	9265.5 ( -567.2)	9178.5 ( -654.2)
1985	12092.9	13697.1 ( 1604.3)	12105.1 ( 12.3)	10735.5	11330.1 ( 594.7)	10952.2 ( 216.7)
相関係数		.99142	.98653		.99412	.99309
Theil's U		.06982	.05431		.03862	.04018

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-5: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	BSD <sub>T</sub>			CP		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2929.5	2714.3 (-215.2)	2714.3 (-215.2)	10818.7	11177.9 (359.2)	11177.9 (359.2)
1962	3428.5	3314.7 (-113.8)	3574.8 (146.2)	12413.7	12938.4 (524.7)	13221.9 (808.2)
1963	3718.3	3728.6 (10.2)	4085.4 (367.0)	14496.3	14733.8 (237.5)	15274.0 (777.7)
1964	4633.2	4413.5 (-219.7)	4870.6 (37.4)	16668.5	16651.9 (-16.6)	17103.9 (435.4)
1965	5265.9	5350.4 (84.5)	5566.3 (300.4)	18815.8	19349.1 (533.3)	19605.1 (789.2)
1966	6278.6	6213.0 (-65.6)	6334.1 (55.6)	21683.2	21293.3 (-389.9)	21685.8 (2.6)
1967	7562.5	6878.3 (-684.2)	6690.2 (-872.3)	24923.4	23888.2 (-1035.1)	23761.2 (-1162.2)
1968	9177.1	8725.8 (-451.3)	8381.1 (-796.0)	28452.8	27809.8 (-642.9)	27032.2 (-1420.5)
1969	10843.7	9892.4 (-951.3)	9321.9 (-1521.8)	32724.5	31436.5 (-1287.9)	30504.3 (-2220.2)
1970	12812.2	11649.7 (-1162.6)	10932.3 (-1879.9)	37804.7	36595.7 (-1209.0)	35251.2 (-2553.5)
1971	13343.3	12113.3 (-1230.0)	11008.5 (-2334.8)	42686.8	42606.8 (-80.0)	40973.7 (-1713.1)
1972	15879.1	14033.0 (-1846.1)	12904.4 (-2974.7)	49302.0	48106.3 (-1195.7)	47009.0 (-2293.0)
1973	17995.2	15504.2 (-2491.1)	14282.8 (-3712.4)	59650.8	56322.8 (-3328.0)	54943.4 (-4707.4)
1974	21310.2	18967.8 (-2342.4)	17754.7 (-3555.5)	72108.2	74184.5 (2076.3)	71055.1 (-1053.1)
1975	22015.7	19330.7 (-2685.1)	19154.3 (-2861.4)	83920.0	85678.4 (1758.4)	85036.6 (1116.6)
1976	23945.0	20975.0 (-2970.0)	20861.1 (-3083.9)	94845.6	96134.1 (1288.5)	96727.3 (1881.7)
1977	26529.1	24044.1 (-2485.0)	24297.3 (-2231.8)	105869.7	107542.0 (1672.3)	108341.4 (2471.6)
1978	30037.4	25810.1 (-4227.3)	25888.3 (-4149.1)	116643.0	118242.5 (1599.5)	119378.1 (2735.1)
1979	34486.1	29127.2 (-5358.9)	29273.2 (-5212.9)	128558.4	127252.4 (-1305.9)	128508.2 (-50.1)
1980	38973.3	33389.2 (-5584.1)	33100.8 (-5872.4)	139506.3	140224.1 (717.9)	139253.0 (-253.2)
1981	40630.6	34987.7 (-5642.9)	35128.1 (-5502.5)	147371.6	153432.3 (6060.7)	152522.5 (5150.9)
1982	44402.5	38676.5 (-5726.0)	39658.9 (-4743.7)	157623.4	159739.8 (2116.4)	162102.9 (4479.5)
1983	47522.6	42390.4 (-5132.1)	43343.1 (-4179.5)	165626.5	167881.3 (2254.8)	169733.5 (4107.0)
1984	49542.8	42798.1 (-6744.7)	43592.2 (-5950.6)	173614.4	178986.1 (5371.7)	180355.5 (6741.1)
1985	56045.6	47477.3 (-8568.3)	49447.2 (-6598.4)	182239.2	185091.8 (2852.6)	188873.6 (6634.4)
相関係数		.99947	.99851		.99966	.99946
Theil's U		.07121	.06755		.01117	.01522

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-6: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1709.5	1734.9 ( 25.4)	1734.9 ( 25.4)	5435.2	5376.7 ( -58.4)	5376.7 ( -58.4)
1962	1603.8	1643.1 ( 39.3)	1648.6 ( 44.7)	5936.4	6144.8 ( 208.4)	6118.9 ( 182.4)
1963	1685.2	1689.4 ( 4.1)	1702.6 ( 17.3)	6486.8	6855.6 ( 368.8)	6848.9 ( 362.1)
1964	1844.5	1835.7 ( -8.7)	1844.9 ( .4)	7331.0	7438.2 ( 107.2)	7319.3 ( -11.7)
1965	2056.1	2088.1 ( 32.0)	2079.6 ( 23.5)	7579.7	8466.2 ( 886.5)	8436.5 ( 856.8)
1966	1884.0	1869.3 ( -14.8)	1872.8 ( -11.2)	8435.2	8837.0 ( 401.7)	8829.0 ( 393.7)
1967	2036.5	1996.7 ( -39.8)	1986.8 ( -49.7)	9507.8	9224.6 ( -283.2)	9231.1 ( -276.7)
1968	2134.5	2118.9 ( -15.6)	2098.2 ( -36.4)	11001.1	10511.6 ( -489.6)	10558.4 ( -442.8)
1969	1967.1	1929.8 ( -37.3)	1920.5 ( -46.6)	12677.2	11506.7 ( -1170.4)	11494.1 ( -1183.1)
1970	2210.2	2173.2 ( -37.0)	2154.0 ( -56.2)	14479.5	12985.0 ( -1494.5)	13025.7 ( -1453.8)
1971	2024.6	2030.4 ( 5.8)	2024.9 ( .3)	15429.0	14675.4 ( -753.6)	14732.4 ( -696.6)
1972	2148.0	2124.2 ( -23.8)	2141.4 ( -6.6)	17512.3	16706.2 ( -806.1)	16896.4 ( -615.9)
1973	2341.2	2260.3 ( -80.9)	2263.9 ( -77.4)	19864.1	18448.5 ( -1415.6)	18752.4 ( -1111.7)
1974	2608.3	2601.9 ( -6.4)	2585.0 ( -21.3)	18275.0	18887.8 ( 612.8)	19342.6 ( 1067.6)
1975	2096.6	2098.6 ( 1.9)	2089.5 ( -7.2)	19074.8	19512.2 ( 437.4)	19776.9 ( 702.2)
1976	2064.1	2058.1 ( -6.0)	2052.9 ( -11.2)	19402.2	19919.5 ( 517.4)	19982.5 ( 580.3)
1977	2033.3	2039.9 ( 6.6)	2038.9 ( 5.5)	19806.6	20589.7 ( 783.0)	20463.5 ( 656.9)
1978	2212.0	2210.4 ( -1.6)	2219.1 ( 7.1)	21218.7	21773.9 ( 555.2)	21569.1 ( 350.3)
1979	2533.9	2456.0 ( -77.9)	2469.7 ( -64.2)	21957.1	21864.7 ( -92.3)	21683.8 ( -273.2)
1980	2092.9	2042.0 ( -51.0)	2030.0 ( -62.9)	21092.6	21422.2 ( 329.6)	21162.9 ( 70.3)
1981	2013.6	2014.1 ( .5)	1984.7 ( -28.9)	21693.8	22051.8 ( 357.9)	21909.1 ( 215.2)
1982	2147.8	2103.3 ( -44.5)	2106.6 ( -41.2)	20434.0	20714.1 ( 280.1)	20286.9 ( -147.1)
1983	2080.5	2046.7 ( -33.8)	2043.8 ( -36.7)	19827.0	20481.9 ( 654.9)	19916.6 ( 89.5)
1984	2192.7	2178.1 ( -14.5)	2179.9 ( -12.8)	19980.4	20773.0 ( 792.6)	20121.8 ( 141.5)
1985	2435.0	2398.8 ( -36.2)	2413.4 ( -21.6)	20148.4	20311.3 ( 163.0)	19645.2 ( -503.1)
相関係数		.99399	.99359		.99336	.99407
Theil's U		.00810	.00857		.02056	.01918

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-7: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	6209.3	6320.2 ( 110.9)	6320.2 ( 110.9)	543.8	546.8 ( 3.0)	546.8 ( 3.0)
1962	6508.4	6661.8 ( 153.4)	6677.3 ( 169.0)	551.1	560.2 ( 9.0)	560.7 ( 9.6)
1963	7384.8	7386.8 ( 2.1)	7440.4 ( 55.6)	684.8	685.6 ( .8)	688.5 ( 3.7)
1964	7961.3	7919.4 ( -41.9)	7963.8 ( 2.5)	874.3	870.4 ( -3.9)	872.2 ( -2.1)
1965	8534.4	8629.0 ( 94.6)	8591.6 ( 57.2)	933.4	948.3 ( 14.8)	944.0 ( 10.6)
1966	9482.3	9382.8 ( -99.5)	9406.4 ( -75.9)	1081.0	1077.0 ( -4.0)	1076.1 ( -4.9)
1967	10247.3	10058.0 ( -189.4)	10013.6 ( -233.7)	1438.1	1425.3 ( -12.9)	1417.5 ( -20.6)
1968	10847.1	10795.3 ( -51.9)	10698.1 ( -149.1)	1804.0	1807.7 ( 3.6)	1803.4 ( -.7)
1969	11579.8	11429.6 ( -150.2)	11387.4 ( -192.5)	2034.8	2035.8 ( 1.0)	2040.2 ( 5.5)
1970	11803.6	11680.5 ( -123.1)	11602.2 ( -201.4)	2476.9	2481.8 ( 4.9)	2491.1 ( 14.3)
1971	12706.1	12769.6 ( 63.5)	12747.8 ( 41.7)	2379.1	2387.9 ( 8.7)	2399.8 ( 20.6)
1972	13792.8	13657.7 ( -135.1)	13781.1 ( -11.7)	2546.5	2533.2 ( -13.3)	2559.7 ( 13.2)
1973	13561.0	13077.4 ( -483.5)	13107.9 ( -453.0)	2756.9	2692.9 ( -64.0)	2706.0 ( -51.0)
1974	13842.3	13903.3 ( 61.0)	13786.3 ( -56.0)	2709.9	2705.1 ( -4.8)	2701.1 ( -8.8)
1975	14994.7	15021.3 ( 26.7)	15009.0 ( 14.3)	2184.5	2187.1 ( 2.6)	2180.2 ( -4.2)
1976	15533.2	15484.5 ( -48.7)	15463.9 ( -69.2)	2291.3	2288.2 ( -3.1)	2282.8 ( -8.5)
1977	16605.5	16626.5 ( 21.0)	16631.4 ( 25.8)	2329.1	2340.9 ( 11.8)	2336.8 ( 7.7)
1978	16830.1	16780.7 ( -49.5)	16856.1 ( 25.9)	2540.6	2546.0 ( 5.4)	2547.6 ( 7.0)
1979	17026.1	16496.5 ( -529.5)	16597.4 ( -428.7)	2651.8	2583.1 ( -68.7)	2587.0 ( -64.8)
1980	16294.9	15862.4 ( -432.5)	15768.9 ( -526.0)	2383.4	2339.8 ( -43.6)	2320.6 ( -62.8)
1981	16574.7	16517.9 ( -56.8)	16301.6 ( -273.0)	2756.8	2762.0 ( 5.2)	2723.6 ( -33.2)
1982	16761.0	16382.9 ( -378.1)	16428.6 ( -332.3)	3086.7	3037.9 ( -48.7)	3030.8 ( -55.8)
1983	17150.5	16834.3 ( -316.2)	16825.3 ( -325.1)	3411.7	3383.5 ( -28.3)	3364.2 ( -47.5)
1984	17159.0	17020.7 ( -138.4)	17044.7 ( -114.4)	3894.5	3903.5 ( 9.0)	3886.8 ( -7.8)
1985	17341.7	17087.7 ( -254.0)	17184.8 ( -156.9)	4228.9	4185.4 ( -43.5)	4187.2 ( -41.6)
相関係数		.99906	.99908		.99975	.99972
Theil's U		.00809	.00815		.00545	.00605

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。



表 A-8: トータル・テスト、ファイナル・テスト

Year	$F_5$			$F_6$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	3022.7	3000.1 (-22.6)	3000.1 (-22.6)	1061.4	1084.3 (22.9)	1084.3 (22.9)
1962	3302.5	3451.9 (149.4)	3453.5 (151.1)	1149.0	1181.3 (32.2)	1186.0 (36.9)
1963	3554.9	3793.7 (238.8)	3803.0 (248.1)	1251.0	1255.8 (4.8)	1268.4 (17.4)
1964	4141.3	4206.9 (65.6)	4151.6 (10.3)	1381.2	1375.0 (-6.2)	1385.3 (4.1)
1965	4013.1	4542.1 (529.0)	4523.2 (510.1)	1419.3	1445.1 (25.9)	1440.4 (21.2)
1966	4492.9	4723.1 (230.2)	4707.8 (214.9)	1749.0	1731.2 (-17.8)	1738.2 (-10.8)
1967	6147.1	5936.0 (-211.1)	5915.8 (-231.3)	2105.1	2056.3 (-48.8)	2047.2 (-57.9)
1968	7811.6	7462.3 (-349.3)	7467.7 (-343.9)	2423.0	2403.5 (-19.5)	2376.9 (-46.1)
1969	9411.0	8579.2 (-831.8)	8569.3 (-841.7)	2860.1	2809.3 (-50.9)	2793.7 (-66.5)
1970	11594.6	10584.4 (-1010.2)	10621.8 (-972.8)	3040.2	2997.2 (-43.0)	2970.8 (-69.3)
1971	11102.5	10530.8 (-571.8)	10553.1 (-549.4)	3668.8	3684.8 (16.0)	3671.7 (3.0)
1972	11893.0	11244.5 (-648.6)	11364.0 (-529.1)	3629.1	3587.2 (-41.9)	3615.5 (-13.6)
1973	14161.6	12972.5 (-1189.2)	13149.5 (-1012.1)	3891.4	3739.2 (-152.2)	3743.1 (-148.3)
1974	12959.6	13422.6 (463.0)	13618.6 (659.0)	3847.3	3870.1 (22.8)	3830.9 (-16.4)
1975	11762.4	12062.7 (300.3)	12196.3 (433.9)	4242.4	4251.9 (9.6)	4246.7 (4.4)
1976	12849.7	13188.0 (338.3)	13207.4 (357.7)	4745.8	4731.7 (-14.1)	4725.7 (-20.0)
1977	13784.9	14359.4 (574.6)	14248.9 (464.1)	4989.5	4996.2 (6.8)	4998.7 (9.2)
1978	13781.6	14188.6 (407.1)	14049.2 (267.7)	5504.7	5487.7 (-17.0)	5514.7 (9.9)
1979	15972.5	15819.4 (-153.0)	15646.7 (-325.8)	5602.5	5426.1 (-176.4)	5462.2 (-140.3)
1980	16418.7	16640.8 (222.1)	16327.8 (-90.9)	4883.3	4752.1 (-131.2)	4725.4 (-157.8)
1981	16048.7	16415.7 (366.9)	16184.1 (135.4)	4883.8	4867.9 (-15.9)	4804.5 (-79.2)
1982	16270.6	16516.0 (245.4)	16150.9 (-119.7)	4474.3	4371.4 (-102.9)	4387.4 (-86.9)
1983	16936.2	17621.0 (684.7)	17121.4 (185.2)	4496.1	4407.9 (-88.2)	4410.0 (-86.1)
1984	19051.4	20031.8 (980.4)	19426.8 (375.4)	4385.1	4344.4 (-40.7)	4355.4 (-29.7)
1985	21148.3	21350.2 (201.8)	20848.2 (-300.1)	4385.3	4318.6 (-66.8)	4349.2 (-36.1)
相関係数		.99526	.99625		.99943	.99945
Theil's $U$		.02136	.01850		.00890	.00887

OBSは観測値、TOTALは、トータル・テストの結果、FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-9: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	F <sub>7</sub>			F <sub>8</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	8465.0	8601.1 ( 136.1)	8601.1 ( 136.1)	2254.1	2255.1 ( .9)	2255.1 ( .9)
1962	9766.4	9981.0 ( 214.7)	9971.7 ( 205.3)	2421.1	2416.1 ( -5.0)	2377.5 ( -43.6)
1963	11068.5	11105.0 ( 36.5)	11140.0 ( 71.5)	2612.7	2606.9 ( -5.8)	2559.0 ( -53.7)
1964	12919.0	12872.7 ( -46.3)	12908.4 ( -10.5)	2719.9	2719.8 ( -.1)	2688.6 ( -31.3)
1965	14448.0	14659.1 ( 211.2)	14579.4 ( 131.4)	2829.2	2818.5 ( -10.8)	2789.3 ( -39.9)
1966	15984.5	15880.4 ( -104.1)	15904.9 ( -79.5)	2963.1	2962.6 ( -.5)	2948.8 ( -14.3)
1967	17907.7	17588.0 ( -319.7)	17539.0 ( -368.8)	3008.7	3019.0 ( 10.3)	3031.6 ( 23.0)
1968	20497.9	20351.0 ( -146.9)	20224.2 ( -273.7)	3178.1	3188.7 ( 10.6)	3213.0 ( 34.8)
1969	23209.6	22819.9 ( -389.7)	22811.2 ( -398.4)	3369.3	3387.9 ( 18.6)	3430.8 ( 61.5)
1970	26420.0	26047.1 ( -372.9)	25989.2 ( -430.8)	3535.7	3552.6 ( 16.9)	3599.3 ( 63.6)
1971	28732.1	28790.9 ( 58.8)	28902.9 ( 170.8)	3686.5	3694.5 ( 8.0)	3771.7 ( 85.2)
1972	32946.3	32636.6 ( -309.7)	33058.9 ( 112.6)	3903.8	3914.1 ( 10.3)	3995.3 ( 91.6)
1973	34710.0	33623.7 ( -1086.3)	33852.7 ( -857.3)	4164.6	4175.7 ( 11.1)	4252.7 ( 88.1)
1974	33107.4	33225.2 ( 117.9)	33137.0 ( 29.6)	3651.5	3641.9 ( -9.6)	3697.7 ( 46.2)
1975	35798.6	35816.1 ( 17.5)	35825.9 ( 27.3)	3903.9	3896.1 ( -7.8)	3908.1 ( 4.2)
1976	36893.3	36770.8 ( -122.5)	36724.2 ( -169.1)	4067.6	4061.0 ( -6.6)	4060.3 ( -7.3)
1977	40080.1	40117.5 ( 37.5)	40095.7 ( 15.6)	4271.7	4266.1 ( -5.6)	4254.9 ( -16.8)
1978	41137.0	41026.5 ( -110.5)	41163.6 ( 26.5)	3886.2	3880.0 ( -6.2)	3877.7 ( -8.5)
1979	42995.7	41828.2 ( -1167.5)	42028.4 ( -967.3)	3969.7	3961.0 ( -8.7)	3958.1 ( -11.6)
1980	44519.8	43475.6 ( -1044.2)	43248.3 ( -1271.4)	4027.9	4014.1 ( -13.8)	4014.5 ( -13.3)
1981	45739.5	45538.3 ( -201.1)	44979.3 ( -760.2)	4203.7	4183.0 ( -20.7)	4168.8 ( -34.9)
1982	48708.4	47714.7 ( -993.7)	47748.7 ( -959.8)	4105.1	4089.7 ( -15.3)	4068.8 ( -36.3)
1983	50507.0	49647.0 ( -860.0)	49553.7 ( -953.3)	4241.9	4227.4 ( -14.5)	4204.8 ( -37.1)
1984	52512.3	52064.1 ( -448.2)	52079.0 ( -433.3)	4363.5	4344.5 ( -19.1)	4328.6 ( -34.9)
1985	55194.6	54432.4 ( -762.3)	54593.0 ( -601.6)	4414.8	4402.7 ( -12.1)	4370.4 ( -44.4)
相関係数		.99972	.99972		.99987	.99763
Theil's U		.00764	.00770		.00156	.00616

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-10: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$F_D$			$G_{BC}$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	14.9	14.9 (.0)	14.9 (.0)	1620.5	1603.4 (-17.1)	1603.4 (-17.1)
1962	19.5	19.7 (.2)	19.8 (.2)	1838.3	1814.5 (-23.8)	1779.1 (-59.2)
1963	32.7	32.5 (-.3)	32.6 (-.1)	1939.4	1911.0 (-28.4)	1860.8 (-78.5)
1964	50.2	49.8 (-.4)	50.0 (-.2)	2118.8	2108.5 (-10.3)	2071.3 (-47.5)
1965	58.6	58.7 (.0)	58.4 (-.2)	2476.8	2442.3 (-34.5)	2404.4 (-72.4)
1966	60.5	59.9 (-.6)	59.8 (-.7)	2377.0	2388.8 (11.8)	2356.5 (-20.5)
1967	61.0	60.8 (-.3)	60.3 (-.7)	2535.4	2583.5 (48.1)	2589.2 (53.8)
1968	51.1	51.5 (.5)	51.4 (.3)	2648.1	2690.8 (42.6)	2740.9 (92.8)
1969	31.4	32.0 (.6)	32.1 (.7)	2763.9	2832.9 (69.0)	2916.6 (152.7)
1970	7.3	7.6 (.3)	7.8 (.5)	3163.8	3229.5 (65.7)	3340.1 (176.2)
1971	-3.6	-3.7 (-.1)	-3.8 (-.2)	3189.6	3215.9 (26.3)	3373.0 (183.4)
1972	-17.4	-18.1 (-.7)	-18.3 (-.9)	3559.9	3609.7 (49.8)	3773.4 (213.5)
1973	-32.6	-34.4 (-1.8)	-34.4 (-1.8)	3711.2	3782.7 (71.4)	3930.4 (219.1)
1974	2.9	2.9 (.0)	2.8 (-.0)	3465.0	3402.9 (-62.1)	3536.9 (72.0)
1975	-61.5	-60.0 (1.6)	-57.4 (4.1)	3982.4	3931.5 (-50.9)	3963.8 (-18.6)
1976	-38.5	-37.7 (.8)	-37.2 (1.3)	3506.4	3468.3 (-38.0)	3456.2 (-50.2)
1977	-12.5	-12.3 (.3)	-12.2 (.3)	3579.7	3546.6 (-33.1)	3522.2 (-57.5)
1978	3.3	3.3 (.0)	3.3 (.0)	4419.8	4375.3 (-44.6)	4360.3 (-59.6)
1979	40.7	40.1 (-.6)	39.1 (-1.5)	4711.1	4648.4 (-62.6)	4633.3 (-77.7)
1980	59.5	57.9 (-1.6)	56.8 (-2.7)	4456.0	4357.1 (-98.9)	4360.0 (-96.0)
1981	36.4	35.1 (-1.2)	35.4 (-1.0)	4962.8	4817.1 (-145.6)	4774.9 (-187.9)
1982	31.3	30.4 (-1.0)	30.7 (-.6)	4539.5	4430.7 (-108.8)	4372.0 (-167.5)
1983	13.8	13.2 (-.6)	13.3 (-.5)	4602.8	4503.9 (-98.9)	4443.9 (-158.9)
1984	24.1	23.1 (-1.0)	23.4 (-.7)	4771.0	4648.5 (-122.5)	4610.1 (-160.9)
1985	25.1	24.4 (-.7)	24.8 (-.3)	5351.7	5259.1 (-92.7)	5161.6 (-190.1)
相関係数		.99976	.99949		.99887	.99376
Theil's U		.01065	.01646		.00946	.01739

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-11: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	GCP			GCN		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	17461.1	17875.2 ( 414.1)	17875.2 ( 414.1)	401.3	400.0 ( -1.3)	400.0 ( -1.3)
1962	18791.8	19335.2 ( 543.4)	19426.4 ( 634.6)	423.4	418.9 ( -4.5)	400.9 ( -22.5)
1963	20396.9	20433.9 ( 37.0)	20669.7 ( 272.8)	455.4	452.5 ( -2.9)	429.7 ( -25.6)
1964	22584.8	22461.8 ( -123.1)	22672.9 ( 88.1)	556.2	556.7 ( .5)	538.4 ( -17.8)
1965	23804.6	24120.2 ( 315.7)	24052.2 ( 247.6)	616.5	608.7 ( -7.8)	591.7 ( -24.8)
1966	26295.4	25924.8 ( -370.6)	26058.1 ( -237.3)	631.4	632.5 ( 1.2)	623.8 ( -7.5)
1967	29099.4	28398.1 ( -701.3)	28264.3 ( -835.1)	625.6	634.1 ( 8.5)	642.0 ( 16.3)
1968	31622.3	31406.2 ( -216.0)	31011.4 ( -610.9)	636.0	642.7 ( 6.6)	657.9 ( 21.9)
1969	34953.8	34414.5 ( -539.3)	34186.0 ( -767.8)	658.7	670.9 ( 12.2)	696.5 ( 37.8)
1970	37804.7	37381.4 ( -423.3)	36988.7 ( -816.0)	527.8	536.1 ( 8.3)	557.9 ( 30.1)
1971	40043.9	40317.8 ( 273.9)	40125.4 ( 81.5)	484.9	487.3 ( 2.4)	517.4 ( 32.5)
1972	43863.0	43420.6 ( -442.4)	43736.1 ( -126.9)	479.9	484.4 ( 4.5)	512.8 ( 32.9)
1973	48066.7	46232.9 ( -1833.8)	46229.4 ( -1837.4)	455.0	461.9 ( 6.9)	486.0 ( 31.0)
1974	47976.2	48206.2 ( 230.0)	47626.1 ( -350.1)	438.0	434.5 ( -3.5)	453.8 ( 15.8)
1975	50041.7	50115.7 ( 73.9)	50033.7 ( -8.1)	405.7	403.5 ( -2.3)	406.9 ( 1.2)
1976	51828.2	51619.8 ( -208.3)	51551.9 ( -276.3)	414.7	413.2 ( -1.5)	413.1 ( -1.6)
1977	53905.2	53911.8 ( 6.6)	53959.9 ( 54.8)	502.0	500.2 ( -1.8)	496.5 ( -5.5)
1978	56843.6	56615.7 ( -227.9)	56929.1 ( 85.5)	503.6	501.7 ( -1.9)	500.5 ( -3.1)
1979	60469.6	58477.6 ( -1992.0)	58911.6 ( -1558.0)	570.0	568.3 ( -1.7)	566.7 ( -3.3)
1980	61267.6	59514.0 ( -1753.5)	59186.0 ( -2081.6)	619.0	614.2 ( -4.8)	614.5 ( -4.4)
1981	61999.0	61772.7 ( -226.2)	60950.3 ( -1048.7)	666.6	657.5 ( -9.1)	651.3 ( -15.3)
1982	64599.7	63012.1 ( -1587.6)	63313.6 ( -1286.2)	636.9	631.3 ( -5.6)	621.6 ( -15.3)
1983	66650.5	65200.9 ( -1449.6)	65308.2 ( -1342.3)	687.3	681.6 ( -5.7)	670.9 ( -16.4)
1984	68459.9	67691.8 ( -768.1)	67956.1 ( -503.8)	731.0	722.4 ( -8.6)	714.5 ( -16.5)
1985	70281.4	69141.0 ( -1140.4)	69738.8 ( -542.6)	765.6	760.3 ( -5.3)	743.5 ( -22.1)
相関係数		.99940	.99939		.99861	.98185
Theil's U		.00927	.00914		.00500	.01781

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-12: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	G <sub>CG</sub>			G <sub>IP</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	3260.0	3255.8 ( -4.2)	3255.8 ( -4.2)	5524.4	5447.3 ( -77.0)	5447.3 ( -77.0)
1962	3541.4	3526.5 ( -14.9)	3464.8 ( -76.6)	6007.9	6430.8 ( 422.9)	6460.7 ( 452.8)
1963	3837.9	3828.3 ( -9.6)	3750.4 ( -87.5)	6661.4	7401.7 ( 740.3)	7428.6 ( 767.2)
1964	3962.4	3963.7 ( 1.3)	3912.9 ( -49.6)	8015.4	8239.3 ( 223.9)	8079.2 ( 63.8)
1965	4101.7	4081.9 ( -19.8)	4037.8 ( -63.8)	8198.8	9918.3 ( 1719.5)	9865.9 ( 1667.1)
1966	4351.5	4354.5 ( 3.1)	4331.6 ( -19.8)	9148.2	9944.2 ( 796.0)	9861.8 ( 713.6)
1967	4510.2	4533.8 ( 23.6)	4555.3 ( 45.0)	11455.1	10818.4 ( -636.7)	10738.4 ( -716.7)
1968	4807.0	4826.1 ( 19.1)	4869.0 ( 62.0)	13976.7	12853.7 ( -1123.0)	12835.7 ( -1141.1)
1969	5081.7	5116.6 ( 34.9)	5187.5 ( 105.8)	17119.1	14414.1 ( -2705.0)	14360.4 ( -2758.8)
1970	5455.3	5486.6 ( 31.4)	5566.4 ( 111.2)	20152.7	16798.8 ( -3353.9)	16877.6 ( -3275.1)
1971	5738.6	5749.2 ( 10.6)	5879.6 ( 141.0)	20115.8	18349.9 ( -1765.9)	18375.6 ( -1740.3)
1972	6063.4	6085.4 ( 22.0)	6218.0 ( 154.6)	21633.5	19664.7 ( -1968.8)	19882.2 ( -1751.3)
1973	6399.2	6437.4 ( 38.2)	6565.4 ( 166.2)	24903.4	21559.3 ( -3344.1)	21964.9 ( -2938.5)
1974	6612.8	6591.3 ( -21.5)	6707.4 ( 94.6)	22817.3	24216.5 ( 1399.2)	24702.3 ( 1885.1)
1975	7033.6	7017.6 ( -16.0)	7042.0 ( 8.3)	22071.3	23006.1 ( 934.8)	23331.0 ( 1259.6)
1976	7348.8	7338.1 ( -10.7)	7337.5 ( -11.3)	22659.6	23738.8 ( 1079.2)	23778.9 ( 1119.3)
1977	7678.1	7667.4 ( -10.7)	7645.8 ( -32.3)	22904.4	24558.9 ( 1654.4)	24216.3 ( 1311.8)
1978	8072.1	8060.0 ( -12.1)	8053.0 ( -19.1)	24220.9	25496.6 ( 1275.7)	25045.9 ( 825.0)
1979	8409.5	8399.4 ( -10.1)	8391.1 ( -18.4)	25895.4	25852.0 ( -43.5)	25347.8 ( -547.7)
1980	8658.2	8633.0 ( -25.2)	8634.8 ( -23.4)	26439.9	27448.1 ( 1008.2)	26642.1 ( 202.2)
1981	9069.4	9024.6 ( -44.8)	8995.6 ( -73.8)	27235.8	28507.3 ( 1271.5)	27896.2 ( 660.4)
1982	9236.9	9206.3 ( -30.7)	9157.3 ( -79.6)	27673.2	28714.5 ( 1041.3)	27657.2 ( -16.0)
1983	9509.6	9480.5 ( -29.1)	9428.5 ( -81.0)	27759.9	29829.6 ( 2069.7)	28572.7 ( 812.8)
1984	9777.2	9735.8 ( -41.4)	9698.8 ( -78.4)	30020.2	32657.3 ( 2637.1)	31173.5 ( 1153.2)
1985	9946.6	9921.9 ( -24.7)	9846.1 ( -100.5)	33124.8	33895.1 ( 770.2)	32665.7 ( -459.1)
相関係数		.99996	.99931		.98244	.98521
Theil's U		.00172	.00599		.03844	.03382

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-13: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	Gig			Gz		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1917.0	1911.6 (-5.4)	1911.6 (-5.4)	1170.9	1153.8 (-17.2)	1153.8 (-17.2)
1962	2457.6	2374.4 (-83.2)	2318.8 (-138.8)	546.4	534.3 (-12.1)	535.4 (-11.0)
1963	2798.5	2678.3 (-120.2)	2649.3 (-149.3)	651.2	634.6 (-16.6)	631.3 (-19.9)
1964	2972.9	2934.4 (-38.5)	2909.3 (-63.7)	990.7	980.6 (-10.0)	976.4 (-14.2)
1965	3271.4	3086.4 (-184.9)	3088.7 (-182.7)	800.2	782.6 (-17.6)	777.3 (-22.9)
1966	3898.8	3820.5 (-78.3)	3870.8 (-28.0)	913.5	912.6 (-0.9)	898.4 (-15.1)
1967	4043.0	4147.8 (104.8)	4217.5 (174.4)	1664.7	1701.8 (37.1)	1684.1 (19.4)
1968	4704.5	4876.5 (172.0)	4955.4 (251.0)	2040.5	2098.5 (58.1)	2117.7 (77.2)
1969	5161.6	5578.4 (416.8)	5602.3 (440.7)	1974.5	2089.5 (115.0)	2116.6 (142.1)
1970	5890.5	6369.3 (478.8)	6367.0 (476.5)	2573.2	2707.8 (134.6)	2764.4 (191.2)
1971	6983.0	7221.9 (238.9)	7283.7 (300.7)	1230.7	1262.3 (31.6)	1285.8 (55.1)
1972	8170.7	8493.5 (322.8)	8594.8 (424.1)	1279.6	1327.4 (47.8)	1336.7 (57.1)
1973	8762.3	9321.5 (559.2)	9437.0 (674.7)	1576.3	1653.5 (77.2)	1654.6 (78.2)
1974	7612.5	7396.7 (-215.7)	7647.1 (34.6)	2427.4	2351.7 (-75.7)	2355.5 (-71.9)
1975	7934.7	7798.9 (-135.8)	7895.3 (-39.4)	337.5	329.3 (-8.2)	316.0 (-21.5)
1976	8145.9	8013.9 (-132.0)	8064.9 (-81.0)	734.9	720.7 (-14.1)	710.9 (-23.9)
1977	9048.0	8881.4 (-166.6)	8961.5 (-86.5)	868.1	852.9 (-15.1)	848.0 (-20.1)
1978	10392.5	10251.7 (-140.8)	10290.8 (-101.7)	708.5	696.8 (-11.7)	688.7 (-19.8)
1979	10610.1	10524.2 (-85.9)	10620.2 (10.2)	1102.2	1086.6 (-15.6)	1060.8 (-41.4)
1980	10105.2	9891.4 (-213.8)	10067.7 (-37.6)	882.3	858.5 (-23.8)	842.5 (-39.8)
1981	10442.5	10129.4 (-313.1)	10315.7 (-126.8)	758.3	731.7 (-26.6)	737.6 (-20.7)
1982	10343.9	10112.0 (-231.9)	10166.1 (-177.9)	638.4	618.5 (-19.9)	626.4 (-12.0)
1983	10166.6	9883.7 (-282.8)	9843.5 (-323.0)	120.0	114.4 (-5.6)	115.2 (-4.7)
1984	9886.8	9549.8 (-337.0)	9482.5 (-404.3)	630.0	602.0 (-28.0)	609.8 (-20.3)
1985	9234.3	9064.4 (-169.8)	8824.5 (-409.7)	1292.3	1255.0 (-37.3)	1274.0 (-18.3)
相関係数		.99658	.99576		.99806	.99733
Theil's U		.01640	.01784		.01861	.02320

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-14: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	GDE			GDEP		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	19031.4	19208.1 ( 176.7)	19208.1 ( 176.7)	.69738	.70108 ( .00370)	.70108 ( .00370)
1962	21565.7	22348.7 ( 783.0)	22776.4 ( 1210.7)	.71927	.73751 ( .01824)	.75035 ( .03108)
1963	24687.3	25727.3 ( 1040.0)	26359.9 ( 1672.6)	.75041	.77394 ( .02353)	.78855 ( .03814)
1964	28984.8	29220.0 ( 235.2)	29602.2 ( 617.4)	.77639	.78351 ( .00711)	.79376 ( .01736)
1965	32607.2	34628.4 ( 2021.3)	34888.2 ( 2281.1)	.81027	.83892 ( .02865)	.84876 ( .03849)
1966	37502.6	37676.7 ( 174.0)	37929.8 ( 427.2)	.84324	.84890 ( .00566)	.85526 ( .01202)
1967	43905.5	41964.9 ( -1940.6)	41652.4 ( -2253.1)	.87745	.85939 ( -.01807)	.85692 ( -.02053)
1968	52097.7	49794.4 ( -2303.3)	48872.9 ( -3224.8)	.91126	.89006 ( -.02121)	.87722 ( -.03404)
1969	61225.1	56400.2 ( -4824.8)	55383.3 ( -5841.7)	.94524	.90512 ( -.04012)	.89007 ( -.05516)
1970	72725.7	67489.1 ( -5236.5)	66246.1 ( -6479.6)	1.00000	.96167 ( -.03833)	.94415 ( -.05585)
1971	79618.4	77041.3 ( -2577.1)	75259.8 ( -4358.6)	1.04777	1.03100 ( -.01677)	1.00511 ( -.04266)
1972	91270.0	86946.5 ( -4323.4)	85753.5 ( -5516.5)	1.10087	1.07742 ( -.02345)	1.05317 ( -.04770)
1973	111367.6	103190.3 ( -8177.3)	101888.5 ( -9479.1)	1.23912	1.19942 ( -.03970)	1.17678 ( -.06234)
1974	132570.3	138711.4 ( 6141.0)	135173.1 ( 2602.8)	1.53119	1.56779 ( .03660)	1.52284 ( -.00835)
1975	147695.9	152529.7 ( 4833.7)	151657.6 ( 3961.7)	1.67421	1.70078 ( .02657)	1.68302 ( .00880)
1976	165371.4	168897.9 ( 3526.5)	169139.2 ( 3767.8)	1.79108	1.81643 ( .02534)	1.82074 ( .02965)
1977	184420.3	188268.7 ( 3848.4)	188263.5 ( 3843.2)	1.89489	1.91943 ( .02454)	1.92569 ( .03080)
1978	204159.0	207745.6 ( 3586.7)	208065.3 ( 3906.3)	1.97738	2.00245 ( .02507)	2.01000 ( .03262)
1979	221049.4	223474.1 ( 2424.6)	223816.6 ( 2767.1)	2.06804	2.10034 ( .03230)	2.10737 ( .03933)
1980	238497.1	246243.0 ( 7745.9)	243488.8 ( 4991.6)	2.22308	2.28035 ( .05728)	2.27595 ( .05287)
1981	256936.2	271986.0 ( 15049.8)	269194.7 ( 12258.5)	2.29630	2.37852 ( .08221)	2.38066 ( .08435)
1982	268320.1	278931.3 ( 10611.3)	278847.0 ( 10527.0)	2.34859	2.41649 ( .06790)	2.43096 ( .08237)
1983	279145.3	290558.9 ( 11413.6)	290139.5 ( 10994.2)	2.37524	2.44169 ( .06645)	2.46075 ( .08551)
1984	297083.3	313649.8 ( 16566.5)	312288.2 ( 15204.9)	2.40041	2.48199 ( .08158)	2.49168 ( .09127)
1985	315454.4	324496.8 ( 9042.4)	326491.5 ( 11037.1)	2.43300	2.49169 ( .05869)	2.51883 ( .08583)
相関係数		.99931	.99926		.99939	.99871
Theil's U		.02000	.01936		.01272	.01570

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-15: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$H_1$			$H_2$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2026.47	2057.31 ( 30.84)	2057.31 ( 30.84)	2624.30	2568.34 ( -55.96)	2568.34 ( -55.96)
1962	1997.60	2017.61 ( 20.01)	2036.85 ( 39.25)	2584.56	2761.38 ( 176.82)	2739.28 ( 154.71)
1963	1958.97	1988.58 ( 29.61)	2008.40 ( 49.42)	2580.74	2846.14 ( 265.39)	2841.78 ( 261.03)
1964	1968.55	1981.33 ( 12.78)	1987.73 ( 19.18)	2540.19	2602.34 ( 62.15)	2530.72 ( -9.47)
1965	1932.18	1951.05 ( 18.87)	1936.92 ( 4.74)	2528.88	2980.63 ( 451.76)	2962.46 ( 433.58)
1966	1927.88	1911.61 ( -16.27)	1904.52 ( -23.36)	2497.74	2681.59 ( 183.85)	2677.10 ( 179.35)
1967	2024.82	1966.88 ( -57.94)	1951.21 ( -73.61)	2496.58	2358.70 ( -137.88)	2359.73 ( -136.85)
1968	2119.65	2070.79 ( -48.86)	2059.31 ( -60.34)	2599.37	2381.58 ( -217.79)	2399.90 ( -199.48)
1969	2131.56	2067.19 ( -64.37)	2066.32 ( -65.24)	2592.51	2126.78 ( -465.73)	2122.77 ( -469.73)
1970	2109.72	2074.65 ( -35.07)	2071.11 ( -38.61)	2600.75	2067.60 ( -533.14)	2082.85 ( -517.90)
1971	2123.09	2108.16 ( -14.92)	2109.52 ( -13.57)	2582.73	2356.15 ( -226.57)	2375.90 ( -206.82)
1972	2135.38	2080.36 ( -55.02)	2093.32 ( -42.06)	2584.35	2369.81 ( -214.53)	2424.15 ( -160.19)
1973	2120.68	2068.21 ( -52.47)	2068.37 ( -52.31)	2540.10	2194.30 ( -345.79)	2269.36 ( -270.73)
1974	2116.29	2197.95 ( 81.66)	2186.36 ( 70.07)	2498.02	2648.51 ( 150.49)	2758.79 ( 260.76)
1975	2079.94	2148.97 ( 69.03)	2142.60 ( 62.66)	2441.34	2534.10 ( 92.76)	2589.60 ( 148.26)
1976	2091.21	2141.78 ( 50.57)	2127.40 ( 36.19)	2432.95	2535.52 ( 102.56)	2547.78 ( 114.83)
1977	2095.72	2124.25 ( 28.53)	2117.20 ( 21.48)	2428.97	2575.75 ( 146.77)	2551.79 ( 122.81)
1978	2084.41	2109.23 ( 24.82)	2113.67 ( 29.26)	2448.62	2544.23 ( 95.62)	2509.36 ( 60.75)
1979	2144.05	2205.29 ( 61.24)	2217.90 ( 73.85)	2332.21	2314.88 ( -17.33)	2284.94 ( -47.27)
1980	2080.05	2165.44 ( 85.39)	2151.22 ( 71.17)	2348.26	2404.66 ( 56.39)	2358.73 ( 10.47)
1981	2092.11	2242.05 ( 149.93)	2209.05 ( 116.94)	2306.89	2370.45 ( 63.55)	2344.39 ( 37.50)
1982	2116.05	2242.86 ( 126.81)	2242.36 ( 126.31)	2334.25	2381.45 ( 47.20)	2311.97 ( -22.28)
1983	2121.97	2229.51 ( 107.53)	2220.91 ( 98.94)	2326.07	2432.29 ( 106.21)	2340.57 ( 14.49)
1984	2117.09	2287.49 ( 170.40)	2285.46 ( 168.37)	2325.84	2456.81 ( 130.97)	2352.17 ( 26.33)
1985	2048.98	2216.65 ( 167.67)	2225.21 ( 176.23)	2284.32	2310.92 ( 26.60)	2208.58 ( -75.74)
相関係数		.71760	.71545		.12607	.26524
Theil's U		.01877	.01830		.04497	.04312

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-16: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$H_3$			$H_4$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2624.61	2653.39 ( 28.78)	2653.39 ( 28.78)	2556.93	2719.55 ( 162.62)	2719.55 ( 162.62)
1962	2562.01	2590.85 ( 28.83)	2593.35 ( 31.34)	2520.02	2638.98 ( 118.96)	2623.92 ( 103.91)
1963	2550.14	2628.12 ( 77.98)	2646.70 ( 96.56)	2511.23	2664.33 ( 153.10)	2658.93 ( 147.69)
1964	2505.29	2524.64 ( 19.35)	2526.89 ( 21.60)	2486.70	2563.28 ( 76.58)	2499.81 ( 13.11)
1965	2471.10	2478.53 ( 7.43)	2440.62 ( -30.48)	2439.02	2718.32 ( 279.30)	2646.92 ( 207.91)
1966	2463.61	2364.20 ( -99.41)	2345.70 ( -117.91)	2456.58	2522.80 ( 66.23)	2458.66 ( 2.08)
1967	2462.00	2279.09 ( -182.91)	2234.99 ( -227.01)	2471.56	2432.39 ( -39.16)	2372.67 ( -98.88)
1968	2485.93	2325.75 ( -160.17)	2313.12 ( -172.80)	2505.32	2413.27 ( -92.05)	2414.24 ( -91.08)
1969	2493.85	2313.34 ( -180.51)	2324.88 ( -168.97)	2507.80	2284.06 ( -223.74)	2306.92 ( -200.88)
1970	2482.24	2330.83 ( -151.42)	2340.01 ( -142.23)	2502.98	2312.44 ( -190.53)	2376.48 ( -126.50)
1971	2433.11	2374.44 ( -58.67)	2392.41 ( -40.69)	2428.93	2265.76 ( -163.18)	2342.98 ( -85.95)
1972	2404.33	2311.47 ( -92.86)	2369.12 ( -35.21)	2411.61	2159.01 ( -252.60)	2257.85 ( -153.76)
1973	2353.27	2267.73 ( -85.55)	2297.41 ( -55.86)	2363.64	2045.87 ( -317.77)	2142.18 ( -221.47)
1974	2318.25	2535.08 ( 216.83)	2553.62 ( 235.36)	2319.33	2505.79 ( 186.45)	2659.54 ( 340.20)
1975	2330.94	2515.78 ( 184.84)	2530.24 ( 199.29)	2248.06	2335.13 ( 87.07)	2461.12 ( 213.06)
1976	2313.62	2443.12 ( 129.50)	2425.45 ( 111.84)	2260.29	2315.43 ( 55.15)	2344.45 ( 84.17)
1977	2303.74	2385.32 ( 81.58)	2375.75 ( 72.00)	2272.85	2320.04 ( 47.19)	2299.27 ( 26.42)
1978	2303.82	2440.73 ( 136.92)	2445.58 ( 141.76)	2286.22	2301.50 ( 15.27)	2246.75 ( -39.47)
1979	2320.59	2576.91 ( 256.32)	2590.57 ( 269.99)	2326.97	2441.83 ( 114.86)	2340.72 ( 13.75)
1980	2317.39	2642.24 ( 324.85)	2604.89 ( 287.50)	2323.07	2522.14 ( 199.07)	2390.78 ( 67.71)
1981	2303.45	2706.84 ( 403.39)	2643.35 ( 339.90)	2301.90	2708.19 ( 406.30)	2633.78 ( 331.89)
1982	2290.51	2676.03 ( 385.52)	2670.52 ( 380.02)	2281.57	2556.02 ( 274.45)	2475.23 ( 193.66)
1983	2284.24	2592.82 ( 308.59)	2569.26 ( 285.02)	2285.19	2593.35 ( 308.16)	2479.03 ( 193.84)
1984	2321.57	2708.38 ( 386.81)	2696.31 ( 374.75)	2331.53	2741.47 ( 409.94)	2628.12 ( 296.59)
1985	2311.79	2607.48 ( 295.69)	2612.30 ( 300.51)	2314.47	2557.73 ( 243.26)	2498.19 ( 183.72)
相関係数		-.19670	-.17920		.14073	.22536
Theil's $U$		.04264	.04133		.04320	.03548

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 17: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$H_5$			$H_6$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2653.08	2644.01 ( -9.07)	2644.01 ( -9.07)	2499.80	2483.55 ( -16.25)	2483.55 ( -16.25)
1962	2539.46	2814.67 ( 275.21)	2801.42 ( 261.96)	2459.04	2486.13 ( 27.10)	2485.92 ( 26.89)
1963	2521.87	2866.27 ( 344.40)	2851.03 ( 329.16)	2460.98	2473.68 ( 12.71)	2483.92 ( 22.95)
1964	2527.57	2619.97 ( 92.40)	2523.55 ( -4.02)	2472.77	2446.11 ( -26.67)	2442.27 ( -30.51)
1965	2444.92	2875.99 ( 431.07)	2806.54 ( 361.62)	2443.62	2505.38 ( 61.76)	2488.04 ( 44.42)
1966	2481.19	2623.57 ( 142.37)	2554.55 ( 73.36)	2426.12	2413.77 ( -12.35)	2410.05 ( -16.07)
1967	2503.56	2339.76 ( -163.80)	2293.47 ( -210.09)	2418.80	2354.11 ( -64.70)	2340.53 ( -78.27)
1968	2531.36	2338.08 ( -193.27)	2366.99 ( -164.37)	2434.26	2393.48 ( -40.78)	2380.58 ( -53.68)
1969	2507.31	2149.72 ( -357.59)	2177.26 ( -330.05)	2428.05	2348.68 ( -79.38)	2346.28 ( -81.77)
1970	2473.39	2176.34 ( -297.05)	2245.84 ( -227.55)	2452.22	2400.11 ( -52.11)	2398.16 ( -54.06)
1971	2369.47	2237.74 ( -131.73)	2289.97 ( -79.50)	2422.93	2400.99 ( -21.93)	2408.37 ( -14.55)
1972	2368.79	2201.55 ( -167.24)	2266.72 ( -102.07)	2429.68	2362.64 ( -67.04)	2390.43 ( -39.25)
1973	2333.37	2063.76 ( -269.61)	2128.58 ( -204.79)	2390.46	2298.21 ( -92.24)	2315.10 ( -75.36)
1974	2301.92	2407.49 ( 105.58)	2527.38 ( 225.46)	2350.00	2424.31 ( 74.31)	2434.67 ( 84.67)
1975	2204.81	2271.68 ( 66.87)	2382.89 ( 178.08)	2304.97	2397.37 ( 92.40)	2410.24 ( 105.27)
1976	2251.73	2309.65 ( 57.92)	2319.45 ( 67.72)	2326.33	2388.56 ( 62.22)	2388.19 ( 61.85)
1977	2260.89	2325.94 ( 65.05)	2283.31 ( 22.42)	2331.70	2389.11 ( 57.41)	2384.09 ( 52.39)
1978	2270.05	2308.08 ( 38.03)	2248.54 ( -21.51)	2325.41	2364.29 ( 38.88)	2364.45 ( 39.04)
1979	2334.96	2315.10 ( -19.87)	2223.51 ( -111.45)	2340.87	2367.80 ( 26.93)	2368.31 ( 27.44)
1980	2329.62	2369.45 ( 39.83)	2271.24 ( -58.39)	2316.64	2398.10 ( 81.46)	2373.91 ( 57.27)
1981	2291.21	2345.98 ( 54.77)	2327.61 ( 36.40)	2326.69	2496.29 ( 169.60)	2463.72 ( 137.03)
1982	2246.44	2275.43 ( 28.99)	2249.98 ( 3.54)	2323.60	2429.74 ( 106.14)	2421.60 ( 97.99)
1983	2277.11	2353.27 ( 76.16)	2292.49 ( 15.38)	2326.46	2411.31 ( 84.85)	2391.23 ( 64.77)
1984	2351.19	2450.14 ( 98.95)	2404.63 ( 53.45)	2350.38	2464.87 ( 114.48)	2447.70 ( 97.32)
1985	2321.43	2339.97 ( 18.55)	2337.52 ( 16.10)	2349.12	2419.44 ( 70.32)	2412.99 ( 63.87)
相関係数		.51023	.51963		.24418	.33223
Theil's U		.03849	.03523		.01499	.01365

OBS は観測値, TOTAL は、トータル・テストの結果, FINAL はファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-18: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$H_T$			HMFG		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2413.14	2429.23 ( 16.09)	2429.23 ( 16.09)	2463.1	2469.6 ( 6.4)	2469.6 ( 6.4)
1962	2386.25	2444.61 ( 58.36)	2435.65 ( 49.40)	2421.8	2509.7 ( 87.8)	2501.6 ( 79.8)
1963	2386.95	2405.67 ( 18.71)	2409.00 ( 22.05)	2419.7	2490.3 ( 70.6)	2492.9 ( 73.2)
1964	2385.23	2368.11 ( -17.12)	2364.59 ( -20.63)	2421.7	2420.3 ( -1.4)	2402.3 ( -19.4)
1965	2353.10	2416.56 ( 63.46)	2392.23 ( 39.13)	2381.3	2505.0 ( 123.6)	2476.7 ( 95.4)
1966	2335.17	2316.65 ( -18.52)	2314.12 ( -21.06)	2372.2	2381.5 ( 9.2)	2369.0 ( -3.2)
1967	2321.82	2245.34 ( -76.48)	2234.39 ( -87.43)	2366.9	2276.8 ( -90.0)	2259.2 ( -107.7)
1968	2365.03	2312.74 ( -52.29)	2300.60 ( -64.43)	2403.3	2328.3 ( -75.0)	2323.2 ( -80.1)
1969	2377.75	2285.57 ( -92.18)	2290.80 ( -86.95)	2407.4	2269.3 ( -138.2)	2278.0 ( -129.5)
1970	2398.29	2321.71 ( -76.58)	2326.11 ( -72.18)	2417.7	2305.2 ( -112.5)	2321.4 ( -96.3)
1971	2394.30	2376.96 ( -17.34)	2398.28 ( 3.98)	2393.5	2355.2 ( -38.4)	2380.8 ( -12.8)
1972	2393.25	2344.08 ( -49.17)	2390.55 ( -2.70)	2393.5	2321.7 ( -71.7)	2369.4 ( -24.0)
1973	2317.23	2216.82 ( -100.41)	2244.97 ( -72.25)	2328.6	2200.9 ( -127.8)	2234.3 ( -94.4)
1974	2249.64	2282.01 ( 32.37)	2293.43 ( 43.79)	2270.3	2320.1 ( 49.7)	2348.0 ( 77.7)
1975	2214.36	2237.94 ( 23.59)	2247.97 ( 33.61)	2223.5	2262.0 ( 38.5)	2288.1 ( 64.6)
1976	2207.86	2207.56 ( -.31)	2205.72 ( -2.14)	2228.5	2244.1 ( 15.6)	2244.2 ( 15.7)
1977	2205.74	2211.84 ( 6.10)	2207.06 ( 1.32)	2228.2	2249.0 ( 20.8)	2238.6 ( 10.4)
1978	2204.30	2210.30 ( 6.00)	2212.64 ( 8.34)	2227.2	2241.7 ( 14.5)	2235.0 ( 7.8)
1979	2221.67	2183.25 ( -38.42)	2187.21 ( -34.47)	2250.6	2221.8 ( -28.8)	2212.5 ( -38.1)
1980	2229.46	2217.31 ( -12.16)	2198.45 ( -31.01)	2253.5	2257.8 ( 4.3)	2227.8 ( -25.7)
1981	2231.75	2263.53 ( 31.79)	2232.91 ( 1.17)	2250.4	2299.7 ( 49.3)	2270.7 ( 20.3)
1982	2222.39	2217.15 ( -5.25)	2211.46 ( -10.93)	2236.4	2247.1 ( 10.7)	2238.6 ( 2.2)
1983	2236.22	2234.88 ( -1.33)	2220.26 ( -15.96)	2251.3	2269.3 ( 18.0)	2247.7 ( -3.7)
1984	2247.58	2287.76 ( 20.18)	2258.89 ( 11.30)	2273.3	2313.4 ( 40.1)	2298.2 ( 24.8)
1985	2207.77	2200.70 ( -7.07)	2199.12 ( -8.65)	2238.9	2242.0 ( 3.1)	2239.5 ( -.5)
相関係数		.85006	.88120		.71677	.76409
Theil's $U$		.00966	.00885		.01405	.01282

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-19: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	IM <sub>1</sub>			IM <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-187.4	-199.9 (-12.5)	-199.9 (-12.5)	-279.9	-408.1 (-128.2)	-408.1 (-128.2)
1962	-189.4	-220.9 (-31.5)	-207.9 (-18.5)	-285.9	-493.1 (-207.2)	-497.5 (-211.5)
1963	-231.7	-232.6 (-.9)	-222.7 (8.9)	-374.0	-380.2 (-6.3)	-395.4 (-21.4)
1964	-257.2	-251.3 (5.9)	-248.1 (9.1)	-447.7	-447.1 (.6)	-457.0 (-9.3)
1965	-262.0	-283.7 (-21.7)	-283.6 (-21.5)	-440.8	-706.8 (-266.0)	-708.8 (-268.0)
1966	-318.3	-308.2 (10.1)	-313.7 (4.7)	-550.6	-747.2 (-196.7)	-774.6 (-224.0)
1967	-338.1	-350.5 (-12.4)	-355.0 (-16.9)	-651.4	-841.3 (-189.9)	-863.4 (-212.1)
1968	-362.8	-387.5 (-24.7)	-389.2 (-26.5)	-703.0	-998.2 (-295.1)	-954.9 (-251.9)
1969	-365.9	-398.3 (-32.4)	-398.8 (-32.9)	-873.5	-1021.0 (-147.6)	-979.6 (-106.1)
1970	-437.6	-405.3 (32.2)	-403.0 (34.5)	-1044.4	-1120.6 (-76.3)	-1064.6 (-20.2)
1971	-406.4	-415.0 (-8.6)	-420.4 (-14.0)	-1092.9	-1243.9 (-151.0)	-1217.9 (-125.0)
1972	-427.7	-487.8 (-60.1)	-518.3 (-90.6)	-1401.4	-1430.6 (-29.2)	-1436.6 (-35.2)
1973	-429.7	-401.7 (28.0)	-431.9 (-2.2)	-1769.0	-1342.0 (427.0)	-1357.0 (411.9)
1974	-456.0	-415.8 (40.2)	-448.3 (7.7)	-1953.5	-1808.9 (144.6)	-1682.3 (271.2)
1975	-484.7	-484.0 (.8)	-515.7 (-30.9)	-1751.6	-1654.8 (96.8)	-1654.7 (96.9)
1976	-485.1	-495.8 (-10.7)	-518.2 (-33.0)	-2046.7	-2286.6 (-239.9)	-2411.6 (-364.9)
1977	-498.3	-551.3 (-53.0)	-562.3 (-64.0)	-2124.7	-2803.8 (-679.1)	-2836.8 (-712.1)
1978	-449.8	-556.5 (-106.7)	-556.5 (-106.7)	-2183.7	-2532.8 (-349.1)	-2579.0 (-395.3)
1979	-473.4	-489.0 (-15.6)	-479.5 (-6.1)	-2449.9	-1738.1 (711.8)	-1735.0 (714.9)
1980	-448.7	-486.1 (-37.4)	-470.9 (-22.2)	-2381.3	-2026.7 (354.6)	-1983.5 (397.8)
1981	-468.8	-501.2 (-32.3)	-489.4 (-20.6)	-2199.6	-2044.4 (155.2)	-2077.0 (122.6)
1982	-438.2	-440.3 (-2.1)	-436.1 (2.1)	-2403.2	-1945.9 (457.2)	-1968.8 (434.4)
1983	-463.4	-491.7 (-28.3)	-480.5 (-17.1)	-2456.8	-2496.2 (-39.4)	-2490.3 (-33.6)
1984	-522.4	-505.6 (16.7)	-493.6 (28.7)	-2671.6	-2735.0 (-63.5)	-2666.1 (5.5)
1985	-625.2	-487.9 (137.4)	-480.2 (145.0)	-2609.9	-2812.8 (-202.9)	-2799.4 (-189.5)
相関係数		.91837	.91310		.93881	.93351
Theil's U		.05209	.05495		.08494	.08834

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-20: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	IM <sub>4</sub>			IM <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-668.6	-577.6 ( 91.0)	-577.6 ( 91.0)	-300.7	-281.2 ( 19.6)	-281.2 ( 19.6)
1962	-544.4	-582.9 ( -38.5)	-583.3 ( -38.9)	-371.5	-329.4 ( 42.1)	-332.2 ( 39.3)
1963	-634.2	-690.1 ( -55.9)	-694.0 ( -59.8)	-398.1	-355.9 ( 42.2)	-364.7 ( 33.3)
1964	-800.5	-773.4 ( 27.1)	-769.8 ( 30.6)	-392.2	-363.3 ( 28.9)	-366.0 ( 26.2)
1965	-768.6	-815.7 ( -47.1)	-817.6 ( -48.9)	-336.6	-423.6 ( -87.0)	-434.8 ( -98.2)
1966	-869.1	-893.4 ( -24.3)	-902.6 ( -33.5)	-371.4	-428.4 ( -57.0)	-440.9 ( -69.4)
1967	-1230.6	-1053.9 ( 176.7)	-1059.5 ( 171.1)	-451.8	-469.4 ( -17.6)	-475.7 ( -23.9)
1968	-1276.6	-1154.8 ( 121.8)	-1156.9 ( 119.8)	-550.9	-545.1 ( 5.9)	-537.7 ( 13.2)
1969	-1530.4	-1355.6 ( 174.8)	-1353.2 ( 177.2)	-693.9	-653.1 ( 40.8)	-642.9 ( 51.1)
1970	-1925.5	-1635.4 ( 290.1)	-1628.9 ( 296.5)	-956.6	-764.8 ( 191.8)	-747.3 ( 209.3)
1971	-1615.0	-1718.2 ( -103.2)	-1704.7 ( -89.7)	-1009.6	-873.2 ( 136.4)	-859.7 ( 149.9)
1972	-1693.1	-1939.8 ( -246.7)	-1951.1 ( -258.0)	-1010.1	-1008.6 ( 1.5)	-1010.0 ( 2)
1973	-2111.6	-2162.8 ( -51.2)	-2171.1 ( -59.5)	-1215.2	-1247.2 ( -32.0)	-1255.0 ( -39.8)
1974	-2074.2	-1819.6 ( 254.6)	-1813.8 ( 260.4)	-1498.9	-1394.7 ( 104.2)	-1372.5 ( 126.4)
1975	-1658.3	-1585.1 ( 73.3)	-1569.5 ( 88.9)	-1338.1	-1211.8 ( 126.3)	-1180.1 ( 158.0)
1976	-1846.9	-1800.4 ( 46.5)	-1784.3 ( 62.6)	-1431.0	-1320.4 ( 110.6)	-1319.5 ( 111.4)
1977	-1955.5	-1975.1 ( -19.6)	-1958.4 ( -2.9)	-1475.8	-1528.2 ( -52.4)	-1529.5 ( -53.7)
1978	-2242.5	-2293.1 ( -50.6)	-2300.5 ( -58.0)	-1220.2	-1304.9 ( -84.8)	-1309.3 ( -89.1)
1979	-2494.7	-1915.6 ( 579.1)	-1944.0 ( 550.6)	-1575.1	-1381.7 ( 193.4)	-1400.9 ( 174.2)
1980	-2193.4	-1632.8 ( 560.6)	-1632.8 ( 560.6)	-1521.5	-1257.8 ( 263.7)	-1249.5 ( 272.0)
1981	-2648.5	-1746.1 ( 902.4)	-1730.2 ( 918.2)	-1265.4	-995.8 ( 269.5)	-975.6 ( 289.8)
1982	-2435.9	-1650.3 ( 785.6)	-1655.2 ( 780.7)	-1163.6	-951.6 ( 212.0)	-923.4 ( 240.2)
1983	-2567.5	-1790.1 ( 777.4)	-1785.1 ( 782.4)	-1353.0	-1130.5 ( 222.5)	-1094.1 ( 258.9)
1984	-2941.0	-1994.0 ( 947.0)	-1994.7 ( 946.3)	-1526.0	-1255.0 ( 271.0)	-1207.3 ( 318.8)
1985	-2700.5	-1863.4 ( 837.2)	-1855.3 ( 845.2)	-1410.9	-1146.0 ( 264.9)	-1103.1 ( 307.8)
相関係数		.88102	.88055		.97125	.96345
Theil's U		.12415	.12452		.07065	.07861

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-21: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	IM <sub>6</sub>			IM <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-98.8	-152.8 (-54.0)	-152.8 (-54.0)	-133.8	-250.0 (-116.3)	-250.0 (-116.3)
1962	-120.6	-169.2 (-48.6)	-169.2 (-48.6)	-162.3	-254.3 (-92.1)	-265.3 (-103.0)
1963	-140.7	-185.1 (-44.5)	-185.7 (-45.0)	-170.5	-260.4 (-89.9)	-274.6 (-104.1)
1964	-156.5	-200.0 (-43.5)	-199.8 (-43.3)	-200.4	-276.3 (-75.9)	-285.5 (-85.1)
1965	-177.8	-216.2 (-38.4)	-215.0 (-37.2)	-221.1	-297.2 (-76.1)	-303.8 (-82.8)
1966	-216.9	-238.3 (-21.4)	-238.1 (-21.1)	-243.2	-315.7 (-72.6)	-320.0 (-76.8)
1967	-269.1	-266.0 (3.1)	-264.9 (4.3)	-276.1	-341.4 (-65.3)	-336.1 (-60.1)
1968	-316.1	-295.5 (20.7)	-294.3 (21.9)	-311.1	-383.5 (-72.4)	-373.2 (-62.1)
1969	-364.6	-331.3 (33.3)	-331.0 (33.6)	-378.9	-424.4 (-45.5)	-409.2 (-30.3)
1970	-402.2	-344.5 (57.7)	-344.2 (57.9)	-458.3	-475.4 (-17.1)	-457.2 (1.1)
1971	-424.8	-423.8 (1.0)	-424.9 (-2)	-509.2	-547.4 (-38.2)	-518.5 (-9.3)
1972	-423.3	-483.5 (-60.2)	-488.6 (-65.3)	-657.6	-674.0 (-16.4)	-645.3 (12.3)
1973	-564.1	-553.9 (10.2)	-557.9 (6.2)	-745.1	-679.9 (65.1)	-651.9 (93.2)
1974	-616.0	-458.0 (158.0)	-459.9 (156.1)	-607.1	-568.3 (38.8)	-546.0 (61.1)
1975	-804.3	-483.1 (321.2)	-485.9 (318.4)	-703.1	-582.0 (121.0)	-579.2 (123.9)
1976	-744.8	-545.4 (199.4)	-545.3 (199.5)	-517.5	-624.8 (-107.3)	-624.5 (-107.0)
1977	-697.1	-626.9 (70.2)	-625.7 (71.4)	-588.1	-733.1 (-144.9)	-737.2 (-149.1)
1978	-898.7	-857.3 (41.4)	-857.4 (41.3)	-795.7	-732.2 (63.5)	-734.6 (61.0)
1979	-957.0	-754.2 (202.8)	-754.4 (202.6)	-885.1	-737.2 (147.9)	-740.4 (144.6)
1980	-835.5	-595.5 (240.0)	-589.9 (245.6)	-1201.1	-822.0 (379.0)	-815.8 (385.3)
1981	-977.2	-631.5 (345.7)	-623.7 (353.5)	-1120.8	-775.9 (344.8)	-774.4 (346.4)
1982	-826.9	-599.7 (227.2)	-597.7 (229.2)	-1086.7	-708.4 (378.4)	-718.0 (368.8)
1983	-720.9	-681.3 (39.6)	-675.9 (45.0)	-966.5	-659.7 (306.7)	-666.8 (299.7)
1984	-714.3	-716.2 (-1.9)	-711.6 (2.8)	-1032.2	-726.0 (306.2)	-731.8 (300.4)
1985	-747.8	-803.2 (-55.4)	-801.3 (-53.5)	-1025.3	-765.1 (260.2)	-782.1 (243.2)
相関係数		.92278	.92163		.93511	.94217
Theil's U		.12329	.12441		.14144	.14115

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-22: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	IMs			IP		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-596.3	-601.4 (-5.1)	-601.4 (-5.1)	4705.1	4655.0 (-50.1)	4655.0 (-50.1)
1962	-720.7	-727.1 (-6.3)	-726.7 (-5.9)	5141.0	5711.7 (570.7)	5855.5 (714.5)
1963	-949.0	-960.7 (-11.7)	-961.6 (-12.7)	5700.2	6633.3 (933.1)	6753.5 (1053.3)
1964	-1137.5	-1142.4 (-4.9)	-1139.1 (-1.6)	6907.0	7198.0 (291.0)	7136.6 (229.6)
1965	-1279.3	-1300.3 (-21.0)	-1292.1 (-12.8)	6999.4	8990.1 (1990.7)	9002.0 (2002.6)
1966	-1579.2	-1574.8 (4.4)	-1567.7 (11.5)	8121.6	9005.4 (883.8)	8912.0 (790.4)
1967	-1958.6	-1930.2 (28.4)	-1918.3 (40.2)	10582.8	9732.5 (-850.3)	9565.7 (-1017.1)
1968	-2396.0	-2358.5 (37.5)	-2356.1 (39.9)	13192.5	11709.4 (-1483.1)	11509.7 (-1682.8)
1969	-2691.8	-2626.2 (65.6)	-2631.4 (60.3)	16535.9	12912.0 (-3623.9)	12766.6 (-3769.3)
1970	-2999.9	-2938.8 (61.1)	-2950.4 (49.5)	20152.7	15585.7 (-4567.0)	15597.9 (-4554.8)
1971	-3262.0	-3215.9 (46.1)	-3235.6 (26.4)	20437.7	18062.5 (-2375.2)	17859.1 (-2578.6)
1972	-3554.7	-3472.8 (81.8)	-3510.2 (44.5)	22650.3	19828.3 (-2822.0)	19792.5 (-2857.8)
1973	-4156.0	-4043.3 (112.8)	-4076.4 (79.6)	30108.2	24536.1 (-5572.1)	24701.8 (-5406.4)
1974	-4182.9	-4286.0 (-103.2)	-4336.3 (-153.5)	34613.8	37773.7 (3159.9)	37281.5 (2667.7)
1975	-3881.1	-3948.3 (-67.2)	-3996.9 (-115.8)	34718.2	36810.1 (2091.9)	36689.8 (1971.6)
1976	-4232.0	-4278.4 (-46.4)	-4285.8 (-53.8)	37388.4	39796.5 (2408.1)	39658.4 (2270.0)
1977	-4365.3	-4402.9 (-37.5)	-4393.0 (-27.6)	39143.7	42709.8 (3566.1)	41921.3 (2777.6)
1978	-3900.5	-3938.1 (-37.6)	-3924.1 (-23.6)	42047.5	44838.1 (2790.6)	44086.9 (2039.4)
1979	-3962.8	-4040.3 (-77.5)	-4015.6 (-52.8)	48165.5	48474.3 (308.8)	47561.2 (-604.3)
1980	-3822.2	-3916.8 (-94.6)	-3874.9 (-52.8)	52932.6	56136.1 (3203.5)	53989.9 (1057.3)
1981	-3305.8	-3452.1 (-146.3)	-3424.7 (-118.9)	54662.3	59018.3 (4356.0)	56933.6 (2271.4)
1982	-3383.2	-3496.4 (-113.2)	-3474.2 (-91.1)	55844.5	59304.6 (3460.1)	58761.4 (916.9)
1983	-3331.0	-3446.2 (-115.2)	-3410.2 (-79.2)	55630.9	61543.8 (5912.9)	58996.2 (3365.3)
1984	-3538.8	-3697.5 (-158.7)	-3662.7 (-123.9)	60070.5	67747.1 (7676.6)	64610.1 (4539.6)
1985	-3423.3	-3521.1 (-97.8)	-3504.2 (-80.8)	66216.6	69094.5 (2877.9)	67123.0 (906.4)
相関係数		.99837	.99883		.99342	.99414
Theil's U		.01226	.01080		.04452	.03440

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-23: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	K <sub>1</sub>			K <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	5835.0	5829.7 ( -5.3)	5829.7 ( -5.3)	672.0	670.2 ( -1.7)	670.2 ( -1.7)
1962	6111.1	6129.1 ( 18.0)	6123.2 ( 12.1)	786.1	793.0 ( 6.8)	791.1 ( 5.0)
1963	6447.2	6481.1 ( 33.9)	6492.5 ( 45.3)	885.1	895.8 ( 10.7)	900.3 ( 15.2)
1964	6843.4	6853.2 ( 9.8)	6887.1 ( 43.7)	997.6	1000.7 ( 3.1)	1011.5 ( 13.9)
1965	7285.2	7369.4 ( 84.2)	7407.9 ( 122.7)	1118.4	1144.9 ( 26.4)	1156.4 ( 38.0)
1966	7835.6	7877.1 ( 41.5)	7992.1 ( 156.5)	1287.3	1301.4 ( 14.1)	1335.0 ( 47.7)
1967	8620.5	8586.3 ( -34.2)	8736.0 ( 115.5)	1514.3	1503.1 ( -11.2)	1546.3 ( 32.0)
1968	9615.1	9551.8 ( -63.3)	9667.9 ( 52.9)	1778.8	1759.2 ( -19.6)	1790.0 ( 11.2)
1969	10706.0	10565.0 ( -141.0)	10615.7 ( -90.3)	2168.3	2113.5 ( -54.7)	2123.5 ( -44.7)
1970	11925.9	11757.5 ( -168.4)	11675.7 ( -250.2)	2666.1	2592.2 ( -73.9)	2553.5 ( -112.6)
1971	13373.2	13272.8 ( -100.4)	13037.3 ( -335.9)	3233.5	3189.8 ( -43.7)	3089.3 ( -144.2)
1972	14943.5	14837.7 ( -105.9)	14532.3 ( -411.2)	3884.0	3834.9 ( -49.1)	3711.7 ( -172.3)
1973	16697.7	16519.5 ( -178.2)	16152.8 ( -544.8)	4907.1	4798.3 ( -108.8)	4659.5 ( -247.5)
1974	18957.2	19061.6 ( 104.3)	18597.6 ( -359.6)	5819.7	5869.2 ( 49.5)	5672.1 ( -147.7)
1975	21578.9	21660.2 ( 81.3)	21358.9 ( -220.1)	6612.3	6644.3 ( 32.1)	6527.2 ( -85.1)
1976	25066.7	25188.6 ( 121.9)	24985.6 ( -81.0)	7406.3	7445.3 ( 38.9)	7370.3 ( -36.0)
1977	28103.4	28272.3 ( 168.9)	28159.5 ( 56.2)	8231.5	8294.8 ( 63.3)	8248.8 ( 17.3)
1978	31677.3	31814.2 ( 136.9)	31812.8 ( 135.4)	9169.9	9219.4 ( 49.5)	9215.1 ( 45.2)
1979	35524.9	35507.6 ( -17.3)	35575.2 ( 50.3)	10334.1	10327.2 ( -6.9)	10343.5 ( 9.4)
1980	39996.8	40107.2 ( 110.4)	40054.9 ( 58.1)	11644.6	11687.3 ( 42.7)	11656.9 ( 12.3)
1981	44053.7	44172.0 ( 118.3)	44170.5 ( 116.8)	12976.7	13027.9 ( 51.1)	13014.1 ( 37.4)
1982	47949.5	48048.4 ( 98.9)	48035.2 ( 85.7)	14178.1	14220.7 ( 42.6)	14200.6 ( 22.5)
1983	51588.6	51806.0 ( 217.4)	51730.5 ( 141.9)	15313.7	15411.4 ( 97.7)	15360.8 ( 47.1)
1984	55367.3	55646.1 ( 278.8)	55599.7 ( 232.3)	16459.6	16584.3 ( 124.7)	16545.3 ( 85.7)
1985	58998.0	59063.9 ( 65.8)	59135.6 ( 137.6)	17016.7	17040.0 ( 23.3)	17064.4 ( 47.7)
相関係数		.99999	.99994		.99997	.99990
Theil's U		.00208	.00351		.00314	.00503

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である。



表 A-24: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	K <sub>3</sub>			K <sub>4</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	4149.5	4145.3 (-4.3)	4145.3 (-4.3)	4957.6	4946.5 (-11.1)	4946.5 (-11.1)
1962	4434.6	4452.1 (17.5)	4447.3 (12.7)	5838.2	5883.9 (45.7)	5871.5 (33.3)
1963	4785.1	4818.7 (33.5)	4830.5 (45.3)	6854.0	6940.3 (86.3)	6970.9 (116.9)
1964	5179.8	5189.3 (9.5)	5223.4 (43.5)	7899.6	7922.8 (23.2)	8010.5 (110.8)
1965	5609.4	5689.9 (80.5)	5728.1 (118.8)	8753.2	8915.7 (162.5)	9013.7 (260.5)
1966	6055.2	6090.3 (35.0)	6201.4 (146.2)	9723.9	9799.8 (75.9)	10040.5 (316.6)
1967	6632.4	6605.7 (-26.7)	6745.0 (112.7)	11125.7	11062.4 (-63.2)	11359.8 (234.1)
1968	7406.6	7355.4 (-51.2)	7467.4 (60.8)	13110.9	12982.7 (-128.2)	13213.9 (103.0)
1969	8341.0	8218.1 (-122.9)	8276.2 (-64.8)	15730.3	15395.3 (-335.0)	15491.8 (-238.4)
1970	9652.8	9475.9 (-176.9)	9419.6 (-233.2)	18721.4	18308.4 (-413.0)	18095.7 (-625.7)
1971	10943.5	10852.2 (-91.3)	10633.9 (-309.6)	21538.8	21330.8 (-208.0)	20750.1 (-788.7)
1972	12315.6	12220.7 (-94.9)	11940.6 (-375.0)	24260.7	24058.1 (-202.7)	23346.4 (-914.3)
1973	13885.0	13722.0 (-163.1)	13390.0 (-495.1)	27114.1	26787.6 (-326.5)	25976.2 (-1137.9)
1974	15637.0	15722.0 (85.0)	15297.2 (-339.8)	30768.0	30956.0 (187.9)	29989.1 (-778.9)
1975	17220.3	17274.7 (54.5)	16978.8 (-241.5)	34450.2	34581.9 (131.7)	33917.3 (-532.9)
1976	18737.5	18800.0 (62.5)	18572.3 (-165.2)	38343.4	38507.0 (163.6)	38013.4 (-330.1)
1977	20214.6	20310.0 (95.4)	20131.2 (-83.4)	41837.5	42075.7 (238.2)	41712.9 (-124.6)
1978	21573.2	21637.3 (64.1)	21530.4 (-42.8)	44074.6	44205.6 (131.0)	44033.1 (-41.5)
1979	23444.1	23434.6 (-9.5)	23358.0 (-86.1)	46936.6	46918.7 (-18.0)	46812.7 (-123.9)
1980	25622.9	25682.9 (60.0)	25544.7 (-78.2)	49851.5	49954.2 (102.7)	49741.9 (-109.6)
1981	27616.5	27681.9 (65.4)	27574.2 (-42.3)	52900.3	53022.7 (122.4)	52858.1 (-42.2)
1982	29528.8	29583.8 (54.9)	29472.5 (-56.3)	56230.6	56342.2 (111.5)	56158.9 (-71.7)
1983	31661.4	31798.2 (136.8)	31643.8 (-17.6)	59509.1	59766.0 (256.9)	59509.9 (8)
1984	34018.8	34202.1 (183.2)	34063.9 (45.0)	63045.0	63381.2 (336.2)	63159.6 (114.6)
1985	36744.0	36793.4 (49.3)	36721.3 (-22.7)	66523.2	66604.6 (81.4)	66523.2 (0)
相関係数		.99997	.99987		.99996	.99981
Theil's U		.00233	.00480		.00263	.00588

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-25: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$K_5$			$K_6$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1934.2	1927.8 ( -6.4)	1927.8 ( -6.4)	11591.1	11581.9 ( -9.2)	11581.9 ( -9.2)
1962	2563.0	2593.4 ( 30.4)	2586.1 ( 23.1)	12013.5	12054.4 ( 40.8)	12044.0 ( 30.5)
1963	3018.3	3058.6 ( 40.2)	3079.9 ( 61.5)	12460.5	12530.0 ( 69.5)	12558.1 ( 97.6)
1964	3528.7	3540.3 ( 11.6)	3586.4 ( 57.7)	13091.0	13112.2 ( 21.1)	13183.2 ( 92.1)
1965	3959.8	4043.7 ( 83.9)	4094.2 ( 134.4)	14358.2	14613.0 ( 254.7)	14688.5 ( 330.3)
1966	4358.3	4392.6 ( 34.3)	4516.0 ( 157.7)	15407.3	15504.1 ( 96.8)	15808.2 ( 400.9)
1967	5075.4	5042.5 ( -32.9)	5188.9 ( 113.5)	16347.5	16289.6 ( -57.9)	16666.6 ( 319.1)
1968	6165.1	6094.5 ( -70.6)	6206.0 ( 40.9)	17465.0	17366.6 ( -98.4)	17676.0 ( 211.0)
1969	7554.6	7374.2 ( -180.3)	7411.9 ( -142.6)	18953.6	18710.0 ( -243.6)	18909.5 ( -44.1)
1970	9374.8	9125.4 ( -249.4)	8999.7 ( -375.1)	21258.2	20898.8 ( -359.3)	20869.7 ( -388.4)
1971	10668.4	10565.5 ( -102.8)	10219.4 ( -449.0)	23207.5	23038.5 ( -169.0)	22682.1 ( -525.4)
1972	11876.9	11778.3 ( -98.6)	11374.3 ( -502.6)	25766.8	25565.1 ( -201.7)	25106.1 ( -660.7)
1973	13754.8	13545.6 ( -209.2)	13110.2 ( -644.6)	28836.9	28480.6 ( -356.3)	27918.7 ( -918.3)
1974	15878.6	15989.6 ( 111.0)	15451.1 ( -427.4)	34178.8	34437.7 ( 259.0)	33728.0 ( -450.8)
1975	17149.2	17205.0 ( 55.8)	16834.8 ( -314.4)	38914.5	39080.1 ( 165.6)	38750.0 ( -164.5)
1976	18406.4	18472.7 ( 66.2)	18181.9 ( -224.6)	44030.6	44240.2 ( 209.6)	44102.7 ( 72.2)
1977	20091.3	20214.3 ( 123.0)	19977.6 ( -113.7)	49623.2	49974.2 ( 351.0)	49972.3 ( 349.1)
1978	21856.3	21947.3 ( 91.0)	21802.8 ( -53.5)	56061.4	56340.5 ( 279.1)	56558.3 ( 496.9)
1979	24092.2	24079.5 ( -12.7)	23981.9 ( -110.2)	63288.2	63251.6 ( -36.6)	63588.8 ( 300.6)
1980	27407.2	27501.7 ( 94.5)	27311.1 ( -96.2)	69968.4	70166.4 ( 198.0)	70270.8 ( 302.4)
1981	31641.7	31773.9 ( 132.3)	31618.3 ( -23.4)	76909.8	77147.4 ( 237.6)	77318.5 ( 408.7)
1982	35770.6	35884.9 ( 114.2)	35716.4 ( -54.2)	83415.8	83614.5 ( 198.8)	83748.5 ( 332.7)
1983	39684.7	39944.0 ( 259.3)	39703.4 ( 18.6)	87962.3	88340.4 ( 378.1)	88380.5 ( 418.2)
1984	44635.9	45020.4 ( 384.5)	44783.6 ( 147.8)	93187.7	93698.5 ( 510.8)	93758.4 ( 570.7)
1985	51105.2	51219.7 ( 114.5)	51090.9 ( -14.2)	100435.0	100585.7 ( 150.7)	100775.4 ( 340.4)
相関係数		.99997	.99988		.99998	.99993
Theil's U		.00314	.00552		.00234	.00389

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-26: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	K <sub>T</sub>			L <sub>1</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	4452.1	4445.7 (-6.4)	4445.7 (-6.4)	1453.0	1352.5 (-100.5)	1352.5 (-100.5)
1962	4927.0	4953.4 (26.3)	4946.2 (19.2)	1410.9	1331.8 (-79.1)	1332.2 (-78.7)
1963	5531.2	5584.0 (52.8)	5601.7 (70.5)	1333.7	1309.2 (-24.5)	1308.5 (-25.2)
1964	6349.8	6367.2 (17.4)	6417.1 (67.4)	1279.7	1286.9 (7.2)	1284.9 (5.2)
1965	7256.5	7408.6 (152.2)	7466.3 (209.8)	1233.6	1258.4 (24.8)	1256.4 (22.8)
1966	8268.5	8339.1 (70.7)	8533.9 (265.5)	1203.2	1232.9 (29.7)	1227.4 (24.2)
1967	9260.3	9216.1 (-44.3)	9468.5 (208.2)	1179.6	1200.6 (21.0)	1194.3 (14.7)
1968	10381.0	10306.0 (-75.0)	10511.1 (130.1)	1151.8	1161.9 (10.1)	1157.6 (5.8)
1969	11973.0	11767.9 (-205.1)	11892.2 (-80.8)	1124.6	1126.4 (1.8)	1124.8 (.2)
1970	14305.2	13997.1 (-308.1)	13930.2 (-375.0)	1073.6	1089.9 (16.3)	1092.3 (18.7)
1971	16636.0	16474.5 (-161.5)	16125.8 (-510.1)	995.8	1050.0 (54.2)	1055.8 (60.0)
1972	19368.2	19185.7 (-182.5)	18731.1 (-637.2)	947.8	1014.6 (66.8)	1021.2 (73.4)
1973	23238.9	22862.0 (-376.9)	22318.5 (-920.4)	903.3	981.7 (78.4)	988.5 (85.2)
1974	27915.0	28127.0 (212.0)	27374.3 (-540.7)	880.9	939.4 (58.5)	946.5 (65.6)
1975	32780.6	32932.8 (152.2)	32502.7 (-277.9)	861.8	903.2 (41.4)	907.1 (45.3)
1976	37347.7	37520.0 (172.3)	37267.9 (-79.8)	844.3	862.2 (17.9)	864.3 (20.0)
1977	42222.7	42505.7 (283.0)	42372.0 (149.2)	836.6	832.1 (-4.5)	833.1 (-3.5)
1978	47187.8	47392.9 (205.1)	47452.7 (264.8)	826.3	802.4 (-23.9)	802.4 (-23.9)
1979	53220.0	53191.5 (-28.5)	53341.2 (121.2)	797.6	775.7 (-21.9)	775.3 (-22.3)
1980	60655.3	60845.4 (190.1)	60787.9 (132.6)	756.6	747.2 (-9.4)	747.5 (-9.1)
1981	68486.8	68717.3 (230.6)	68732.0 (245.3)	734.9	725.3 (-9.6)	725.3 (-9.6)
1982	76461.7	76664.8 (203.0)	76640.8 (179.1)	723.6	706.8 (-16.8)	706.9 (-16.7)
1983	85134.0	85637.0 (503.0)	85442.0 (307.9)	709.0	690.6 (-18.4)	690.9 (-18.1)
1984	94911.5	95603.1 (691.5)	95442.3 (530.8)	691.4	675.6 (-15.8)	675.8 (-15.6)
1985	106529.4	106722.1 (192.8)	106781.8 (252.5)	689.7	663.3 (-26.4)	663.1 (-26.6)
相関係数		.99998	.99995		.98513	.98396
Theil's U		.00263	.00365		.02000	.02079

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-27: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	L <sub>2</sub>			L <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	341.1	357.8 ( 16.7)	357.8 ( 16.7)	534.2	539.5 ( 5.3)	539.5 ( 5.3)
1962	367.3	367.9 ( .6)	367.8 ( .5)	557.3	560.3 ( 3.1)	564.6 ( 7.3)
1963	369.9	375.4 ( 5.5)	375.7 ( 5.8)	579.7	578.3 ( -1.4)	584.0 ( 4.3)
1964	393.3	382.3 ( -11.0)	383.0 ( -10.3)	593.3	595.5 ( 2.2)	598.8 ( 5.5)
1965	414.9	390.9 ( -24.0)	391.6 ( -23.3)	598.0	605.6 ( 7.6)	609.8 ( 11.8)
1966	423.3	399.3 ( -24.0)	401.0 ( -22.3)	600.5	608.8 ( 8.3)	617.8 ( 17.3)
1967	421.8	408.9 ( -12.9)	410.8 ( -11.0)	635.4	610.3 ( -25.2)	623.5 ( -11.9)
1968	414.4	419.7 ( 5.3)	420.9 ( 6.5)	640.9	636.5 ( -4.4)	627.3 ( -13.6)
1969	416.5	432.6 ( 16.1)	432.9 ( 16.4)	644.6	640.0 ( -4.7)	629.5 ( -15.1)
1970	442.9	447.4 ( 4.5)	446.3 ( 3.4)	636.3	641.9 ( 5.6)	630.4 ( -5.9)
1971	469.3	463.0 ( -6.3)	460.6 ( -8.7)	640.6	634.7 ( -5.9)	630.4 ( -10.2)
1972	489.1	477.3 ( -11.8)	474.8 ( -14.3)	633.5	637.3 ( 3.7)	629.6 ( -3.9)
1973	520.9	495.3 ( -25.6)	492.9 ( -28.0)	658.4	631.1 ( -27.3)	628.3 ( -30.1)
1974	514.0	512.1 ( -1.9)	509.2 ( -4.8)	631.9	649.1 ( 17.2)	626.5 ( -5.4)
1975	528.7	522.7 ( -6.0)	521.2 ( -7.5)	603.6	628.5 ( 24.9)	624.5 ( 20.9)
1976	541.7	532.6 ( -9.1)	531.7 ( -10.0)	617.6	606.4 ( -11.3)	622.4 ( 4.8)
1977	547.9	542.2 ( -5.7)	541.7 ( -6.2)	615.2	616.7 ( 1.5)	620.3 ( 5.2)
1978	567.9	551.8 ( -16.1)	551.7 ( -16.2)	621.6	614.4 ( -7.2)	618.3 ( -3.3)
1979	582.2	562.2 ( -20.0)	562.4 ( -19.8)	616.0	618.8 ( 2.8)	616.3 ( .4)
1980	591.0	573.8 ( -17.2)	573.6 ( -17.4)	597.4	613.9 ( 16.5)	614.3 ( 16.8)
1981	585.0	584.2 ( -.8)	584.1 ( -.9)	608.8	599.4 ( -9.4)	612.2 ( 3.4)
1982	582.6	592.7 ( 10.1)	592.6 ( 10.0)	607.3	607.6 ( .3)	610.3 ( 2.9)
1983	583.8	600.7 ( 16.9)	600.3 ( 16.5)	615.4	606.1 ( -9.3)	608.4 ( -7.1)
1984	568.7	608.0 ( 39.3)	607.7 ( 39.0)	609.8	611.8 ( 2.0)	606.5 ( -3.3)
1985	571.3	610.7 ( 39.4)	610.9 ( 39.6)	604.5	607.1 ( 2.7)	604.6 ( .1)
相関係数		.97867	.97815		.90668	.92195
Theil's U		.01743	.01759		.00929	.00906

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-28: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	L <sub>4</sub>			L <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	296.9	297.8 (.9)	297.8 (.9)	295.6	298.4 (2.8)	298.4 (2.8)
1962	307.7	308.1 (.4)	309.0 (1.3)	317.2	322.7 (5.5)	325.7 (8.5)
1963	313.0	317.5 (4.5)	318.7 (5.7)	333.7	340.4 (6.7)	349.0 (15.3)
1964	317.6	321.8 (4.2)	327.0 (9.4)	351.5	354.6 (3.1)	369.8 (18.3)
1965	321.3	325.5 (4.2)	334.1 (12.8)	367.5	370.5 (3.0)	388.8 (21.3)
1966	328.7	328.6 (-.1)	340.2 (11.5)	391.5	384.9 (-6.6)	405.6 (14.1)
1967	343.5	334.8 (-8.7)	345.2 (1.7)	432.2	407.8 (-24.4)	421.4 (-10.8)
1968	352.0	347.5 (-4.5)	348.9 (-3.1)	448.1	447.8 (-.3)	436.7 (-11.4)
1969	362.3	354.4 (-7.9)	351.6 (-10.7)	473.5	460.4 (-13.1)	449.1 (-24.4)
1970	368.0	362.9 (-5.1)	353.3 (-14.7)	473.4	481.5 (8.1)	458.0 (-15.4)
1971	367.2	367.2 (.0)	354.2 (-13.0)	476.0	479.0 (3.0)	464.7 (-11.3)
1972	369.1	365.9 (-3.2)	354.4 (-14.7)	478.5	478.7 (.2)	468.6 (-9.9)
1973	378.8	367.1 (-11.7)	354.0 (-24.7)	503.4	480.1 (-23.3)	471.3 (-32.1)
1974	379.7	375.0 (-4.7)	353.1 (-26.6)	513.3	502.6 (-10.7)	472.7 (-40.6)
1975	361.1	375.2 (14.1)	351.6 (-9.6)	474.5	510.1 (35.6)	472.2 (-2.3)
1976	350.4	358.2 (7.8)	349.7 (-.6)	463.8	477.2 (13.4)	475.2 (11.4)
1977	337.1	348.1 (11.0)	347.6 (10.5)	464.8	470.2 (5.4)	481.2 (16.4)
1978	323.4	336.1 (12.7)	345.5 (22.1)	451.3	464.2 (12.9)	479.8 (28.5)
1979	322.8	323.5 (.6)	343.3 (20.4)	455.3	449.5 (-5.8)	476.4 (21.1)
1980	334.4	322.7 (-11.6)	341.1 (6.7)	489.0	462.0 (-27.0)	482.4 (-6.6)
1981	325.3	332.8 (7.5)	338.8 (13.5)	502.9	498.1 (-4.8)	492.1 (-10.8)
1982	320.7	324.4 (3.7)	336.5 (15.7)	503.8	512.0 (8.2)	501.9 (-1.9)
1983	318.0	320.1 (2.1)	334.1 (16.2)	524.9	516.1 (-8.8)	514.5 (-10.4)
1984	325.1	317.3 (-7.8)	331.8 (6.7)	556.1	542.5 (-13.6)	532.8 (-23.3)
1985	333.8	323.5 (-10.4)	329.5 (-4.4)	568.3	578.8 (10.5)	556.3 (-12.0)
相関係数		.94802	.84834		.98166	.97309
Theil's U		.01076	.01948		.01469	.01950

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-29: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	L <sub>6</sub>			L <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	250.1	257.7 ( 7.6)	257.7 ( 7.6)	1306.6	1380.8 ( 74.2)	1380.8 ( 74.2)
1962	268.3	267.4 ( -.9)	273.8 ( 5.5)	1329.6	1416.3 ( 86.7)	1415.8 ( 86.2)
1963	285.7	283.3 ( -2.4)	287.8 ( 2.1)	1399.0	1456.7 ( 57.7)	1457.8 ( 58.8)
1964	307.0	297.9 ( -9.1)	299.8 ( -7.2)	1449.2	1502.3 ( 53.1)	1505.1 ( 55.9)
1965	320.4	315.8 ( -4.6)	310.0 ( -10.4)	1534.7	1556.7 ( 22.0)	1559.6 ( 24.9)
1966	331.5	327.1 ( -4.4)	318.9 ( -12.6)	1632.4	1600.6 ( -31.8)	1609.3 ( -23.1)
1967	330.8	335.8 ( 5.0)	326.0 ( -4.8)	1691.7	1638.6 ( -53.1)	1649.1 ( -42.6)
1968	333.9	335.0 ( 1.1)	331.2 ( -2.7)	1768.8	1682.2 ( -86.6)	1690.0 ( -78.8)
1969	335.5	337.7 ( 2.2)	335.6 ( .1)	1825.1	1735.4 ( -89.7)	1739.7 ( -85.4)
1970	327.3	339.5 ( 12.2)	339.6 ( 12.3)	1945.1	1807.6 ( -137.5)	1805.6 ( -139.5)
1971	338.3	333.5 ( -4.8)	343.1 ( 4.8)	2013.6	1878.1 ( -135.5)	1868.7 ( -144.9)
1972	338.4	343.0 ( 4.6)	346.7 ( 8.3)	2067.0	1946.5 ( -120.5)	1935.6 ( -131.4)
1973	353.4	343.4 ( -10.0)	349.8 ( -3.6)	2122.7	2028.3 ( -94.4)	2016.9 ( -105.8)
1974	351.6	356.1 ( 4.5)	353.0 ( 1.4)	2138.1	2129.5 ( -8.6)	2116.0 ( -22.1)
1975	356.2	355.6 ( -.6)	356.6 ( .4)	2205.7	2209.8 ( 4.1)	2203.0 ( -2.7)
1976	364.5	358.9 ( -5.6)	359.2 ( -5.3)	2254.4	2278.5 ( 24.1)	2274.9 ( 20.5)
1977	362.1	365.1 ( 3.0)	361.0 ( -1.1)	2340.2	2346.3 ( 6.1)	2344.6 ( 4.4)
1978	362.6	365.2 ( 2.6)	364.4 ( 1.8)	2402.1	2407.0 ( 4.9)	2407.7 ( 5.6)
1979	366.9	366.4 ( -.5)	368.0 ( 1.1)	2471.5	2473.2 ( 1.7)	2474.8 ( 3.3)
1980	366.1	367.9 ( 1.8)	368.8 ( 2.7)	2516.3	2552.5 ( 36.2)	2551.9 ( 35.6)
1981	361.4	366.6 ( 5.2)	368.6 ( 7.2)	2577.4	2626.5 ( 49.1)	2626.6 ( 49.2)
1982	366.5	362.8 ( -3.7)	368.5 ( 2.0)	2639.9	2694.8 ( 54.9)	2694.6 ( 54.7)
1983	388.3	366.1 ( -2.2)	367.6 ( -.7)	2724.1	2765.8 ( 41.7)	2764.3 ( 40.2)
1984	360.6	366.3 ( 5.7)	365.7 ( 5.1)	2761.2	2838.2 ( 77.0)	2837.1 ( 75.9)
1985	363.5	359.3 ( -4.2)	363.1 ( -.4)	2787.5	2912.5 ( 125.0)	2912.9 ( 125.4)
相関係数		.98612	.98328		.98903	.98844
Theil's U		.00766	.00843		.01697	.01731

○BSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-30: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$\mu BC$			$\mu CO$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.61644	.62301 (.00657)	.62301 (.00657)	.45528	.45587 (.00059)	.45587 (.00059)
1962	.64384	.65228 (.00844)	.66525 (.02141)	.49322	.49531 (.00209)	.50412 (.01090)
1963	.70548	.71596 (.01048)	.73526 (.02978)	.53930	.54065 (.00135)	.55188 (.01258)
1964	.73288	.73645 (.00357)	.74967 (.01679)	.59350	.59330 (-.00020)	.60102 (.00752)
1965	.78311	.79418 (.01107)	.80668 (.02357)	.65583	.65900 (.00317)	.66620 (.01037)
1966	.81963	.81558 (-.00405)	.82677 (.00714)	.70190	.70141 (-.00049)	.70511 (.00321)
1967	.85160	.83574 (-.01586)	.83392 (-.01768)	.75610	.75217 (-.00393)	.74862 (-.00748)
1968	.89498	.88081 (-.01417)	.86469 (-.03029)	.81843	.81520 (-.00323)	.80801 (-.01042)
1969	.93379	.91105 (-.02274)	.88490 (-.04889)	.89702	.89091 (-.00611)	.87873 (-.01829)
1970	1.00000	.97966 (-.02034)	.94723 (-.05277)	1.00000	.99428 (-.00572)	.98003 (-.01997)
1971	1.06600	1.05727 (-.00873)	1.00805 (-.05795)	1.11900	1.11693 (-.00207)	1.09216 (-.02684)
1972	1.12600	1.11047 (-.01553)	1.06230 (-.06370)	1.24300	1.23850 (-.00450)	1.21210 (-.03090)
1973	1.24400	1.22051 (-.02349)	1.17464 (-.06936)	1.45900	1.45034 (-.00866)	1.42206 (-.03694)
1974	1.50800	1.53551 (.02751)	1.47731 (-.03069)	1.85100	1.85705 (.00605)	1.82489 (-.02611)
1975	1.68300	1.70477 (.02178)	1.69091 (.00791)	2.11700	2.12184 (.00484)	2.11449 (-.00251)
1976	1.83800	1.85816 (.02016)	1.86468 (.02668)	2.23400	2.23725 (.00325)	2.23744 (.00344)
1977	1.97100	1.98939 (.01839)	2.00319 (.03219)	2.37600	2.37932 (.00332)	2.38603 (.01003)
1978	2.05900	2.07997 (.02097)	2.08712 (.02812)	2.44700	2.45066 (.00366)	2.45280 (.00580)
1979	2.13400	2.16275 (.02875)	2.16980 (.03580)	2.55500	2.55806 (.00306)	2.56059 (.00559)
1980	2.28600	2.33789 (.05189)	2.33633 (.05033)	2.72200	2.72995 (.00795)	2.72938 (.00738)
1981	2.38600	2.45813 (.07213)	2.47990 (.09390)	2.82100	2.83500 (.01401)	2.84414 (.02314)
1982	2.44900	2.50914 (.06014)	2.54284 (.09384)	2.90100	2.91067 (.00967)	2.92622 (.02523)
1983	2.49500	2.54976 (.05476)	2.58421 (.08921)	2.94400	2.95303 (.00904)	2.96930 (.02531)
1984	2.54600	2.61311 (.06711)	2.63488 (.08888)	3.01200	3.02481 (.01281)	3.03634 (.02434)
1985	2.60299	2.64885 (.04586)	2.69888 (.09589)	3.08500	3.09269 (.00769)	3.11648 (.03148)
相関係数		.99976	.99880		.99999	.99986
Theil's U		.00988	.01600		.00162	.00485

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 31: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	MCN			MCP		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.52874	.53051 (.00177)	.53051 (.00177)	.61959	.62533 (.00574)	.62533 (.00574)
1962	.56609	.57217 (.00608)	.59788 (.03179)	.66059	.66916 (.00857)	.68062 (.02003)
1963	.60632	.61021 (.00389)	.64248 (.03616)	.71071	.72105 (.01034)	.73896 (.02825)
1964	.64655	.64599 (-.00056)	.66790 (.02135)	.73804	.74135 (.00331)	.75438 (.01634)
1965	.68678	.69561 (.00883)	.71560 (.02882)	.79043	.80220 (.01177)	.81511 (.02468)
1966	.72701	.72566 (-.00135)	.73581 (.00880)	.82460	.82135 (-.00325)	.83221 (.00761)
1967	.77011	.75980 (-.01031)	.75050 (-.01961)	.85649	.84119 (-.01530)	.84068 (-.01581)
1968	.81897	.81051 (-.00846)	.79171 (-.02726)	.89977	.88549 (-.01428)	.87169 (-.02808)
1969	.87356	.85771 (-.01585)	.82613 (-.04743)	.93622	.91347 (-.02275)	.89230 (-.04392)
1970	1.00000	.98458 (-.01542)	.94612 (-.05388)	1.00000	.97898 (-.02102)	.95303 (-.04697)
1971	1.12000	1.11458 (-.00542)	1.04967 (-.07033)	1.06600	1.05677 (-.00923)	1.02114 (-.04486)
1972	1.24800	1.23634 (-.01166)	1.16797 (-.08003)	1.12400	1.10791 (-.01609)	1.07483 (-.04917)
1973	1.44400	1.42237 (-.02163)	1.35179 (-.09221)	1.24100	1.21824 (-.02276)	1.18850 (-.05250)
1974	1.83500	1.84980 (.01480)	1.77096 (-.06404)	1.50300	1.53890 (.03590)	1.49194 (-.01106)
1975	2.07700	2.08868 (.01168)	2.07084 (-.00616)	1.67700	1.70961 (.03261)	1.69959 (.02259)
1976	2.26200	2.27024 (.00824)	2.27072 (.00872)	1.83000	1.86235 (.03235)	1.87631 (.04631)
1977	2.40300	2.41146 (.00846)	2.42958 (.02658)	1.96400	1.99478 (.03078)	2.00781 (.04381)
1978	2.54200	2.55171 (.00971)	2.55787 (.01587)	2.05200	2.08851 (.03651)	2.09696 (.04496)
1979	2.66600	2.67390 (.00790)	2.68149 (.01549)	2.12800	2.17609 (.05009)	2.18137 (.05537)
1980	2.93700	2.95998 (.02299)	2.95813 (.02113)	2.27700	2.35615 (.07915)	2.35280 (.07580)
1981	3.02000	3.06166 (.04166)	3.09072 (.07072)	2.37700	2.48382 (.10682)	2.50241 (.12541)
1982	3.11299	3.14077 (.02778)	3.18956 (.07656)	2.44000	2.53506 (.09506)	2.56032 (.12032)
1983	3.17600	3.20239 (.02639)	3.25368 (.07768)	2.48500	2.57483 (.08983)	2.59896 (.11396)
1984	3.24200	3.28064 (.03864)	3.31698 (.07499)	2.53600	2.64413 (.10813)	2.65400 (.11800)
1985	3.29799	3.32100 (.02301)	3.39594 (.09795)	2.59299	2.67702 (.08403)	2.70830 (.11531)
相関係数		.99995	.99915		.99965	.99895
Theil's U		.00438	.01287		.01523	.01901

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。



表 A-32: トータル・テスト、ファイナル・テスト

Year	H EX			H IG		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.86167	.87421 (.01253)	.87421 (.01253)	.76244	.76460 (.00216)	.76460 (.00216)
1962	.86235	.88555 (.02320)	.88996 (.02761)	.78281	.81023 (.02742)	.82966 (.04685)
1963	.88262	.91408 (.03146)	.92640 (.04377)	.79638	.83213 (.03575)	.84125 (.04487)
1964	.89596	.90765 (.01169)	.91632 (.02037)	.82579	.83664 (.01085)	.84386 (.01807)
1965	.91394	.95755 (.04361)	.97212 (.05818)	.85068	.90165 (.05097)	.90100 (.05032)
1966	.93081	.94062 (.00982)	.96052 (.02971)	.88235	.90044 (.01809)	.88873 (.00638)
1967	.94509	.92270 (-.02239)	.93258 (-.01252)	.91629	.89314 (-.02315)	.87839 (-.03790)
1968	.94517	.91793 (-.02723)	.90917 (-.03600)	.92986	.89706 (-.03280)	.88277 (-.04709)
1969	.96334	.91020 (-.05314)	.89856 (-.06477)	.95023	.87923 (-.07100)	.87548 (-.07475)
1970	1.00000	.95594 (-.04406)	.93804 (-.06196)	1.00000	.92483 (-.07517)	.92516 (-.07484)
1971	1.00216	.97561 (-.02655)	.95712 (-.04504)	1.03100	.99690 (-.03410)	.98844 (-.04256)
1972	1.01534	.97644 (-.03891)	.96591 (-.04943)	1.08600	1.04473 (-.04127)	1.03242 (-.05358)
1973	1.12595	1.06427 (-.06167)	1.05512 (-.07082)	1.23600	1.16185 (-.07415)	1.14763 (-.08837)
1974	1.42929	1.47496 (.04567)	1.43490 (.00561)	1.58700	1.63329 (.04629)	1.57982 (-.00718)
1975	1.48730	1.51216 (.02486)	1.47154 (-.01576)	1.69100	1.72045 (.02945)	1.69944 (.00845)
1976	1.53705	1.55744 (.02039)	1.55360 (.01654)	1.78700	1.81643 (.02943)	1.80495 (.01795)
1977	1.55253	1.57168 (.01915)	1.57897 (.02644)	1.86100	1.89591 (.03491)	1.87897 (.01797)
1978	1.68056	1.69423 (.01368)	1.71307 (.03251)	1.93400	1.96056 (.02656)	1.95311 (.01911)
1979	1.76271	1.78498 (.02227)	1.82203 (.05932)	2.07400	2.09093 (.01693)	2.07202 (-.00198)
1980	1.95677	2.00882 (.05205)	2.02927 (.07250)	2.26500	2.31396 (.04896)	2.27345 (.00845)
1981	2.01919	2.10673 (.08754)	2.09967 (.08048)	2.32500	2.39686 (.07186)	2.35357 (.02857)
1982	2.06873	2.13239 (.06366)	2.12815 (.05942)	2.33400	2.38754 (.05354)	2.37483 (.04083)
1983	2.03605	2.10647 (.07042)	2.10565 (.06961)	2.32000	2.38639 (.06639)	2.39613 (.07613)
1984	2.02619	2.11291 (.08672)	2.10025 (.07406)	2.33700	2.41946 (.08246)	2.43664 (.09964)
1985	2.03237	2.07890 (.04653)	2.05632 (.02395)	2.34000	2.38384 (.04384)	2.44865 (.10865)
相関係数		.99820	.99716		.99847	.99768
Theil's U		.01533	.01675		.01463	.01596

OBSは観測値、TOTALは、トータル・テストの結果、FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-33: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	μ <sub>1P</sub>			μ <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.85170	.85455 (.00285)	.85455 (.00285)	.82267	.83492 (.01225)	.83492 (.01225)
1962	.85571	.88818 (.03247)	.90633 (.05062)	.80987	.82821 (.01834)	.82650 (.01663)
1963	.85571	.89619 (.04048)	.90912 (.05341)	.84095	.86295 (.02200)	.86743 (.02648)
1964	.86172	.87362 (.01190)	.88333 (.02161)	.85923	.86802 (.00879)	.87176 (.01253)
1965	.85371	.90642 (.05271)	.91244 (.05873)	.86837	.88793 (.01956)	.89396 (.02559)
1966	.88778	.90559 (.01781)	.90369 (.01591)	.89214	.89307 (.00093)	.90716 (.01502)
1967	.92385	.89963 (-.02422)	.89079 (-.03306)	.91773	.89772 (-.02001)	.90715 (-.01058)
1968	.94389	.91098 (-.03291)	.89669 (-.04720)	.93601	.91011 (-.02590)	.90188 (-.03413)
1969	.96593	.89579 (-.07014)	.88901 (-.07692)	.98172	.92768 (-.05404)	.91579 (-.06593)
1970	1.00000	.92778 (-.07222)	.92418 (-.07582)	1.00000	.95029 (-.04971)	.93085 (-.06915)
1971	1.01600	.98434 (-.03166)	.97189 (-.04411)	.98700	.96231 (-.02469)	.94467 (-.04233)
1972	1.04700	1.00832 (-.03868)	.99549 (-.05151)	1.01500	.97843 (-.03657)	.97168 (-.04332)
1973	1.20900	1.13808 (-.07092)	1.12460 (-.08440)	1.19600	1.14019 (-.05581)	1.13945 (-.05655)
1974	1.51700	1.55983 (.04283)	1.50923 (-.00777)	1.39900	1.44401 (.04501)	1.44170 (.04270)
1975	1.57300	1.60001 (.02701)	1.57258 (-.00042)	1.41100	1.44612 (.03512)	1.50719 (.09619)
1976	1.65000	1.67643 (.02643)	1.66780 (.01780)	1.48600	1.51509 (.02909)	1.53604 (.05004)
1977	1.70900	1.73908 (.03008)	1.73112 (.02212)	1.47500	1.50116 (.02616)	1.50997 (.03497)
1978	1.73600	1.75859 (.02259)	1.76024 (.02425)	1.45000	1.47427 (.02427)	1.49175 (.04175)
1979	1.86000	1.87507 (.01507)	1.87635 (.01635)	1.64500	1.66855 (.02355)	1.70912 (.06412)
1980	2.00200	2.04517 (.04317)	2.02649 (.02449)	1.82800	1.87863 (.05063)	1.91441 (.08641)
1981	2.00700	2.07029 (.06329)	2.04091 (.03391)	1.85000	1.91724 (.06724)	1.90200 (.05200)
1982	2.01800	2.06532 (.04732)	2.05232 (.03432)	1.86300	1.92295 (.05995)	1.89869 (.03569)
1983	2.00400	2.06318 (.05918)	2.06477 (.06077)	1.81200	1.90062 (.08862)	1.88639 (.07439)
1984	2.00100	2.07449 (.07349)	2.07260 (.07160)	1.80600	1.88994 (.08394)	1.86601 (.06001)
1985	1.99900	2.03848 (.03948)	2.05484 (.05585)	1.74400	1.79580 (.05180)	1.76905 (.02506)
相関係数		.99754	.99658		.99779	.99637
Theil's U		.01510	.01577		.01614	.01839

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-34: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NEX			NIM		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1794.7	1794.7 (.0)	1794.7 (.0)	-2408.4	-2540.8 (-132.4)	-2540.8 (-132.4)
1962	2070.3	2070.3 (.0)	2070.3 (.0)	-2412.0	-2724.3 (-312.3)	-2724.0 (-312.1)
1963	2269.6	2269.6 (.0)	2269.6 (.0)	-2900.9	-3031.6 (-130.6)	-3059.3 (-158.4)
1964	2801.5	2801.5 (.0)	2801.5 (.0)	-3409.7	-3449.0 (-39.3)	-3457.4 (-47.7)
1965	3705.9	3705.9 (.0)	3705.9 (.0)	-3505.2	-4007.9 (-502.8)	-4016.0 (-510.8)
1966	4031.2	4031.2 (.0)	4031.2 (.0)	-4101.7	-4421.6 (-319.8)	-4467.6 (-365.8)
1967	4310.8	4310.8 (.0)	4310.8 (.0)	-5035.7	-5090.9 (-55.2)	-5109.6 (-73.8)
1968	5347.5	5347.5 (.0)	5347.5 (.0)	-5634.5	-5811.8 (-177.3)	-5756.0 (-121.5)
1969	6558.1	6558.1 (.0)	6558.1 (.0)	-6570.3	-6483.2 (87.1)	-6422.5 (147.8)
1970	8545.0	8545.0 (.0)	8545.0 (.0)	-8223.5	-7684.0 (539.5)	-7594.8 (628.7)
1971	9452.4	9452.4 (.0)	9452.4 (.0)	-8337.2	-8459.1 (-121.9)	-8404.1 (-66.9)
1972	9779.3	9779.3 (.0)	9779.3 (.0)	-8769.5	-9075.2 (-305.7)	-9135.2 (-365.7)
1973	11291.3	11291.3 (.0)	11291.3 (.0)	-12391.6	-11668.9 (722.8)	-11756.9 (634.7)
1974	18257.7	18257.7 (.0)	18257.7 (.0)	-20930.3	-20025.4 (904.9)	-19942.1 (988.2)
1975	20076.7	20076.7 (.0)	20076.7 (.0)	-20645.6	-19662.2 (983.4)	-19772.2 (873.4)
1976	22582.0	22582.0 (.0)	22582.0 (.0)	-22448.6	-22618.7 (-170.1)	-22832.6 (-384.0)
1977	24307.6	24307.6 (.0)	24307.6 (.0)	-22468.9	-23858.8 (-1389.9)	-23874.9 (-1406.0)
1978	24054.6	24054.6 (.0)	24054.6 (.0)	-20745.1	-21548.5 (-803.4)	-21613.3 (-868.2)
1979	26746.4	26746.4 (.0)	26746.4 (.0)	-29244.9	-25823.2 (3421.8)	-25823.4 (3421.6)
1980	34543.4	34543.4 (.0)	34543.4 (.0)	-38371.8	-34547.3 (3824.5)	-34184.2 (4187.6)
1981	39804.6	39804.6 (.0)	39804.6 (.0)	-38181.7	-33548.6 (4633.1)	-33345.4 (4836.2)
1982	40499.5	40499.5 (.0)	40499.5 (.0)	-39758.4	-34723.6 (5034.8)	-34627.9 (5130.5)
1983	40604.8	40604.8 (.0)	40604.8 (.0)	-36699.6	-33453.7 (3245.9)	-33177.7 (3521.9)
1984	46526.5	46526.5 (.0)	46526.5 (.0)	-39190.0	-35671.9 (3518.1)	-35265.9 (3924.1)
1985	47544.7	47544.7 (.0)	47544.7 (.0)	-37618.2	-34306.3 (3311.8)	-34121.9 (3496.3)
相関係数		1.00000	1.00000		.99678	.99638
Theil's U		.00000	.00000		.04946	.05218

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 35: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTEX <sub>1</sub>			NTEX <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-125.9	-138.3 (-12.4)	-138.3 (-12.4)	3.6	3.6 (.0)	3.6 (.0)
1962	-103.2	-134.0 (-30.8)	-121.3 (-18.1)	2.8	2.8 (.0)	2.8 (.0)
1963	-162.8	-163.7 (-.9)	-154.0 (8.9)	1.8	1.8 (.0)	1.8 (.0)
1964	-184.7	-178.8 (5.9)	-175.7 (9.1)	1.3	1.3 (.0)	1.3 (.0)
1965	-183.2	-204.5 (-21.2)	-204.3 (-21.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1966	-239.0	-228.9 (10.0)	-234.3 (4.6)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1967	-278.1	-290.4 (-12.3)	-294.9 (-16.8)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1968	-289.2	-313.1 (-23.9)	-314.8 (-25.6)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1969	-265.8	-297.5 (-31.7)	-298.0 (-32.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1970	-347.6	-315.3 (32.2)	-313.1 (34.5)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1971	-309.6	-318.0 (-8.4)	-323.3 (-13.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1972	-338.6	-394.3 (-55.7)	-422.7 (-84.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1973	-520.4	-482.0 (38.3)	-523.4 (-3.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1974	-687.9	-620.1 (67.8)	-674.9 (13.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1975	-727.8	-726.5 (1.2)	-777.2 (-49.4)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1976	-773.8	-791.9 (-18.1)	-829.8 (-56.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1977	-774.2	-861.5 (-87.3)	-879.7 (-105.5)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1978	-727.4	-911.1 (-183.7)	-911.1 (-183.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1979	-889.5	-920.9 (-31.5)	-901.7 (-12.3)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1980	-860.5	-938.5 (-78.1)	-906.8 (-46.4)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1981	-888.4	-957.3 (-68.8)	-932.2 (-43.8)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1982	-974.5	-979.4 (-4.9)	-969.6 (5.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1983	-939.0	-1000.4 (-61.4)	-976.2 (-37.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1984	-1104.4	-1066.8 (37.6)	-1039.8 (64.6)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1985	-1369.1	-1050.9 (318.2)	-1033.2 (335.9)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
相関係数		.97172	.97025		1.00000	1.00000
Theil's U		.06284	.06481		.00000	.00000

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-36: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	368.9	254.0 (-114.9)	254.0 (-114.9)	-233.6	-147.2 (86.4)	-147.2 (86.4)
1962	435.6	254.8 (-180.8)	251.0 (-184.6)	-3.6	-39.2 (-35.7)	-39.6 (-36.0)
1963	308.8	302.3 (-6.5)	286.7 (-22.1)	28.0	-22.4 (-50.3)	-25.8 (-53.8)
1964	335.5	336.1 (.6)	326.2 (-9.3)	8.8	34.0 (25.2)	37.3 (28.6)
1965	380.0	138.6 (-241.4)	136.8 (-243.2)	276.0	230.2 (-45.8)	228.5 (-47.6)
1966	450.1	269.5 (-180.5)	244.4 (-205.6)	311.7	288.6 (-23.1)	280.0 (-31.7)
1967	299.4	126.1 (-173.3)	105.8 (-193.6)	-91.2	80.0 (171.2)	74.6 (165.8)
1968	392.2	123.9 (-268.4)	163.2 (-229.0)	125.8	245.4 (119.6)	243.4 (117.6)
1969	295.0	154.9 (-140.1)	194.3 (-100.7)	240.5	409.7 (169.2)	412.1 (171.5)
1970	172.5	96.3 (-76.3)	152.3 (-20.2)	222.6	512.7 (290.1)	519.1 (296.5)
1971	205.0	51.2 (-153.8)	77.8 (-127.3)	938.6	838.2 (-100.4)	851.3 (-87.3)
1972	-155.9	-185.5 (-29.6) <sup>*</sup>	-191.6 (-35.7)	874.7	647.0 (-227.7)	636.6 (-238.1)
1973	-1050.6	-499.0 (551.6)	-518.4 (532.1)	679.1	626.4 (-52.8)	617.8 (-61.3)
1974	-1301.8	-1087.0 (214.8)	-899.0 (402.8)	2061.4	2525.5 (464.0)	2536.1 (474.6)
1975	-1266.9	-1112.6 (154.3)	-1112.4 (154.5)	2668.1	2808.0 (139.9)	2837.8 (169.7)
1976	-1189.2	-1552.5 (-363.3)	-1741.7 (-552.5)	2344.7	2434.1 (89.4)	2465.0 (120.4)
1977	-1027.6	-1996.2 (-968.5)	-2043.1 (-1015.5)	2309.9	2273.7 (-36.3)	2304.6 (-5.4)
1978	-1806.0	-2345.9 (-539.9)	-2417.3 (-611.3)	1755.3	1671.1 (-84.2)	1658.7 (-96.7)
1979	-3078.4	-1686.9 (1391.5)	-1680.8 (1397.7)	688.2	2051.6 (1363.4)	1984.6 (1296.5)
1980	-2592.4	-1859.9 (732.5)	-1770.5 (821.9)	1037.8	2842.2 (1804.3)	2842.3 (1804.4)
1981	-2276.1	-1942.5 (333.6)	-2012.6 (263.5)	83.4	2922.8 (2839.3)	2972.6 (2889.1)
1982	-2785.0	-1769.5 (1015.5)	-1820.3 (964.8)	1037.9	3512.6 (2474.7)	3497.3 (2459.4)
1983	-2347.1	-2426.3 (-79.1)	-2414.5 (-67.4)	192.3	2511.7 (2319.4)	2526.5 (2334.2)
1984	-2626.3	-2754.1 (-127.8)	-2615.2 (11.0)	-240.5	2511.8 (2752.3)	2509.6 (2750.1)
1985	-2459.1	-2858.5 (-399.5)	-2832.1 (-373.1)	151.2	2635.4 (2484.2)	2659.3 (2508.2)
相関係数		.92342	.91765		.51966	.52148
Theil's U		.16358	.16910		.42621	.42660

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-37: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	194.4	210.7 ( 16.3)	210.7 ( 16.3)	65.9	23.3 ( -42.6)	23.3 ( -42.6)
1962	204.0	240.4 ( 36.4)	238.0 ( 34.0)	43.2	3.4 ( -39.9)	3.4 ( -39.8)
1963	277.8	314.3 ( 36.5)	306.6 ( 28.8)	25.1	-12.5 ( -37.6)	-12.9 ( -38.1)
1964	462.8	489.1 ( 26.3)	486.6 ( 23.9)	54.8	16.2 ( -38.6)	16.5 ( -38.4)
1965	768.2	690.0 ( -78.2)	680.0 ( -88.3)	339.1	304.7 ( -34.3)	305.8 ( -33.3)
1966	1037.7	985.9 ( -51.8)	974.6 ( -63.1)	28.9	8.4 ( -20.5)	8.6 ( -20.2)
1967	1088.3	1071.3 ( -17.0)	1065.3 ( -23.0)	141.5	144.5 ( 3.0)	145.6 ( 4.0)
1968	1409.4	1415.3 ( 5.9)	1422.7 ( 13.3)	185.7	205.6 ( 19.9)	206.7 ( 21.0)
1969	1835.8	1874.9 ( 39.1)	1884.7 ( 48.9)	239.3	271.5 ( 32.2)	271.7 ( 32.4)
1970	2201.2	2392.9 ( 191.8)	2410.5 ( 209.3)	791.3	849.0 ( 57.7)	849.3 ( 57.9)
1971	3041.6	3172.5 ( 130.9)	3185.4 ( 143.8)	364.8	365.8 ( 1.0)	364.6 ( -.2)
1972	3624.9	3626.3 ( 1.4)	3625.1 ( .2)	295.0	237.2 ( -57.9)	232.2 ( -62.8)
1973	4230.3	4201.5 ( -28.7)	4194.5 ( -35.8)	328.6	338.6 ( 10.1)	334.7 ( 6.1)
1974	6198.0	6308.9 ( 110.9)	6332.5 ( 134.4)	586.8	813.1 ( 226.3)	810.3 ( 223.5)
1975	7032.6	7167.5 ( 134.8)	7201.3 ( 168.7)	1201.6	1698.1 ( 496.5)	1693.9 ( 492.3)
1976	9367.4	9487.9 ( 120.5)	9488.8 ( 121.4)	654.5	988.5 ( 334.0)	988.6 ( 334.2)
1977	11190.1	11136.0 ( -54.1)	11134.7 ( -55.5)	404.5	528.7 ( 124.2)	530.9 ( 126.4)
1978	10932.9	10824.6 ( -108.4)	10819.0 ( -114.0)	998.1	1058.9 ( 60.8)	1058.8 ( 60.7)
1979	11035.8	11290.6 ( 254.8)	11265.3 ( 229.5)	1068.7	1413.4 ( 344.6)	1413.1 ( 344.4)
1980	14954.0	15370.7 ( 416.7)	15383.7 ( 429.7)	1878.0	2412.4 ( 534.4)	2425.0 ( 547.0)
1981	18536.5	19073.7 ( 537.2)	19114.1 ( 577.6)	1585.3	2399.0 ( 813.7)	2417.4 ( 832.1)
1982	18948.6	19389.5 ( 441.0)	19448.2 ( 499.6)	2154.2	2711.5 ( 557.2)	2716.4 ( 562.1)
1983	19930.8	20366.3 ( 435.5)	20437.5 ( 506.7)	2056.1	2150.8 ( 94.7)	2163.7 ( 107.6)
1984	24042.7	24580.7 ( 537.9)	24675.5 ( 632.8)	2368.4	2363.9 ( -4.5)	2375.2 ( 6.7)
1985	24737.5	25328.6 ( 591.1)	25424.3 ( 686.8)	2230.1	2101.6 ( -128.5)	2106.1 ( -124.1)
相関係数		.99991	.99989		.97344	.97343
Theil's U		.01150	.01287		.11211	.11330

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-38: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	55.5	-1.7 (-57.2)	-1.7 (-57.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1962	38.8	-14.4 (-53.2)	-20.8 (-59.5)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1963	30.9	-26.9 (-57.8)	-36.0 (-66.9)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1964	35.1	-18.0 (-53.1)	-24.4 (-59.6)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1965	91.7	34.0 (-57.7)	29.0 (-62.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1966	53.6	-5.1 (-58.8)	-8.5 (-62.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1967	103.1	47.5 (-55.6)	51.9 (-51.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1968	141.0	75.4 (-65.6)	84.7 (-56.3)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1969	169.4	126.3 (-43.1)	140.7 (-28.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1970	280.4	263.3 (-17.1)	281.5 (1.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1971	230.6	192.1 (-38.5)	221.2 (-9.4)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1972	152.5	137.0 (-15.6)	164.3 (11.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1973	100.2	172.4 (72.2)	203.5 (103.3)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1974	429.5	496.3 (66.8)	534.8 (105.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1975	440.1	668.5 (228.4)	673.9 (233.8)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1976	888.4	678.3 (-210.1)	678.9 (-209.5)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1977	869.9	597.8 (-272.1)	589.9 (-280.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1978	479.7	611.9 (132.3)	606.8 (127.1)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1979	612.2	944.4 (332.3)	937.1 (325.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1980	186.6	1057.6 (871.0)	1071.9 (885.4)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1981	949.8	1852.2 (902.4)	1856.3 (906.5)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1982	315.3	1467.5 (1152.2)	1438.3 (1123.0)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1983	374.9	1442.8 (1067.9)	1418.2 (1043.3)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1984	740.7	1773.8 (1033.1)	1754.4 (1013.7)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
1985	1356.4	2223.2 (866.8)	2166.5 (810.2)	.0	.0 (.0)	.0 (.0)
相関係数		.79456	.79415		-.999.00000	-.999.00000
Theil's U		.35716	.35315		-.999.00000	-.999.00000

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-39: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTEX <sub>0</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	-942.5	-950.6 ( -8.0)	-950.6 ( -8.0)	-14.9	-15.2 ( -.3)	-15.2 ( -.3)
1962	-959.4	-967.8 ( -8.4)	-967.3 ( -7.9)	-14.6	-14.8 ( -.2)	-14.1 ( .5)
1963	-1140.9	-1155.0 ( -14.1)	-1156.2 ( -15.2)	-17.6	-17.9 ( -.3)	-17.3 ( .2)
1964	-1321.8	-1327.4 ( -5.7)	-1323.7 ( -1.9)	-21.1	-21.3 ( -.2)	-21.1 ( .0)
1965	-1471.1	-1495.2 ( -24.2)	-1485.8 ( -14.7)	-24.7	-25.1 ( -.4)	-25.0 ( -.3)
1966	-1713.6	-1708.8 ( 4.7)	-1701.1 ( 12.5)	-47.1	-46.7 ( .4)	-47.4 ( -.3)
1967	-1988.0	-1959.1 ( 28.8)	-1947.1 ( 40.8)	-71.7	-69.4 ( 2.3)	-70.1 ( 1.6)
1968	-2252.0	-2216.8 ( 35.2)	-2214.5 ( 37.5)	-110.4	-107.5 ( 2.9)	-107.8 ( 2.6)
1969	-2526.5	-2465.0 ( 61.5)	-2469.9 ( 56.6)	-129.3	-124.6 ( 4.8)	-124.7 ( 4.7)
1970	-2998.9	-2937.9 ( 61.0)	-2949.5 ( 49.5)	-162.8	-159.2 ( 3.7)	-158.4 ( 4.4)
1971	-3355.9	-3308.5 ( 47.4)	-3328.7 ( 27.1)	-147.2	-145.7 ( 1.6)	-147.3 ( .0)
1972	-3442.9	-3363.7 ( 79.3)	-3399.8 ( 43.1)	-148.8	-144.2 ( 4.6)	-151.7 ( -2.9)
1973	-4867.5	-4735.4 ( 132.1)	-4774.2 ( 93.3)	-147.0	-142.7 ( 4.4)	-151.3 ( -4.3)
1974	-9958.7	-10204.3 ( -245.6)	-10324.1 ( -365.4)	-240.6	-251.5 ( -10.9)	-267.2 ( -26.6)
1975	-9916.7	-10088.5 ( -171.8)	-10212.7 ( -296.0)	-228.9	-237.7 ( -8.8)	-250.2 ( -21.3)
1976	-11158.6	-11281.1 ( -122.4)	-11300.5 ( -141.9)	-238.5	-245.4 ( -6.9)	-254.2 ( -15.7)
1977	-11134.0	-11229.7 ( -95.8)	-11204.5 ( -70.5)	-280.8	-286.0 ( -5.2)	-290.6 ( -9.7)
1978	-8323.1	-8403.3 ( -80.2)	-8373.5 ( -50.3)	-300.2	-305.5 ( -5.4)	-305.6 ( -5.5)
1979	-11935.5	-12168.9 ( -233.4)	-12094.6 ( -159.2)	-311.7	-323.2 ( -11.5)	-318.3 ( -6.6)
1980	-18431.9	-18888.3 ( -456.4)	-18686.3 ( -254.4)	-456.2	-481.0 ( -24.8)	-468.3 ( -12.1)
1981	-16367.6	-17092.0 ( -724.4)	-16956.5 ( -588.9)	-633.7	-690.3 ( -56.6)	-675.7 ( -42.1)
1982	-17955.4	-18556.2 ( -600.8)	-18438.7 ( -483.3)	-509.7	-548.4 ( -38.6)	-544.1 ( -34.4)
1983	-15362.8	-15893.8 ( -531.1)	-15728.0 ( -365.2)	-487.7	-519.7 ( -32.0)	-509.8 ( -22.2)
1984	-15844.2	-16554.8 ( -710.6)	-16399.0 ( -554.8)	-493.5	-541.2 ( -47.6)	-530.7 ( -37.1)
1985	-14720.6	-15141.1 ( -420.5)	-15068.2 ( -347.6)	-246.8	-269.8 ( -23.0)	-266.5 ( -19.7)
相関係数		.99984	.99987		.99924	.99926
Theil's U		.01525	.01244		.03392	.02901

OBS は観測値, TOTAL は, トータル・テストの結果, FINAL はファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-40: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	5.7	5.6 (-.0)	5.6 (-.0)	299.1	303.2 (4.2)	303.2 (4.2)
1962	6.2	6.6 (.4)	6.8 (.6)	300.3	304.4 (4.1)	305.4 (5.1)
1963	6.2	6.7 (.6)	6.8 (.6)	315.5	324.5 (9.0)	328.7 (13.2)
1964	7.9	8.1 (.2)	8.0 (.1)	354.8	357.8 (3.1)	360.2 (5.5)
1965	7.8	9.0 (1.3)	8.9 (1.2)	336.0	339.3 (3.4)	338.5 (2.6)
1966	7.7	8.2 (.5)	8.0 (.3)	356.2	345.7 (-10.5)	349.5 (-6.7)
1967	9.5	9.0 (-.5)	8.7 (-.7)	415.8	391.2 (-24.7)	393.1 (-22.7)
1968	10.0	9.3 (-.7)	9.2 (-.9)	420.3	397.8 (-22.5)	391.1 (-29.2)
1969	11.6	9.8 (-1.8)	9.8 (-1.8)	469.2	439.3 (-29.8)	433.5 (-35.6)
1970	13.7	11.3 (-2.4)	11.5 (-2.1)	536.1	506.8 (-29.3)	498.2 (-37.9)
1971	5.3	4.9 (-.4)	4.9 (-.4)	557.9	544.9 (-12.9)	541.9 (-16.0)
1972	-2.0	-1.8 (.2)	-1.8 (.2)	552.2	531.6 (-20.6)	535.8 (-16.5)
1973	-6.3	-5.5 (.8)	-5.5 (.8)	627.9	605.2 (-22.7)	609.6 (-18.3)
1974	-34.8	-37.1 (-2.2)	-36.7 (-1.8)	370.9	402.6 (31.6)	392.1 (21.2)
1975	-38.6	-40.1 (-1.5)	-40.4 (-1.8)	403.7	432.8 (29.1)	433.5 (29.8)
1976	-29.7	-31.0 (-1.3)	-30.8 (-1.1)	649.9	684.6 (34.8)	698.8 (49.0)
1977	-22.1	-23.3 (-1.3)	-22.9 (-.8)	944.5	978.9 (34.4)	983.0 (38.5)
1978	-99.1	-102.9 (-3.9)	-101.3 (-2.2)	1019.8	1077.4 (57.6)	1086.2 (66.4)
1979	-108.4	-108.8 (-.4)	-106.3 (2.1)	1045.7	1151.8 (106.2)	1152.8 (107.2)
1980	-57.2	-59.2 (-2.1)	-57.2 (.0)	1391.1	1573.9 (182.8)	1554.8 (163.7)
1981	-197.0	-206.4 (-9.4)	-200.9 (-3.8)	1388.7	1621.4 (232.7)	1620.4 (231.7)
1982	-52.8	-54.6 (-1.9)	-53.4 (-.6)	1831.7	2122.7 (291.0)	2130.9 (299.1)
1983	-52.0	-55.0 (-3.1)	-53.9 (-2.0)	1834.6	2076.8 (242.2)	2069.7 (235.2)
1984	-45.3	-48.6 (-3.3)	-47.7 (-2.4)	1983.0	2305.9 (323.0)	2279.0 (296.0)
1985	-82.7	-84.8 (-2.2)	-85.1 (-2.4)	2744.8	3092.4 (347.6)	3087.8 (343.0)
相関係数		.99970	.99971		.99881	.99886
Theil's U		.02148	.01344		.06140	.06004

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-41: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTX <sub>t</sub>			NTX <sub>s</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	137.6	145.0 ( 7.4)	145.0 ( 7.4)	68.7	69.0 ( .3)	69.0 ( .3)
1962	158.6	165.1 ( 6.6)	165.3 ( 6.7)	72.6	79.5 ( 6.8)	80.0 ( 7.4)
1963	180.0	189.5 ( 9.5)	190.6 ( 10.6)	87.0	97.4 ( 10.4)	99.3 ( 12.3)
1964	215.1	220.8 ( 5.6)	219.8 ( 4.7)	94.5	97.6 ( 3.1)	98.0 ( 3.5)
1965	243.4	267.3 ( 23.9)	268.1 ( 24.7)	94.7	109.6 ( 14.9)	111.9 ( 17.2)
1966	270.0	276.0 ( 6.0)	279.0 ( 9.0)	89.6	94.0 ( 4.4)	96.2 ( 6.5)
1967	295.2	290.7 ( -4.5)	292.3 ( -2.9)	121.6	114.7 ( -6.9)	115.9 ( -5.7)
1968	324.7	314.1 ( -10.7)	314.6 ( -10.1)	163.1	152.1 ( -11.0)	150.5 ( -12.6)
1969	366.1	337.5 ( -28.6)	336.9 ( -29.2)	205.9	179.8 ( -26.2)	177.6 ( -28.4)
1970	416.9	389.0 ( -27.9)	387.3 ( -29.6)	245.0	218.7 ( -26.4)	214.8 ( -30.2)
1971	487.9	459.8 ( -28.1)	455.9 ( -32.0)	267.6	253.6 ( -13.9)	250.6 ( -17.0)
1972	519.5	472.7 ( -46.8)	475.0 ( -44.4)	304.4	283.6 ( -20.8)	284.0 ( -20.4)
1973	569.4	503.4 ( -65.9)	504.9 ( -64.4)	360.7	321.3 ( -39.4)	323.1 ( -37.6)
1974	677.9	723.9 ( 45.9)	719.6 ( 41.7)	388.7	407.0 ( 18.3)	401.2 ( 12.5)
1975	771.9	797.8 ( 25.9)	787.7 ( 15.8)	424.9	438.0 ( 13.1)	427.5 ( 2.6)
1976	915.4	935.0 ( 19.6)	926.1 ( 10.7)	474.7	486.9 ( 12.2)	486.5 ( 11.7)
1977	1093.8	1114.1 ( 20.3)	1105.2 ( 11.4)	539.4	554.4 ( 15.0)	555.7 ( 16.3)
1978	1183.6	1191.9 ( 8.4)	1197.0 ( 13.5)	564.8	574.4 ( 9.6)	577.3 ( 12.5)
1979	1565.2	1630.9 ( 65.7)	1658.1 ( 93.0)	677.5	676.7 ( -.8)	686.5 ( 9.0)
1980	1771.4	1896.2 ( 124.8)	1901.6 ( 130.2)	710.8	728.2 ( 17.4)	727.7 ( 16.9)
1981	1824.0	2090.2 ( 266.2)	2074.9 ( 250.9)	712.9	739.1 ( 26.2)	727.9 ( 15.0)
1982	1850.1	2035.1 ( 185.0)	2045.6 ( 195.5)	824.2	843.0 ( 18.8)	824.5 ( .2)
1983	1794.8	1996.6 ( 201.8)	1996.6 ( 201.8)	880.9	916.8 ( 35.8)	896.7 ( 15.8)
1984	1873.3	2147.8 ( 274.5)	2154.3 ( 281.0)	969.3	1018.7 ( 49.4)	990.5 ( 21.2)
1985	1933.1	2104.3 ( 171.1)	2098.2 ( 165.0)	1077.3	1095.2 ( 17.9)	1062.5 ( -14.7)
相関係数		.99769	.99780		.99871	.99868
Theil's U		.04758	.04774		.01960	.01593

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-42: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	69.3	69.0 (-.3)	69.0 (-.3)	117.6	118.6 (1.0)	118.6 (1.0)
1962	74.2	74.7 (.5)	74.7 (.5)	129.1	132.5 (3.3)	138.2 (9.1)
1963	76.9	77.2 (.3)	77.4 (.5)	146.8	148.5 (1.7)	156.6 (9.8)
1964	80.7	80.1 (-.6)	80.0 (-.7)	169.9	169.1 (-.8)	174.8 (4.8)
1965	86.1	87.6 (1.6)	87.2 (1.1)	191.4	197.3 (5.8)	201.7 (10.3)
1966	96.9	96.6 (-.4)	96.4 (-.5)	200.7	199.3 (-1.4)	202.0 (1.3)
1967	108.1	106.1 (-2.0)	105.6 (-2.5)	221.7	214.2 (-7.5)	211.0 (-10.8)
1968	117.5	116.1 (-1.4)	115.7 (-1.8)	232.7	227.0 (-5.7)	220.9 (-11.8)
1969	131.5	128.4 (-3.0)	128.4 (-3.1)	272.5	260.8 (-11.7)	251.4 (-21.0)
1970	154.5	152.0 (-2.5)	151.9 (-2.6)	322.1	310.4 (-11.7)	298.5 (-23.6)
1971	132.2	131.2 (-1.0)	131.6 (-.6)	396.7	392.7 (-3.9)	371.9 (-24.7)
1972	101.6	99.2 (-2.4)	100.2 (-1.4)	468.9	457.7 (-11.1)	438.2 (-30.7)
1973	89.0	85.9 (-3.1)	86.4 (-2.6)	590.5	563.1 (-27.4)	539.8 (-50.7)
1974	1.8	1.9 (.1)	1.9 (.1)	513.7	523.7 (10.0)	503.1 (-10.7)
1975	9.8	10.2 (.3)	10.2 (.4)	554.4	562.6 (8.1)	559.8 (5.3)
1976	15.9	16.2 (.4)	16.2 (.4)	591.3	593.5 (2.3)	593.3 (2.0)
1977	-10.5	-10.7 (-.2)	-10.7 (-.2)	666.4	670.7 (4.2)	674.5 (8.1)
1978	-74.6	-75.6 (-1.0)	-75.6 (-1.0)	825.9	831.4 (5.5)	834.1 (8.2)
1979	-27.3	-27.6 (-.2)	-27.6 (-.2)	1181.9	1169.3 (-12.7)	1174.3 (-7.6)
1980	-79.1	-81.1 (-1.9)	-80.5 (-1.4)	733.0	735.9 (2.9)	730.5 (-2.5)
1981	167.7	176.2 (8.5)	174.6 (6.9)	1559.3	1600.4 (41.1)	1598.1 (38.8)
1982	-6.3	-6.5 (-.2)	-6.4 (-.2)	1210.3	1220.8 (10.5)	1237.4 (27.1)
1983	-27.7	-28.4 (-.7)	-28.2 (-.6)	1206.1	1218.2 (12.1)	1231.5 (25.5)
1984	129.6	134.0 (4.4)	133.3 (3.7)	1557.8	1590.7 (32.9)	1603.6 (45.7)
1985	203.8	208.0 (4.2)	207.6 (3.8)	1695.9	1706.6 (10.7)	1744.6 (48.7)
相関係数		.99950	.99961		.99975	.99937
Theil's U		.01265	.01095		.00871	.01445

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-43: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	NTX <sub>a</sub>			PC <sub>1</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.53720	.54100 (.00380)	.54100 (.00380)
1962	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.59940	.60281 (.00341)	.57107 (-.02833)
1963	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.64140	.64585 (.00445)	.62000 (-.02140)
1964	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.67560	.67784 (.00224)	.66958 (-.00602)
1965	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.72260	.72810 (.00550)	.73093 (.00833)
1966	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.80000	.79871 (-.00129)	.81191 (.01191)
1967	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.87250	.86712 (-.00538)	.88120 (.00870)
1968	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.89990	.89583 (-.00407)	.90304 (.00314)
1969	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.96910	.96372 (-.00538)	.96504 (-.00406)
1970	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.00000	.99436 (-.00564)	.99127 (-.00873)
1971	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	.99720	.99407 (-.00313)	1.00403 (.00683)
1972	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.03510	1.02854 (-.00656)	1.07559 (.04049)
1973	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.28310	1.27067 (-.01243)	1.34757 (.06447)
1974	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.53010	1.55137 (.02127)	1.65483 (.12473)
1975	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.65900	1.67759 (.01859)	1.77015 (.11115)
1976	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.79240	1.81089 (.01849)	1.88520 (.09280)
1977	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.91320	1.92711 (.01391)	1.96301 (.04981)
1978	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.93637	1.95192 (.01555)	1.94911 (-.01274)
1979	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	1.97164	2.00133 (.02969)	1.96269 (-.00895)
1980	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.14180	2.18809 (.04629)	2.14137 (-.00043)
1981	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.20289	2.27503 (.07214)	2.25274 (.04986)
1982	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.16189	2.22183 (.05994)	2.20501 (.04312)
1983	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.18594	2.24537 (.05943)	2.20917 (.02323)
1984	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.16832	2.24797 (.07965)	2.20574 (.03742)
1985	.0	.0 (.0)	.0 (.0)	2.17042	2.23903 (.06861)	2.20541 (.03500)
相関係数		-.999.00000	-.999.00000		.99970	.99846
Theil's U		-.999.00000	-.999.00000		.01098	.01517

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-44: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.64590	.64680 (.00090)	.64680 (.00090)	.78820	.79656 (.00836)	.79656 (.00836)
1962	.67330	.69332 (.02002)	.71406 (.04076)	.80212	.81028 (.00816)	.81262 (.01050)
1963	.70210	.73062 (.02852)	.73533 (.03323)	.83462	.85011 (.01549)	.85912 (.02451)
1964	.73710	.74573 (.00863)	.74962 (.01252)	.84205	.84719 (.00515)	.85265 (.01060)
1965	.76220	.80459 (.04239)	.79523 (.03303)	.86621	.87399 (.00778)	.87661 (.01040)
1966	.81560	.83234 (.01674)	.80923 (-.00637)	.88363	.86961 (-.01403)	.88147 (-.00217)
1967	.86660	.84656 (-.02004)	.82245 (-.04415)	.90307	.87274 (-.03033)	.88295 (-.02013)
1968	.89020	.85896 (-.03124)	.84473 (-.04547)	.92509	.89756 (-.02753)	.88403 (-.04106)
1969	.94440	.87048 (-.07392)	.87276 (-.07164)	.94600	.91131 (-.03469)	.89761 (-.04839)
1970	1.00000	.91296 (-.08704)	.92882 (-.07118)	1.00000	.96828 (-.03172)	.95043 (-.04957)
1971	1.02800	.99071 (-.03729)	.98909 (-.03891)	1.00405	.99061 (-.01344)	.98205 (-.02200)
1972	1.08330	1.04071 (-.04259)	1.02980 (-.05350)	1.03253	1.01029 (-.02224)	1.00793 (-.02460)
1973	1.28960	1.20947 (-.08013)	1.19435 (-.09525)	1.28348	1.25559 (-.02788)	1.25817 (-.02531)
1974	1.64830	1.69759 (.04929)	1.64257 (-.00573)	1.53735	1.60542 (.06807)	1.55866 (.02131)
1975	1.72630	1.75643 (.03013)	1.74523 (.01893)	1.58050	1.63771 (.05720)	1.63597 (.05547)
1976	1.85060	1.88166 (.03106)	1.86721 (.01661)	1.70765	1.75585 (.04820)	1.79811 (.09046)
1977	1.94600	1.98410 (.03810)	1.95879 (.01279)	1.74114	1.77651 (.03536)	1.78712 (.04598)
1978	1.96462	1.99211 (.02749)	1.97748 (.01286)	1.77257	1.82472 (.05215)	1.83797 (.06540)
1979	2.12943	2.14623 (.01681)	2.11275 (-.01667)	1.85831	1.95137 (.09306)	1.94821 (.08991)
1980	2.39061	2.44104 (.05042)	2.38424 (-.00638)	2.05740	2.19336 (.13596)	2.18112 (.12372)
1981	2.39559	2.46801 (.07242)	2.41840 (.02281)	2.08774	2.26082 (.17308)	2.28554 (.19780)
1982	2.52800	2.58456 (.05655)	2.57316 (.04516)	2.12101	2.28679 (.16578)	2.29784 (.17683)
1983	2.52968	2.60061 (.07093)	2.61539 (.08571)	2.11046	2.25391 (.14345)	2.25601 (.14554)
1984	2.54988	2.63820 (.08832)	2.66535 (.11547)	2.14477	2.31924 (.17447)	2.29716 (.15239)
1985	2.58839	2.63564 (.04725)	2.72427 (.13588)	2.14982	2.28769 (.13787)	2.28222 (.13240)
相関係数		.99875	.99810		.99871	.99839
Theil's U		.01464	.01634		.02742	.02809

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-45: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.95568	.99205 (.03637)	.99205 (.03637)	.98300	.98770 (.00470)	.98770 (.00470)
1962	.91769	.94378 (.02609)	.94597 (.02828)	.96923	1.02239 (.05317)	1.03107 (.06184)
1963	.90839	.94154 (.03315)	.94734 (.03895)	.97063	1.03442 (.06379)	1.05728 (.08665)
1964	.91918	.93608 (.01690)	.93805 (.01887)	.96916	.98852 (.01936)	1.00610 (.03693)
1965	.92227	.98331 (.06104)	.99352 (.07125)	.97795	1.06189 (.08394)	1.09465 (.11670)
1966	.92490	.93914 (.01423)	.95556 (.03065)	.98594	1.01304 (.02710)	1.04663 (.06069)
1967	.94197	.93108 (-.01089)	.94198 (.00001)	.98510	.95024 (-.03486)	.96619 (-.01891)
1968	.91652	.89492 (-.02160)	.89639 (-.02013)	.97755	.93518 (-.04237)	.92173 (-.05582)
1969	.94550	.89127 (-.05423)	.88750 (-.05799)	.98329	.90072 (-.08257)	.88624 (-.09705)
1970	1.00000	.95004 (-.04996)	.94013 (-.05987)	1.00000	.93079 (-.06921)	.90517 (-.09483)
1971	.98069	.94069 (-.04001)	.92484 (-.05586)	1.00248	.97038 (-.03211)	.95061 (-.05187)
1972	.97812	.91522 (-.06290)	.90969 (-.06842)	1.01094	.96891 (-.04203)	.95954 (-.05139)
1973	1.10934	-1.01588 (-.09346)	1.00800 (-.10134)	1.07753	1.00667 (-.07086)	1.00044 (-.07709)
1974	1.55205	1.62523 (.07318)	1.59027 (.03822)	1.30231	1.33783 (.03552)	1.29134 (-.01097)
1975	1.60000	1.63650 (.03650)	1.59181 (-.00819)	1.32520	1.34654 (.02134)	1.28381 (-.04139)
1976	1.71494	1.74090 (.02596)	1.71871 (.00377)	1.32758	1.34509 (.01840)	1.34223 (.01464)
1977	1.75315	1.77587 (.02272)	1.76590 (.01275)	1.32042	1.33966 (.01924)	1.35425 (.03382)
1978	1.74561	1.75478 (.00917)	1.77382 (.02821)	1.49004	1.51321 (.01417)	1.53860 (.03955)
1979	1.89324	1.94913 (.05589)	2.00282 (.10957)	1.50768	1.51134 (.00365)	1.55941 (.05173)
1980	2.29973	2.41591 (.11619)	2.45287 (.15314)	1.56745	1.59513 (.02767)	1.62069 (.05324)
1981	2.33634	2.57123 (.23489)	2.57108 (.23474)	1.65029	1.69473 (.04444)	1.67428 (.02399)
1982	2.38394	2.54788 (.16394)	2.58260 (.19866)	1.69348	1.72294 (.02945)	1.69284 (-.00064)
1983	2.31777	2.49337 (.17559)	2.52426 (.20648)	1.69728	1.74188 (.04460)	1.72275 (.02547)
1984	2.28528	2.50837 (.22309)	2.54598 (.26070)	1.69936	1.75643 (.05707)	1.72095 (.02159)
1985	2.25850	2.39233 (.13383)	2.40120 (.14269)	1.70502	1.72781 (.02279)	1.67705 (-.02798)
相関係数		.99706	.99616		.99164	.98388
Theil's U		.03007	.03399		.01729	.02146

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-46: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PC7			PO1		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.70408	.70738 (.00331)	.70738 (.00331)	.55405	.56109 (.00705)	.56109 (.00705)
1962	.72392	.73230 (.00838)	.76558 (.04166)	.61467	.62046 (.00578)	.58981 (-.02487)
1963	.75134	.75655 (.00521)	.79702 (.04568)	.65603	.66237 (.00634)	.63747 (-.01856)
1964	.78139	.78092 (-.00047)	.80772 (.02633)	.68930	.69329 (.00399)	.68536 (-.00394)
1965	.81402	.82474 (.01072)	.84872 (.03470)	.73413	.74089 (.00676)	.74359 (.00946)
1966	.84974	.84824 (-.00150)	.86023 (.01049)	.80902	.80883 (-.00019)	.82140 (.01238)
1967	.88482	.87292 (-.01190)	.86211 (-.02271)	.87829	.87389 (-.00440)	.88725 (.00897)
1968	.91621	.90665 (-.00956)	.88538 (-.03083)	.90316	.89974 (-.00341)	.90656 (.00341)
1969	.94982	.93240 (-.01742)	.89769 (-.05213)	.96967	.96463 (-.00505)	.96587 (-.00380)
1970	1.00000	.98441 (-.01559)	.94553 (-.05447)	1.00000	.90468 (-.00532)	.99176 (-.00824)
1971	1.04090	1.03584 (-.00506)	.97485 (-.06605)	.99607	.99313 (-.00294)	1.00251 (.00645)
1972	1.08466	1.07452 (-.01014)	1.01445 (-.07021)	1.02912	1.02254 (-.00658)	1.06661 (.03749)
1973	1.22457	1.20614 (-.01843)	1.14562 (-.07895)	1.28760	1.27688 (-.01072)	1.35026 (.06266)
1974	1.53586	1.54876 (.01290)	1.48202 (-.05384)	1.53829	1.56217 (.02388)	1.66162 (.12332)
1975	1.66547	1.67538 (.00991)	1.66090 (-.00456)	1.65434	1.67840 (.02407)	1.76684 (.11251)
1976	1.78669	1.79372 (.00704)	1.79411 (.00742)	1.78556	1.81196 (.02640)	1.88311 (.09755)
1977	1.86151	1.86894 (.00744)	1.88315 (.02164)	1.89602	1.92003 (.02401)	1.95428 (.05826)
1978	2.06994	2.07884 (.00890)	2.08392 (.01398)	1.92213	1.94871 (.02658)	1.94602 (.02389)
1979	2.19710	2.20469 (.00759)	2.21102 (.01392)	1.97153	2.01417 (.04264)	1.97680 (.00527)
1980	2.33396	2.35321 (.01925)	2.35172 (.01776)	2.13569	2.19863 (.06294)	2.15344 (.01775)
1981	2.44181	2.47772 (.03590)	2.50151 (.05969)	2.19557	2.28525 (.08967)	2.26369 (.06812)
1982	2.46427	2.49022 (.02595)	2.52934 (.06507)	2.17015	2.24680 (.07664)	2.23040 (.06025)
1983	2.50454	2.53092 (.02638)	2.57192 (.06738)	2.18255	2.25935 (.07680)	2.22426 (.04171)
1984	2.55985	2.59553 (.03568)	2.62462 (.06476)	2.17041	2.26622 (.09580)	2.22518 (.05477)
1985	2.61066	2.63363 (.02297)	2.69373 (.08308)	2.17685	2.26128 (.08443)	2.22855 (.05170)
相関係数		.99990	.99847		.99962	.99873
Theil's U		.00496	.01420		.01386	.01645

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 47: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.64590	.64680 (.00090)	.64680 (.00090)	.79162	.80395 (.01234)	.80395 (.01234)
1962	.67330	.69332 (.02002)	.71406 (.04076)	.80465	.81588 (.01122)	.81805 (.01340)
1963	.70210	.73062 (.02852)	.73533 (.03323)	.84049	.85869 (.01820)	.86727 (.02678)
1964	.73710	.74573 (.00863)	.74962 (.01252)	.84687	.85509 (.00823)	.86026 (.01340)
1965	.76220	.80459 (.04239)	.79523 (.03303)	.86750	.87680 (.00929)	.87924 (.01174)
1966	.81560	.83234 (.01674)	.80923 (-.00637)	.88472	.87313 (-.01159)	.88425 (-.00046)
1967	.86660	.84656 (-.02004)	.82245 (-.04415)	.90338	.87585 (-.02752)	.88542 (-.01796)
1968	.89020	.85896 (-.03124)	.84473 (-.04547)	.92456	.89895 (-.02561)	.88628 (-.03828)
1969	.94440	.87048 (-.07392)	.87276 (-.07164)	.94613	.91368 (-.03245)	.90077 (-.04536)
1970	1.00000	.91296 (-.08704)	.92882 (-.07118)	1.00000	.96983 (-.03017)	.95287 (-.04713)
1971	1.02800	.99071 (-.03729)	.98909 (-.03891)	1.00462	.99191 (-.01271)	.98374 (-.02088)
1972	1.08330	1.04071 (-.04259)	1.02980 (-.05350)	1.03166	1.01043 (-.02123)	1.00819 (-.02347)
1973	1.28960	1.20947 (-.08013)	1.19435 (-.09525)	1.28407	1.26245 (-.02162)	1.26501 (-.01906)
1974	1.64830	1.69759 (.04929)	1.64257 (-.00573)	1.53430	1.62766 (.09336)	1.57935 (.04505)
1975	1.72630	1.75643 (.03013)	1.74523 (.01893)	1.58135	1.66733 (.08599)	1.66552 (.08417)
1976	1.85060	1.88166 (.03106)	1.86721 (.01661)	1.69637	1.78611 (.08974)	1.83041 (.13404)
1977	1.94600	1.98410 (.03810)	1.95879 (.01279)	1.72233	1.80089 (.07856)	1.81193 (.08960)
1978	1.96462	1.99211 (.02749)	1.97748 (.01286)	1.75932	1.86080 (.10148)	1.87477 (.11545)
1979	2.12943	2.14623 (.01681)	2.11275 (-.01667)	1.86642	2.02191 (.15549)	2.01845 (.15203)
1980	2.39061	2.44104 (.05042)	2.38424 (-.00638)	2.05973	2.29629 (.23657)	2.28257 (.22284)
1981	2.39559	2.46801 (.07242)	2.41840 (.02281)	2.09352	2.37722 (.28369)	2.40523 (.31171)
1982	2.52800	2.58456 (.05655)	2.57316 (.04516)	2.12923	2.41073 (.28149)	2.42332 (.29409)
1983	2.52968	2.60061 (.07093)	2.61539 (.08571)	2.10542	2.36052 (.25510)	2.36287 (.25745)
1984	2.54988	2.63820 (.08832)	2.66535 (.11547)	2.13789	2.43442 (.29653)	2.40955 (.27166)
1985	2.58839	2.63564 (.04725)	2.72427 (.13588)	2.13953	2.39565 (.25612)	2.38952 (.24998)
相関係数		.99875	.99810		.99773	.99744
Theil's U		.01464	.01634		.04584	.04637

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-48: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PO <sub>1</sub>			PO <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.95507	.98953 (.03445)	.98953 (.03445)	.97614	.98109 (.00496)	.98109 (.00496)
1962	.91803	.94275 (.02472)	.94481 (.02679)	.96474	1.01565 (.05091)	1.02392 (.05918)
1963	.90779	.93910 (.03131)	.94455 (.03676)	.96610	1.02714 (.06104)	1.04893 (.08283)
1964	.91980	.93583 (.01603)	.93769 (.01788)	.96704	.98535 (.01832)	1.00217 (.03513)
1965	.92510	.98267 (.05758)	.99228 (.06719)	.97492	1.05494 (.08002)	1.08619 (.11127)
1966	.92624	.93969 (.01345)	.95516 (.02892)	.98298	1.00872 (.02574)	1.04082 (.05784)
1967	.94348	.93321 (-.01027)	.94350 (.00003)	.98419	.95072 (-.03347)	.96604 (-.01815)
1968	.92038	.89972 (-.02066)	.90111 (-.01927)	.97840	.93778 (-.04062)	.92481 (-.05358)
1969	.94686	.89552 (-.05133)	.89196 (-.05490)	.98227	.90292 (-.07934)	.88899 (-.09327)
1970	1.00000	.95286 (-.04714)	.94349 (-.05651)	1.00000	.93341 (-.06659)	.90872 (-.09128)
1971	.98027	.94254 (-.03773)	.92757 (-.05270)	1.00064	.96997 (-.03067)	.95099 (-.04965)
1972	.97527	.91565 (-.05962)	.91045 (-.06483)	1.00644	.96636 (-.04008)	.95740 (-.04904)
1973	1.10532	1.01674 (-.08857)	1.00931 (-.09600)	1.07000	1.00216 (-.06784)	.99620 (-.07380)
1974	1.56746	1.63603 (.06857)	1.60285 (.03539)	1.29220	1.32665 (.03445)	1.28218 (-.01001)
1975	1.61748	1.65112 (.03365)	1.60861 (-.00887)	1.31411	1.33516 (.02105)	1.27514 (-.03897)
1976	1.72743	1.75084 (.02342)	1.72981 (.00238)	1.31750	1.33575 (.01825)	1.33215 (.01465)
1977	1.76015	1.78015 (.02000)	1.77073 (.01058)	1.30796	1.32681 (.01885)	1.34073 (.03277)
1978	1.74297	1.74947 (.00650)	1.76734 (.02438)	1.48941	1.50544 (.01603)	1.52985 (.04044)
1979	1.92200	1.97052 (.04852)	2.02162 (.09962)	1.49934	1.50547 (.00613)	1.55177 (.05243)
1980	2.35459	2.45627 (.10168)	2.49166 (.13707)	1.56767	1.59765 (.02998)	1.62246 (.05479)
1981	2.38480	2.60139 (.21658)	2.60125 (.21644)	1.66232	1.70949 (.04717)	1.68944 (.02712)
1982	2.42956	2.57929 (.14973)	2.61240 (.18284)	1.70691	1.73993 (.03302)	1.71036 (.00345)
1983	2.35719	2.51934 (.16216)	2.54874 (.19155)	1.70680	1.75451 (.04771)	1.73577 (.02898)
1984	2.32182	2.52979 (.20796)	2.56551 (.24369)	1.70970	1.76969 (.05999)	1.73493 (.02523)
1985	2.30078	2.42228 (.12150)	2.43074 (.12996)	1.72250	1.74924 (.02674)	1.69921 (-.02329)
相関係数		.99751	.99676		.99256	.98562
Theil's U		.02744	.03112		.01699	.02074

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-49: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	PO6			PO7		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.81336	.81391 (.00055)	.81391 (.00055)	.70216	.70451 (.00235)	.70451 (.00235)
1962	.84584	.84616 (.00032)	.84616 (.00032)	.72260	.73036 (.00776)	.76317 (.04057)
1963	.86786	.86810 (.00024)	.86810 (.00024)	.75035	.75516 (.00481)	.79510 (.04475)
1964	.89036	.89955 (.00020)	.89955 (.00020)	.78064	.77997 (-.00068)	.80643 (.02578)
1965	.91310	.91321 (.00010)	.91321 (.00010)	.81350	.82395 (.01045)	.84764 (.03414)
1966	.95767	.95775 (.00008)	.95775 (.00008)	.84937	.84779 (-.00158)	.85965 (.01028)
1967	.95649	.95656 (.00007)	.95656 (.00007)	.88452	.87268 (-.01184)	.86199 (-.02253)
1968	.96873	.96878 (.00005)	.96878 (.00005)	.91612	.90665 (-.00047)	.88562 (-.03050)
1969	.97464	.97469 (.00005)	.97469 (.00005)	.94979	.93256 (-.01723)	.89822 (-.05156)
1970	1.00000	1.00000 (.00000)	1.00000 (.00000)	1.00000	.98458 (-.01542)	.94612 (-.05388)
1971	1.02797	1.02810 (.00013)	1.02810 (.00013)	1.04053	1.03550 (-.00503)	.97519 (-.06534)
1972	1.05949	1.05950 (.00002)	1.05950 (.00002)	1.08317	1.07305 (-.01012)	1.01371 (-.06946)
1973	1.12947	1.12960 (.00013)	1.12960 (.00013)	1.22332	1.20499 (-.01832)	1.14520 (-.07812)
1974	1.38794	1.38919 (.00125)	1.38919 (.00125)	1.53819	1.55060 (.01241)	1.48451 (-.05368)
1975	1.58769	1.59421 (.00652)	1.59421 (.00652)	1.66823	1.67761 (.00938)	1.66328 (-.00494)
1976	1.75774	1.76933 (.01159)	1.76933 (.01159)	1.78898	1.79549 (.00652)	1.79587 (.00690)
1977	2.00217	2.02324 (.02108)	2.02324 (.02108)	1.86249	1.86904 (.00655)	1.88309 (.02060)
1978	2.04596	2.06963 (.02366)	2.06963 (.02366)	2.07097	2.07888 (.00791)	2.08390 (.01293)
1979	2.17543	2.20387 (.02844)	2.20387 (.02844)	2.19864	2.20516 (.00652)	2.21142 (.01277)
1980	2.63830	2.68883 (.05053)	2.68883 (.05053)	2.33431	2.35258 (.01827)	2.35111 (.01680)
1981	2.83702	2.90042 (.06341)	2.90042 (.06341)	2.44551	2.47924 (.03373)	2.50277 (.05727)
1982	2.93027	2.99949 (.06922)	2.99949 (.06922)	2.47376	2.49584 (.02207)	2.53460 (.06084)
1983	2.93059	3.00006 (.06946)	3.00006 (.06946)	2.51904	2.53997 (.02093)	2.58066 (.06162)
1984	2.99913	3.07317 (.07403)	3.07317 (.07403)	2.57251	2.60318 (.03066)	2.63201 (.05950)
1985	3.05490	3.13162 (.07671)	3.13162 (.07671)	2.62227	2.64057 (.01830)	2.70015 (.07788)
相関係数		.99997	.99997		.99991	.99855
Theil's U		.00936	.00936		.00446	.01367

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-50: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	RGDE			RI		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	27289.8	27397.8 ( 108.1)	27397.8 ( 108.1)	8.00000	11.64272 ( 3.64272)	11.64272 ( 3.64272)
1962	29982.7	30302.8 ( 320.1)	30354.3 ( 371.6)	8.21000	9.84100 ( 1.63100)	10.21659 ( 2.00659)
1963	32898.3	33241.9 ( 343.6)	33428.2 ( 529.9)	7.79000	8.01652 ( .22652)	8.52098 ( .73098)
1964	37332.7	37293.8 ( -38.8)	37293.8 ( -38.8)	7.90000	7.83027 ( -.06973)	8.04389 ( .14389)
1965	40242.3	41277.6 ( 1035.3)	41105.1 ( 862.8)	7.80000	7.36154 ( -.43846)	7.52835 ( -.27165)
1966	44474.5	44383.1 ( -91.4)	44348.7 ( -125.8)	7.47833	6.42205 ( -1.05628)	6.61053 ( -.86780)
1967	50037.5	48831.3 ( -1206.1)	48607.2 ( -1430.3)	7.31500	6.36782 ( -.94718)	6.29993 ( -1.01507)
1968	57170.8	55945.3 ( -1225.6)	55713.4 ( -1457.4)	7.45750	6.91203 ( -.54547)	6.61032 ( -.84718)
1969	64772.2	62312.6 ( -2459.6)	62223.4 ( -2548.8)	7.40558	6.40337 ( -1.00221)	6.09419 ( -1.31139)
1970	72725.7	70179.0 ( -2546.7)	70164.9 ( -2560.8)	7.66258	7.21048 ( -.45210)	6.83318 ( -.82940)
1971	75988.6	74724.9 ( -1263.7)	74877.5 ( -1111.1)	7.59308	5.38699 ( -2.20609)	5.04762 ( -2.54546)
1972	82907.4	80699.0 ( -2208.4)	81424.2 ( -1483.2)	7.04533	3.97951 ( -3.06582)	3.87613 ( -3.16920)
1973	89876.5	86033.8 ( -3842.7)	86582.4 ( -3294.1)	7.18625	4.93580 ( -2.25045)	4.83192 ( -2.35433)
1974	86580.0	88475.8 ( 1895.8)	88763.6 ( 2183.6)	9.11333	11.18567 ( 2.07234)	10.55702 ( 1.44369)
1975	88218.2	89682.2 ( 1464.1)	90110.7 ( 1892.5)	9.09883	8.56964 ( -.52919)	8.46907 ( -.62976)
1976	92330.3	92983.5 ( 653.2)	92896.0 ( 565.7)	8.25617	8.66658 ( .41041)	8.72923 ( .47306)
1977	97325.1	98085.9 ( 760.8)	97764.3 ( 439.2)	7.56167	8.55419 ( .99252)	8.54541 ( .98374)
1978	103247.3	103745.8 ( 498.5)	103515.1 ( 267.9)	6.30850	7.47992 ( 1.17142)	7.53005 ( 1.22155)
1979	106888.4	106398.8 ( -489.6)	106206.4 ( -682.0)	6.29100	8.29662 ( 2.00562)	8.39592 ( 2.10492)
1980	107282.4	107984.6 ( 702.2)	106983.6 ( -298.9)	8.32275	11.25071 ( 2.92796)	10.92269 ( 2.59994)
1981	111891.3	114351.2 ( 2459.9)	113075.8 ( 1184.5)	7.78617	10.67069 ( 2.88452)	10.37229 ( 2.58612)
1982	114247.2	115428.2 ( 1181.0)	114706.4 ( 459.2)	7.22717	8.95387 ( 1.72670)	8.95130 ( 1.72413)
1983	117523.1	118999.2 ( 1476.1)	117907.2 ( 384.1)	7.05058	8.23062 ( 1.18004)	8.14255 ( 1.09197)
1984	123763.6	126370.1 ( 2606.5)	125332.6 ( 1569.0)	6.66425	8.55856 ( 1.89431)	8.39539 ( 1.73114)
1985	129656.6	130231.6 ( 574.9)	129620.4 ( -36.2)	6.51808	6.93751 ( .41943)	6.97601 ( .45793)
相関係数		.99889	.99911		.48186	.45785
Theil's U		.00925	.00799		.10972	.11023

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 51: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	TH			TL		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2362.5	2394.1 ( 31.6)	2394.1 ( 31.6)	4620.2	4627.3 ( 7.1)	4627.3 ( 7.1)
1962	2330.9	2406.3 ( 75.4)	2406.2 ( 75.3)	4712.5	4728.8 ( 16.3)	4743.0 ( 30.5)
1963	2325.3	2407.4 ( 82.1)	2416.1 ( 90.8)	4772.7	4818.7 ( 46.0)	4839.5 ( 66.8)
1964	2326.2	2341.3 ( 15.1)	2326.4 ( .2)	4858.9	4908.6 ( 49.7)	4935.7 ( 76.8)
1965	2297.0	2409.6 ( 112.6)	2383.7 ( 86.7)	4957.8	4991.0 ( 33.2)	5017.7 ( 59.9)
1966	2294.5	2298.1 ( 3.6)	2285.3 ( -9.2)	5078.6	5049.5 ( -29.1)	5087.7 ( 9.1)
1967	2319.0	2224.6 ( -94.4)	2204.5 ( -114.5)	5202.8	5104.7 ( -98.1)	5137.9 ( -64.9)
1968	2373.4	2282.6 ( -90.8)	2277.8 ( -95.6)	5279.9	5200.5 ( -79.4)	5182.6 ( -97.3)
1969	2380.6	2224.6 ( -155.9)	2231.0 ( -149.6)	5354.3	5259.1 ( -95.2)	5235.5 ( -118.8)
1970	2383.8	2244.3 ( -139.6)	2257.5 ( -126.3)	5442.6	5346.7 ( -95.9)	5301.5 ( -141.1)
1971	2366.6	2303.5 ( -63.1)	2325.2 ( -41.4)	5481.3	5386.1 ( -95.2)	5358.0 ( -123.3)
1972	2367.2	2270.1 ( -97.2)	2314.4 ( -52.8)	5509.4	5449.4 ( -60.0)	5416.8 ( -92.6)
1973	2320.9	2179.4 ( -141.6)	2213.1 ( -107.9)	5634.5	5520.6 ( -113.9)	5495.3 ( -139.2)
1974	2277.1	2366.1 ( 89.0)	2399.5 ( 122.4)	5610.2	5664.4 ( 54.2)	5577.7 ( -32.5)
1975	2236.5	2301.7 ( 65.2)	2329.2 ( 92.6)	5596.6	5710.1 ( 113.5)	5641.1 ( 44.5)
1976	2241.4	2283.5 ( 42.2)	2282.8 ( 41.4)	5642.4	5679.7 ( 37.3)	5683.2 ( 40.8)
1977	2241.9	2283.1 ( 41.2)	2271.7 ( 29.8)	5710.2	5727.0 ( 16.8)	5735.8 ( 25.6)
1978	2243.7	2280.0 ( 36.4)	2270.8 ( 27.1)	5765.5	5751.4 ( -14.1)	5780.2 ( 14.7)
1979	2253.8	2278.0 ( 24.2)	2267.1 ( 13.3)	5825.1	5782.1 ( -43.0)	5829.3 ( 4.2)
1980	2248.8	2312.8 ( 84.0)	2278.2 ( 29.4)	5865.1	5854.3 ( -10.8)	5893.9 ( 28.8)
1981	2243.5	2360.7 ( 117.1)	2327.5 ( 84.0)	5911.1	5948.3 ( 37.2)	5963.2 ( 52.1)
1982	2238.1	2318.2 ( 80.1)	2301.9 ( 63.8)	5960.2	6017.0 ( 56.8)	6026.9 ( 66.7)
1983	2248.5	2329.5 ( 81.0)	2298.6 ( 50.2)	6059.8	6081.8 ( 22.0)	6096.5 ( 36.7)
1984	2267.9	2383.9 ( 116.0)	2357.6 ( 89.6)	6089.1	6176.0 ( 86.9)	6173.5 ( 84.4)
1985	2232.1	2296.6 ( 64.6)	2283.6 ( 51.5)	6130.5	6267.2 ( 136.7)	6252.2 ( 121.7)
相関係数		-13847	.02618		.98921	.98637
Theil's U		.01875	.01690		.00624	.00687

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-52: トータル・テスト、ファイナル・テスト

Year	V			V <sub>i</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	20030.3	20215.4 ( 185.1)	20215.4 ( 185.1)	2177.1	2204.5 ( 27.5)	2204.5 ( 27.5)
1962	22749.2	23542.0 ( 792.8)	23969.5 ( 1220.2)	2346.8	2364.1 ( 17.4)	2194.7 ( -152.1)
1963	26055.5	27102.4 ( 1046.9)	27734.0 ( 1678.6)	2493.3	2523.5 ( 30.2)	2380.5 ( -112.8)
1964	30537.6	30782.9 ( 245.3)	31164.5 ( 626.9)	2638.9	2652.3 ( 13.4)	2598.8 ( -40.2)
1965	34546.8	36574.1 ( 2027.4)	36831.7 ( 2284.9)	2964.2	2982.6 ( 18.4)	2969.4 ( 5.2)
1966	39450.9	39636.2 ( 185.3)	39885.7 ( 434.8)	3281.6	3252.8 ( -28.7)	3303.3 ( 21.7)
1967	46064.7	44139.0 ( -1925.6)	43824.6 ( -2240.1)	3751.0	3650.9 ( -100.1)	3701.6 ( -49.3)
1968	54467.7	52185.4 ( -2282.4)	51265.4 ( -3202.4)	3922.8	3844.6 ( -78.1)	3885.1 ( -37.7)
1969	63806.0	59008.7 ( -4797.3)	57994.4 ( -5811.5)	4052.0	3952.8 ( -99.2)	3982.9 ( -69.1)
1970	75889.5	70670.5 ( -5219.0)	69433.1 ( -6456.4)	4072.4	4027.2 ( -45.3)	4033.0 ( -39.5)
1971	83018.5	80455.1 ( -2563.5)	78679.9 ( -4338.6)	3866.7	3853.9 ( -12.8)	3953.3 ( 86.7)
1972	95278.4	90970.4 ( -4308.0)	89780.6 ( -5497.9)	4554.3	4457.1 ( -97.2)	4813.9 ( 259.5)
1973	115984.4	107779.4 ( -8205.0)	106480.5 ( -9503.8)	6012.5	5887.3 ( -125.1)	6421.9 ( 409.4)
1974	137795.5	143509.8 ( 5714.3)	140007.0 ( 2211.5)	6792.5	7015.6 ( 223.1)	7793.7 ( 1001.2)
1975	154398.3	158752.5 ( 4354.2)	157919.9 ( 3521.6)	7402.5	7615.9 ( 213.4)	8276.1 ( 873.6)
1976	171816.1	174742.3 ( 2926.2)	174984.5 ( 3168.4)	8028.8	8190.7 ( 161.9)	8630.2 ( 601.4)
1977	191475.9	194652.9 ( 3177.0)	194639.9 ( 3164.0)	8588.6	8671.8 ( 83.1)	8879.6 ( 290.9)
1978	213259.3	216088.2 ( 2828.8)	216384.9 ( 3125.6)	9103.3	9171.9 ( 68.6)	9136.7 ( 33.4)
1979	231102.9	232595.2 ( 1492.3)	232887.8 ( 1784.9)	9238.0	9438.5 ( 200.5)	9152.7 ( -85.3)
1980	248683.4	254827.5 ( 6144.0)	252038.4 ( 3355.0)	8398.7	8625.6 ( 226.9)	8254.6 ( -144.1)
1981	268777.4	281880.5 ( 13103.1)	279100.2 ( 10322.8)	8595.4	9058.7 ( 463.3)	8767.1 ( 171.7)
1982	279437.2	288021.2 ( 8584.0)	287941.8 ( 8504.6)	8630.8	9013.3 ( 382.4)	8843.9 ( 213.0)
1983	290629.2	300064.6 ( 9435.3)	299646.9 ( 9017.6)	8791.8	9106.5 ( 314.7)	8787.5 ( -4.2)
1984	309230.4	323536.8 ( 14306.5)	322203.2 ( 12972.9)	9144.0	9732.1 ( 588.1)	9405.6 ( 261.5)
1985	329384.9	336257.8 ( 6872.8)	338306.2 ( 8921.3)	9364.9	10033.4 ( 668.5)	9781.0 ( 416.1)
相関係数		.99942	.99937		.99865	.99506
Theil's U		.01666	.01617		.01883	.02563

OBSは観測値、TOTALは、トータル・テストの結果、FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-53: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1173.9	1114.6 ( -59.4)	1114.6 ( -59.4)	2953.0	2972.9 ( 20.0)	2972.9 ( 20.0)
1962	1465.6	1579.9 ( 114.3)	1687.1 ( 221.4)	3179.2	3203.2 ( 24.1)	3274.9 ( 95.7)
1963	1727.1	1935.2 ( 208.1)	1912.8 ( 185.7)	3772.8	3899.2 ( 126.4)	4018.5 ( 245.7)
1964	2031.6	2081.6 ( 50.0)	2044.0 ( 12.4)	4168.1	4194.2 ( 26.1)	4239.5 ( 71.3)
1965	2359.5	2825.1 ( 465.6)	2661.8 ( 302.3)	4712.6	4677.3 ( -35.4)	4620.9 ( -91.8)
1966	2651.1	2896.3 ( 245.2)	2581.4 ( -69.7)	5291.8	4987.7 ( -304.1)	5053.0 ( -238.8)
1967	2953.4	2764.1 ( -189.3)	2476.6 ( -476.8)	5920.7	5349.5 ( -571.2)	5429.7 ( -491.0)
1968	3638.3	3266.9 ( -371.4)	3169.1 ( -469.2)	6905.0	6348.8 ( -556.2)	6128.8 ( -776.2)
1969	4566.4	3554.0 ( -1012.4)	3687.8 ( -878.6)	7815.0	7144.9 ( -670.1)	6993.2 ( -821.8)
1970	5968.3	4468.8 ( -1499.5)	4874.5 ( -1093.8)	9071.4	8429.6 ( -641.8)	8231.0 ( -840.4)
1971	6873.8	6196.0 ( -677.7)	6413.1 ( -460.6)	9760.6	9512.1 ( -248.5)	9550.5 ( -210.1)
1972	8122.3	7427.4 ( -694.9)	7487.9 ( -634.4)	10664.0	10230.4 ( -433.6)	10329.5 ( -334.5)
1973	10188.7	8652.7 ( -1536.0)	8695.3 ( -1493.4)	12948.6	12474.6 ( -474.1)	12551.9 ( -396.8)
1974	12106.1	12776.0 ( 669.9)	12508.0 ( 401.9)	15289.9	16945.8 ( 1655.9)	15912.9 ( 623.0)
1975	14864.6	15389.1 ( 524.5)	15690.8 ( 826.3)	16658.6	18181.9 ( 1523.3)	17994.1 ( 1335.4)
1976	15680.9	16334.4 ( 653.5)	16077.2 ( 396.4)	18244.9	19337.8 ( 1092.9)	20062.1 ( 1817.2)
1977	16687.4	17760.5 ( 1073.2)	17051.1 ( 363.8)	20266.7	20953.1 ( 686.4)	21015.2 ( 748.5)
1978	19149.7	19899.4 ( 749.7)	19186.4 ( 36.7)	21244.2	22602.3 ( 1358.2)	22913.5 ( 1669.4)
1979	21424.1	20959.8 ( -464.3)	19595.9 ( -1828.2)	22597.9	25412.0 ( 2814.1)	25379.5 ( 2781.6)
1980	22761.9	22931.5 ( 169.6)	21142.1 ( -1619.8)	24161.3	27905.6 ( 3744.3)	27466.9 ( 3305.6)
1981	24758.6	24789.7 ( 31.1)	23336.3 ( -1422.2)	26312.5	31204.0 ( 4891.5)	31536.4 ( 5223.9)
1982	24223.5	24200.6 ( -22.8)	23202.8 ( -1020.7)	27429.3	32420.4 ( 4991.1)	32524.8 ( 5095.5)
1983	22352.2	22919.5 ( 567.4)	22385.4 ( 33.3)	28955.4	32988.8 ( 4033.4)	32806.1 ( 3850.7)
1984	22728.9	23414.3 ( 685.4)	23168.7 ( 439.8)	29638.7	34739.1 ( 5100.4)	33978.3 ( 4339.6)
1985	23526.5	23296.8 ( -229.7)	24437.3 ( 910.8)	31132.6	35169.3 ( 4036.7)	34936.4 ( 3803.8)
相関係数		.99744	.99613		.99707	.99705
Theil's U		.02268	.02822		.06390	.06207

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-54: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2519.8	2742.0 ( 222.1)	2742.0 ( 222.1)	1954.1	1918.1 ( -36.0)	1918.1 ( -36.0)
1962	2570.9	2729.1 ( 158.1)	2699.2 ( 128.3)	2333.5	2647.8 ( 314.3)	2651.3 ( 317.8)
1963	2993.0	3234.3 ( 241.3)	3214.6 ( 221.5)	2539.4	2967.9 ( 428.5)	3038.8 ( 499.4)
1964	3789.7	3944.5 ( 154.7)	3891.4 ( 101.6)	3064.9	3198.7 ( 133.9)	3238.6 ( 173.7)
1965	4100.2	4710.1 ( 610.0)	4719.4 ( 619.2)	3235.5	3916.6 ( 681.1)	4062.0 ( 826.5)
1966	4597.3	4766.6 ( 169.3)	4857.9 ( 260.6)	3577.8	3840.5 ( 262.8)	4007.9 ( 430.1)
1967	5506.5	5414.0 ( -92.5)	5512.5 ( 6.0)	4739.9	4358.7 ( -381.2)	4467.4 ( -272.5)
1968	6411.0	6121.6 ( -289.4)	6201.3 ( -209.7)	5980.9	5422.9 ( -558.0)	5326.1 ( -654.8)
1969	7829.4	6942.9 ( -886.6)	7001.3 ( -828.1)	7181.8	5939.8 ( -1242.0)	5856.0 ( -1325.8)
1970	9771.4	8833.6 ( -937.8)	8848.0 ( -923.4)	8817.8	7552.7 ( -1265.1)	7340.2 ( -1477.6)
1971	10283.8	9383.2 ( -900.6)	9344.2 ( -939.6)	9252.7	8679.5 ( -573.2)	8629.1 ( -623.6)
1972	11570.3	10012.8 ( -1557.4)	10180.3 ( -1390.0)	10386.2	9612.6 ( -773.6)	9726.4 ( -659.9)
1973	14360.3	11871.6 ( -2488.7)	11997.2 ( -2363.2)	12640.8	11036.7 ( -1604.1)	11240.0 ( -1400.8)
1974	15659.0	17481.2 ( 1822.2)	17244.8 ( 1585.8)	14763.9	15409.0 ( 645.1)	15050.5 ( 286.6)
1975	15576.0	16415.9 ( 839.9)	15746.8 ( 170.8)	14857.2	15293.9 ( 436.7)	14469.4 ( -387.8)
1976	17210.5	17781.4 ( 570.9)	17280.2 ( 69.7)	16961.2	17400.9 ( 439.7)	17394.6 ( 433.4)
1977	18506.0	19009.5 ( 503.5)	18654.3 ( 148.3)	18549.4	19116.6 ( 567.2)	19351.9 ( 802.5)
1978	22506.8	22636.1 ( 129.4)	22907.9 ( 401.1)	20114.3	20444.9 ( 330.5)	20757.1 ( 642.8)
1979	24162.5	25793.3 ( 1630.8)	26870.0 ( 2707.5)	21489.1	20997.6 ( -491.5)	21719.4 ( 230.3)
1980	24915.9	28144.5 ( 3228.6)	28760.3 ( 3844.4)	24259.9	24326.6 ( 66.7)	24585.1 ( 325.2)
1981	25377.6	32200.6 ( 6823.0)	31877.0 ( 6499.3)	27791.2	27750.9 ( -40.4)	26821.8 ( -969.4)
1982	25464.9	30060.1 ( 4595.2)	30591.6 ( 5126.7)	28757.9	28549.8 ( -208.1)	27009.3 ( -1748.6)
1983	25108.0	30157.6 ( 5049.6)	30466.5 ( 5358.5)	30480.9	31075.7 ( 594.8)	29688.3 ( -792.6)
1984	27673.4	34696.4 ( 7023.0)	35319.2 ( 7645.8)	34680.7	35555.7 ( 875.0)	33479.1 ( -1201.6)
1985	28600.3	32798.5 ( 4198.2)	32675.2 ( 4074.9)	38141.8	37807.2 ( -334.6)	35193.7 ( -2948.1)
相関係数		.98773	.98745		.99830	.99699
Theil's U		.07697	.08029		.01793	.02779

OBS は観測値, TOTAL は, トータル・テストの結果, FINAL はファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 55: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1953.2	1931.8 (-21.5)	1931.8 (-21.5)	6626.6	6661.0 (34.4)	6661.0 (34.4)
1962	2240.2	2230.1 (-10.1)	2211.4 (-28.8)	7817.7	8000.8 (183.1)	8482.3 (664.6)
1963	2573.9	2549.5 (-24.5)	2530.7 (-43.2)	9007.9	9055.5 (47.6)	9727.3 (719.4)
1964	2967.5	2931.1 (-36.4)	2908.9 (-58.6)	10747.5	10654.2 (-93.2)	11136.4 (388.9)
1965	3374.5	3369.8 (-4.7)	3326.7 (-47.8)	12472.5	12784.2 (311.8)	13183.9 (711.5)
1966	3893.9	3862.8 (-31.2)	3834.2 (-59.7)	14646.8	14521.9 (-124.9)	14754.1 (107.3)
1967	4393.9	4342.7 (-51.3)	4320.1 (-73.9)	17097.0	16542.2 (-554.8)	16193.6 (-903.5)
1968	5032.8	5016.7 (-16.1)	5018.2 (-14.6)	20621.4	20190.1 (-431.3)	19541.4 (-1080.1)
1969	5810.6	5774.3 (-36.3)	5803.4 (-7.2)	24296.9	23407.5 (-889.4)	22337.3 (-1959.6)
1970	6611.6	6604.6 (-7.0)	6649.4 (37.7)	28903.5	28041.9 (-861.6)	26692.0 (-2211.5)
1971	7138.5	7157.5 (19.1)	7259.1 (120.6)	32693.4	32502.0 (-191.4)	30267.1 (-2426.3)
1972	7593.3	7539.6 (-53.7)	7689.6 (96.3)	38702.6	37970.3 (-732.3)	35727.1 (-2975.5)
1973	8777.5	8686.4 (-91.1)	8826.5 (49.0)	46496.5	44555.4 (-1941.1)	42017.3 (-4479.2)
1974	10139.8	10224.2 (84.4)	10472.8 (333.0)	57072.3	57737.1 (664.7)	54955.7 (-2116.7)
1975	12493.3	12789.7 (296.4)	13045.9 (552.5)	65138.5	65702.1 (563.7)	65282.8 (144.3)
1976	14471.4	14681.7 (210.3)	14738.4 (267.0)	72993.1	72832.9 (-160.2)	72624.1 (-369.0)
1977	17326.4	17550.7 (224.3)	17514.3 (187.9)	82419.8	82505.1 (85.3)	83123.8 (704.0)
1978	18912.4	19080.9 (168.5)	18997.8 (85.4)	92340.4	92418.8 (78.4)	92670.5 (330.1)
1979	19479.9	19455.9 (-24.0)	19254.6 (-225.3)	101999.3	99907.1 (-2092.2)	100314.2 (-1685.0)
1980	20937.1	20969.0 (31.9)	20694.5 (-242.6)	111613.4	110439.5 (-1173.9)	109656.2 (-1957.2)
1981	23119.1	23312.3 (193.2)	23080.1 (-39.0)	120296.7	121266.1 (969.4)	121437.1 (1140.4)
1982	23840.0	23922.1 (82.2)	23722.8 (-117.2)	127992.0	126950.8 (-1041.3)	129234.1 (1242.1)
1983	25656.5	25560.3 (-96.1)	25249.8 (-406.7)	135728.0	134901.7 (-826.3)	137016.4 (1288.4)
1984	27857.0	27813.5 (-43.5)	27565.1 (-291.9)	143289.4	143624.6 (335.2)	145391.8 (2102.4)
1985	29681.3	29682.5 (1.2)	29507.5 (-173.7)	154184.1	152912.8 (-1271.3)	157373.9 (3189.7)
相関係数		.99994	.99978		.99988	.99949
Theil's U		.00358	.00656		.00538	.01132

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-56: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$V_s$			$VBC_1$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	672.6	670.5 (-2.1)	670.5 (-2.1)	13.4	13.6 (.2)	13.6 (.2)
1962	795.4	787.0 (-8.4)	768.6 (-26.8)	16.7	16.8 (.1)	15.6 (-1.1)
1963	948.0	937.2 (-10.9)	910.9 (-37.2)	19.8	20.0 (.2)	18.9 (-.9)
1964	1129.4	1126.2 (-3.2)	1107.1 (-22.3)	22.9	23.1 (.1)	22.6 (-.3)
1965	1327.8	1308.5 (-19.3)	1287.5 (-40.3)	23.3	23.4 (.1)	23.3 (.0)
1966	1510.7	1507.6 (-3.1)	1493.9 (-16.8)	27.0	26.8 (-.2)	27.2 (.2)
1967	1702.3	1716.9 (14.6)	1723.1 (20.8)	28.5	27.7 (-.8)	28.1 (-.4)
1968	1955.6	1973.7 (18.2)	1995.5 (39.9)	29.7	29.1 (-.6)	29.4 (-.3)
1969	2253.9	2292.6 (38.7)	2332.6 (78.7)	31.0	30.2 (-.8)	30.4 (-.5)
1970	2672.9	2712.1 (39.1)	2765.1 (92.1)	29.5	29.2 (-.3)	29.2 (-.3)
1971	3149.1	3170.8 (21.7)	3263.4 (114.4)	41.0	40.8 (-.1)	41.9 (.9)
1972	3685.4	3720.2 (34.8)	3825.9 (140.5)	49.5	48.5 (-1.1)	52.4 (2.8)
1973	4559.4	4614.7 (55.3)	4730.6 (171.1)	58.1	56.9 (-1.2)	62.1 (4.0)
1974	5971.9	5920.9 (-51.0)	6068.6 (96.6)	65.9	68.1 (2.2)	75.6 (9.7)
1975	7407.7	7364.0 (-43.7)	7414.1 (6.4)	64.8	66.7 (1.9)	72.5 (7.7)
1976	8225.3	8182.4 (-42.9)	8177.6 (-47.7)	86.9	88.7 (1.8)	93.4 (6.5)
1977	9131.5	9085.6 (-46.0)	9049.6 (-81.9)	98.4	99.4 (1.0)	101.8 (3.3)
1978	9888.3	9833.9 (-54.4)	9814.9 (-73.4)	77.8	78.4 (.6)	78.1 (.3)
1979	10712.0	10631.0 (-81.1)	10601.4 (-110.6)	82.9	84.7 (1.8)	82.2 (-.8)
1980	11635.1	11485.1 (-150.1)	11478.7 (-156.4)	115.1	118.2 (3.1)	113.1 (-2.0)
1981	12526.3	12298.2 (-228.0)	12244.4 (-281.9)	91.8	96.7 (4.9)	93.6 (1.8)
1982	13098.9	12904.2 (-194.8)	12812.6 (-286.3)	117.6	122.8 (5.2)	120.5 (2.9)
1983	13556.7	13354.5 (-202.1)	13246.9 (-309.8)	115.1	119.3 (4.1)	115.1 (-.1)
1984	14218.2	13961.0 (-257.2)	13895.5 (-322.7)	116.9	124.4 (7.5)	120.2 (3.3)
1985	14753.4	14557.3 (-196.1)	14401.2 (-352.2)	183.7	196.8 (13.1)	191.8 (8.2)
相関係数		.99996	.99983		.99940	.99803
Theil's U		.00673	.01001		.02301	.02313

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-57: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	VBC <sub>2</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	84.8	80.5 (-4.3)	80.5 (-4.3)	112.7	113.5 (.8)	113.5 (.8)
1962	117.2	126.3 (9.1)	134.9 (17.7)	127.7	128.6 (1.0)	131.5 (3.8)
1963	149.9	168.0 (18.1)	166.0 (16.1)	147.7	152.7 (4.9)	157.3 (9.6)
1964	182.3	186.8 (4.5)	183.4 (1.1)	164.2	165.2 (1.0)	167.0 (2.8)
1965	222.2	266.0 (43.8)	250.7 (28.5)	286.7	284.5 (-2.2)	281.1 (-5.6)
1966	252.4	275.8 (23.3)	245.8 (-6.6)	198.5	187.1 (-11.4)	189.5 (-9.0)
1967	289.9	271.3 (-18.6)	243.1 (-46.8)	211.0	190.6 (-20.4)	193.5 (-17.5)
1968	327.6	294.1 (-33.4)	285.3 (-42.2)	222.3	204.4 (-17.9)	197.3 (-25.0)
1969	365.2	284.2 (-81.0)	294.9 (-70.3)	233.0	213.1 (-20.0)	208.5 (-24.5)
1970	415.9	311.4 (-104.5)	339.6 (-76.2)	409.2	380.2 (-29.0)	371.3 (-37.9)
1971	496.9	447.9 (-49.0)	463.6 (-33.3)	300.0	292.4 (-7.6)	293.6 (-6.5)
1972	591.3	540.7 (-50.6)	545.1 (-46.2)	361.6	346.9 (-14.7)	350.3 (-11.3)
1973	686.1	582.6 (-103.4)	585.5 (-100.6)	428.2	412.5 (-15.7)	415.1 (-13.1)
1974	780.2	823.4 (43.2)	806.1 (25.9)	486.3	539.0 (52.7)	506.1 (19.8)
1975	906.5	938.5 (32.0)	956.9 (50.4)	943.8	1030.2 (86.3)	1019.5 (75.7)
1976	947.9	987.4 (39.5)	971.8 (24.0)	602.1	638.2 (36.1)	662.1 (60.0)
1977	1020.2	1085.8 (65.6)	1042.4 (22.2)	643.3	665.0 (21.8)	667.0 (23.8)
1978	1298.2	1349.0 (50.8)	1300.6 (2.5)	1163.3	1237.7 (74.4)	1254.7 (91.4)
1979	1324.6	1295.9 (-28.7)	1211.6 (-113.0)	1295.9	1457.3 (161.4)	1455.5 (159.5)
1980	1285.7	1295.2 (9.6)	1194.2 (-91.5)	1315.3	1519.2 (203.8)	1495.3 (180.0)
1981	1448.4	1450.2 (1.8)	1365.2 (-83.2)	1510.0	1790.7 (280.7)	1809.7 (299.8)
1982	1254.3	1253.1 (-1.2)	1201.5 (-52.9)	1436.3	1697.7 (261.4)	1703.1 (266.8)
1983	1227.9	1259.1 (31.2)	1229.7 (1.8)	1474.8	1680.2 (205.4)	1670.9 (196.1)
1984	1234.9	1272.1 (37.2)	1258.8 (23.9)	1535.8	1800.1 (264.3)	1760.7 (224.9)
1985	1072.5	1062.0 (-10.5)	1114.0 (41.5)	1853.8	2094.2 (240.4)	2080.3 (226.5)
相関係数		.99559	.99450		.99862	.99855
Theil's U		.02680	.03080		.06686	.06504

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-58: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	92.2	100.3 ( 8.1)	100.3 ( 8.1)	72.1	70.8 ( -1.3)	70.8 ( -1.3)
1962	115.1	122.2 ( 7.1)	120.8 ( 5.7)	82.9	94.1 ( 11.2)	94.2 ( 11.3)
1963	139.6	150.8 ( 11.3)	149.9 ( 10.3)	92.9	108.6 ( 15.7)	111.2 ( 18.3)
1964	162.8	169.5 ( 6.6)	167.2 ( 4.4)	104.2	108.7 ( 4.6)	110.1 ( 5.9)
1965	225.2	258.7 ( 33.5)	259.3 ( 34.0)	148.9	180.2 ( 31.3)	186.9 ( 38.0)
1966	213.9	221.8 ( 7.9)	226.1 ( 12.1)	148.6	159.5 ( 10.9)	166.5 ( 17.9)
1967	246.8	242.6 ( -4.1)	247.1 ( .3)	182.6	167.9 ( -14.7)	172.1 ( -10.5)
1968	273.2	260.8 ( -12.3)	264.2 ( -8.9)	217.8	197.5 ( -20.3)	194.0 ( -23.8)
1969	304.9	270.4 ( -34.5)	272.6 ( -32.3)	251.3	207.9 ( -43.5)	204.9 ( -46.4)
1970	419.4	379.1 ( -40.2)	379.7 ( -39.6)	369.7	316.6 ( -53.0)	307.7 ( -61.9)
1971	414.7	378.4 ( -36.3)	376.8 ( -37.9)	352.3	330.5 ( -21.8)	328.6 ( -23.7)
1972	500.5	433.1 ( -67.4)	440.4 ( -60.1)	406.0	375.8 ( -30.2)	380.2 ( -25.8)
1973	592.2	489.6 ( -102.6)	494.8 ( -97.5)	455.5	397.7 ( -57.8)	405.1 ( -50.5)
1974	681.3	760.5 ( 79.3)	750.3 ( 69.0)	512.2	534.6 ( 22.4)	522.2 ( 9.9)
1975	970.6	1022.9 ( 52.3)	981.3 ( 10.6)	769.1	791.7 ( 22.6)	749.0 ( -20.1)
1976	846.7	874.8 ( 28.1)	850.2 ( 3.4)	631.8	648.1 ( 16.4)	647.9 ( 16.1)
1977	930.5	955.8 ( 25.3)	937.9 ( 7.5)	699.3	720.7 ( 21.4)	729.5 ( 30.3)
1978	1200.0	1206.9 ( 6.9)	1221.4 ( 21.4)	1096.7	1114.7 ( 18.0)	1131.7 ( 35.0)
1979	1415.5	1511.1 ( 95.5)	1574.1 ( 158.6)	1225.0	1197.0 ( -28.0)	1238.2 ( 13.1)
1980	1555.6	1757.1 ( 201.6)	1795.6 ( 240.0)	1221.5	1224.9 ( 3.4)	1237.9 ( 16.4)
1981	1861.0	2361.4 ( 500.4)	2337.7 ( 476.6)	1665.1	1662.7 ( -2.4)	1607.0 ( -58.1)
1982	1622.4	1915.2 ( 292.8)	1949.0 ( 326.6)	1470.6	1460.0 ( -10.6)	1381.2 ( -89.4)
1983	1541.3	1851.3 ( 310.0)	1870.2 ( 328.9)	1569.1	1599.8 ( 30.6)	1528.3 ( -40.8)
1984	1576.9	1977.1 ( 400.2)	2012.6 ( 435.7)	1795.9	1841.2 ( 45.3)	1733.7 ( -62.2)
1985	1705.5	1955.9 ( 250.4)	1948.5 ( 243.0)	2258.7	2238.9 ( -19.8)	2084.1 ( -174.6)
相関係数		.99289	.99288		.99913	.99805
Theil's U		.08147	.08453		.01409	.02699

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-59: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	59.6	59.0 (-.7)	59.0 (-.7)	512.0	514.7 (2.7)	514.7 (2.7)
1962	76.0	75.7 (-.3)	75.0 (-1.0)	587.0	600.7 (13.7)	636.9 (49.9)
1963	92.3	91.4 (-.9)	90.7 (-1.6)	655.8	659.3 (3.5)	708.2 (52.4)
1964	108.6	107.3 (-1.3)	106.5 (-2.1)	728.6	722.3 (-6.3)	755.0 (26.4)
1965	126.7	126.6 (-.2)	124.9 (-1.8)	818.5	838.9 (20.5)	865.1 (46.7)
1966	149.6	148.4 (-1.2)	147.3 (-2.3)	858.8	851.5 (-7.3)	865.1 (6.3)
1967	174.1	172.1 (-2.0)	171.2 (-2.9)	915.6	885.9 (-29.7)	867.2 (-48.4)
1968	198.7	198.1 (-.6)	198.1 (-.6)	978.8	958.4 (-20.5)	927.6 (-51.3)
1969	223.3	221.9 (-1.4)	223.0 (-.3)	1039.0	1000.9 (-38.0)	955.2 (-83.8)
1970	249.4	249.1 (-.3)	250.8 (1.4)	1126.3	1092.8 (-33.6)	1040.1 (-86.2)
1971	281.8	282.5 (.8)	286.5 (4.8)	1354.7	1346.8 (-7.9)	1254.2 (-100.5)
1972	315.7	313.5 (-2.2)	319.7 (4.0)	1610.8	1580.3 (-30.5)	1486.9 (-123.8)
1973	349.5	345.9 (-3.6)	351.5 (2.0)	1859.8	1782.2 (-77.6)	1680.7 (-179.2)
1974	383.6	386.7 (3.2)	396.1 (12.6)	2114.0	2138.6 (24.6)	2035.6 (-78.4)
1975	422.9	432.9 (10.0)	441.6 (18.7)	2409.9	2430.8 (20.9)	2415.3 (5.3)
1976	476.2	483.1 (6.9)	484.9 (8.8)	2606.7	2601.0 (-5.7)	2593.6 (-13.2)
1977	534.5	541.4 (6.9)	540.3 (5.8)	2852.8	2855.8 (3.0)	2877.2 (24.4)
1978	638.8	644.5 (5.7)	641.7 (2.9)	3329.1	3331.9 (2.8)	3341.0 (11.9)
1979	726.3	725.5 (-.9)	717.9 (-8.4)	3659.4	3584.3 (-75.1)	3598.9 (-60.5)
1980	710.9	711.9 (1.1)	702.6 (-8.2)	3615.9	3577.8 (-38.0)	3552.5 (-63.4)
1981	871.5	878.7 (7.3)	870.0 (-1.5)	4005.7	4037.9 (32.3)	4043.6 (38.0)
1982	793.8	796.5 (2.7)	789.9 (-3.9)	4006.1	3973.5 (-32.6)	4045.0 (38.9)
1983	817.9	814.8 (-3.1)	804.9 (-13.0)	4302.9	4276.7 (-26.2)	4343.7 (40.8)
1984	872.9	871.5 (-1.4)	863.7 (-9.1)	4560.8	4571.5 (10.7)	4627.7 (66.9)
1985	1170.4	1170.4 (.0)	1163.5 (-6.9)	5327.7	5283.7 (-43.9)	5437.9 (110.2)
相関係数		.99994	.99978		.99981	.99907
Theil's U		.00349	.00641		.00590	.01306

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-60: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	VBC <sub>s</sub>			UM <sub>1</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	52.1	51.9 (-.2)	51.9 (-.2)	.04707	.04882 (.00175)	.04882 (.00175)
1962	61.1	60.5 (-.6)	59.1 (-2.1)	.04437	.05034 (.00597)	.04968 (.00530)
1963	70.1	69.3 (-.8)	67.4 (-2.7)	.05205	.05102 (-.00103)	.05052 (-.00153)
1964	79.1	78.9 (-.2)	77.5 (-1.6)	.05338	.05155 (-.00183)	.05140 (-.00198)
1965	88.1	86.8 (-1.3)	85.4 (-2.7)	.04968	.05261 (.00294)	.05266 (.00298)
1966	99.4	99.2 (-.2)	98.3 (-1.1)	.05497	.05359 (-.00138)	.05379 (-.00118)
1967	110.7	111.6 (.9)	112.0 (1.4)	.05123	.05459 (.00337)	.05479 (.00356)
1968	122.0	123.1 (1.1)	124.5 (2.5)	.05072	.05534 (.00462)	.05543 (.00472)
1969	133.3	135.5 (2.3)	137.9 (4.7)	.04991	.05606 (.00615)	.05608 (.00616)
1970	144.5	146.7 (2.1)	149.5 (5.0)	.05910	.05619 (-.00291)	.05615 (-.00295)
1971	158.8	159.9 (1.1)	164.5 (5.8)	.05480	.05647 (.00166)	.05659 (.00179)
1972	173.0	174.7 (1.6)	179.6 (6.6)	.04930	.05753 (.00823)	.05808 (.00878)
1973	187.3	189.6 (2.3)	194.4 (7.0)	.05720	.05534 (-.00186)	.05606 (-.00114)
1974	201.6	199.9 (-1.7)	204.9 (3.3)	.06265	.05526 (-.00739)	.05605 (-.00660)
1975	214.7	213.4 (-1.3)	214.8 (.2)	.05889	.05687 (-.00202)	.05753 (-.00136)
1976	246.4	245.1 (-1.3)	245.0 (-1.4)	.05729	.05707 (-.00022)	.05757 (.00027)
1977	276.6	275.2 (-1.4)	274.2 (-2.5)	.05366	.05818 (.00452)	.05841 (.00475)
1978	296.5	294.9 (-1.6)	294.3 (-2.2)	.04792	.05780 (.00988)	.05778 (.00986)
1979	323.6	321.2 (-2.4)	320.3 (-3.3)	.05615	.05615 (.00000)	.05592 (-.00024)
1980	366.4	361.7 (-4.7)	361.5 (-4.9)	.05514	.05685 (.00171)	.05659 (.00144)
1981	387.8	380.7 (-7.1)	379.0 (-8.7)	.05771	.05709 (-.00063)	.05697 (-.00075)
1982	416.0	409.8 (-6.2)	406.9 (-9.1)	.05900	.05553 (-.00348)	.05543 (-.00357)
1983	435.0	428.5 (-6.5)	425.0 (-9.9)	.05665	.05666 (.00001)	.05646 (-.00019)
1984	452.9	444.7 (-8.2)	442.6 (-10.3)	.06300	.05625 (-.00675)	.05602 (-.00698)
1985	358.2	353.4 (-4.8)	349.6 (-8.5)	.07618	.05584 (-.02034)	.05566 (-.02052)
相関係数		.99991	.99955		.37563	.37239
Theil's U		.00671	.01055		.05292	.05300

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-61: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.02789	.03905 (.01116)	.03905 (.01116)
1962	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.02578	.04248 (.01670)	.04271 (.01693)
1963	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03354	.03283 (-.00071)	.03366 (.00012)
1964	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03552	.03484 (-.00068)	.03535 (-.00017)
1965	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.02930	.04539 (.01609)	.04563 (.01632)
1966	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03213	.04408 (.01196)	.04516 (.01303)
1967	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03316	.04481 (.01165)	.04574 (.01257)
1968	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03215	.04734 (.01519)	.04614 (.01398)
1969	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03653	.04513 (.00860)	.04393 (.00740)
1970	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.04054	.04582 (.00527)	.04434 (.00380)
1971	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.03988	.04620 (.00632)	.04551 (.00563)
1972	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.04544	.04815 (.00271)	.04796 (.00252)
1973	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.05733	.04612 (-.01121)	.04628 (-.01105)
1974	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06228	.05454 (-.00774)	.05220 (-.01009)
1975	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.05606	.05055 (-.00551)	.05047 (-.00560)
1976	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.05558	.06011 (.00453)	.06199 (.00642)
1977	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.05114	.06578 (.01464)	.06626 (.01512)
1978	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.05526	.06149 (.00623)	.06206 (.00680)
1979	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.07149	.04822 (-.02327)	.04810 (-.02340)
1980	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06731	.05311 (-.01420)	.05267 (-.01465)
1981	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06292	.05236 (-.01056)	.05322 (-.00970)
1982	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06872	.05069 (-.01803)	.05107 (-.01765)
1983	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06165	.05754 (-.00411)	.05762 (-.00404)
1984	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06489	.05956 (-.00533)	.05880 (-.00609)
1985	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	.06079	.06028 (-.00051)	.06009 (-.00070)
相関係数		-.999.00000	-.999.00000		.66590	.65447
Theil's U		-.999.00000	-.999.00000		.10962	.11078

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-62: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$\nu_{M4}$			$\nu_{M5}$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.06974	.05776 (-.01198)	.05776 (-.01198)	.04328	.04039 (-.00290)	.04039 (-.00290)
1962	.05656	.05776 (.00120)	.05776 (.00120)	.04961	.04037 (-.00924)	.04044 (-.00917)
1963	.05634	.05776 (.00142)	.05776 (.00142)	.05049	.04046 (-.01003)	.04066 (-.00983)
1964	.06146	.05776 (-.00370)	.05776 (-.00370)	.04415	.03960 (-.00454)	.03976 (-.00439)
1965	.06017	.05776 (-.00241)	.05776 (-.00241)	.03765	.04036 (.00270)	.04063 (.00298)
1966	.05784	.05776 (-.00008)	.05776 (-.00008)	.03656	.03984 (.00329)	.04013 (.00358)
1967	.06606	.05776 (-.00830)	.05776 (-.00830)	.03528	.03876 (.00348)	.03891 (.00363)
1968	.06183	.05776 (-.00406)	.05776 (-.00406)	.03611	.03824 (.00213)	.03811 (.00200)
1969	.06011	.05776 (-.00235)	.05776 (-.00235)	.03550	.03833 (.00283)	.03818 (.00268)
1970	.06302	.05776 (-.00526)	.05776 (-.00526)	.04223	.03823 (-.00400)	.03798 (-.00425)
1971	.05151	.05776 (.00625)	.05776 (.00625)	.04237	.03897 (-.00340)	.03879 (-.00359)
1972	.04641	.05776 (.01135)	.05776 (.01135)	.03666	.03947 (.00282)	.03939 (.00273)
1973	.04977	.05776 (.00799)	.05776 (.00799)	.03406	.03989 (.00583)	.03983 (.00578)
1974	.06575	.05776 (-.00799)	.05776 (-.00799)	.04313	.04092 (-.00221)	.04060 (-.00252)
1975	.05827	.05776 (-.00051)	.05776 (-.00051)	.04275	.04095 (-.00180)	.04052 (-.00223)
1976	.05638	.05776 (.00138)	.05776 (.00138)	.04105	.04076 (-.00029)	.04074 (-.00031)
1977	.05437	.05776 (.00339)	.05776 (.00339)	.03706	.04119 (.00413)	.04129 (.00423)
1978	.05360	.05776 (.00416)	.05776 (.00416)	.03344	.04038 (.00694)	.04053 (.00709)
1979	.07146	.05776 (-.01370)	.05776 (-.01370)	.03958	.04010 (.00052)	.04038 (.00080)
1980	.07254	.05776 (-.01478)	.05776 (-.01478)	.04012	.03896 (-.00116)	.03910 (-.00102)
1981	.08590	.05776 (-.02814)	.05776 (-.02814)	.03872	.03742 (-.00130)	.03731 (-.00141)
1982	.07974	.05776 (-.02198)	.05776 (-.02198)	.03604	.03719 (.00114)	.03703 (.00099)
1983	.08002	.05776 (-.02226)	.05776 (-.02226)	.03681	.03783 (.00102)	.03773 (.00092)
1984	.08474	.05776 (-.02698)	.05776 (-.02698)	.03713	.03778 (.00065)	.03760 (.00046)
1985	.07961	.05776 (-.02185)	.05776 (-.02185)	.03541	.03658 (.00117)	.03632 (.00090)
相関係数		-999.00000	-999.00000		.40393	.38525
Theil's U		.10291	.10291		.05115	.05142

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-63: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$\nu M_6$			$\nu M_7$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.02603	.03950 (.01347)	.03950 (.01347)	.00609	.01120 (.00511)	.01120 (.00511)
1962	.02888	.03951 (.01063)	.03951 (.01063)	.00738	.01120 (.00382)	.01120 (.00382)
1963	.03049	.03942 (.00893)	.03942 (.00893)	.00747	.01120 (.00374)	.01120 (.00374)
1964	.03081	.03916 (.00835)	.03916 (.00835)	.00813	.01120 (.00307)	.01120 (.00307)
1965	.03348	.03929 (.00582)	.03929 (.00582)	.00863	.01120 (.00257)	.01120 (.00257)
1966	.03545	.03889 (.00344)	.03889 (.00344)	.00860	.01120 (.00260)	.01120 (.00260)
1967	.03881	.03903 (.00022)	.03903 (.00022)	.00878	.01120 (.00242)	.01120 (.00242)
1968	.04120	.03901 (-.00219)	.03901 (-.00219)	.00889	.01120 (.00231)	.01120 (.00231)
1969	.04188	.03907 (-.00281)	.03907 (-.00281)	.00959	.01120 (.00161)	.01120 (.00161)
1970	.04430	.03888 (-.00543)	.03888 (-.00543)	.01041	.01120 (.00079)	.01120 (.00079)
1971	.03945	.03975 (.00030)	.03975 (.00030)	.01032	.01120 (.00088)	.01120 (.00088)
1972	.03495	.04085 (.00590)	.04085 (.00590)	.01066	.01120 (.00054)	.01120 (.00054)
1973	.04050	.04165 (.00116)	.04165 (.00116)	.01166	.01120 (-.00046)	.01120 (-.00046)
1974	.05056	.03821 (-.01234)	.03821 (-.01234)	.01208	.01120 (-.00088)	.01120 (-.00088)
1975	.06175	.03942 (-.02233)	.03942 (-.02233)	.01353	.01120 (-.00233)	.01120 (-.00233)
1976	.05170	.03987 (-.01183)	.03987 (-.01183)	.00920	.01120 (.00200)	.01120 (.00200)
1977	.04403	.04141 (-.00262)	.04141 (-.00262)	.00894	.01120 (.00226)	.01120 (.00226)
1978	.04443	.04570 (.00127)	.04570 (.00127)	.01204	.01120 (-.00084)	.01120 (-.00084)
1979	.05013	.04395 (-.00618)	.04395 (-.00618)	.01300	.01120 (-.00180)	.01120 (-.00180)
1980	.05016	.04235 (-.00781)	.04235 (-.00781)	.01597	.01120 (-.00477)	.01120 (-.00477)
1981	.05651	.04271 (-.01380)	.04271 (-.01380)	.01602	.01120 (-.00482)	.01120 (-.00482)
1982	.04843	.04253 (-.00591)	.04253 (-.00591)	.01676	.01120 (-.00556)	.01120 (-.00556)
1983	.03906	.04304 (.00398)	.04304 (.00398)	.01604	.01120 (-.00484)	.01120 (-.00484)
1984	.03701	.04325 (.00624)	.04325 (.00624)	.01570	.01120 (-.00450)	.01120 (-.00450)
1985	.03543	.04452 (.00909)	.04452 (.00909)	.01455	.01120 (-.00335)	.01120 (-.00335)
相関係数		.20122	.20122		-999.00000	-999.00000
Theil's U		.10280	.10280		.13679	.13679

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.  
 カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-64: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	$\nu M_0$			$X_1$		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7117.1	7199.7 ( 82.6)	7199.7 ( 82.6)
1962	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6781.9	6833.8 ( 51.9)	6883.7 (101.8)
1963	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6616.0	6696.5 ( 80.5)	6750.4 (134.4)
1964	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6820.3	6855.0 ( 34.8)	6872.5 ( 52.2)
1965	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6900.1	6949.6 ( 49.6)	6912.5 ( 12.4)
1966	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6890.6	6846.4 ( -44.2)	6827.1 ( -63.5)
1967	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7195.6	7011.2 ( -184.4)	6961.4 ( -234.3)
1968	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7356.8	7194.3 ( -162.5)	7156.1 ( -200.7)
1969	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7137.2	6911.0 ( -226.1)	6908.0 ( -229.2)
1970	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7056.4	6936.3 ( -120.1)	6924.2 ( -132.2)
1971	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	6958.3	6906.6 ( -51.7)	6911.2 ( -47.1)
1972	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7449.9	7266.8 ( -183.1)	7309.9 ( -140.0)
1973	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7610.9	7457.2 ( -153.7)	7457.7 ( -153.2)
1974	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7560.6	7795.7 ( 235.2)	7762.4 ( 201.8)
1975	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7482.1	7684.4 ( 202.2)	7665.7 ( 183.6)
1976	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7576.4	7716.5 ( 140.2)	7676.7 ( 100.3)
1977	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7592.1	7676.6 ( 84.5)	7655.7 ( 63.6)
1978	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7973.7	8051.8 ( 78.1)	8065.8 ( 92.1)
1979	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	8180.8	8357.0 ( 176.2)	8393.3 ( 212.5)
1980	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7520.4	7761.0 ( 240.6)	7720.9 ( 200.5)
1981	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7440.0	7848.1 ( 408.1)	7758.3 ( 318.3)
1982	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7654.3	8012.1 ( 357.9)	8010.7 ( 356.4)
1983	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	7706.0	7994.4 ( 288.4)	7971.3 ( 265.4)
1984	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	8090.7	8557.3 ( 466.6)	8551.7 ( 461.0)
1985	.00000	.00000 (.00000)	.00000 (.00000)	8130.1	8614.5 ( 484.4)	8639.2 ( 509.1)
相関係数		-.999.00000	-.999.00000		.95312	.95308
Theil's U		-.999.00000	-.999.00000		.01503	.01473

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-65: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	X <sub>2</sub>			X <sub>3</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	6111.8	6056.0 ( -55.8)	6056.0 ( -55.8)	11877.8	11916.4 ( 38.6)	11916.4 ( 38.6)
1962	6686.8	6904.6 ( 217.8)	6877.4 ( 190.6)	12612.7	12656.9 ( 44.2)	12660.7 ( 48.0)
1963	7342.0	7717.2 ( 375.2)	7711.0 ( 369.0)	14186.1	14325.2 ( 139.1)	14358.3 ( 172.2)
1964	8347.6	8452.1 ( 104.5)	8331.6 ( -15.9)	15438.4	15477.7 ( 39.2)	15482.2 ( 43.8)
1965	8594.5	9499.7 ( 905.2)	9463.3 ( 868.8)	16197.1	16213.8 ( 16.7)	16128.4 ( -68.7)
1966	9535.7	9933.5 ( 397.8)	9923.8 ( 388.1)	18312.3	18059.2 ( -253.1)	18012.1 ( -300.2)
1967	10749.4	10442.2 ( -307.2)	10444.5 ( -304.9)	20185.5	19648.7 ( -536.8)	19519.3 ( -666.2)
1968	12447.4	11936.9 ( -510.5)	11979.8 ( -467.6)	21915.6	21381.1 ( -534.5)	21339.0 ( -576.6)
1969	14144.5	12936.4 ( -1208.0)	12926.1 ( -1218.4)	24305.2	23626.3 ( -678.9)	23669.7 ( -635.5)
1970	16085.6	14556.6 ( -1529.0)	14600.3 ( -1485.3)	25931.9	25319.7 ( -612.2)	25356.8 ( -575.0)
1971	16978.6	16214.2 ( -764.5)	16280.8 ( -697.8)	27990.7	27712.0 ( -278.7)	27797.5 ( -193.3)
1972	19091.5	18259.4 ( -832.1)	18470.2 ( -621.3)	30112.5	29626.0 ( -486.5)	29928.0 ( -184.5)
1973	21374.5	19912.1 ( -1462.4)	20229.6 ( -1145.0)	30237.2	29790.1 ( -447.1)	29945.3 ( -291.9)
1974	19431.3	20060.7 ( 629.4)	20521.8 ( 1090.6)	29454.3	30609.5 ( 1155.2)	30708.3 ( 1254.0)
1975	20195.1	20646.3 ( 451.2)	20916.2 ( 721.1)	30696.4	31762.6 ( 1066.2)	31846.0 ( 1149.6)
1976	20632.5	21154.5 ( 522.1)	21217.0 ( 584.5)	31958.8	32744.4 ( 785.6)	32637.2 ( 678.4)
1977	21160.0	21950.0 ( 790.0)	21821.1 ( 661.1)	33439.7	33967.7 ( 528.0)	33905.7 ( 466.0)
1978	22828.2	23390.5 ( 562.3)	23185.5 ( 357.3)	33453.2	34332.7 ( 879.6)	34363.9 ( 910.7)
1979	23831.9	23727.1 ( -104.8)	23546.2 ( -285.7)	34393.5	36079.0 ( 1685.5)	36168.8 ( 1775.3)
1980	23122.4	23458.5 ( 336.1)	23184.8 ( 62.4)	34264.2	36364.3 ( 2100.1)	36122.8 ( 1858.6)
1981	23730.3	24128.3 ( 398.1)	23965.1 ( 234.9)	34904.6	37634.0 ( 2729.3)	37204.4 ( 2299.7)
1982	22653.3	22947.6 ( 294.2)	22514.4 ( -138.9)	35307.3	37950.4 ( 2643.1)	37912.6 ( 2605.4)
1983	22159.5	22830.8 ( 671.3)	22251.1 ( 91.6)	36794.0	39000.9 ( 2206.9)	38832.3 ( 2038.4)
1984	22370.4	23198.6 ( 828.2)	22536.9 ( 166.5)	37431.6	40253.4 ( 2821.8)	40165.4 ( 2733.8)
1985	22723.8	22898.0 ( 174.2)	22227.8 ( -496.0)	38165.2	40407.6 ( 2242.4)	40444.2 ( 2279.0)
相関係数		.99385	.99456		.99585	.99647
Theil's U		.01931	.01790		.02341	.02237

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-66: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	X <sub>4</sub>			X <sub>5</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	9279.1	9417.8 ( 138.7)	9417.8 ( 138.7)	6091.0	6084.7 ( -6.4)	6084.7 ( -6.4)
1962	9709.9	9832.2 ( 122.3)	9816.7 ( 106.8)	6892.9	7150.2 ( 257.3)	7137.8 ( 244.9)
1963	11186.8	11362.6 ( 175.8)	11356.4 ( 169.6)	7316.2	7683.6 ( 367.4)	7667.4 ( 351.1)
1964	13211.9	13313.6 ( 101.7)	13229.3 ( 17.4)	8826.9	8937.5 ( 110.5)	8822.1 ( -4.8)
1965	13767.9	14181.6 ( 413.7)	14075.9 ( 307.9)	9002.6	9597.2 ( 594.6)	9501.4 ( 498.8)
1966	15751.9	15860.1 ( 108.2)	15755.3 ( 3.4)	10416.5	10635.3 ( 218.8)	10529.2 ( 112.8)
1967	19062.2	18988.0 ( -74.2)	18874.8 ( -187.4)	13611.6	13309.0 ( -302.6)	13223.5 ( -388.1)
1968	22254.2	22043.6 ( -210.6)	22045.8 ( -208.4)	17109.9	16677.9 ( -432.0)	16742.5 ( -367.4)
1969	26315.1	25736.1 ( -579.0)	25795.2 ( -519.9)	20899.9	19918.2 ( -981.6)	19993.8 ( -906.0)
1970	30777.1	30228.4 ( -548.7)	30412.8 ( -364.3)	24853.6	23829.8 ( -1023.9)	24069.3 ( -784.3)
1971	32072.1	31510.4 ( -561.7)	31776.2 ( -295.9)	25846.7	25309.9 ( -536.8)	25522.7 ( -323.9)
1972	35315.5	34343.2 ( -972.3)	34723.6 ( -591.8)	28277.5	27484.9 ( -792.6)	27793.8 ( -483.7)
1973	40043.0	38663.9 ( -1379.1)	39081.9 ( -961.1)	33670.0	32105.7 ( -1564.2)	32481.8 ( -1188.2)
1974	38374.6	39130.3 ( 755.6)	39753.4 ( 1378.8)	33148.3	33784.6 ( 636.3)	34507.2 ( 1358.8)
1975	35622.1	35996.3 ( 374.2)	36537.7 ( 915.6)	30512.3	30953.7 ( 441.4)	31687.6 ( 1175.3)
1976	38069.4	38306.3 ( 236.9)	38431.0 ( 361.6)	35661.4	36074.8 ( 413.5)	36144.8 ( 483.4)
1977	39303.7	39521.5 ( 217.8)	39425.6 ( 121.9)	39621.9	40139.0 ( 517.1)	39800.1 ( 178.2)
1978	40908.2	40982.7 ( 74.5)	40715.9 ( -192.4)	38407.3	38691.2 ( 284.0)	38246.6 ( -160.6)
1979	43780.9	44310.9 ( 530.1)	43844.3 ( 63.5)	42102.2	41949.1 ( -153.0)	41243.6 ( -858.5)
1980	42770.8	43582.0 ( 811.2)	43046.7 ( 275.9)	47770.4	48093.4 ( 323.0)	47296.9 ( -473.5)
1981	41555.8	43270.8 ( 1715.0)	42956.7 ( 1400.9)	50695.5	51182.6 ( 487.1)	51019.3 ( 323.8)
1982	40803.5	41996.2 ( 1192.7)	41645.1 ( 841.6)	50848.8	51120.3 ( 271.5)	50882.0 ( 33.2)
1983	41380.6	42791.6 ( 1411.0)	42268.2 ( 887.5)	54127.3	54885.5 ( 758.2)	54280.3 ( 153.1)
1984	44031.8	45992.8 ( 1961.1)	45450.6 ( 1418.8)	62153.8	63197.1 ( 1043.3)	62717.3 ( 563.5)
1985	44635.8	45868.9 ( 1233.2)	45567.1 ( 931.3)	66647.0	66859.9 ( 212.9)	66831.8 ( 184.7)
相関係数		.99828	.99888		.99947	.99945
Theil's U		.01258	.01011		.00871	.00841

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-67: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	X <sub>6</sub>			X <sub>7</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	3758.5	3743.0 (-15.5)	3743.0 (-15.5)	15419.9	15478.0 ( 58.1)	15478.0 ( 58.1)
1962	4095.5	4125.6 ( 30.1)	4125.4 ( 29.9)	17589.4	17837.6 ( 248.2)	17799.5 ( 210.1)
1963	4517.7	4533.7 ( 16.0)	4546.5 ( 28.8)	19570.2	19663.8 ( 93.6)	19680.5 ( 110.3)
1964	5069.5	5031.0 (-38.5)	5025.5 (-44.1)	22129.0	22033.2 (-95.8)	22013.5 (-115.5)
1965	5571.9	5673.6 ( 101.7)	5645.0 ( 73.2)	23942.3	24352.9 ( 410.6)	24195.5 ( 253.2)
1966	6147.6	6124.9 (-22.7)	6118.0 (-29.6)	26986.9	26850.5 (-136.4)	26831.8 (-155.1)
1967	7028.2	6895.4 (-132.7)	6867.6 (-160.6)	30357.8	29732.6 (-625.2)	29643.0 (-714.7)
1968	7813.0	7719.9 (-93.1)	7690.5 (-122.5)	34790.2	34296.3 (-493.9)	34181.6 (-608.6)
1969	8865.1	8659.7 (-205.4)	8653.5 (-211.6)	39539.9	38548.8 (-991.2)	38605.0 (-935.0)
1970	9868.4	9709.1 (-159.3)	9703.1 (-165.3)	44306.4	43371.3 (-935.1)	43425.0 (-881.4)
1971	10652.5	10574.1 (-78.4)	10600.5 (-52.0)	47914.4	47669.5 (-244.9)	47970.6 ( 56.2)
1972	11232.1	10968.6 (-263.5)	11077.8 (-154.3)	54213.3	53427.5 (-785.9)	54170.2 (-43.1)
1973	12383.2	11948.7 (-434.5)	12028.3 (-355.0)	57920.1	56076.4 (-1843.7)	56503.4 (-1326.6)
1974	13026.1	13390.4 ( 364.3)	13441.2 ( 415.1)	56628.0	57248.8 ( 620.8)	57467.9 ( 839.9)
1975	13427.7	13898.3 ( 470.6)	13963.9 ( 536.2)	59132.5	59646.1 ( 513.6)	59864.4 ( 731.9)
1976	14069.1	14389.7 ( 320.6)	14387.8 ( 318.7)	62134.8	62127.6 (-7.1)	62084.9 (-49.8)
1977	14122.1	14399.9 ( 277.8)	14375.6 ( 253.5)	66836.4	66992.0 ( 155.6)	66870.0 ( 33.6)
1978	14774.1	14969.7 ( 195.6)	14970.5 ( 196.4)	66729.9	66882.8 ( 153.0)	66942.6 ( 212.7)
1979	15230.3	15366.2 ( 135.9)	15368.8 ( 138.5)	69902.1	68915.5 (-986.6)	69017.0 (-885.0)
1980	14663.5	15022.9 ( 359.4)	14916.2 ( 252.7)	74125.1	73806.0 (-319.1)	73311.1 (-813.9)
1981	14782.8	15532.3 ( 749.5)	15388.4 ( 605.6)	75365.0	76229.5 ( 864.5)	75396.8 ( 31.8)
1982	14909.2	15396.8 ( 487.5)	15359.4 ( 450.1)	80244.1	80094.0 (-150.1)	79931.3 (-312.8)
1983	15625.3	16034.2 ( 408.9)	15937.4 ( 312.2)	83891.9	83852.6 (-39.3)	83420.6 (-471.3)
1984	16235.5	16783.2 ( 547.7)	16701.0 ( 465.6)	86935.8	87550.5 ( 614.7)	87280.1 ( 344.3)
1985	16557.4	16897.8 ( 340.3)	16866.6 ( 309.1)	90422.8	90199.3 (-223.5)	90149.3 (-273.5)
相関係数		.99868	.99897		.99966	.99975
Theil's U		.01326	.01194		.00548	.00486

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-68: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	X <sub>a</sub>			Y <sub>B</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	2254.1	2254.9 (.8)	2254.9 (.8)	10311.7	10668.4 (356.6)	10668.4 (356.6)
1962	2421.1	2416.2 (-4.9)	2377.7 (-43.4)	12101.5	12721.4 (619.9)	12938.8 (837.3)
1963	2612.7	2607.0 (-5.7)	2559.2 (-53.6)	14209.7	14790.1 (580.4)	15119.1 (909.4)
1964	2719.9	2719.9 (.0)	2688.7 (-31.2)	16378.8	16563.5 (184.7)	16763.0 (384.2)
1965	2829.2	2818.6 (-10.7)	2789.4 (-39.8)	18765.3	19802.1 (1036.7)	19899.4 (1134.0)
1966	2963.1	2962.7 (-.4)	2948.9 (-14.2)	21664.5	21715.3 (50.8)	21770.6 (106.1)
1967	3008.7	3018.8 (10.2)	3031.5 (22.9)	25331.2	24212.6 (-1118.6)	23944.5 (-1386.8)
1968	3178.1	3188.5 (10.4)	3212.8 (34.7)	29870.7	28854.6 (-1016.1)	28380.6 (-1490.1)
1969	3369.3	3387.8 (18.5)	3430.7 (61.4)	35018.0	32727.6 (-2290.4)	32163.2 (-2854.8)
1970	3535.7	3552.5 (16.8)	3599.2 (63.5)	41145.9	38525.9 (-2620.1)	37846.4 (-3299.5)
1971	3686.9	3694.7 (7.9)	3771.9 (85.0)	47938.6	46635.0 (-1303.5)	45745.9 (-2192.7)
1972	3904.6	3914.8 (10.2)	3996.1 (91.5)	55159.5	53156.5 (-2003.0)	52574.8 (-2584.7)
1973	4166.0	4176.8 (10.8)	4253.8 (87.9)	68603.5	63280.8 (-5322.7)	62646.9 (-5956.6)
1974	3653.0	3643.6 (-9.4)	3699.1 (46.1)	85974.6	90507.0 (4532.4)	88579.7 (2605.1)
1975	3905.7	3898.1 (-7.6)	3909.9 (4.1)	99978.7	104104.7 (4126.0)	103881.1 (3902.5)
1976	4079.6	4073.3 (-6.4)	4072.5 (-7.1)	112019.9	114241.4 (2221.5)	114489.8 (2469.9)
1977	4295.0	4289.6 (-5.4)	4278.3 (-16.6)	125288.7	127389.1 (2100.4)	127340.9 (2052.2)
1978	3924.0	3918.0 (-6.0)	3915.7 (-8.3)	135943.2	137993.3 (2050.1)	138089.1 (2145.9)
1979	4021.8	4012.5 (-9.3)	4009.7 (-12.1)	145054.2	145472.5 (418.2)	145600.1 (545.8)
1980	4096.4	4082.6 (-13.8)	4082.6 (-13.9)	157251.6	160798.3 (3546.7)	158993.0 (1741.4)
1981	4270.6	4251.0 (-19.6)	4236.0 (-34.5)	168960.4	177137.4 (8177.0)	175783.3 (6822.9)
1982	4178.4	4163.3 (-15.1)	4142.1 (-36.2)	177955.8	183592.9 (5637.2)	184063.0 (6107.2)
1983	4319.1	4304.9 (-14.2)	4281.9 (-37.2)	185813.0	190345.5 (4532.5)	190235.1 (4422.2)
1984	4444.0	4425.9 (-18.1)	4409.7 (-34.3)	195420.7	205139.0 (9718.4)	204412.3 (8991.6)
1985	4497.1	4485.0 (-12.1)	4452.8 (-44.3)	203672.1	209196.7 (5524.6)	211029.7 (7357.6)
相関係数		.99989	.99778		.99945	.99941
Theil's U		.00182	.00610		.01705	.01691

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A- 69: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	YE <sub>1</sub>			YE <sub>2</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1457.7	1373.4 (-84.3)	1373.4 (-84.3)	845.2	974.0 (128.8)	974.0 (128.8)
1962	1552.8	1516.2 (-36.6)	1424.4 (-128.4)	1071.9	1264.0 (192.1)	1307.2 (235.3)
1963	1708.6	1662.0 (-46.6)	1584.6 (-124.0)	1280.8	1593.4 (312.5)	1593.0 (312.1)
1964	1810.2	1696.8 (-113.4)	1669.9 (-140.2)	1574.8	1712.3 (137.5)	1693.8 (119.0)
1965	1833.3	1763.6 (-69.6)	1758.0 (-75.3)	1931.1	2303.9 (372.8)	2236.3 (305.2)
1966	2096.6	2037.9 (-58.7)	2068.0 (-28.6)	2203.9	2448.9 (245.0)	2319.0 (115.0)
1967	2811.4	2522.9 (-288.5)	2553.3 (-258.1)	2410.2	2442.3 (32.2)	2325.0 (-85.1)
1968	3171.5	3306.1 (134.6)	3328.7 (157.2)	2712.2	2646.1 (-66.1)	2600.8 (-111.4)
1969	3628.2	3566.6 (-61.6)	3583.0 (-45.2)	3175.4	2735.0 (-440.4)	2769.8 (-405.6)
1970	3611.3	3732.1 (120.8)	3726.2 (115.0)	3729.3	2921.9 (-807.4)	3050.1 (-679.2)
1971	3670.5	3947.7 (277.2)	4019.2 (348.7)	4479.0	3965.4 (-513.6)	4026.3 (-452.7)
1972	3677.8	3769.7 (91.9)	4022.5 (344.6)	5429.1	4864.9 (-564.2)	4883.3 (-545.8)
1973	3984.2	4055.3 (71.1)	4370.1 (385.9)	6926.7	5681.0 (-1245.7)	5702.4 (-1224.4)
1974	4663.0	4935.5 (272.5)	5373.1 (710.1)	8610.2	9230.1 (620.0)	9101.4 (491.2)
1975	5054.4	5335.7 (281.3)	5716.8 (662.4)	10249.3	10308.4 (59.0)	10433.8 (184.4)
1976	5194.4	5441.4 (247.1)	5689.1 (494.7)	11459.3	11598.0 (138.7)	11490.2 (30.9)
1977	5935.7	6079.1 (143.4)	6202.8 (267.1)	12721.5	13247.4 (525.9)	12888.4 (166.9)
1978	6351.2	6188.8 (-162.4)	6175.9 (-175.3)	14145.1	14299.3 (154.2)	13949.4 (-195.7)
1979	6081.4	6163.6 (82.1)	6019.4 (-62.0)	15011.3	14657.4 (-353.9)	14064.2 (-947.1)
1980	6276.1	6630.4 (354.3)	6402.3 (126.2)	16728.7	16990.1 (261.5)	16108.4 (-620.3)
1981	6272.5	6667.5 (395.1)	6490.2 (217.8)	17306.8	18074.9 (768.1)	17357.3 (50.6)
1982	6454.9	6695.2 (240.3)	6606.6 (151.7)	18394.8	18949.0 (554.2)	18374.4 (-20.4)
1983	6220.3	6429.8 (209.5)	6256.6 (36.4)	18594.2	19505.6 (911.4)	19096.3 (502.1)
1984	6284.8	6717.0 (432.3)	6539.8 (255.0)	18750.9	20425.3 (1674.4)	20112.2 (1361.3)
1985	6424.0	6722.7 (298.8)	6595.9 (172.0)	19358.3	19590.4 (232.1)	20003.9 (645.6)
相関係数		.99743	.99254		.99734	.99709
Theil's U		.02306	.03038		.02663	.02409

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す。

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である。

表 A-70: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	YE <sub>3</sub>			YE <sub>4</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	1388.9	1431.0 ( 42.1)	1431.0 ( 42.1)	1042.0	1107.2 ( 65.2)	1107.2 ( 65.2)
1962	1574.7	1619.6 ( 44.9)	1634.4 ( 59.7)	1188.3	1256.5 ( 68.3)	1253.3 ( 65.0)
1963	1897.6	1913.0 ( 15.4)	1946.5 ( 48.9)	1310.0	1405.3 ( 95.3)	1408.2 ( 98.2)
1964	2138.6	2180.3 ( 41.6)	2196.3 ( 57.7)	1517.4	1565.8 ( 48.5)	1555.0 ( 37.7)
1965	2410.7	2468.9 ( 58.2)	2455.3 ( 44.6)	1665.9	1858.1 ( 192.2)	1862.8 ( 196.9)
1966	2771.5	2698.8 ( -72.7)	2727.6 ( -43.9)	1855.8	1889.5 ( 33.8)	1914.2 ( 58.5)
1967	3262.4	2908.2 ( -354.2)	2932.0 ( -330.4)	2205.9	2109.5 ( -96.5)	2129.2 ( -76.7)
1968	3836.9	3542.6 ( -294.3)	3463.5 ( -373.4)	2627.3	2475.5 ( -151.7)	2488.4 ( -138.9)
1969	4436.6	4098.3 ( -338.3)	4035.4 ( -401.2)	3068.1	2748.3 ( -319.8)	2751.7 ( -316.4)
1970	5017.9	4786.8 ( -231.1)	4698.1 ( -319.8)	3604.3	3287.0 ( -317.3)	3278.8 ( -325.5)
1971	5802.5	5602.0 ( -200.5)	5592.8 ( -209.7)	4099.6	3646.3 ( -253.3)	3819.1 ( -280.5)
1972	6502.9	6343.8 ( -159.1)	6395.8 ( -107.0)	4539.7	4061.7 ( -478.0)	4096.6 ( -443.0)
1973	7892.2	7381.5 ( -510.8)	7430.3 ( -462.0)	5689.7	4816.0 ( -873.7)	4841.4 ( -848.3)
1974	9494.2	10893.8 ( 1399.7)	10481.7 ( 987.6)	7294.4	7794.0 ( 499.6)	7732.4 ( 437.9)
1975	10625.4	11891.2 ( 1265.8)	11857.7 ( 1232.3)	7728.5	8426.5 ( 698.0)	8259.7 ( 531.2)
1976	11983.8	12214.5 ( 230.7)	12539.9 ( 556.1)	8326.1	8740.0 ( 413.8)	8616.1 ( 290.0)
1977	12981.0	13160.6 ( 179.5)	13208.0 ( 227.0)	9195.6	9694.2 ( 498.6)	9590.6 ( 395.0)
1978	13116.9	13996.3 ( 879.4)	14139.2 ( 1022.3)	9726.5	10028.6 ( 302.0)	10094.3 ( 367.7)
1979	14178.1	15921.3 ( 1743.2)	15921.7 ( 1743.6)	10165.5	10487.0 ( 321.5)	10738.2 ( 572.7)
1980	15411.4	17942.3 ( 2530.9)	17703.2 ( 2291.8)	10884.4	11314.7 ( 430.4)	11404.1 ( 519.8)
1981	16268.9	18552.6 ( 2283.7)	18627.1 ( 2358.2)	11350.3	13675.2 ( 2325.0)	13565.6 ( 2215.3)
1982	16653.5	19278.6 ( 2625.0)	19346.7 ( 2693.1)	11818.7	13390.1 ( 1571.4)	13503.2 ( 1684.5)
1983	17238.4	19134.9 ( 1896.5)	19053.7 ( 1815.2)	12125.4	13879.7 ( 1754.3)	13917.7 ( 1792.2)
1984	18162.1	21237.0 ( 3075.0)	20904.2 ( 2742.2)	12744.3	14680.4 ( 1936.1)	14788.3 ( 2044.0)
1985	18845.6	21472.7 ( 2627.1)	21395.8 ( 2550.3)	13249.5	14210.6 ( 961.1)	14166.0 ( 916.5)
相関係数		.99667	.99733		.99416	.99439
Theil's U		.06024	.05800		.05410	.05435

OBSは観測値, TOTALは、トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は、各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-71: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	YE <sub>s</sub>			YE <sub>e</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	918.4	785.5 (-132.9)	785.5 (-132.9)	971.5	1015.1 (43.6)	1015.1 (43.6)
1962	1150.5	1141.6 (-8.9)	1147.9 (-2.7)	1156.0	1190.0 (33.9)	1222.5 (66.4)
1963	1305.6	1387.3 (81.7)	1420.3 (114.7)	1342.2	1365.0 (22.9)	1395.6 (53.5)
1964	1465.1	1433.5 (-31.5)	1445.3 (-19.8)	1606.8	1580.2 (-26.6)	1588.8 (-18.0)
1965	1649.0	1891.6 (242.5)	1946.0 (297.0)	1839.0	1909.9 (70.9)	1855.6 (16.6)
1966	1880.0	1912.1 (32.0)	1974.2 (94.1)	2136.7	2155.3 (18.6)	2086.5 (-50.2)
1967	2278.2	1946.6 (-331.6)	1979.2 (-299.0)	2374.3	2418.2 (44.0)	2318.2 (-56.1)
1968	2765.3	2551.8 (-213.6)	2516.5 (-248.8)	2691.1	2718.9 (27.8)	2667.1 (-24.0)
1969	3384.0	2879.7 (-504.3)	2840.4 (-543.5)	3063.4	3051.9 (-11.5)	3025.3 (-38.1)
1970	4262.6	3721.9 (-540.7)	3639.4 (-623.3)	3749.2	3818.1 (68.9)	3816.5 (67.2)
1971	4839.4	4553.3 (-286.1)	4506.6 (-332.8)	4458.6	4322.0 (-136.5)	4493.0 (34.4)
1972	5674.3	5298.1 (-376.2)	5326.3 (-348.1)	5079.5	4973.9 (-105.6)	5101.0 (21.4)
1973	7293.8	6202.3 (-1091.5)	6266.2 (-1027.6)	6393.8	5909.7 (-484.1)	6094.9 (-298.9)
1974	9033.6	9481.7 (448.1)	9315.7 (282.1)	7974.6	8248.3 (273.7)	8199.6 (225.0)
1975	9641.9	10993.5 (1351.6)	10615.0 (973.2)	9327.9	9526.3 (198.4)	9615.2 (287.3)
1976	10670.3	11490.2 (819.9)	11482.2 (811.9)	10557.1	10524.6 (-32.5)	10534.3 (-22.8)
1977	11865.4	12523.4 (658.0)	12597.1 (731.8)	11363.3	11630.8 (267.5)	11438.6 (75.4)
1978	12705.3	13429.6 (724.3)	13545.5 (840.2)	12158.4	12248.2 (89.8)	12211.6 (53.2)
1979	13558.7	13603.3 (44.6)	13893.1 (334.4)	12999.0	12890.7 (-108.3)	12958.0 (-41.0)
1980	14807.0	14383.7 (-423.3)	14428.0 (-379.0)	13583.9	14178.3 (594.4)	14077.8 (493.9)
1981	16814.4	17111.4 (297.0)	16745.0 (-69.4)	14707.9	16057.4 (1349.5)	15966.8 (1258.9)
1982	17816.2	18428.2 (612.0)	17826.6 (10.4)	15761.6	16321.7 (560.1)	16591.0 (829.4)
1983	19238.7	19531.3 (292.6)	18949.7 (-289.0)	16577.8	17167.3 (589.6)	17115.7 (537.9)
1984	21063.5	21151.7 (88.2)	20340.8 (-722.7)	17021.8	18296.6 (1274.8)	18135.9 (1174.1)
1985	22712.9	22885.6 (172.7)	21896.6 (-816.3)	17571.7	18019.1 (447.5)	18222.5 (650.9)
相関係数		.99772	.99717		.99875	.99906
Theil's U		.02298	.02337		.02293	.02196

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.



表 A-72: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	Y E <sub>T</sub>			Y E <sub>s</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	3067.4	3377.8 ( 310.3)	3377.8 ( 310.3)	620.5	604.3 ( -16.2)	604.3 ( -16.2)
1962	3673.1	4006.3 ( 333.3)	4222.1 ( 549.0)	734.3	727.2 ( -7.1)	727.2 ( -7.1)
1963	4487.0	4556.0 ( 69.1)	4862.9 ( 376.0)	877.9	908.0 ( 30.1)	908.0 ( 30.1)
1964	5215.7	5347.9 ( 132.1)	5567.3 ( 351.6)	1050.3	1046.7 ( -3.6)	1046.7 ( -3.6)
1965	6196.7	6309.6 ( 112.9)	6488.9 ( 292.2)	1239.7	1296.5 ( 56.8)	1296.5 ( 56.8)
1966	7308.8	7106.7 ( -202.1)	7215.0 ( -93.7)	1411.3	1466.2 ( 54.9)	1466.2 ( 54.9)
1967	8397.2	8223.8 ( -173.4)	8066.6 ( -330.6)	1591.6	1641.0 ( 49.4)	1641.0 ( 49.4)
1968	10232.8	9752.6 ( -480.3)	9454.7 ( -778.2)	1833.6	1860.9 ( 27.3)	1860.9 ( 27.3)
1969	12141.8	11503.1 ( -638.7)	11012.8 ( -1128.9)	2120.6	2144.7 ( 24.1)	2144.7 ( 24.1)
1970	14642.8	13729.3 ( -913.5)	13108.6 ( -1534.2)	2528.4	2528.7 ( .3)	2528.7 ( .3)
1971	17598.7	17421.6 ( -177.1)	16312.3 ( -1286.4)	2990.3	2976.6 ( -13.7)	2976.6 ( -13.7)
1972	20743.8	20370.7 ( -373.1)	19275.7 ( -1468.1)	3512.4	3473.7 ( -38.7)	3473.7 ( -38.7)
1973	26050.9	24954.6 ( -1096.3)	23661.1 ( -2389.8)	4372.1	4280.4 ( -91.7)	4280.4 ( -91.7)
1974	33134.4	34251.6 ( 1117.2)	32704.0 ( -430.4)	5770.3	5672.0 ( -98.3)	5672.0 ( -98.3)
1975	40158.3	40457.2 ( 298.9)	40217.1 ( 58.7)	7193.0	7165.9 ( -27.1)	7165.9 ( -27.1)
1976	45850.1	46161.0 ( 310.9)	46066.4 ( 216.3)	7978.9	8071.7 ( 92.8)	8071.7 ( 92.8)
1977	52371.4	52108.2 ( -263.2)	52469.9 ( 98.5)	8854.9	8945.4 ( 90.5)	8945.4 ( 90.5)
1978	58148.0	58316.3 ( 168.3)	58487.1 ( 339.0)	9591.8	9486.3 ( -105.5)	9486.3 ( -105.5)
1979	62671.9	61424.3 ( -1247.6)	61680.4 ( -991.5)	10388.4	10325.0 ( -63.4)	10325.0 ( -63.4)
1980	68291.3	68129.5 ( -161.8)	67640.0 ( -651.3)	11268.7	11229.1 ( -39.6)	11229.1 ( -39.6)
1981	74101.2	74914.4 ( 813.2)	74947.2 ( 846.0)	12138.5	12084.0 ( -54.5)	12084.0 ( -54.5)
1982	78373.1	77882.0 ( -491.1)	79166.4 ( 793.3)	12682.9	12648.1 ( -34.8)	12648.1 ( -34.8)
1983	82696.5	81648.8 ( -1047.7)	82797.5 ( 101.0)	13121.7	13048.0 ( -73.7)	13048.0 ( -73.7)
1984	87628.0	88896.7 ( 1268.7)	89856.9 ( 2228.9)	13765.3	13734.2 ( -31.1)	13734.2 ( -31.1)
1985	91114.9	91627.7 ( 512.8)	94081.0 ( 2966.0)	14395.2	14667.9 ( 272.7)	14667.9 ( 272.7)
相関係数		.99978	.99950		.99987	.99987
Theil's U		.00672	.01181		.00501	.00501

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 A-73: トータル・テスト, ファイナル・テスト

Year	YE <sub>T</sub>			YE <sub>F</sub>		
	OBS	TOTAL	FINAL	OBS	TOTAL	FINAL
1961	3067.4	3377.8 ( 310.3)	3377.8 ( 310.3)	620.5	604.3 ( -16.2)	604.3 ( -16.2)
1962	3673.1	4006.3 ( 333.3)	4222.1 ( 549.0)	734.3	727.2 ( -7.1)	727.2 ( -7.1)
1963	4487.0	4556.0 ( 69.1)	4862.9 ( 376.0)	877.9	908.0 ( 30.1)	908.0 ( 30.1)
1964	5215.7	5347.9 ( 132.1)	5567.3 ( 351.6)	1050.3	1046.7 ( -3.6)	1046.7 ( -3.6)
1965	6196.7	6309.6 ( 112.9)	6488.9 ( 292.2)	1239.7	1296.5 ( 56.8)	1296.5 ( 56.8)
1966	7308.8	7106.7 ( -202.1)	7215.0 ( -93.7)	1411.3	1466.2 ( 54.9)	1466.2 ( 54.9)
1967	8397.2	8223.8 ( -173.4)	8066.6 ( -330.6)	1591.6	1641.0 ( 49.4)	1641.0 ( 49.4)
1968	10232.8	9752.6 ( -480.3)	9454.7 ( -778.2)	1833.6	1860.9 ( 27.3)	1860.9 ( 27.3)
1969	12141.8	11503.1 ( -638.7)	11012.8 ( -1128.9)	2120.6	2144.7 ( 24.1)	2144.7 ( 24.1)
1970	14642.8	13729.3 ( -913.5)	13108.6 ( -1534.2)	2528.4	2528.7 ( .3)	2528.7 ( .3)
1971	17598.7	17421.6 ( -177.1)	16312.3 ( -1286.4)	2990.3	2976.6 ( -13.7)	2976.6 ( -13.7)
1972	20743.8	20370.7 ( -373.1)	19275.7 ( -1468.1)	3512.4	3473.7 ( -38.7)	3473.7 ( -38.7)
1973	26050.9	24954.6 ( -1096.3)	23661.1 ( -2389.8)	4372.1	4280.4 ( -91.7)	4280.4 ( -91.7)
1974	33134.4	34251.6 ( 1117.2)	32704.0 ( -430.4)	5770.3	5672.0 ( -98.3)	5672.0 ( -98.3)
1975	40158.3	40457.2 ( 298.9)	40217.1 ( 58.7)	7193.0	7165.9 ( -27.1)	7165.9 ( -27.1)
1976	45850.1	46161.0 ( 310.9)	46066.4 ( 216.3)	7978.9	8071.7 ( 92.8)	8071.7 ( 92.8)
1977	52371.4	52108.2 ( -263.2)	52469.9 ( 98.5)	8854.9	8945.4 ( 90.5)	8945.4 ( 90.5)
1978	58148.0	58316.3 ( 168.3)	58487.1 ( 339.0)	9591.8	9486.3 ( -105.5)	9486.3 ( -105.5)
1979	62671.9	61424.3 ( -1247.6)	61680.4 ( -991.5)	10388.4	10325.0 ( -63.4)	10325.0 ( -63.4)
1980	68291.3	68129.5 ( -161.8)	67640.0 ( -651.3)	11268.7	11229.1 ( -39.6)	11229.1 ( -39.6)
1981	74101.2	74914.4 ( 813.2)	74947.2 ( 846.0)	12138.5	12084.0 ( -54.5)	12084.0 ( -54.5)
1982	78373.1	77882.0 ( -491.1)	79166.4 ( 793.3)	12682.9	12648.1 ( -34.8)	12648.1 ( -34.8)
1983	82696.5	81648.8 ( -1047.7)	82797.5 ( 101.0)	13121.7	13048.0 ( -73.7)	13048.0 ( -73.7)
1984	87628.0	88896.7 ( 1268.7)	89856.9 ( 2228.9)	13765.3	13734.2 ( -31.1)	13734.2 ( -31.1)
1985	91114.9	91627.7 ( 512.8)	94081.0 ( 2966.0)	14395.2	14667.9 ( 272.7)	14667.9 ( 272.7)
相関係数		.99978	.99950		.99987	.99987
Theil's U		.00672	.01181		.00501	.00501

OBSは観測値, TOTALは, トータル・テストの結果, FINALはファイナル・テストの結果を示す.

カッコ内は, 各テストの結果と観測値の残差である.

表 B-1: 財政政策シミュレーション

Year	BP			BSD		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3.9	-347.2	87.94637	79273.9	80541.9	.01600
1981	6256.0	5911.9	-.05500	87357.1	88710.7	.01549
1982	5775.9	5418.0	-.06196	87442.9	88751.0	.01496
1983	7151.1	6787.6	-.05083	92323.4	93566.4	.01346
1984	10854.6	10500.5	-.03262	99416.7	100617.6	.01208
1985	13238.3	12917.6	-.02422	105380.4	106573.2	.01123
Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2367.9	2371.2	.00140	6000.5	6384.7	.06403
1981	2969.5	2977.3	.00264	6921.2	7363.6	.06393
1982	2760.0	2766.6	.00241	5306.3	5670.4	.06862
1983	3094.7	3104.6	.00322	3469.0	3735.9	.07695
1984	3454.0	3466.0	.00346	3037.6	3292.2	.08382
1985	3474.4	3485.1	.00307	3791.2	4077.0	.07537
Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	7162.1	7288.6	.01766	14506.7	15165.8	.04543
1981	9754.5	9898.3	.01474	16004.1	16670.8	.04165
1982	9827.8	9980.6	.01555	14234.8	14876.6	.04508
1983	10649.2	10807.0	.01482	13911.7	14542.2	.04533
1984	10089.1	10223.1	.01328	17517.5	18162.2	.03680
1985	9495.6	9613.9	.01247	16123.6	16698.8	.03567
Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9071.7	9104.7	.00365	6775.7	6656.2	-.01764
1981	9747.4	9783.4	.00370	6972.8	6843.1	-.01859
1982	9137.2	9178.9	.00457	7500.2	7382.1	-.01574
1983	10497.9	10546.3	.00460	8310.5	8198.1	-.01352
1984	13254.9	13294.4	.00298	9265.5	9162.1	-.01116
1985	13697.1	13734.1	.00270	11330.1	11251.8	-.00691
Year	BSD <sub>7</sub>			CP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	33389.2	33570.6	.00543	140224.1	141229.4	.00717
1981	34987.7	35174.2	.00533	153432.3	154519.2	.00708
1982	38676.5	38895.7	.00567	159739.8	160883.4	.00716
1983	42390.4	42632.2	.00570	167881.3	169036.9	.00688
1984	42798.1	43017.8	.00513	178986.1	180125.4	.00637
1985	47477.3	47712.5	.00495	185091.8	186174.2	.00585
Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2042.0	2049.7	.00379	21422.2	22029.5	.02835
1981	2014.1	2021.2	.00351	22051.8	22700.9	.02944
1982	2103.3	2110.6	.00345	20714.1	21369.6	.03165
1983	2046.7	2053.1	.00312	20481.9	21146.0	.03242
1984	2178.1	2184.4	.00287	20773.0	21421.8	.03124
1985	2398.8	2404.7	.00250	20311.3	20932.5	.03058
Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15862.4	15923.1	.00383	2339.8	2347.7	.00336
1981	16517.9	16582.9	.00393	2762.0	2770.7	.00315
1982	16382.9	16446.7	.00390	3037.9	3047.8	.00326
1983	16834.3	16896.5	.00370	3383.5	3393.7	.00302
1984	17020.7	17079.6	.00346	3903.5	3913.8	.00263
1985	17087.7	17141.8	.00316	4185.4	4194.9	.00227

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-2: 財政政策シミュレーション

Year	$F_5$			$F_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	16640.8	16745.4	.00629	4752.1	4769.9	.00375
1981	16415.7	16521.8	.00647	4867.9	4886.6	.00385
1982	16516.0	16629.1	.00684	4371.4	4388.0	.00378
1983	17621.0	17734.0	.00641	4407.9	4423.6	.00357
1984	20031.8	20130.0	.00490	4344.4	4359.0	.00336
1985	21350.2	21441.9	.00430	4318.6	4331.8	.00307
Year	$F_7$			$F_8$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43475.6	43600.5	.00287	4014.1	4011.6	-.00062
1981	45538.3	45670.8	.00291	4183.0	4180.7	-.00058
1982	47714.7	47855.2	.00294	4089.7	4087.2	-.00062
1983	49647.0	49785.8	.00280	4227.4	4224.8	-.00061
1984	52064.1	52201.2	.00263	4344.5	4342.1	-.00055
1985	54432.4	54561.0	.00236	4402.7	4400.4	-.00052
Year	$F_9$			$G_{BC}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	57.9	57.6	-.00508	4357.1	4343.6	-.00309
1981	35.1	35.0	-.00452	4817.1	4803.9	-.00275
1982	30.4	30.2	-.00409	4430.7	4417.9	-.00288
1983	13.2	13.2	-.00168	4503.9	4491.4	-.00277
1984	23.1	23.1	-.00268	4648.5	4637.2	-.00243
1985	24.4	24.4	-.00247	5259.1	5247.4	-.00222
Year	$G_{CP}$			$G_{CN}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	59514.0	59742.0	.00383	614.2	612.9	-.00209
1981	61772.7	62017.2	.00396	657.5	656.2	-.00189
1982	63012.1	63256.4	.00388	631.3	630.0	-.00204
1983	65200.9	65438.3	.00364	681.6	680.2	-.00202
1984	67691.8	67925.7	.00345	722.4	721.1	-.00181
1985	69141.0	69359.0	.00315	760.3	759.0	-.00172
Year	$G_{CO}$			$G_{IP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	8633.0	8626.9	-.00070	27448.1	27290.6	-.00574
1981	9024.6	9018.8	-.00064	28507.3	28353.9	-.00538
1982	9206.3	9199.8	-.00070	28714.5	28613.6	-.00351
1983	9480.5	9473.9	-.00070	29829.6	29755.8	-.00247
1984	9735.8	9729.7	-.00062	32657.3	32577.2	-.00245
1985	9921.9	9916.1	-.00059	33895.1	33836.0	-.00174
Year	$G_{IG}$			$G_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9891.4	10756.3	.08744	858.5	854.1	-.00512
1981	10129.4	11013.6	.08729	731.7	728.3	-.00472
1982	10112.0	11002.0	.08801	618.5	615.8	-.00447
1983	9883.7	10762.8	.08894	114.4	114.1	-.00274
1984	9549.8	10402.8	.08933	602.0	599.9	-.00361
1985	9064.4	9875.0	.08943	1255.0	1250.7	-.00350
Year	$G_{DE}$			$G_{DEP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	246243.0	249409.2	.01286	2.28035	2.29274	.00543
1981	271986.0	275395.0	.01253	2.37852	2.39068	.00512
1982	278931.3	282445.6	.01260	2.41649	2.42806	.00479
1983	290558.9	294052.8	.01202	2.44169	2.45243	.00440
1984	313649.8	317081.1	.01094	2.48199	2.49190	.00399
1985	324496.8	327791.2	.01015	2.49169	2.50059	.00357

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-3: 財政政策シミュレーション

Year	$H_1$			$H_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2165.44	2178.70	.00612	2404.66	2508.14	.04303
1981	2242.05	2255.57	.00603	2370.45	2475.63	.04437
1982	2242.86	2256.54	.00610	2381.45	2488.38	.04490
1983	2229.51	2243.31	.00619	2432.29	2539.20	.04396
1984	2287.49	2300.86	.00584	2456.81	2561.20	.04249
1985	2216.65	2228.16	.00520	2310.92	2407.50	.04179
Year	$H_3$			$H_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2642.24	2673.33	.01177	2522.14	2579.56	.02277
1981	2706.84	2737.00	.01114	2708.19	2766.98	.02171
1982	2676.03	2706.93	.01155	2556.02	2612.82	.02222
1983	2592.82	2622.17	.01132	2593.35	2651.74	.02252
1984	2708.38	2735.87	.01015	2741.47	2797.54	.02045
1985	2607.48	2632.03	.00942	2557.73	2607.45	.01944
Year	$H_5$			$H_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2369.45	2388.11	.00787	2398.10	2415.93	.00743
1981	2345.98	2363.68	.00755	2496.29	2515.15	.00756
1982	2275.43	2293.61	.00799	2429.74	2449.13	.00798
1983	2353.27	2371.28	.00765	2411.31	2431.35	.00831
1984	2450.14	2464.99	.00606	2464.87	2484.90	.00813
1985	2339.97	2352.94	.00554	2419.44	2438.58	.00791
Year	$H_7$			HMFG		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2217.31	2230.01	.00573	2257.8	2271.8	.00622
1981	2263.53	2275.86	.00545	2299.7	2313.5	.00598
1982	2217.15	2230.10	.00584	2247.1	2261.5	.00638
1983	2234.88	2247.82	.00579	2269.3	2283.7	.00632
1984	2267.76	2279.69	.00526	2313.4	2326.5	.00567
1985	2200.70	2211.38	.00485	2242.0	2253.8	.00526
Year	$IM_1$			$IM_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-486.1	-490.0	.00810	-2026.7	-2068.6	.02067
1981	-501.2	-505.1	.00792	-2044.4	-2084.6	.01965
1982	-440.3	-443.8	.00799	-1945.9	-1986.0	.02057
1983	-491.7	-495.6	.00796	-2496.2	-2544.3	.01927
1984	-505.6	-509.3	.00737	-2735.0	-2781.6	.01704
1985	-487.9	-491.1	.00660	-2812.8	-2857.1	.01575
Year	$IM_4$			$IM_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1632.8	-1665.4	.01996	-1257.8	-1272.6	.01177
1981	-1746.1	-1780.4	.01968	-995.8	-1007.4	.01164
1982	-1650.3	-1683.5	.02008	-951.6	-963.3	.01221
1983	-1790.1	-1826.4	.02030	-1130.5	-1143.7	.01167
1984	-1994.0	-2030.9	.01854	-1255.0	-1267.0	.00953
1985	-1863.4	-1896.0	.01749	-1146.0	-1155.8	.00862
Year	$IM_6$			$IM_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-595.5	-599.7	.00697	-822.0	-827.6	.00683
1981	-631.5	-636.1	.00716	-775.9	-781.0	.00656
1982	-599.7	-604.5	.00794	-708.4	-713.3	.00693
1983	-681.3	-686.7	.00788	-659.7	-664.2	.00683
1984	-716.2	-721.6	.00756	-726.0	-730.5	.00620
1985	-803.2	-808.9	.00716	-765.1	-769.5	.00570

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-4: 財政政策シミュレーション

Year	IM <sub>9</sub>			IP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3916.8	-3937.1	.00519	56136.1	56351.5	.00384
1981	-3452.1	-3471.1	.00551	59018.3	59256.6	.00404
1982	-3496.4	-3516.3	.00569	59304.6	59618.8	.00530
1983	-3446.2	-3466.9	.00602	61543.8	61886.9	.00558
1984	-3697.5	-3718.2	.00558	67747.1	68082.7	.00495
1985	-3521.1	-3539.6	.00524	69094.5	69466.4	.00538
Year	K <sub>1</sub>			K <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	40107.2	40228.7	.00303	11687.3	11734.3	.00402
1981	44172.0	44289.8	.00267	13027.9	13078.8	.00391
1982	48048.4	48171.6	.00256	14220.7	14273.8	.00373
1983	51806.0	51927.5	.00235	15411.4	15466.0	.00354
1984	55646.1	55764.2	.00212	16584.3	16637.1	.00318
1985	59063.9	59171.7	.00182	17040.0	17078.2	.00224
Year	K <sub>3</sub>			K <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	25682.9	25749.0	.00257	49954.2	50067.3	.00226
1981	27681.9	27747.0	.00235	53022.7	53144.7	.00230
1982	29583.8	29652.2	.00231	56342.2	56481.1	.00247
1983	31798.2	31874.8	.00241	59766.0	59909.7	.00240
1984	34202.1	34279.6	.00227	63381.2	63523.5	.00225
1985	36793.4	36874.1	.00220	66604.6	66737.9	.00200
Year	K <sub>5</sub>			K <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	27501.7	27605.7	.00378	70166.4	70384.3	.00311
1981	31773.9	31905.7	.00415	77147.4	77384.1	.00307
1982	35884.9	36027.1	.00396	83614.5	83862.0	.00296
1983	39944.0	40089.1	.00363	88340.4	88551.8	.00239
1984	45020.4	45183.2	.00362	93698.5	93914.8	.00231
1985	51219.7	51407.1	.00366	100585.7	100832.4	.00245
Year	K <sub>7</sub>			L <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	60845.4	61054.6	.00344	747.2	746.5	-.00093
1981	68717.3	68947.0	.00334	725.3	724.7	-.00082
1982	76664.8	76917.5	.00330	706.8	706.2	-.00079
1983	85637.0	85918.3	.00328	690.6	690.1	-.00072
1984	95603.1	95895.9	.00306	675.6	675.1	-.00065
1985	106722.1	107037.8	.00296	663.3	662.9	-.00056
Year	L <sub>2</sub>			L <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	573.8	574.2	.00066	613.9	613.9	-.00003
1981	584.2	584.6	.00064	599.4	599.3	-.00002
1982	592.7	593.1	.00062	607.6	607.6	-.00002
1983	600.7	601.0	.00058	606.1	606.1	-.00002
1984	608.0	608.3	.00053	611.8	611.8	-.00002
1985	610.7	610.9	.00037	607.1	607.1	-.00002
Year	L <sub>4</sub>			L <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	322.7	322.7	-.00003	462.0	461.7	-.00056
1981	332.8	332.8	-.00003	498.1	497.8	-.00068
1982	324.4	324.4	-.00003	512.0	511.6	-.00067
1983	320.1	320.0	-.00003	516.1	515.7	-.00078
1984	317.3	317.3	-.00003	542.5	542.0	-.00091
1985	323.5	323.5	-.00003	578.8	578.3	-.00094

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-5: 財政政策シミュレーション

Year	L <sub>6</sub>			L <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	367.9	367.9	.00017	2552.5	2554.5	.00081
1981	366.6	366.6	.00020	2626.5	2628.5	.00078
1982	362.8	362.9	.00020	2694.8	2696.9	.00077
1983	366.1	366.2	.00022	2765.8	2767.9	.00077
1984	366.3	366.4	.00026	2838.2	2840.3	.00072
1985	359.3	359.4	.00027	2912.5	2914.5	.00069
Year	μ <sub>BC</sub>			μ <sub>CG</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.33789	2.34513	.00310	2.72995	2.73188	.00070
1981	2.45813	2.46490	.00276	2.83500	2.83683	.00064
1982	2.50914	2.51639	.00289	2.91067	2.91272	.00070
1983	2.54976	2.55685	.00278	2.95303	2.95509	.00070
1984	2.61311	2.61947	.00243	3.02481	3.02669	.00062
1985	2.64885	2.65473	.00222	3.09269	3.09451	.00059
Year	μ <sub>CN</sub>			μ <sub>CP</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.95998	2.96618	.00209	2.35615	2.36399	.00333
1981	3.06166	3.06747	.00190	2.48382	2.49156	.00312
1982	3.14077	3.14720	.00205	2.53506	2.54335	.00327
1983	3.20239	3.20886	.00202	2.57483	2.58315	.00323
1984	3.28064	3.28658	.00181	2.64413	2.65180	.00290
1985	3.32100	3.32672	.00172	2.67702	2.68421	.00269
Year	μ <sub>EX</sub>			μ <sub>IG</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.00882	2.02202	.00657	2.31396	2.34069	.01155
1981	2.10673	2.11931	.00597	2.39686	2.42488	.01169
1982	2.13239	2.14522	.00602	2.38754	2.41384	.01102
1983	2.10647	2.11851	.00572	2.38639	2.41063	.01016
1984	2.11291	2.12333	.00493	2.41946	2.44317	.00980
1985	2.07890	2.08822	.00448	2.38384	2.40698	.00971
Year	μ <sub>IP</sub>			μ <sub>Z</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.04517	2.06487	.00963	1.87863	1.88829	.00514
1981	2.07029	2.08989	.00947	1.91724	1.92633	.00474
1982	2.06532	2.08359	.00884	1.92295	1.93160	.00449
1983	2.06318	2.07983	.00807	1.90062	1.90584	.00275
1984	2.07449	2.08989	.00743	1.88994	1.89679	.00363
1985	2.03848	2.05304	.00714	1.79580	1.80210	.00351
Year	NEX			NIM		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	34543.4	34543.4	.00000	-34547.3	-34890.6	.00994
1981	39804.6	39804.6	.00000	-33548.6	-33892.7	.01026
1982	40499.5	40499.5	.00000	-34723.6	-35081.5	.01031
1983	40604.8	40604.8	.00000	-33453.7	-33817.2	.01087
1984	46526.5	46526.5	.00000	-35671.9	-36026.0	.00993
1985	47544.7	47544.7	.00000	-34306.3	-34627.0	.00935
Year	NTEX <sub>1</sub>			NTEX <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-938.5	-946.7	.00875	.0	.0	.00000
1981	-957.3	-965.7	.00882	.0	.0	.00000
1982	-979.4	-987.7	.00847	.0	.0	.00000
1983	-1000.4	-1008.9	.00850	.0	.0	.00000
1984	-1066.8	-1075.2	.00786	.0	.0	.00000
1985	-1050.9	-1058.3	.00710	.0	.0	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-6: 財政政策シミュレーション

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1859.9	-1946.5	.04655	2842.2	2737.2	-.03691
1981	-1942.5	-2028.9	.04447	2922.8	2814.7	-.03699
1982	-1769.5	-1858.4	.05023	3512.6	3408.2	-.02972
1983	-2426.3	-2522.9	.03981	2511.7	2403.3	-.04316
1984	-2754.1	-2847.9	.03407	2511.8	2404.4	-.04276
1985	-2858.5	-2945.7	.03051	2635.4	2538.7	-.03669
Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15370.7	15347.3	-.00152	2412.4	2403.2	-.00383
1981	19073.7	19050.6	-.00121	2399.0	2388.4	-.00443
1982	19389.5	19365.3	-.00125	2711.5	2699.8	-.00431
1983	20366.3	20340.5	-.00127	2150.8	2138.0	-.00597
1984	24580.7	24556.9	-.00097	2363.9	2350.8	-.00555
1985	25328.6	25306.6	-.00087	2101.6	2088.3	-.00635
Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1057.6	1044.7	-.01220	.0	.0	.00000
1981	1852.2	1838.9	-.00719	.0	.0	.00000
1982	1467.5	1452.6	-.01019	.0	.0	.00000
1983	1442.8	1427.1	-.01087	.0	.0	.00000
1984	1773.8	1758.6	-.00857	.0	.0	.00000
1985	2223.2	2208.7	-.00653	.0	.0	.00000
Year	NTEX <sub>9</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-18888.3	-18986.4	.00519	-481.0	-484.6	.00745
1981	-17092.0	-17186.1	.00551	-690.3	-695.3	.00726
1982	-18556.2	-18661.8	.00569	-548.4	-552.4	.00735
1983	-15893.8	-15989.5	.00602	-519.7	-523.5	.00730
1984	-16554.8	-16647.2	.00558	-541.2	-544.8	.00676
1985	-15141.1	-15220.5	.00524	-269.8	-271.4	.00605
Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-59.2	-61.5	.03945	1573.9	1591.6	.01125
1981	-206.4	-214.8	.04065	1621.4	1638.8	.01074
1982	-54.6	-56.9	.04150	2122.7	2146.2	.01108
1983	-55.0	-57.3	.04098	2076.8	2099.3	.01086
1984	-48.6	-50.5	.03943	2305.9	2328.5	.00981
1985	-84.8	-88.1	.03847	3092.4	3120.6	.00911
Year	NTX <sub>4</sub>			NTX <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1896.2	1931.7	.01872	728.2	734.5	.00866
1981	2090.2	2128.4	.01828	739.1	745.2	.00820
1982	2035.1	2072.8	.01852	843.0	850.2	.00850
1983	1996.6	2034.3	.01888	916.8	924.2	.00816
1984	2147.8	2184.8	.01724	1018.7	1025.4	.00664
1985	2104.3	2138.5	.01628	1095.2	1101.8	.00605
Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-81.1	-81.5	.00524	735.9	740.8	.00664
1981	176.2	177.2	.00537	1600.4	1610.5	.00633
1982	-6.5	-6.5	.00579	1220.8	1229.0	.00671
1983	-28.4	-28.6	.00602	1218.2	1226.2	.00661
1984	134.0	134.7	.00571	1590.7	1600.2	.00599
1985	208.0	209.1	.00548	1706.6	1715.9	.00549

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。



表 B-7: 財政政策シミュレーション

Year	NTX <sub>6</sub>			PC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.0	.0	.00000	2.18809	2.19383	.00262
1981	.0	.0	.00000	2.27503	2.28085	.00256
1982	.0	.0	.00000	2.22183	2.22744	.00252
1983	.0	.0	.00000	2.24537	2.25134	.00266
1984	.0	.0	.00000	2.24797	2.25353	.00247
1985	.0	.0	.00000	2.23903	2.24391	.00218
Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.47233	.01282	2.19336	2.20584	.00569
1981	2.46801	2.50007	.01299	2.26082	2.27279	.00529
1982	2.58456	2.61582	.01210	2.28679	2.29928	.00546
1983	2.60061	2.62936	.01105	2.25391	2.26619	.00545
1984	2.63820	2.66637	.01068	2.31924	2.33039	.00481
1985	2.63564	2.66346	.01056	2.28769	2.29794	.00448
Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.41591	2.44800	.01328	1.59513	1.60389	.00550
1981	2.57123	2.60330	.01247	1.69473	1.70339	.00511
1982	2.54788	2.57990	.01257	1.72294	1.73182	.00516
1983	2.49337	2.52466	.01255	1.74188	1.75038	.00488
1984	2.50837	2.53681	.01134	1.75643	1.76372	.00415
1985	2.39233	2.41799	.01073	1.72781	1.73440	.00381
Year	PC <sub>7</sub>			PO <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.35321	2.35820	.00212	2.19863	2.20418	.00252
1981	2.47772	2.48247	.00192	2.28525	2.29088	.00247
1982	2.49022	2.49538	.00207	2.24680	2.25226	.00243
1983	2.53092	2.53609	.00205	2.25935	2.26514	.00256
1984	2.59553	2.60029	.00183	2.26622	2.27162	.00238
1985	2.63363	2.63821	.00174	2.26128	2.26603	.00210
Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.47233	.01282	2.29629	2.31029	.00610
1981	2.46801	2.50007	.01299	2.37722	2.39077	.00570
1982	2.58456	2.61582	.01210	2.41073	2.42497	.00591
1983	2.60061	2.62936	.01105	2.36052	2.37430	.00584
1984	2.63820	2.66637	.01068	2.43442	2.44699	.00516
1985	2.63564	2.66346	.01056	2.39565	2.40715	.00480
Year	PO <sub>4</sub>			PO <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.45627	2.48701	.01251	1.59765	1.60616	.00533
1981	2.60139	2.63195	.01175	1.70949	1.71798	.00497
1982	2.57929	2.60983	.01184	1.73993	1.74865	.00501
1983	2.51934	2.54912	.01182	1.75451	1.76283	.00474
1984	2.52979	2.55681	.01068	1.76969	1.77683	.00404
1985	2.42228	2.44676	.01011	1.74924	1.75573	.00371
Year	PO <sub>6</sub>			PO <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.68883	2.68883	.00000	2.35258	2.35751	.00209
1981	2.90042	2.90042	.00000	2.47924	2.48394	.00190
1982	2.99949	2.99949	.00000	2.49584	2.50095	.00205
1983	3.00006	3.00006	.00000	2.53997	2.54511	.00202
1984	3.07317	3.07317	.00000	2.60318	2.60789	.00181
1985	3.13162	3.13162	.00000	2.64057	2.64511	.00172

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-8: 財政政策シミュレーション

Year	RGDE			RI		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	107984.6	108782.4	.00739	11.25071	11.76912	.04608
1981	114351.2	115195.2	.00738	10.67069	11.14819	.04475
1982	115428.2	116325.4	.00777	8.95387	9.36009	.04537
1983	118999.2	119902.7	.00759	8.23062	8.59522	.04430
1984	126370.1	127244.6	.00692	8.55856	8.90165	.04009
1985	130231.6	131085.4	.00656	6.93751	7.19464	.03706
Year	TH			TL		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2312.8	2339.2	.01141	5854.3	5855.9	.00026
1981	2360.7	2387.0	.01117	5948.3	5949.8	.00026
1982	2318.2	2345.0	.01157	6017.0	6018.5	.00027
1983	2329.5	2356.2	.01147	6081.8	6083.4	.00027
1984	2383.9	2409.2	.01061	6176.0	6177.5	.00024
1985	2296.6	2319.4	.00993	6267.2	6268.6	.00022
Year	V			V <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	254827.5	257967.2	.01232	8625.6	8666.0	.00468
1981	281880.5	285261.7	.01200	9058.7	9101.9	.00476
1982	288021.2	291506.6	.01210	9013.3	9056.8	.00483
1983	300064.6	303530.9	.01155	9106.5	9152.5	.00505
1984	323536.8	326940.9	.01052	9732.1	9779.7	.00489
1985	336257.8	339527.8	.00972	10033.4	10077.4	.00438
Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	22931.5	24035.8	.04816	27905.6	28258.0	.01263
1981	24789.7	26016.8	.04950	31204.0	31569.1	.01170
1982	24200.6	25404.3	.04974	32420.4	32816.4	.01221
1983	22919.5	24032.8	.04857	32988.8	33382.8	.01195
1984	23414.3	24526.3	.04749	34739.1	35108.7	.01064
1985	23296.8	24389.6	.04691	35169.3	35515.6	.00985
Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	28144.5	29095.4	.03379	24326.6	24480.5	.00633
1981	32200.6	33201.1	.03107	27750.9	27923.3	.00621
1982	30060.1	31036.0	.03246	28549.8	28747.1	.00691
1983	30157.6	31137.1	.03248	31075.7	31282.2	.00664
1984	34696.4	35677.3	.02827	35555.7	35731.0	.00493
1985	32798.5	33683.1	.02697	37807.2	37978.6	.00453
Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	20969.0	20953.6	-.00074	110439.5	111016.4	.00522
1981	23312.3	23304.0	-.00036	121266.1	121871.1	.00499
1982	23922.1	23933.3	.00047	126950.8	127633.5	.00538
1983	25560.3	25589.4	.00114	134901.7	135624.7	.00536
1984	27813.5	27858.6	.00162	143624.6	144321.9	.00485
1985	29682.5	29746.9	.00217	152912.8	153602.4	.00451
Year	V <sub>8</sub>			VBC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	11485.1	11461.5	-.00205	118.2	118.8	.00468
1981	12298.2	12274.5	-.00193	96.7	97.2	.00476
1982	12904.2	12879.3	-.00193	122.8	123.4	.00483
1983	13354.5	13329.4	-.00188	119.3	119.9	.00505
1984	13961.0	13937.4	-.00169	124.4	125.0	.00489
1985	14557.3	14534.3	-.00158	196.8	197.6	.00438

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-9: 財政政策シミュレーション

Year	VBC <sub>2</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1295.2	1357.6	.04816	1519.2	1538.3	.01263
1981	1450.2	1522.0	.04950	1790.7	1811.6	.01170
1982	1253.1	1315.5	.04974	1697.7	1718.4	.01221
1983	1259.1	1320.2	.04857	1680.2	1700.3	.01195
1984	1272.1	1332.5	.04749	1800.1	1819.3	.01064
1985	1062.0	1111.8	.04691	2094.2	2114.8	.00985
Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1757.1	1816.5	.03379	1224.9	1232.6	.00633
1981	2361.4	2434.8	.03107	1662.7	1673.0	.00621
1982	1915.2	1977.3	.03246	1460.0	1470.1	.00691
1983	1851.3	1911.4	.03248	1599.8	1610.4	.00664
1984	1977.1	2033.0	.02827	1841.2	1850.3	.00493
1985	1955.9	2008.6	.02697	2238.9	2249.1	.00453
Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	711.9	711.4	-.00074	3577.8	3596.5	.00522
1981	878.7	878.4	-.00036	4037.9	4058.1	.00499
1982	796.5	796.9	.00047	3973.5	3994.9	.00538
1983	814.8	815.7	.00114	4276.7	4299.6	.00536
1984	871.5	872.9	.00162	4571.5	4593.7	.00485
1985	1170.4	1173.0	.00217	5283.7	5307.6	.00451
Year	VBC <sub>8</sub>			VM <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	361.7	361.0	-.00205	.05685	.05688	.00057
1981	380.7	380.0	-.00193	.05709	.05712	.00055
1982	409.8	409.0	-.00193	.05553	.05556	.00056
1983	428.5	427.7	-.00188	.05666	.05669	.00058
1984	444.7	444.0	-.00169	.05625	.05629	.00054
1985	353.4	352.9	-.00158	.05584	.05587	.00048
Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	.05311	.05356	.00846
1981	.00000	.00000	.00000	.05236	.05278	.00799
1982	.00000	.00000	.00000	.05069	.05112	.00852
1983	.00000	.00000	.00000	.05754	.05797	.00748
1984	.00000	.00000	.00000	.05956	.05994	.00638
1985	.00000	.00000	.00000	.06028	.06064	.00588
Year	VM <sub>4</sub>			VM <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.05776	.05776	.00000	.03896	.03901	.00126
1981	.05776	.05776	.00000	.03742	.03747	.00122
1982	.05776	.05776	.00000	.03719	.03723	.00124
1983	.05776	.05776	.00000	.03783	.03787	.00115
1984	.05776	.05776	.00000	.03778	.03781	.00098
1985	.05776	.05776	.00000	.03658	.03662	.00093
Year	VM <sub>6</sub>			VM <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.04235	.04235	.00000	.01120	.01120	.00000
1981	.04271	.04271	.00000	.01120	.01120	.00000
1982	.04253	.04253	.00000	.01120	.01120	.00000
1983	.04304	.04304	.00000	.01120	.01120	.00000
1984	.04325	.04325	.00000	.01120	.01120	.00000
1985	.04452	.04452	.00000	.01120	.01120	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-10: 財政政策シミュレーション

Year	$vM_0$			$X_1$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	7761.0	7798.3	.00481
1981	.00000	.00000	.00000	7848.1	7884.9	.00469
1982	.00000	.00000	.00000	8012.1	8050.7	.00482
1983	.00000	.00000	.00000	7994.4	8031.4	.00463
1984	.00000	.00000	.00000	8557.3	8593.9	.00428
1985	.00000	.00000	.00000	8614.5	8647.8	.00386
Year	$X_2$			$X_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	23458.5	24075.2	.02629	36364.3	36565.3	.00553
1981	24128.3	24787.1	.02730	37634.0	37838.0	.00542
1982	22947.6	23614.2	.02905	37950.4	38162.2	.00558
1983	22830.8	23506.5	.02960	39000.9	39210.8	.00538
1984	23198.6	23858.6	.02845	40253.4	40454.0	.00498
1985	22898.0	23530.4	.02762	40407.6	40593.8	.00461
Year	$X_4$			$X_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43582.0	43816.0	.00537	48093.4	48244.7	.00315
1981	43270.8	43518.9	.00573	51182.6	51340.1	.00308
1982	41996.2	42243.1	.00588	51120.3	51290.6	.00333
1983	42791.6	43058.9	.00625	54885.5	55064.8	.00327
1984	45992.8	46261.0	.00583	63197.1	63353.7	.00248
1985	45868.9	46121.0	.00550	66859.9	67008.8	.00223
Year	$X_6$			$X_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15022.9	15101.6	.00524	73806.0	74139.3	.00452
1981	15532.3	15615.7	.00537	76229.5	76564.8	.00440
1982	15396.8	15485.9	.00579	80094.0	80464.6	.00463
1983	16034.2	16130.8	.00602	83852.6	84234.7	.00456
1984	16783.2	16879.0	.00571	87550.5	87913.9	.00415
1985	16897.8	16990.4	.00548	90199.3	90537.0	.00374
Year	$X_8$			$YE$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	4082.6	4080.5	-.00053	160798.3	162635.5	.01143
1981	4251.0	4249.0	-.00047	177137.4	179129.4	.01125
1982	4163.3	4161.1	-.00052	183592.9	185724.9	.01161
1983	4304.9	4302.6	-.00051	190345.5	192524.3	.01145
1984	4425.9	4423.8	-.00047	205139.0	207294.7	.01051
1985	4485.0	4483.1	-.00043	209196.7	211231.3	.00973
Year	$YE_1$			$YE_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	6630.4	6671.1	.00613	16990.1	17712.7	.04253
1981	6667.5	6707.8	.00604	18074.9	18868.0	.04388
1982	6695.2	6736.1	.00611	18949.0	19790.8	.04443
1983	6429.8	6469.6	.00620	19505.6	20354.2	.04350
1984	6717.0	6756.3	.00585	20425.3	21284.6	.04207
1985	6722.7	6757.7	.00520	19590.4	20400.7	.04136
Year	$YE_3$			$YE_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	17942.3	18150.4	.01160	11314.7	11571.1	.02266
1981	18552.6	18756.5	.01099	13675.2	13970.9	.02162
1982	19278.6	19498.2	.01140	13390.1	13686.4	.02213
1983	19134.9	19348.6	.01117	13879.7	14191.0	.02243
1984	21237.0	21450.0	.01003	14680.4	14979.6	.02038
1985	21472.7	21672.4	.00930	14210.6	14485.8	.01937

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 B-11: 財政政策シミュレーション

Year	YE <sub>5</sub>			YE <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	14383.7	14498.2	.00796	14178.3	14282.8	.00737
1981	17111.4	17241.7	.00762	16057.4	16177.8	.00750
1982	18428.2	18576.7	.00806	16321.7	16451.0	.00792
1983	19531.3	19682.0	.00771	17167.3	17309.0	.00825
1984	21151.7	21280.8	.00611	18296.6	18444.4	.00807
1985	22885.6	23013.3	.00558	18019.1	18160.7	.00786
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68520.1	.00573	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	75322.8	.00545	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	78337.4	.00585	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	82122.0	.00580	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	89364.8	.00527	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	92072.7	.00486	14667.9	14667.9	.00000
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68520.1	.00573	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	75322.8	.00545	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	78337.4	.00585	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	82122.0	.00580	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	89364.8	.00527	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	92072.7	.00486	14667.9	14667.9	.00000

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。

表 C-1: 金融政策シミュレーション

Year	BP			BSD		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3.9	-374.7	94.98944	79273.9	80617.0	.01694
1981	6256.0	5904.4	-.05619	87357.1	88689.7	.01525
1982	5775.9	5470.7	-.05284	87442.9	88538.6	.01253
1983	7151.1	6851.6	-.04188	92323.4	93358.0	.01121
1984	10854.6	10515.0	-.03128	99416.7	100611.7	.01202
1985	13238.3	12968.1	-.02041	105389.4	106412.1	.00970
Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2367.9	2374.0	.00258	6000.5	6236.5	.03932
1981	2969.5	2979.9	.00351	6921.2	7171.8	.03620
1982	2760.0	2767.3	.00266	5306.3	5466.3	.03016
1983	3094.7	3104.3	.00311	3469.0	3567.6	.02844
1984	3454.0	3466.7	.00368	3037.6	3137.3	.03283
1985	3474.4	3484.0	.00276	3791.2	3892.6	.02673
Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	7162.1	7281.2	.01663	14506.7	15151.9	.04448
1981	9754.5	9887.3	.01362	16004.1	16612.6	.03802
1982	9827.8	9945.9	.01202	14234.8	14719.8	.03407
1983	10649.2	10767.3	.01109	13911.7	14361.8	.03236
1984	10089.1	10205.0	.01149	17517.5	18045.5	.03014
1985	9495.6	9584.8	.00940	16123.6	16532.3	.02534
Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9071.7	9329.2	.02839	6775.7	6644.2	-.01942
1981	9747.4	10000.9	.02602	6972.8	6839.1	-.01918
1982	9137.2	9364.0	.02482	7500.2	7397.7	-.01367
1983	10497.9	10746.1	.02364	8310.5	8215.6	-.01142
1984	13254.9	13576.9	.02429	9265.5	9164.2	-.01094
1985	13697.1	13977.7	.02048	11330.1	11259.9	-.00620
Year	BSD <sub>7</sub>			CP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	33389.2	33600.0	.00631	140224.1	141245.5	.00728
1981	34987.7	35198.1	.00601	153432.3	154468.9	.00676
1982	38676.5	38877.6	.00520	159739.8	160650.2	.00570
1983	42390.4	42595.3	.00483	167881.3	168763.7	.00526
1984	42798.1	43016.2	.00510	178986.1	179989.2	.00560
1985	47477.3	47680.9	.00429	185091.8	185929.0	.00452
Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2042.0	2056.2	.00699	21422.2	21843.3	.01966
1981	2014.1	2026.2	.00602	22051.8	22461.9	.01860
1982	2103.3	2113.3	.00475	20714.1	21048.0	.01612
1983	2046.7	2055.1	.00410	20481.9	20794.3	.01525
1984	2178.1	2187.2	.00417	20773.0	21109.5	.01620
1985	2398.8	2405.8	.00296	20311.3	20586.5	.01355
Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15862.4	15928.9	.00419	2339.8	2358.9	.00814
1981	16517.9	16587.1	.00419	2762.0	2784.0	.00796
1982	16382.9	16441.3	.00357	3037.9	3058.1	.00665
1983	16834.3	16891.1	.00338	3383.5	3404.6	.00625
1984	17020.7	17083.9	.00371	3903.5	3929.8	.00672
1985	17087.7	17139.4	.00302	4185.4	4208.5	.00551

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-2: 金融政策シミュレーション

Year	$F_5$			$F_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	16640.8	17009.7	.02217	4752.1	4770.8	.00395
1981	16415.7	16771.2	.02166	4867.9	4886.6	.00385
1982	16516.0	16840.3	.01963	4371.4	4385.6	.00323
1983	17621.0	17960.6	.01927	4407.9	4421.1	.00299
1984	20031.8	20434.3	.02009	4344.4	4358.7	.00328
1985	21350.2	21698.4	.01631	4318.6	4330.1	.00266
Year	$F_7$			$F_8$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43475.6	43644.0	.00388	4014.1	4011.5	-.00065
1981	45538.3	45711.2	.00379	4183.0	4180.6	-.00056
1982	47714.7	47866.4	.00318	4089.7	4087.6	-.00052
1983	49647.0	49785.9	.00280	4227.4	4225.4	-.00049
1984	52064.1	52223.7	.00306	4344.5	4342.3	-.00050
1985	54432.4	54563.8	.00241	4402.7	4400.9	-.00041
Year	$F_9$			$G_{BC}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	57.9	57.3	-.01019	4357.1	4343.0	-.00323
1981	35.1	34.8	-.00836	4817.1	4804.0	-.00273
1982	30.4	30.2	-.00651	4430.7	4420.1	-.00239
1983	13.2	13.2	-.00316	4503.9	4494.1	-.00218
1984	23.1	23.0	-.00476	4648.5	4638.2	-.00221
1985	24.4	24.3	-.00388	5259.1	5249.8	-.00177
Year	$G_{CP}$			$G_{CN}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	59514.0	59734.6	.00371	614.2	612.8	-.00219
1981	61772.7	61992.6	.00356	657.5	656.2	-.00189
1982	63012.1	63195.2	.00290	631.3	630.2	-.00169
1983	65200.9	65369.9	.00259	681.6	680.5	-.00158
1984	67691.8	67882.2	.00281	722.4	721.2	-.00164
1985	69141.0	69296.4	.00225	760.3	759.2	-.00136
Year	$G_{CA}$			$G_{IP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	8633.0	8626.6	-.00074	27448.1	28454.0	.03665
1981	9024.6	9018.8	-.00064	28507.3	29511.4	.03522
1982	9206.3	9200.9	-.00058	28714.5	29592.6	.03058
1983	9480.5	9475.3	-.00054	29829.6	30679.2	.02848
1984	9735.8	9730.3	-.00056	32657.3	33618.1	.02942
1985	9921.9	9917.3	-.00046	33895.1	34710.4	.02405
Year	$G_{IG}$			$G_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9891.4	9794.6	-.00979	858.5	849.7	-.01025
1981	10129.4	10038.0	-.00902	731.7	725.4	-.00864
1982	10112.0	10040.6	-.00706	618.5	614.2	-.00696
1983	9883.7	9822.7	-.00618	114.4	113.9	-.00431
1984	9549.8	9486.8	-.00660	602.0	598.5	-.00590
1985	9064.4	9013.9	-.00558	1255.0	1248.8	-.00500
Year	$G_{DE}$			$G_{DEP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	246243.0	249507.9	.01326	2.28035	2.29097	.00466
1981	271986.0	275278.6	.01211	2.37852	2.38786	.00393
1982	278931.3	281777.1	.01020	2.41649	2.42405	.00313
1983	290558.9	293297.2	.00942	2.44169	2.44853	.00280
1984	313649.8	316781.3	.00998	2.48199	2.48930	.00294
1985	324496.8	327132.5	.00812	2.49169	2.49746	.00232

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。

表 C-3: 金融政策シミュレーション

Year	$H_1$			$H_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2165.44	2181.05	.00721	2404.66	2477.05	.03011
1981	2242.05	2256.96	.00685	2370.45	2437.51	.02829
1982	2242.86	2255.24	.00552	2381.45	2436.52	.02312
1983	2229.51	2241.31	.00530	2432.29	2483.17	.02092
1984	2287.49	2300.52	.00570	2458.81	2511.65	.02232
1985	2216.65	2226.29	.00435	2310.92	2354.28	.01876
Year	$H_3$			$H_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2642.24	2672.47	.01144	2522.14	2578.90	.02250
1981	2706.84	2735.14	.01045	2708.19	2762.44	.02003
1982	2676.03	2700.23	.00904	2556.02	2599.45	.01699
1983	2592.82	2614.96	.00854	2593.35	2635.59	.01629
1984	2708.38	2732.38	.00886	2741.47	2788.01	.01698
1985	2607.48	2626.18	.00717	2557.73	2593.58	.01402
Year	$H_5$			$H_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2369.45	2418.72	.02079	2398.10	2415.64	.00731
1981	2345.98	2389.70	.01864	2496.29	2513.75	.00699
1982	2275.43	2313.60	.01678	2429.74	2444.44	.00605
1983	2353.27	2391.82	.01638	2411.31	2425.61	.00593
1984	2450.14	2491.95	.01706	2464.87	2481.10	.00659
1985	2339.97	2373.06	.01414	2419.44	2432.78	.00552
Year	$H_7$			HMFG		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2217.31	2231.46	.00638	2257.8	2277.0	.00855
1981	2263.53	2276.80	.00586	2299.7	2317.8	.00784
1982	2217.15	2228.56	.00515	2247.1	2262.7	.00693
1983	2234.88	2245.53	.00476	2269.3	2284.3	.00659
1984	2267.76	2279.18	.00504	2313.4	2329.7	.00703
1985	2200.70	2209.64	.00406	2242.0	2255.0	.00578
Year	$IM_1$			$IM_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-486.1	-490.6	.00923	-2026.7	-2067.9	.02032
1981	-501.2	-505.4	.00848	-2044.4	-2082.3	.01856
1982	-440.3	-443.4	.00704	-1945.9	-1977.4	.01619
1983	-491.7	-494.9	.00665	-2496.2	-2532.6	.01458
1984	-505.6	-509.2	.00705	-2735.0	-2775.9	.01492
1985	-487.9	-490.5	.00544	-2812.8	-2846.7	.01203
Year	$IM_4$			$IM_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1632.8	-1665.2	.01982	-1257.8	-1291.5	.02678
1981	-1746.1	-1777.9	.01823	-995.8	-1020.9	.02520
1982	-1650.3	-1675.8	.01542	-951.6	-973.3	.02278
1983	-1790.1	-1816.5	.01475	-1130.5	-1155.4	.02210
1984	-1994.0	-2024.8	.01547	-1255.0	-1284.1	.02314
1985	-1863.4	-1887.0	.01268	-1146.0	-1167.7	.01896
Year	$IM_6$			$IM_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-595.5	-599.6	.00686	-822.0	-828.2	.00748
1981	-631.5	-635.7	.00662	-775.9	-781.3	.00691
1982	-599.7	-603.4	.00602	-708.4	-712.6	.00599
1983	-681.3	-685.1	.00562	-659.7	-663.4	.00553
1984	-716.2	-720.6	.00612	-726.0	-730.3	.00584
1985	-803.2	-807.2	.00499	-765.1	-768.7	.00469

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 C-4: 金融政策シミュレーション

Year	$IM_9$			$IP$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3916.8	-3936.7	.00507	56136.1	58750.4	.04657
1981	-3452.1	-3469.6	.00508	59018.3	61625.8	.04418
1982	-3496.4	-3511.6	.00436	59304.6	61545.2	.03778
1983	-3446.2	-3461.3	.00439	61543.8	63699.1	.03502
1984	-3697.5	-3714.8	.00466	67747.1	70215.1	.03643
1985	-3521.1	-3534.5	.00380	69094.5	71163.1	.02994
Year	$K_1$			$K_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	40107.2	40236.7	.00323	11687.3	11737.4	.00428
1981	44172.0	44290.5	.00268	13027.9	13079.1	.00393
1982	48048.4	48151.2	.00214	14220.7	14265.0	.00311
1983	51806.0	51903.5	.00188	15411.4	15455.2	.00284
1984	55646.1	55756.9	.00199	16584.3	16633.9	.00299
1985	59063.9	59152.5	.00150	17040.0	17071.4	.00184
Year	$K_3$			$K_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	25682.9	25753.3	.00274	49954.2	50074.8	.00241
1981	27681.9	27747.4	.00237	53022.7	53145.4	.00231
1982	29583.8	29640.8	.00193	56342.2	56458.0	.00206
1983	31798.2	31859.6	.00193	59766.0	59881.4	.00193
1984	34202.1	34274.9	.00213	63381.2	63514.8	.00211
1985	36793.4	36859.8	.00180	66604.6	66714.2	.00164
Year	$K_5$			$K_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	27501.7	27612.5	.00403	70166.4	70398.6	.00331
1981	31773.9	31906.5	.00417	77147.4	77385.5	.00309
1982	35884.9	36003.5	.00331	83614.5	83821.0	.00247
1983	39944.0	40060.4	.00291	88340.4	88510.0	.00192
1984	45020.4	45173.3	.00339	93698.5	93901.5	.00217
1985	51219.7	51373.8	.00301	100585.7	100788.5	.00202
Year	$K_7$			$L_1$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	60845.4	61068.4	.00367	747.2	746.5	-.00099
1981	68717.3	68948.4	.00336	725.3	724.7	-.00082
1982	76664.8	76875.6	.00275	706.8	706.3	-.00066
1983	85637.0	85862.7	.00264	690.6	690.2	-.00058
1984	95603.1	95877.9	.00288	675.6	675.2	-.00061
1985	106722.1	106981.6	.00243	663.3	663.0	-.00046
Year	$L_2$			$L_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	573.8	574.2	.00071	613.9	613.9	-.00003
1981	584.2	584.6	.00065	599.4	599.3	-.00002
1982	592.7	593.0	.00051	607.6	607.6	-.00002
1983	600.7	600.9	.00047	606.1	606.1	-.00002
1984	608.0	608.3	.00049	611.8	611.8	-.00002
1985	610.7	610.9	.00030	607.1	607.1	-.00002
Year	$L_4$			$L_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	322.7	322.7	-.00003	462.0	462.1	.00035
1981	332.8	332.8	-.00003	498.1	498.2	.00026
1982	324.4	324.4	-.00003	512.0	512.2	.00036
1983	320.1	320.1	-.00003	516.1	516.3	.00040
1984	317.3	317.3	-.00003	542.5	542.7	.00035
1985	323.5	323.5	-.00002	578.8	579.0	.00031

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-5: 金融政策シミュレーション

Year	$L_6$			$L_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	367.9	367.9	-.00009	2552.5	2554.7	.00086
1981	366.6	366.5	-.00007	2626.5	2628.5	.00079
1982	362.8	362.8	-.00010	2694.8	2696.6	.00065
1983	366.1	366.1	-.00011	2765.8	2767.5	.00062
1984	366.3	366.3	-.00010	2838.2	2840.1	.00067
1985	359.3	359.3	-.00008	2912.5	2914.2	.00057
Year	$\mu_{BC}$			$\mu_{CG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.33789	2.34546	.00324	2.72995	2.73197	.00074
1981	2.45813	2.46487	.00274	2.83500	2.83682	.00064
1982	2.50914	2.51514	.00239	2.91067	2.91236	.00058
1983	2.54976	2.55534	.00219	2.95303	2.95464	.00054
1984	2.61311	2.61891	.00222	3.02481	3.02651	.00056
1985	2.64885	2.65354	.00177	3.09269	3.09413	.00046
Year	$\mu_{CN}$			$\mu_{CP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.95998	2.96648	.00220	2.35615	2.36455	.00356
1981	3.06166	3.06745	.00189	2.48382	2.49173	.00319
1982	3.14077	3.14608	.00169	2.53506	2.54213	.00279
1983	3.20239	3.20745	.00158	2.57483	2.58167	.00266
1984	3.28064	3.28602	.00164	2.64413	2.65150	.00279
1985	3.32100	3.32553	.00136	2.67702	2.68310	.00227
Year	$\mu_{EX}$			$\mu_{IG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.00882	2.02638	.00874	2.31396	2.33684	.00989
1981	2.10673	2.12292	.00768	2.39686	2.41869	.00911
1982	2.13239	2.14644	.00659	2.38754	2.40451	.00711
1983	2.10647	2.11971	.00629	2.38639	2.40123	.00622
1984	2.11291	2.12700	.00667	2.41946	2.43553	.00664
1985	2.07890	2.09031	.00548	2.38384	2.39722	.00561
Year	$\mu_{IP}$			$\mu_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.04517	2.06475	.00957	1.87863	1.89808	.01036
1981	2.07029	2.08820	.00865	1.91724	1.93395	.00871
1982	2.06532	2.07975	.00699	1.92295	1.93644	.00701
1983	2.06318	2.07630	.00636	1.90062	1.90885	.00433
1984	2.07449	2.08861	.00681	1.88994	1.90116	.00594
1985	2.03848	2.05020	.00575	1.79580	1.80482	.00502
Year	$NEX$			$NIM$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	34543.4	34543.4	.00000	-34547.3	-34918.1	.01073
1981	39804.6	39804.6	.00000	-33548.6	-33900.1	.01048
1982	40499.5	40499.5	.00000	-34723.6	-35028.8	.00879
1983	40604.8	40604.8	.00000	-33453.7	-33753.2	.00895
1984	46526.5	46526.5	.00000	-35671.9	-36011.5	.00952
1985	47544.7	47544.7	.00000	-34306.3	-34576.5	.00788
Year	$NTEX_1$			$NTEX_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-938.5	-947.9	.00997	.0	.0	.00000
1981	-957.3	-966.3	.00944	.0	.0	.00000
1982	-979.4	-986.7	.00747	.0	.0	.00000
1983	-1000.4	-1007.5	.00711	.0	.0	.00000
1984	-1066.8	-1074.8	.00752	.0	.0	.00000
1985	-1050.9	-1057.0	.00585	.0	.0	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-6: 金融政策シミュレーション

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1859.9	-1945.0	.04574	2842.2	2738.0	-.03664
1981	-1942.5	-2024.0	.04199	2922.8	2822.6	-.03427
1982	-1769.5	-1839.5	.03953	3512.6	3432.4	-.02282
1983	-2426.3	-2499.4	.03012	2511.7	2432.9	-.03137
1984	-2754.1	-2836.2	.02984	2511.8	2422.2	-.03568
1985	-2858.5	-2925.2	.02331	2635.4	2565.3	-.02660
Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15370.7	15317.4	-.00346	2412.4	2403.3	-.00377
1981	19073.7	19023.7	-.00262	2399.0	2389.2	-.00410
1982	19389.5	19344.4	-.00233	2711.5	2702.6	-.00327
1983	20366.3	20317.5	-.00240	2150.8	2141.7	-.00426
1984	24580.7	24523.0	-.00234	2363.9	2353.3	-.00450
1985	25328.6	25280.1	-.00191	2101.6	2092.3	-.00443
Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1057.6	1043.4	-.01335	.0	.0	.00000
1981	1852.2	1838.2	-.00757	.0	.0	.00000
1982	1467.5	1454.6	-.00880	.0	.0	.00000
1983	1442.8	1430.1	-.00880	.0	.0	.00000
1984	1773.8	1759.5	-.00806	.0	.0	.00000
1985	2223.2	2211.2	-.00538	.0	.0	.00000
Year	NTEX <sub>9</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-18888.3	-18984.1	.00507	-481.0	-485.1	.00852
1981	-17092.0	-17178.8	.00508	-690.3	-695.7	.00780
1982	-18556.2	-18637.1	.00436	-548.4	-551.9	.00651
1983	-15893.8	-15963.6	.00439	-519.7	-522.8	.00612
1984	-16554.8	-16632.0	.00466	-541.2	-544.7	.00648
1985	-15141.1	-15198.6	.00380	-269.8	-271.2	.00500
Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-59.2	-60.9	.02860	1573.9	1591.3	.01102
1981	-206.4	-211.9	.02685	1621.4	1637.8	.01013
1982	-54.6	-55.9	.02217	2122.7	2141.2	.00871
1983	-55.0	-56.1	.02030	2076.8	2093.8	.00821
1984	-48.6	-49.6	.02161	2305.9	2325.7	.00859
1985	-84.8	-86.3	.01802	3092.4	3113.9	.00695
Year	NTX <sub>4</sub>			NTX <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1896.2	1931.4	.01859	728.2	742.3	.01937
1981	2090.2	2125.6	.01694	739.1	752.0	.01738
1982	2035.1	2064.1	.01423	843.0	856.2	.01556
1983	1996.6	2024.0	.01373	916.8	930.6	.01515
1984	2147.8	2178.7	.01439	1018.7	1034.7	.01570
1985	2104.3	2129.1	.01181	1095.2	1109.4	.01300
Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-81.1	-81.5	.00515	735.9	741.2	.00727
1981	176.2	177.1	.00497	1600.4	1611.0	.00665
1982	-6.5	-6.5	.00439	1220.8	1227.8	.00580
1983	-28.4	-28.5	.00430	1218.2	1224.7	.00535
1984	134.0	134.6	.00463	1590.7	1599.7	.00564
1985	208.0	208.8	.00382	1706.6	1714.3	.00451

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-7: 金融政策シミュレーション

Year	NTX <sub>3</sub>			PC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.0	.0	.00000	2.18809	2.19430	.00284
1981	.0	.0	.00000	2.27503	2.28098	.00262
1982	.0	.0	.00000	2.22183	2.22657	.00213
1983	.0	.0	.00000	2.24537	2.25020	.00215
1984	.0	.0	.00000	2.24797	2.25315	.00230
1985	.0	.0	.00000	2.23903	2.24296	.00176
Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.46551	.01002	2.19336	2.20568	.00561
1981	2.46801	2.49090	.00928	2.26082	2.27215	.00501
1982	2.58456	2.60292	.00710	2.28679	2.29666	.00432
1983	2.60061	2.61655	.00613	2.25391	2.26323	.00414
1984	2.63820	2.65551	.00656	2.31924	2.32902	.00422
1985	2.63564	2.65028	.00555	2.28769	2.29554	.00343
Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.41591	2.44783	.01321	1.59513	1.61263	.01097
1981	2.57123	2.60103	.01159	1.69473	1.71119	.00971
1982	2.54788	2.57257	.00969	1.72294	1.73759	.00851
1983	2.49337	2.51622	.00917	1.74188	1.75599	.00810
1984	2.50837	2.53220	.00950	1.75643	1.77164	.00866
1985	2.39233	2.41104	.00782	1.72781	1.74039	.00728
Year	PC <sub>7</sub>			PO <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.35321	2.35844	.00222	2.19863	2.20464	.00273
1981	2.47772	2.48246	.00191	2.28525	2.29101	.00252
1982	2.49022	2.49448	.00171	2.24680	2.25142	.00206
1983	2.53092	2.53496	.00160	2.25935	2.26403	.00207
1984	2.59553	2.59984	.00166	2.26622	2.27124	.00222
1985	2.63363	2.63725	.00138	2.26128	2.26511	.00169
Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.46551	.01002	2.29629	2.31011	.00602
1981	2.46801	2.49090	.00928	2.37722	2.39006	.00540
1982	2.58456	2.60292	.00710	2.41073	2.42197	.00467
1983	2.60061	2.61655	.00613	2.36052	2.37098	.00443
1984	2.63820	2.65551	.00656	2.43442	2.44545	.00453
1985	2.63564	2.65028	.00555	2.39565	2.40446	.00368
Year	PO <sub>4</sub>			PO <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.45627	2.48684	.01244	1.59765	1.61464	.01064
1981	2.60139	2.62978	.01092	1.70949	1.72563	.00944
1982	2.57929	2.60284	.00913	1.73993	1.75432	.00827
1983	2.51934	2.54109	.00863	1.75451	1.76832	.00787
1984	2.52979	2.55243	.00895	1.76969	1.78460	.00842
1985	2.42228	2.44013	.00737	1.74924	1.76163	.00708
Year	PO <sub>6</sub>			PO <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.68883	2.68883	.00000	2.35258	2.35775	.00220
1981	2.90042	2.90042	.00000	2.47924	2.48393	.00189
1982	2.99949	2.99949	.00000	2.49584	2.50006	.00169
1983	3.00006	3.00006	.00000	2.53997	2.54399	.00158
1984	3.07317	3.07317	.00000	2.60318	2.60744	.00164
1985	3.13162	3.13162	.00000	2.64057	2.64416	.00136

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-8: 金融政策シミュレーション

Year	RGDE			RI		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	107984.6	108909.2	.00856	11.25071	8.76516	-.22092
1981	114351.2	115282.8	.00815	10.67069	8.27972	-.22407
1982	115428.2	116242.2	.00705	8.95387	6.90226	-.22913
1983	118999.2	119785.1	.00660	8.23062	6.33123	-.23077
1984	126370.1	127257.3	.00702	8.55856	6.59566	-.22935
1985	130231.6	130985.9	.00579	6.93751	5.31037	-.23454
Year	TH			TL		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2312.8	2339.3	.01147	5854.3	5856.3	.00033
1981	2360.7	2385.5	.01053	5948.3	5950.2	.00033
1982	2318.2	2339.1	.00901	6017.0	6018.7	.00028
1983	2329.5	2349.3	.00848	6081.8	6083.5	.00029
1984	2383.9	2405.4	.00900	6176.0	6177.9	.00031
1985	2296.6	2313.5	.00734	6267.2	6268.8	.00027
Year	V			V <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	254827.5	258059.3	.01268	8625.6	8675.5	.00578
1981	281880.5	285139.7	.01156	9058.7	9108.2	.00546
1982	288021.2	290837.4	.00978	9013.3	9054.0	.00453
1983	300064.6	302774.7	.00903	9106.5	9147.0	.00445
1984	323536.8	326634.6	.00957	9732.1	9779.7	.00488
1985	336257.8	338866.2	.00776	10033.4	10070.9	.00374
Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	22931.5	23671.2	.03226	27905.6	28244.5	.01214
1981	24789.7	25540.4	.03028	31204.0	31544.5	.01091
1982	24200.6	24793.0	.02448	32420.4	32729.0	.00952
1983	22919.5	23420.9	.02188	32988.8	33285.1	.00898
1984	23414.3	23964.4	.02349	34739.1	35060.7	.00926
1985	23296.8	23760.4	.01990	35169.3	35432.2	.00748
Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	28144.5	29078.4	.03318	24326.6	24900.6	.02359
1981	32200.6	33117.3	.02847	27750.9	28339.1	.02120
1982	30060.1	30800.7	.02463	28549.8	29101.4	.01932
1983	30157.6	30860.3	.02330	31075.7	31660.2	.01881
1984	34696.4	35503.6	.02326	35555.7	36257.3	.01973
1985	32798.5	33430.4	.01927	37807.2	38427.8	.01641
Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	20969.0	20939.8	-.00139	110439.5	111091.1	.00590
1981	23312.3	23290.9	-.00092	121266.1	121926.6	.00545
1982	23922.1	23917.6	-.00019	126950.8	127560.1	.00480
1983	25560.3	25566.3	.00024	134901.7	135502.3	.00445
1984	27813.5	27832.5	.00068	143624.6	144299.6	.00470
1985	29682.5	29711.7	.00098	152912.8	153496.4	.00382
Year	V <sub>8</sub>			VBC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	11485.1	11458.3	-.00233	118.2	118.9	.00578
1981	12298.2	12272.7	-.00208	96.7	97.3	.00546
1982	12904.2	12881.5	-.00175	122.8	123.4	.00453
1983	13354.5	13332.4	-.00166	119.3	119.8	.00445
1984	13961.0	13936.7	-.00174	124.4	125.0	.00488
1985	14557.3	14536.3	-.00144	196.8	197.5	.00374

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-9: 金融政策シミュレーション

Year	VBC <sub>2</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1295.2	1337.0	.03226	1519.2	1537.6	.01214
1981	1450.2	1494.1	.03028	1790.7	1810.2	.01091
1982	1253.1	1283.8	.02448	1697.7	1713.8	.00952
1983	1259.1	1286.6	.02188	1680.2	1695.3	.00898
1984	1272.1	1302.0	.02349	1800.1	1816.8	.00926
1985	1062.0	1083.2	.01990	2094.2	2109.9	.00748
Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1757.1	1815.4	.03318	1224.9	1253.8	.02359
1981	2361.4	2428.6	.02847	1662.7	1697.9	.02120
1982	1915.2	1962.4	.02463	1460.0	1488.2	.01932
1983	1851.3	1894.4	.02330	1599.8	1629.8	.01881
1984	1977.1	2023.1	.02326	1841.2	1877.6	.01973
1985	1955.9	1993.6	.01927	2238.9	2275.7	.01641
Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	711.9	710.9	-.00139	3577.8	3598.9	.00590
1981	878.7	877.9	-.00092	4037.9	4059.9	.00545
1982	796.5	796.4	-.00019	3973.5	3992.6	.00480
1983	814.8	815.0	.00024	4276.7	4295.7	.00445
1984	871.5	872.1	.00068	4571.5	4593.0	.00470
1985	1170.4	1171.6	.00098	5283.7	5303.9	.00382
Year	VBC <sub>8</sub>			VM <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	361.7	360.9	-.00233	.05685	.05689	.00061
1981	380.7	379.9	-.00208	.05709	.05712	.00056
1982	409.8	409.1	-.00175	.05553	.05555	.00047
1983	428.5	427.8	-.00166	.05666	.05668	.00047
1984	444.7	443.9	-.00174	.05625	.05628	.00050
1985	353.4	352.9	-.00144	.05584	.05586	.00039
Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	.05311	.05355	.00836
1981	.00000	.00000	.00000	.05236	.05276	.00757
1982	.00000	.00000	.00000	.05069	.05103	.00674
1983	.00000	.00000	.00000	.05754	.05787	.00568
1984	.00000	.00000	.00000	.05956	.05989	.00560
1985	.00000	.00000	.00000	.06028	.06055	.00450
Year	VM <sub>4</sub>			VM <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.05776	.05776	.00000	.03896	.03905	.00250
1981	.05776	.05776	.00000	.03742	.03751	.00231
1982	.05776	.05776	.00000	.03719	.03726	.00204
1983	.05776	.05776	.00000	.03783	.03790	.00191
1984	.05776	.05776	.00000	.03778	.03785	.00204
1985	.05776	.05776	.00000	.03658	.03665	.00177
Year	VM <sub>6</sub>			VM <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.04235	.04235	.00000	.01120	.01120	.00000
1981	.04271	.04271	.00000	.01120	.01120	.00000
1982	.04253	.04253	.00000	.01120	.01120	.00000
1983	.04304	.04304	.00000	.01120	.01120	.00000
1984	.04325	.04325	.00000	.01120	.01120	.00000
1985	.04452	.04452	.00000	.01120	.01120	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-10: 金融政策シミュレーション

Year	uM <sub>0</sub>			X <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	7761.0	7804.9	.00567
1981	.00000	.00000	.00000	7848.1	7888.7	.00517
1982	.00000	.00000	.00000	8012.1	8047.1	.00436
1983	.00000	.00000	.00000	7994.4	8026.0	.00396
1984	.00000	.00000	.00000	8557.3	8593.0	.00417
1985	.00000	.00000	.00000	8614.5	8642.4	.00324
Year	X <sub>2</sub>			X <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	23458.5	23889.9	.01839	36364.3	36559.8	.00538
1981	24128.3	24548.4	.01741	37634.0	37825.4	.00509
1982	22947.6	23290.9	.01496	37950.4	38116.2	.00437
1983	22830.8	23152.4	.01409	39000.9	39159.2	.00406
1984	23198.6	23545.4	.01495	40253.4	40428.5	.00435
1985	22898.0	23181.9	.01240	40407.6	40549.4	.00351
Year	X <sub>4</sub>			X <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43582.0	43813.3	.00531	48093.4	48493.0	.00831
1981	43270.8	43499.7	.00529	51182.6	51571.5	.00760
1982	41996.2	42185.0	.00450	51120.3	51477.9	.00699
1983	42791.6	42985.0	.00452	54885.5	55269.3	.00699
1984	45992.8	46215.4	.00484	63197.1	63637.9	.00698
1985	45868.9	46050.7	.00396	66859.9	67239.6	.00568
Year	X <sub>6</sub>			X <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15022.9	15100.3	.00515	73806.0	74177.5	.00503
1981	15532.3	15609.5	.00497	76229.5	76590.2	.00473
1982	15396.8	15464.3	.00439	80094.0	80420.5	.00408
1983	16034.2	16103.1	.00430	83852.6	84166.9	.00375
1984	16783.2	16860.8	.00463	87550.5	87898.3	.00397
1985	16897.8	16962.3	.00382	90199.3	90481.9	.00313
Year	X <sub>8</sub>			YE		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	4082.6	4080.4	-.00055	160798.3	162647.9	.01150
1981	4251.0	4249.0	-.00047	177137.4	179024.2	.01065
1982	4163.3	4161.5	-.00043	183592.9	185273.1	.00915
1983	4304.9	4303.1	-.00040	190345.5	191982.6	.00860
1984	4425.9	4424.0	-.00043	205139.0	206994.3	.00904
1985	4485.0	4483.5	-.00034	209196.7	210737.2	.00736
Year	YE <sub>1</sub>			YE <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	6630.4	6678.3	.00722	16990.1	17495.6	.02975
1981	6667.5	6711.9	.00666	18074.9	18580.6	.02798
1982	6695.2	6732.2	.00553	18949.0	19382.5	.02288
1983	6429.8	6463.9	.00530	19505.6	19909.5	.02071
1984	6717.0	6755.3	.00570	20425.3	20876.8	.02210
1985	6722.7	6752.0	.00436	19590.4	19954.2	.01857
Year	YE <sub>3</sub>			YE <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	17942.3	18144.7	.01128	11314.7	11568.2	.02240
1981	18552.6	18743.9	.01031	13675.2	13948.1	.01995
1982	19278.6	19450.6	.00892	13390.1	13616.7	.01693
1983	19134.9	19296.1	.00843	13879.7	14105.0	.01623
1984	21237.0	21422.9	.00875	14680.4	14928.7	.01691
1985	21472.7	21624.8	.00709	14210.6	14409.0	.01396

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 C-11: 金融政策シミュレーション

Year	YE <sub>5</sub>			YE <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	14383.7	14686.0	.02102	14178.3	14281.1	.00725
1981	17111.4	17433.2	.01881	16057.4	16168.8	.00694
1982	18428.2	18740.0	.01692	16321.7	16419.8	.00601
1983	19531.3	19853.8	.01651	17167.3	17268.4	.00589
1984	21151.7	21515.3	.01719	18296.6	18416.4	.00654
1985	22885.6	23211.3	.01423	18019.1	18117.8	.00548
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68564.9	.00639	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	75353.8	.00587	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	78283.2	.00515	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	82038.0	.00477	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	89344.7	.00504	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	92000.1	.00406	14667.9	14667.9	.00000
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68564.9	.00639	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	75353.8	.00587	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	78283.2	.00515	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	82038.0	.00477	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	89344.7	.00504	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	92000.1	.00406	14667.9	14667.9	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 D-1: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	BP			BSD		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3.9	-2404.1	614.86185	79273.9	87874.4	.10849
1981	6256.0	3976.9	-.36431	87357.1	95969.3	.09859
1982	5775.9	3715.9	-.35665	87442.9	94791.1	-.08403
1983	7151.1	5123.4	-.28355	92323.4	99226.6	.07477
1984	10854.6	8675.5	-.20075	99416.7	106916.2	.07543
1985	13238.3	11468.2	-.13371	105389.4	111973.6	.06247
Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2367.9	2401.0	.01397	6000.5	7745.3	.29077
1981	2969.5	3031.1	.02074	6921.2	8837.9	.27694
1982	2760.0	2804.8	.01626	5306.3	6666.1	.25626
1983	3094.7	3155.7	.01971	3469.0	4372.2	.26039
1984	3454.0	3532.3	.02266	3037.6	3916.5	.28934
1985	3474.4	3535.6	.01761	3791.2	4739.1	.25003
Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	7162.1	7950.1	.11002	14506.7	18823.9	.29760
1981	9754.5	10630.1	.08977	16004.1	20099.1	.25587
1982	9827.8	10643.1	.08296	14234.8	17661.2	.24071
1983	10649.2	11469.5	.07703	13911.7	17132.5	.23152
1984	10089.1	10851.1	.07553	17517.5	21097.3	.20436
1985	9495.6	10100.2	.06367	16123.6	18983.0	.17734
Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9071.7	10310.5	.13656	6775.7	5935.6	-.12399
1981	9747.4	10956.3	.12403	6972.8	6116.4	-.12281
1982	9137.2	10209.4	.11735	7500.2	6817.3	-.09106
1983	10497.9	11663.2	.11100	8310.5	7678.0	-.07611
1984	13254.9	14721.7	.11066	9265.5	8624.4	-.06919
1985	13697.1	14939.8	.09073	11330.1	10882.8	-.03948
Year	BSD <sub>7</sub>			CP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	33389.2	34708.1	.03950	140224.1	146849.6	.04725
1981	34987.7	36298.4	.03746	153432.3	160205.4	.04414
1982	38676.5	39989.1	.03394	159739.8	165962.3	.03895
1983	42390.4	43755.5	.03220	167881.3	173961.3	.03622
1984	42798.1	44172.8	.03212	178986.1	185541.9	.03663
1985	47477.3	48793.1	.02771	185091.8	190707.1	.03034
Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2042.0	2121.1	.03877	21422.2	24496.0	.14349
1981	2014.1	2081.7	.03355	22051.8	25130.4	.13961
1982	2103.3	2160.9	.02737	20714.1	23436.9	.13145
1983	2046.7	2095.3	.02376	20481.9	23114.1	.12851
1984	2178.1	2229.4	.02354	20773.0	23474.2	.13004
1985	2398.8	2440.1	.01725	20311.3	22663.1	.11579
Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15862.4	16285.2	.02665	2339.8	2440.9	.04318
1981	16517.9	16955.2	.02648	2762.0	2876.3	.04136
1982	16382.9	16763.7	.02325	3037.9	3144.6	.03512
1983	16834.3	17202.3	.02186	3383.5	3493.8	.03260
1984	17020.7	17408.6	.02279	3903.5	4035.5	.03380
1985	17087.7	17409.3	.01882	4185.4	4299.2	.02718

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-2: 財政・金融ポリシー・ミックスシミュレーション

Year	$F_5$			$F_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	16640.8	18492.2	.11126	4752.1	4872.7	.02539
1981	16415.7	18183.6	.10770	4867.9	4988.7	.02481
1982	16516.0	18126.3	.09749	4371.4	4465.8	.02160
1983	17621.0	19279.6	.09412	4407.9	4495.9	.01997
1984	20031.8	21923.9	.09445	4344.4	4434.7	.02079
1985	21350.2	22955.1	.07517	4318.6	4392.7	.01715
Year	$F_7$			$F_8$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43475.6	44488.9	.02331	4014.1	3997.9	-.00404
1981	45538.3	46572.2	.02270	4183.0	4168.4	-.00349
1982	47714.7	48653.8	.01968	4089.7	4076.0	-.00336
1983	49647.0	50521.6	.01762	4227.4	4213.9	-.00320
1984	52064.1	53022.2	.01840	4344.5	4330.9	-.00313
1985	54432.4	55234.5	.01474	4402.7	4390.9	-.00267
Year	$F_9$			$G_{BC}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	57.9	54.8	-.05247	4357.1	4270.3	-.01992
1981	35.1	33.6	-.04340	4817.1	4735.5	-.01696
1982	30.4	29.3	-.03442	4430.7	4361.9	-.01553
1983	13.2	13.0	-.01605	4503.9	4439.2	-.01437
1984	23.1	22.6	-.02439	4648.5	4584.3	-.01381
1985	24.4	23.9	-.02004	5259.1	5199.2	-.01138
Year	$G_{CP}$			$G_{CN}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	59514.0	60971.6	.02449	614.2	605.8	-.01354
1981	61772.7	63242.1	.02379	657.5	649.8	-.01171
1982	63012.1	64296.9	.02039	631.3	624.3	-.01101
1983	65200.9	66404.0	.01845	681.6	674.5	-.01044
1984	67691.8	68977.6	.01899	722.4	715.0	-.01025
1985	69141.0	70222.5	.01564	760.3	753.6	-.00880
Year	$G_{CO}$			$G_{IP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	8633.0	8593.3	-.00460	27448.1	31608.2	.15156
1981	9024.6	8988.4	-.00401	28507.3	32593.8	.14335
1982	9206.3	9171.1	-.00382	28714.5	32264.3	.12363
1983	9480.5	9446.2	-.00362	29829.6	33270.8	.11536
1984	9735.8	9701.2	-.00355	32657.3	36547.5	.11912
1985	9921.9	9891.9	-.00302	33895.1	37107.3	.09477
Year	$G_{IG}$			$G_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9891.4	11172.2	.12949	858.5	813.2	-.05280
1981	10129.4	11480.6	.13339	731.7	698.8	-.04500
1982	10112.0	11568.0	.14399	618.5	595.6	-.03708
1983	9883.7	11364.4	.14981	114.4	111.8	-.02296
1984	9549.8	10971.3	.14886	602.0	583.4	-.03095
1985	9064.4	10460.8	.15405	1255.0	1221.7	-.02657
Year	$G_{DE}$			$G_{DEP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	246243.0	267329.5	.08563	2.28035	2.35174	.03130
1981	271986.0	293413.4	.07878	2.37852	2.44310	.02715
1982	278931.3	298262.1	.06930	2.41649	2.47140	.02272
1983	290558.9	309242.7	.06430	2.44169	2.49157	.02043
1984	313649.8	333869.7	.06447	2.48199	2.53216	.02021
1985	324496.8	341950.9	.05379	2.49169	2.53281	.01650

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-3: 財政・金融ボリシー・ミックス シミュレーション

Year	$H_1$			$H_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2165.44	2262.26	.04471	2404.66	2931.45	.21907
1981	2242.05	2335.26	.04158	2370.45	2872.20	.21167
1982	2242.86	2323.89	.03613	2381.45	2828.28	.18763
1983	2229.51	2307.58	.03502	2432.29	2858.77	.17534
1984	2287.49	2369.96	.03605	2456.81	2894.47	.17814
1985	2216.65	2279.64	.02842	2310.92	2679.04	.15929
Year	$H_3$			$H_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2642.24	2841.29	.07533	2522.14	2900.07	.14984
1981	2706.84	2892.92	.06874	2708.19	3071.47	.13414
1982	2676.03	2842.69	.06228	2556.02	2861.16	.11938
1983	2592.82	2746.30	.05919	2593.35	2893.67	.11580
1984	2708.38	2865.90	.05816	2741.47	3055.15	.11442
1985	2607.48	2733.75	.04843	2557.73	2806.88	.09741
Year	$H_5$			$H_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2369.45	2632.39	.11097	2398.10	2513.01	.04792
1981	2345.98	2577.92	.09887	2496.29	2611.54	.04617
1982	2275.43	2478.75	.08936	2429.74	2532.05	.04211
1983	2353.27	2555.65	.08600	2411.31	2512.40	.04192
1984	2450.14	2660.16	.08572	2464.87	2574.15	.04434
1985	2339.97	2503.68	.06996	2419.44	2512.69	.03854
Year	$H_7$			HMFG		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2217.31	2306.76	.04034	2257.8	2373.4	.05123
1981	2263.53	2347.11	.03692	2299.7	2407.6	.04689
1982	2217.15	2292.48	.03398	2247.1	2343.4	.04284
1983	2234.88	2306.36	.03198	2269.3	2362.1	.04089
1984	2267.76	2340.40	.03203	2313.4	2409.3	.04145
1985	2200.70	2259.01	.02649	2242.0	2319.3	.03445
Year	$IM_1$			$IM_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-486.1	-514.3	.05796	-2026.7	-2299.9	.13478
1981	-501.2	-528.0	.05354	-2044.4	-2295.7	.12292
1982	-440.3	-460.8	.04653	-1945.9	-2164.3	.11220
1983	-491.7	-513.5	.04438	-2496.2	-2750.1	.10172
1984	-505.6	-528.3	.04492	-2735.0	-3004.4	.09849
1985	-487.9	-505.3	.03572	-2812.8	-3042.4	.08163
Year	$IM_4$			$IM_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1632.8	-1848.8	.13226	-1257.8	-1444.3	.14825
1981	-1746.1	-1959.8	.12242	-995.8	-1133.7	.13843
1982	-1650.3	-1829.5	.10854	-951.6	-1071.2	.12564
1983	-1790.1	-1978.1	.10503	-1130.5	-1266.2	.12010
1984	-1994.0	-2202.1	.10438	-1255.0	-1406.0	.12026
1985	-1863.4	-2027.6	.08815	-1146.0	-1257.3	.09711
Year	$IM_6$			$IM_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-595.5	-622.3	.04493	-822.0	-861.0	.04748
1981	-631.5	-659.2	.04373	-775.9	-809.9	.04378
1982	-599.7	-624.9	.04191	-708.4	-736.5	.03977
1983	-681.3	-708.4	.03976	-659.7	-684.3	.03730
1984	-716.2	-745.7	.04122	-726.0	-753.1	.03731
1985	-803.2	-831.2	.03490	-765.1	-788.6	.03075

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D- 4: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	IM <sub>9</sub>			IP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3916.8	-4049.1	.03378	56136.1	68419.5	.21881
1981	-3452.1	-3569.4	.03397	59018.3	71095.9	.20464
1982	-3496.4	-3603.1	.03051	59304.6	69644.3	.17435
1983	-3446.2	-3553.2	.03104	61543.8	71458.0	.16109
1984	-3697.5	-3813.2	.03129	67747.1	78969.2	.16565
1985	-3521.1	-3613.8	.02633	69094.5	78381.8	.13441
Year	K <sub>1</sub>			K <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	40107.2	40921.5	.02030	11687.3	12002.1	.02694
1981	44172.0	44921.8	.01697	13027.9	13352.0	.02488
1982	48048.4	48729.4	.01417	14220.7	14514.2	.02064
1983	51806.0	52457.0	.01257	15411.4	15703.9	.01898
1984	55646.1	56344.8	.01256	16584.3	16896.9	.01885
1985	59063.9	59637.6	.00971	17040.0	17243.2	.01193
Year	K <sub>3</sub>			K <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	25682.9	26125.7	.01724	49954.2	50712.0	.01517
1981	27681.9	28096.3	.01497	53022.7	53798.9	.01464
1982	29583.8	29961.9	.01278	56342.2	57110.1	.01363
1983	31798.2	32207.9	.01288	59766.0	60535.5	.01288
1984	34202.1	34661.3	.01343	63381.2	64223.8	.01329
1985	36793.4	37223.4	.01169	66604.6	67314.1	.01065
Year	K <sub>5</sub>			K <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	27501.7	28198.5	.02534	70166.4	71626.8	.02081
1981	31773.9	32612.4	.02639	77147.4	78653.6	.01952
1982	35884.9	36671.3	.02191	83614.5	84983.0	.01637
1983	39944.0	40720.6	.01944	88340.4	89472.6	.01282
1984	45020.4	45984.2	.02141	93698.5	94978.7	.01366
1985	51219.7	52217.5	.01948	100585.7	101899.2	.01306
Year	K <sub>7</sub>			L <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	60845.4	62247.8	.02305	747.2	742.6	-.00617
1981	68717.3	70178.9	.02127	725.3	721.6	-.00517
1982	76664.8	78062.4	.01823	706.8	703.7	-.00432
1983	85637.0	87143.3	.01759	690.6	688.0	-.00384
1984	95603.1	97336.4	.01813	675.6	673.0	-.00383
1985	106722.1	108402.1	.01574	663.3	661.3	-.00297
Year	L <sub>2</sub>			L <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	573.8	576.4	.00440	613.9	613.8	-.00017
1981	584.2	586.6	.00407	599.4	599.3	-.00015
1982	592.7	594.7	.00338	607.6	607.6	-.00013
1983	600.7	602.5	.00311	606.1	606.0	-.00013
1984	608.0	609.9	.00309	611.8	611.7	-.00013
1985	610.7	611.9	.00196	607.1	607.0	-.00011
Year	L <sub>4</sub>			L <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	322.7	322.7	-.00020	462.0	462.2	.00044
1981	332.8	332.7	-.00020	498.1	498.0	-.00021
1982	324.4	324.3	-.00018	512.0	512.1	.00019
1983	320.1	320.0	-.00017	516.1	516.2	.00015
1984	317.3	317.3	-.00018	542.5	542.4	-.00030
1985	323.5	323.4	-.00014	578.8	578.5	-.00060

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-5: 財政・金融ポリシー・ミックスシミュレーション

Year	L <sub>6</sub>			L <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	367.9	367.9	-.00005	2552.5	2566.2	.00537
1981	366.6	366.6	-.00010	2626.5	2639.5	.00495
1982	362.8	362.8	-.00001	2694.8	2706.3	.00425
1983	366.1	366.1	-.00003	2765.8	2777.1	.00410
1984	366.3	366.3	.00009	2838.2	2850.2	.00423
1985	359.3	359.4	.00019	2912.5	2923.2	.00367
Year	μ <sub>BC</sub>			μ <sub>CG</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.33789	2.38541	.02033	2.72995	2.74256	.00462
1981	2.45813	2.50052	.01725	2.83500	2.84641	.00402
1982	2.50914	2.54871	.01577	2.91067	2.92182	.00383
1983	2.54976	2.58693	.01458	2.95303	2.96375	.00363
1984	2.61311	2.64971	.01401	3.02481	3.03558	.00356
1985	2.64885	2.67935	.01151	3.09269	3.10205	.00303
Year	μ <sub>CN</sub>			μ <sub>CP</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.95998	3.00061	.01373	2.35615	2.40849	.02221
1981	3.06166	3.09794	.01185	2.48382	2.53321	.01988
1982	3.14077	3.17574	.01113	2.53506	2.58119	.01819
1983	3.20239	3.23618	.01055	2.57483	2.61974	.01744
1984	3.28064	3.31462	.01036	2.64413	2.68989	.01730
1985	3.32100	3.35049	.00888	2.67702	2.71575	.01447
Year	μ <sub>EX</sub>			μ <sub>IG</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.00882	2.11267	.05170	2.31396	2.45842	.06243
1981	2.10673	2.20182	.04514	2.39686	2.53772	.05877
1982	2.13239	2.21727	.03981	2.38754	2.50443	.04896
1983	2.10647	2.18556	.03755	2.38639	2.49055	.04385
1984	2.11291	2.19232	.03758	2.41946	2.52717	.04452
1985	2.07890	2.14355	.03109	2.38384	2.47877	.03982
Year	μ <sub>IP</sub>			μ <sub>Z</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.04517	2.16461	.05840	1.87863	1.98336	.05575
1981	2.07029	2.18127	.05361	1.91724	2.00757	.04712
1982	2.06532	2.15855	.04514	1.92295	1.99699	.03850
1983	2.06318	2.14777	.04100	1.90062	1.94527	.02350
1984	2.07449	2.16073	.04157	1.88994	1.95029	.03194
1985	2.03848	2.11230	.03621	1.79580	1.84481	.02729
Year	NEX			NIM		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	34543.4	34543.4	.00000	-34547.3	-36947.4	.06947
1981	39804.6	39804.6	.00000	-33548.6	-35827.7	.06793
1982	40499.5	40499.5	.00000	-34723.6	-36783.6	.05932
1983	40604.8	40604.8	.00000	-33453.7	-35481.4	.06061
1984	46526.5	46526.5	.00000	-35671.9	-37851.0	.06109
1985	47544.7	47544.7	.00000	-34306.3	-36076.5	.05160
Year	NTEX <sub>1</sub>			NTEX <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-.938.5	-.997.3	.06261	.0	.0	.00000
1981	-.957.3	-1014.3	.05962	.0	.0	.00000
1982	-.979.4	-1027.8	.04935	.0	.0	.00000
1983	-1000.4	-1047.9	.04741	.0	.0	.00000
1984	-1066.8	-1117.9	.04789	.0	.0	.00000
1985	-1050.9	-1091.3	.03842	.0	.0	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-6: 財政・金融ポリシー・ミックスシミュレーション

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1859.9	-2424.3	.30343	2842.2	2147.1	-.24455
1981	-1942.5	-2482.7	.27811	2922.8	2250.2	-.23010
1982	-1769.5	-2254.4	.27405	3512.6	2948.3	-.16065
1983	-2426.3	-2936.1	.21011	2511.7	1950.8	-.22332
1984	-2754.1	-3296.6	.19699	2511.8	1907.0	-.24081
1985	-2858.5	-3310.5	.15812	2635.4	2148.0	-.18495
Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15370.7	15076.1	-.01917	2412.4	2352.8	-.02470
1981	19073.7	18798.9	-.01440	2399.0	2334.0	-.02710
1982	19389.5	19140.8	-.01283	2711.5	2649.8	-.02274
1983	20366.3	20100.6	-.01305	2150.8	2086.0	-.03013
1984	24580.7	24281.1	-.01219	2363.9	2292.4	-.03027
1985	25328.6	25080.3	-.00980	2101.6	2036.6	-.03093
Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1057.6	967.9	-.08480	.0	.0	.00000
1981	1852.2	1763.3	-.04800	.0	.0	.00000
1982	1467.5	1381.7	-.05847	.0	.0	.00000
1983	1442.8	1357.1	-.05938	.0	.0	.00000
1984	1773.8	1682.4	-.05153	.0	.0	.00000
1985	2223.2	2144.8	-.03525	.0	.0	.00000
Year	NTEX <sub>9</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-18888.3	-19526.4	.03378	-481.0	-506.7	.05340
1981	-17092.0	-17672.6	.03397	-690.3	-724.3	.04920
1982	-18556.2	-19122.5	.03051	-548.4	-571.9	.04292
1983	-15893.8	-16387.2	.03104	-519.7	-540.8	.04077
1984	-16554.8	-17072.9	.03129	-541.2	-563.5	.04124
1985	-15141.1	-15539.7	.02633	-269.8	-278.7	.03279
Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-59.2	-71.5	.20726	1573.9	1688.0	.07247
1981	-206.4	-247.6	.19962	1621.4	1729.3	.06655
1982	-54.6	-64.4	.17812	2122.7	2249.9	.05992
1983	-55.0	-64.3	.16802	2076.8	2194.9	.05689
1984	-48.6	-56.8	.17026	2305.9	2435.8	.05633
1985	-84.8	-97.6	.15057	3092.4	3237.5	.04693
Year	NTX <sub>4</sub>			NTX <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1896.2	2130.4	.12351	728.2	805.6	.10617
1981	2090.2	2326.8	.11322	739.1	809.0	.09459
1982	2035.1	2238.1	.09973	843.0	914.8	.08511
1983	1996.6	2191.0	.09735	916.8	991.7	.08175
1984	2147.8	2355.6	.09674	1018.7	1101.2	.08100
1985	2104.3	2276.5	.08187	1095.2	1167.7	.06622
Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-81.1	-83.8	.03375	735.9	769.9	.04614
1981	176.2	182.0	.03279	1600.4	1667.8	.04216
1982	-6.5	-6.7	.03052	1220.8	1267.7	.03848
1983	-28.4	-29.3	.03038	1218.2	1262.2	.03611
1984	134.0	138.1	.03115	1590.7	1648.0	.03601
1985	208.0	213.5	.02671	1706.6	1757.1	.02960

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-7: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	NTX <sub>8</sub>			PC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.0	.0	.00000	2.18809	2.22666	.01763
1981	.0	.0	.00000	2.27503	2.31220	.01634
1982	.0	.0	.00000	2.22183	2.25289	.01398
1983	.0	.0	.00000	2.24537	2.27728	.01421
1984	.0	.0	.00000	2.24797	2.28050	.01447
1985	.0	.0	.00000	2.23903	2.26460	.01142
Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.59912	.06476	2.19336	2.27192	.03582
1981	2.46801	2.61948	.06138	2.26082	2.33322	.03202
1982	2.58456	2.71530	.05059	2.28679	2.35298	.02895
1983	2.60061	2.71681	.04468	2.25391	2.31693	.02796
1984	2.63820	2.75832	.04553	2.31924	2.38189	.02701
1985	2.63564	2.74367	.04099	2.28769	2.33960	.02269
Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.41591	2.62167	.08517	1.59513	1.68957	.05920
1981	2.57123	2.76438	.07512	1.69473	1.78317	.05218
1982	2.54788	2.71622	.06607	1.72294	1.80243	.04614
1983	2.49337	2.65091	.06319	1.74188	1.81755	.04344
1984	2.50837	2.66411	.06209	1.75643	1.83441	.04440
1985	2.39233	2.51883	.05288	1.72781	1.79188	.03708
Year	PC <sub>7</sub>			PO <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.35321	2.38588	.01388	2.19863	2.23592	.01696
1981	2.47772	2.50742	.01199	2.28525	2.32120	.01573
1982	2.49022	2.51826	.01126	2.24680	2.27707	.01348
1983	2.53092	2.55793	.01067	2.25935	2.29027	.01368
1984	2.59553	2.62272	.01047	2.26622	2.29781	.01394
1985	2.63363	2.65727	.00898	2.26128	2.28617	.01101
Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.59912	.06476	2.29629	2.38464	.03847
1981	2.46801	2.61948	.06138	2.37722	2.45940	.03457
1982	2.58456	2.71530	.05059	2.41073	2.48629	.03134
1983	2.60061	2.71681	.04468	2.36052	2.43137	.03002
1984	2.63820	2.75832	.04553	2.43442	2.50518	.02906
1985	2.63564	2.74367	.04099	2.39565	2.45396	.02434
Year	PO <sub>4</sub>			PO <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.45627	2.65291	.08006	1.59765	1.68928	.05736
1981	2.60139	2.78512	.07063	1.70949	1.79616	.05070
1982	2.57929	2.73957	.06214	1.73993	1.81797	.04485
1983	2.51934	2.66907	.05943	1.75451	1.82857	.04221
1984	2.52979	2.67753	.05840	1.76969	1.84606	.04315
1985	2.42228	2.54279	.04975	1.74924	1.81234	.03607
Year	PO <sub>6</sub>			PO <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.68883	2.68883	.00000	2.35258	2.38488	.01373
1981	2.90042	2.90042	.00000	2.47924	2.50862	.01185
1982	2.99949	2.99949	.00000	2.49584	2.52362	.01113
1983	3.00006	3.00006	.00000	2.53997	2.56677	.01055
1984	3.07317	3.07317	.00000	2.60318	2.63014	.01036
1985	3.13162	3.13162	.00000	2.64057	2.66401	.00888

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-8: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	RGDE			RI		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	107984.6	113673.2	.05268	11.25071	2.04787	-.81798
1981	114351.2	120099.0	.05026	10.67069	1.89776	-.82215
1982	115428.2	120685.6	.04555	8.95387	1.54483	-.82747
1983	118999.2	124115.4	.04299	8.23062	1.40244	-.82961
1984	126370.1	131851.6	.04338	8.55856	1.45768	-.82968
1985	130231.6	135008.3	.03668	6.93751	1.13844	-.83590
Year	TH			TL		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2312.8	2485.4	.07463	5854.3	5866.0	.00199
1981	2360.7	2523.7	.06905	5948.3	5959.7	.00192
1982	2318.2	2462.1	.06207	6017.0	6027.3	.00172
1983	2329.5	2467.2	.05913	6081.8	6092.3	.00173
1984	2383.9	2525.9	.05954	6176.0	6187.0	.00178
1985	2296.6	2411.7	.05008	6267.2	6276.7	.00152
Year	V			V <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	254827.5	275717.3	.08198	8625.6	8929.8	.03527
1981	281880.5	303107.0	.07530	9058.7	9363.9	.03368
1982	288021.2	307169.7	.06648	9013.3	9276.8	.02924
1983	300064.6	318577.5	.06170	9106.5	9371.7	.02913
1984	323536.8	343563.4	.06190	9732.1	10030.5	.03066
1985	336257.8	353554.8	.05144	10033.4	10277.0	.02428
Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	22931.5	28342.0	.23594	27905.6	30140.1	.08007
1981	24789.7	30448.5	.22827	31204.0	33445.3	.07183
1982	24200.6	29068.4	.20114	32420.4	34547.7	.06561
1983	22919.5	27198.5	.18670	32988.8	35044.8	.06232
1984	23414.3	27887.7	.19105	34739.1	36851.4	.06080
1985	23296.8	27320.6	.17272	35169.3	36946.6	.05053
Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	28144.5	34383.2	.22167	24326.6	27256.2	.12043
1981	32200.6	38359.4	.19126	27750.9	30736.9	.10760
1982	30060.1	35281.6	.17370	28549.8	31354.4	.09824
1983	30157.6	35173.8	.16633	31075.7	34009.0	.09439
1984	34696.4	40157.6	.15740	35555.7	38931.4	.09494
1985	32798.5	37209.1	.13448	37807.2	40734.5	.07742
Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	20969.0	20799.7	-.00807	110439.5	114543.8	.03716
1981	23312.3	23197.4	-.00493	121266.1	125412.8	.03419
1982	23922.1	23921.1	-.00004	126950.8	130959.1	.03157
1983	25560.3	25641.6	.00318	134901.7	138924.4	.02982
1984	27813.5	27982.4	.00607	143624.6	147906.4	.02981
1985	29682.5	29930.5	.00836	152912.8	156708.6	.02482
Year	V <sub>8</sub>			VBC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	11485.1	11322.4	-.01417	118.2	122.4	.03527
1981	12298.2	12142.7	-.01264	96.7	100.0	.03368
1982	12904.2	12760.8	-.01111	122.8	126.4	.02924
1983	13354.5	13213.8	-.01054	119.3	122.7	.02913
1984	13961.0	13815.9	-.01039	124.4	128.2	.03066
1985	14557.3	14428.0	-.00888	196.8	201.5	.02428

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 D-9: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	VBC <sub>1</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1295.2	1600.8	.23594	1519.2	1640.8	.08007
1981	1450.2	1781.3	.22827	1790.7	1919.3	.07183
1982	1253.1	1505.2	.20114	1697.7	1809.1	.06561
1983	1259.1	1494.1	.18670	1680.2	1784.9	.06232
1984	1272.1	1515.2	.19105	1800.1	1909.6	.06080
1985	1062.0	1245.4	.17272	2094.2	2200.0	.05053
Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1757.1	2146.6	.22167	1224.9	1372.4	.12043
1981	2361.4	2813.0	.19126	1662.7	1841.6	.10760
1982	1915.2	2247.8	.17370	1460.0	1603.4	.09824
1983	1851.3	2159.2	.16633	1599.8	1750.8	.09439
1984	1977.1	2288.3	.15740	1841.2	2016.0	.09494
1985	1955.9	2218.9	.13448	2238.9	2412.3	.07742
Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	711.9	706.2	-.00807	3577.8	3710.8	.03716
1981	878.7	874.4	-.00493	4037.9	4176.0	.03419
1982	796.5	796.5	-.00004	3973.5	4098.9	.03157
1983	814.8	817.4	.00318	4276.7	4404.2	.02982
1984	871.5	876.8	.00607	4571.5	4707.8	.02981
1985	1170.4	1180.2	.00836	5283.7	5414.9	.02482
Year	VBC <sub>8</sub>			VM <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	361.7	356.6	-.01417	.05685	.05707	.00377
1981	380.7	375.9	-.01264	.05709	.05729	.00348
1982	409.8	405.3	-.01111	.05553	.05570	.00307
1983	428.5	424.0	-.01054	.05666	.05683	.00306
1984	444.7	440.1	-.01039	.05625	.05643	.00313
1985	353.4	350.3	-.00888	.05584	.05598	.00250
Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	.05311	.05590	.05252
1981	.00000	.00000	.00000	.05236	.05486	.04771
1982	.00000	.00000	.00000	.05069	.05295	.04462
1983	.00000	.00000	.00000	.05754	.05973	.03798
1984	.00000	.00000	.00000	.05956	.06167	.03547
1985	.00000	.00000	.00000	.06028	.06206	.02950
Year	VM <sub>4</sub>			VM <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.05776	.05776	.00000	.03896	.03947	.01320
1981	.05776	.05776	.00000	.03742	.03788	.01215
1982	.05776	.05776	.00000	.03719	.03759	.01084
1983	.05776	.05776	.00000	.03783	.03821	.01005
1984	.05776	.05776	.00000	.03778	.03817	.01028
1985	.05776	.05776	.00000	.03658	.03691	.00890
Year	VM <sub>6</sub>			VM <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.04235	.04235	.00000	.01120	.01120	.00000
1981	.04271	.04271	.00000	.01120	.01120	.00000
1982	.04253	.04253	.00000	.01120	.01120	.00000
1983	.04304	.04304	.00000	.01120	.01120	.00000
1984	.04325	.04325	.00000	.01120	.01120	.00000
1985	.04452	.04452	.00000	.01120	.01120	.00000

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。

表 D-10: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	$\mu M_0$			$X_1$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	7761.0	8033.8	.03515
1981	.00000	.00000	.00000	7848.1	8101.8	.03233
1982	.00000	.00000	.00000	8012.1	8240.8	.02854
1983	.00000	.00000	.00000	7994.4	8203.8	.02619
1984	.00000	.00000	.00000	8557.3	8783.1	.02639
1985	.00000	.00000	.00000	8614.5	8796.5	.02113
Year	$X_2$			$X_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	23458.5	26598.1	.13384	36364.3	37651.1	.03539
1981	24128.3	27271.0	.13025	37634.0	38893.0	.03345
1982	22947.6	25733.3	.12140	37950.4	39092.9	.03011
1983	22830.8	25526.2	.11806	39000.9	40098.5	.02814
1984	23198.6	25966.1	.11930	40253.4	41402.6	.02855
1985	22898.0	25308.4	.10527	40407.6	41365.3	.02370
Year	$X_4$			$X_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43582.0	45121.9	.03533	48093.4	50225.8	.04434
1981	43270.8	44804.1	.03544	51182.6	53245.4	.04030
1982	41996.2	43322.3	.03158	51120.3	53024.7	.03725
1983	42791.6	44166.6	.03213	54885.5	56900.3	.03671
1984	45992.8	47493.4	.03263	63197.1	65411.5	.03504
1985	45868.9	47132.0	.02754	66859.9	68738.7	.02810
Year	$X_6$			$X_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15022.9	15530.0	.03375	73806.0	76154.0	.03181
1981	15532.3	16041.7	.03279	76229.5	78502.3	.02982
1982	15396.8	15866.7	.03052	80094.0	82250.2	.02692
1983	16034.2	16521.4	.03038	83852.6	85963.4	.02517
1984	16783.2	17306.0	.03115	87550.5	89763.1	.02527
1985	16897.8	17349.1	.02671	90199.3	92042.8	.02044
Year	$X_8$			$YE$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	4082.6	4068.6	-.00344	160798.3	172831.4	.07483
1981	4251.0	4238.4	-.00296	177137.4	189494.6	.06976
1982	4163.3	4151.5	-.00282	183592.9	195121.2	.06279
1983	4304.9	4293.3	-.00269	190345.5	201695.8	.05963
1984	4425.9	4414.4	-.00261	205139.0	217360.1	.05957
1985	4485.0	4475.0	-.00224	209196.7	219614.4	.04980
Year	$YE_1$			$YE_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	6630.4	6927.2	.04476	16900.1	20668.2	.21648
1981	6667.5	6945.0	.04162	18074.9	21858.2	.20931
1982	6695.2	6937.4	.03617	18949.0	22466.7	.18564
1983	6429.8	6655.2	.03506	19505.6	22890.5	.17354
1984	6717.0	6959.5	.03609	20425.3	24028.1	.17639
1985	6722.7	6914.0	.02845	19590.4	22679.0	.15766
Year	$YE_3$			$YE_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	17942.3	19274.8	.07427	11314.7	13002.1	.14913
1981	18552.6	19810.5	.06780	13675.2	15502.4	.13361
1982	19278.6	20463.3	.06146	13390.1	14982.2	.11890
1983	19134.9	20252.5	.05840	13879.7	15480.8	.11535
1984	21237.0	22457.4	.05746	14680.4	16353.9	.11400
1985	21472.7	22500.2	.04785	14210.6	15589.6	.09704

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 D-11: 財政・金融ポリシー・ミックス シミュレーション

Year	YE <sub>5</sub>			YE <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	14383.7	15997.1	.11217	14178.3	14851.9	.04751
1981	17111.4	18818.6	.09977	16057.4	16793.1	.04582
1982	18428.2	20088.8	.09011	16321.7	17003.9	.04179
1983	19531.3	21224.4	.08669	17167.3	17881.9	.04163
1984	21151.7	22978.1	.08635	18296.6	19102.5	.04404
1985	22885.6	24497.6	.07044	18019.1	18708.9	.03828
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	70881.0	.04039	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	77682.9	.03696	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	80530.8	.03401	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	84262.5	.03201	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	91746.5	.03206	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	94057.2	.02652	14667.9	14667.9	.00000
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	70881.0	.04039	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	77682.9	.03696	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	80530.8	.03401	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	84262.5	.03201	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	91746.5	.03206	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	94057.2	.02652	14667.9	14667.9	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-1: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	BP			BSD		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3.9	450.5	-116.39552	79273.9	79842.0	.00717
1981	6256.0	6277.0	.00336	87357.1	87625.6	.00307
1982	5775.9	5725.1	-.00878	87442.9	87750.1	.00351
1983	7151.1	6366.7	-.10969	92323.4	91682.0	-.00695
1984	10854.6	9117.7	-.16001	99416.7	97804.2	-.01622
1985	13238.3	10258.8	-.22507	105389.4	102318.9	-.02914
Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2367.9	2373.2	.00224	6000.5	6324.6	.05401
1981	2969.5	2949.6	-.00669	6921.2	7343.5	.06102
1982	2760.0	2730.7	-.01059	5306.3	6207.3	.16980
1983	3094.7	3009.4	-.02757	3469.0	4460.2	.28575
1984	3454.0	3309.5	-.04183	3037.6	4301.2	.41600
1985	3474.4	3308.0	-.04790	3791.2	5092.7	.34330
Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	7162.1	7060.3	-.01422	14506.7	14089.7	-.02874
1981	9754.5	9398.5	-.03649	16004.1	15372.5	-.03946
1982	9827.8	8905.5	-.09385	14234.8	12736.9	-.10523
1983	10649.2	9335.8	-.12333	13911.7	12236.0	-.12045
1984	10089.1	8631.2	-.14450	17517.5	14832.7	-.15326
1985	9495.6	7727.6	-.18619	16123.6	12879.7	-.20119
Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9071.7	8982.4	-.00984	6775.7	7342.6	.08366
1981	9747.4	9528.6	-.02244	6972.8	7740.1	.11005
1982	9137.2	8498.3	-.06992	7500.2	9253.7	.23379
1983	10497.9	9551.8	-.09013	8310.5	9959.1	.19838
1984	13254.9	11643.2	-.12159	9265.5	11326.6	.22244
1985	13697.1	11560.1	-.15602	11330.1	13381.0	.18101
Year	BSD <sub>7</sub>			CP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	33389.2	33669.2	.00839	140224.1	139490.2	-.00523
1981	34987.7	35292.8	.00872	153432.3	152081.5	-.00880
1982	38676.5	39417.6	.01916	159739.8	156283.0	-.02164
1983	42390.4	43129.7	.01744	167881.3	163765.7	-.02452
1984	42798.1	43759.8	.02247	178986.1	173427.6	-.03106
1985	47477.3	48369.6	.01879	185091.8	178053.4	-.03803
Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2042.0	2050.3	.00408	21422.2	21434.5	.00058
1981	2014.1	2026.7	.00626	22051.8	22047.8	-.00018
1982	2103.3	2136.3	.01570	20714.1	20614.7	-.00480
1983	2046.7	2084.2	.01833	20481.9	20340.4	-.00691
1984	2178.1	2227.4	.02261	20773.0	20591.1	-.00876
1985	2398.8	2464.5	.02742	20311.3	20009.9	-.01484
Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15862.4	15986.1	.00780	2339.8	2353.1	.00569
1981	16517.9	16663.8	.00883	2762.0	2779.7	.00638
1982	16382.9	16714.4	.02024	3037.9	3079.4	.01364
1983	16834.3	17175.3	.02026	3383.5	3428.0	.01317
1984	17020.7	17409.4	.02284	3903.5	3962.7	.01516
1985	17087.7	17497.7	.02399	4185.4	4248.2	.01500

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-2: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$F_5$			$F_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	16640.8	16667.5	.00161	4752.1	4787.9	.00753
1981	16415.7	16409.3	-.00039	4867.9	4910.1	.00867
1982	16516.0	16378.7	-.00832	4371.4	4459.1	.02006
1983	17621.0	17351.0	-.01532	4407.9	4498.5	.02056
1984	20031.8	19687.8	-.01718	4344.4	4445.6	.02330
1985	21350.2	20850.5	-.02340	4318.6	4425.3	.02471
Year	$F_7$			$F_8$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43475.6	43780.6	.00702	4014.1	4022.4	.00205
1981	45538.3	45910.9	.00818	4183.0	4194.8	.00282
1982	47714.7	48611.7	.01880	4089.7	4117.3	.00674
1983	49647.0	50615.6	.01951	4227.4	4257.5	.00712
1984	52064.1	53219.6	.02219	4344.5	4381.1	.00842
1985	54432.4	55728.1	.02380	4402.7	4444.7	.00954
Year	$F_9$			$G_{BC}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	57.9	60.2	.04078	4357.1	4402.9	.01052
1981	35.1	36.8	.04830	4817.1	4883.0	.01367
1982	30.4	33.9	.11538	4430.7	4576.3	.03286
1983	13.2	14.9	.12865	4503.9	4657.4	.03407
1984	23.1	25.8	.11619	4648.5	4833.2	.03974
1985	24.4	27.4	.12037	5259.1	5490.6	.04402
Year	$G_{CP}$			$G_{CN}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	59514.0	59979.6	.00782	614.2	617.6	.00558
1981	61772.7	62330.0	.00902	657.5	662.6	.00773
1982	63012.1	64337.5	.02103	631.3	642.9	.01848
1983	65200.9	66617.8	.02173	681.6	695.0	.01967
1984	67691.8	69362.1	.02468	722.4	739.4	.02351
1985	69141.0	70954.9	.02624	760.3	780.9	.02717
Year	$G_{CA}$			$G_{IP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	8633.0	8649.8	.00194	27448.1	27286.7	-.00588
1981	9024.6	9049.0	.00270	28507.3	28224.3	-.00993
1982	9206.3	9265.8	.00647	28714.5	27804.8	-.03168
1983	9480.5	9545.3	.00684	29829.6	28745.4	-.03635
1984	9735.8	9814.8	.00811	32657.3	31280.3	-.04216
1985	9921.9	10013.4	.00922	33805.1	32017.4	-.05540
Year	$G_{IA}$			$G_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9891.4	10007.8	.01177	858.5	893.6	.04093
1981	10129.4	10291.7	.01602	731.7	767.7	.04923
1982	10112.0	10499.2	.03829	618.5	692.7	.11995
1983	9883.7	10286.7	.04077	114.4	131.5	.15007
1984	9549.8	10016.3	.04885	602.0	680.3	.13003
1985	9064.4	9599.0	.05898	1255.0	1427.7	.13760
Year	$G_{DE}$			$G_{DEP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	246243.0	244831.9	-.00573	2.28035	2.25306	-.01197
1981	271986.0	268908.2	-.01132	2.37852	2.34014	-.01613
1982	278931.3	270784.1	-.02921	2.41649	2.32582	-.03752
1983	290558.9	280269.5	-.03541	2.44169	2.34470	-.03972
1984	313649.8	299215.3	-.04602	2.48199	2.36326	-.04784
1985	324496.8	305444.8	-.05871	2.49169	2.35573	-.05457

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。

表 E-3: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$H_1$			$H_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2165.44	2123.97	-.01915	2404.66	2405.82	.00048
1981	2242.05	2178.84	-.02819	2370.45	2368.06	-.00101
1982	2242.86	2100.61	-.06342	2381.45	2361.19	-.00851
1983	2229.51	2064.49	-.07401	2432.29	2404.78	-.01131
1984	2287.49	2076.91	-.09206	2456.81	2421.21	-.01449
1985	2216.65	1988.13	-.10309	2310.92	2256.04	-.02375
Year	$H_3$			$H_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2642.24	2556.86	-.03231	2522.14	2408.66	-.04500
1981	2706.84	2581.53	-.04630	2708.19	2544.03	-.06062
1982	2676.03	2378.22	-.11129	2556.02	2191.75	-.14251
1983	2592.82	2263.48	-.12702	2593.35	2200.79	-.15137
1984	2708.38	2292.98	-.15337	2741.47	2351.86	-.17859
1985	2607.48	2128.65	-.18363	2557.73	2014.03	-.21257
Year	$H_5$			$H_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2369.45	2303.80	-.02770	2398.10	2361.45	-.01528
1981	2345.98	2248.29	-.04164	2496.29	2439.73	-.02266
1982	2275.43	2039.49	-.10369	2429.74	2294.13	-.05581
1983	2353.27	2082.50	-.11506	2411.31	2266.12	-.06021
1984	2450.14	2105.06	-.14084	2464.87	2274.91	-.07707
1985	2339.97	1945.06	-.16877	2419.44	2191.14	-.09436
Year	$H_7$			HMFG		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2217.31	2217.58	.00012	2257.8	2245.0	-.00565
1981	2263.53	2259.80	-.00165	2299.7	2277.1	-.00986
1982	2217.15	2207.55	-.00433	2247.1	2192.3	-.02441
1983	2234.88	2222.28	-.00564	2269.3	2206.9	-.02750
1984	2267.76	2250.04	-.00781	2313.4	2231.5	-.03542
1985	2200.70	2175.88	-.01128	2242.0	2142.7	-.04433
Year	$IM_1$			$IM_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-486.1	-536.2	.10307	-2026.7	-2446.2	.20698
1981	-501.2	-572.3	.14204	-2044.4	-2644.9	.29372
1982	-440.3	-601.7	.36641	-1945.9	-3440.6	.76810
1983	-491.7	-679.0	.38096	-2496.2	-4334.5	.73645
1984	-505.6	-739.7	.46289	-2735.0	-5142.4	.88019
1985	-487.9	-765.5	.56914	-2812.8	-5755.9	1.04632
Year	$IM_4$			$IM_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1632.8	-1732.7	.06115	-1257.8	-1398.4	.11176
1981	-1746.1	-1896.6	.08624	-995.8	-1154.1	.15888
1982	-1650.3	-1996.6	.20983	-951.6	-1331.5	.39921
1983	-1790.1	-2183.1	.21959	-1130.5	-1597.5	.41314
1984	-1994.0	-2524.6	.26609	-1255.0	-1894.5	.50952
1985	-1863.4	-2444.4	.31183	-1146.0	-1841.9	.60727
Year	$IM_6$			$IM_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-595.5	-691.5	.16110	-822.0	-908.1	.10472
1981	-631.5	-773.2	.22427	-775.9	-888.8	.14541
1982	-599.7	-957.9	.59721	-708.4	-972.1	.37234
1983	-681.3	-1108.8	.62750	-659.7	-921.7	.39706
1984	-716.2	-1274.1	.77901	-726.0	-1081.1	.48913
1985	-803.2	-1556.6	.93807	-765.1	-1219.2	.59352

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-4: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	IM <sub>0</sub>			IP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3916.8	-3876.8	-.01022	56136.1	55004.6	-.02016
1981	-3452.1	-3398.3	-.01558	59018.3	57270.2	-.02962
1982	-3496.4	-3365.9	-.03733	59304.6	54664.9	-.07823
1983	-3446.2	-3301.4	-.04203	61543.8	56154.4	-.08757
1984	-3697.5	-3508.4	-.05114	67747.1	60607.9	-.10538
1985	-3521.1	-3309.0	-.06023	69094.5	60060.3	-.13075
Year	K <sub>1</sub>			K <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	40107.2	40107.4	.00001	11687.3	11687.4	.00001
1981	44172.0	44166.1	-.00013	13027.9	13025.3	-.00020
1982	48048.4	48007.2	-.00086	14220.7	14203.0	-.00125
1983	51806.0	51750.4	-.00107	15411.4	15386.4	-.00162
1984	55646.1	55572.3	-.00133	16584.3	16551.3	-.00199
1985	59063.9	58951.3	-.00191	17040.0	17000.1	-.00234
Year	K <sub>3</sub>			K <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	25682.9	25683.0	.00001	49954.2	49954.5	.00000
1981	27681.9	27678.6	-.00012	53022.7	53016.6	-.00012
1982	29583.8	29560.9	-.00077	56342.2	56295.7	-.00082
1983	31798.2	31763.3	-.00110	59766.0	59700.4	-.00110
1984	34202.1	34153.5	-.00142	63381.2	63292.2	-.00140
1985	36793.4	36709.0	-.00229	66604.6	66465.5	-.00209
Year	K <sub>5</sub>			K <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	27501.7	27501.9	.00001	70166.4	70166.8	.00001
1981	31773.9	31767.3	-.00021	77147.4	77135.5	-.00015
1982	35884.9	35837.3	-.00133	83614.5	83531.8	-.00099
1983	39944.0	39877.8	-.00168	88340.4	88243.8	-.00109
1984	45020.4	44918.6	-.00226	93698.5	93563.3	-.00144
1985	51219.7	51023.9	-.00382	100585.7	100328.0	-.00256
Year	K <sub>7</sub>			L <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	60845.4	60845.8	.00001	747.2	747.2	-.00000
1981	68717.3	68705.8	-.00017	725.3	725.4	.00004
1982	76664.8	76580.2	-.00110	706.8	707.0	.00026
1983	85637.0	85508.5	-.00150	690.6	690.8	.00033
1984	95603.1	95420.0	-.00192	675.6	675.9	.00041
1985	106722.1	106392.6	-.00309	663.3	663.7	.00059
Year	L <sub>2</sub>			L <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	573.8	573.8	.00000	613.9	613.9	.00000
1981	584.2	584.2	-.00003	599.4	599.4	.00000
1982	592.7	592.6	-.00021	607.6	607.6	.00001
1983	600.7	600.5	-.00027	606.1	606.1	.00001
1984	608.0	607.8	-.00033	611.8	611.8	.00001
1985	610.7	610.5	-.00039	607.1	607.1	.00002
Year	L <sub>4</sub>			L <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	322.7	322.7	.00000	462.0	461.9	-.00008
1981	332.8	332.8	.00000	498.1	498.0	-.00018
1982	324.4	324.4	.00001	512.0	511.4	-.00109
1983	320.1	320.1	.00001	516.1	515.3	-.00151
1984	317.3	317.3	.00002	542.5	541.7	-.00152
1985	323.5	323.5	.00003	578.8	577.7	-.00187

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-5: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$L_6$			$L_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	367.9	367.9	.00002	2552.5	2552.5	.00000
1981	366.6	366.6	.00005	2626.5	2626.4	-.00004
1982	362.8	363.0	.00031	2694.8	2694.1	-.00026
1983	366.1	366.3	.00043	2765.8	2764.8	-.00035
1984	366.3	366.5	.00043	2838.2	2837.0	-.00045
1985	359.3	359.5	.00052	2912.5	2910.4	-.00073
Year	$\mu_{BC}$			$\mu_{CG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.33789	2.31356	-.01041	2.72995	2.72467	-.00194
1981	2.45813	2.42498	-.01348	2.83500	2.82736	-.00269
1982	2.50914	2.42930	-.03182	2.91067	2.89196	-.00643
1983	2.54976	2.46576	-.03294	2.95303	2.93297	-.00679
1984	2.61311	2.51324	-.03822	3.02481	3.00046	-.00805
1985	2.64885	2.53717	-.04216	3.09269	3.06443	-.00914
Year	$\mu_{CN}$			$\mu_{CP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.95998	2.94357	-.00555	2.35615	2.32563	-.01296
1981	3.06166	3.03817	-.00767	2.48382	2.43994	-.01766
1982	3.14077	3.08377	-.01815	2.53506	2.42911	-.04179
1983	3.20239	3.14060	-.01929	2.57483	2.45829	-.04526
1984	3.28064	3.20530	-.02297	2.64413	2.50032	-.05439
1985	3.32100	3.23315	-.02645	2.67702	2.50939	-.06262
Year	$\mu_{EX}$			$\mu_{IG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.00882	1.96701	-.02081	2.31396	2.28705	-.01163
1981	2.10673	2.04887	-.02746	2.39686	2.35907	-.01577
1982	2.13239	1.99326	-.06525	2.38754	2.29948	-.03688
1983	2.10647	1.96241	-.06839	2.38639	2.29291	-.03917
1984	2.11291	1.93870	-.08245	2.41946	2.30678	-.04657
1985	2.07890	1.87886	-.09623	2.38384	2.25108	-.05569
Year	$\mu_{IP}$			$\mu_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.04517	2.01580	-.01436	1.87863	1.80476	-.03932
1981	2.07029	2.02911	-.01989	1.91724	1.82729	-.04692
1982	2.06532	1.96603	-.04807	1.92295	1.71700	-.10710
1983	2.06318	1.95351	-.05316	1.90062	1.65260	-.13049
1984	2.07449	1.93757	-.06600	1.88994	1.67246	-.11507
1985	2.03848	1.87587	-.07977	1.79580	1.57859	-.12095
Year	$NEX$			$NIM$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	34543.4	33201.6	-.03884	-34547.3	-32751.2	-.05199
1981	39804.6	37681.9	-.05333	-33548.6	-31404.9	-.06390
1982	40499.5	35442.5	-.12487	-34723.6	-29717.4	-.14418
1983	40604.8	35232.5	-.13231	-33453.7	-28865.8	-.13714
1984	46526.5	39189.8	-.15769	-35671.9	-30072.1	-.15698
1985	47544.7	38767.1	-.18462	-34306.3	-28508.3	-.16901
Year	$NTEX_1$			$NTEX_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-.938.5	-.937.1	-.00146	.0	.0	.00000
1981	-.957.3	-.954.9	-.00247	.0	.0	.00000
1982	-.979.4	-.969.5	-.01010	.0	.0	.00000
1983	-1000.4	-.982.2	-.01818	.0	.0	.00000
1984	-1066.8	-1038.7	-.02631	.0	.0	.00000
1985	-1050.9	-1025.7	-.02397	.0	.0	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 E-6: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1859.9	-2325.4	.25026	2842.2	2748.7	-.03287
1981	-1942.5	-2618.9	.34821	2922.8	2782.4	-.04804
1982	-1769.5	-3265.6	.84547	3512.6	3097.2	-.11824
1983	-2426.3	-3897.8	.60648	2511.7	2217.0	-.11731
1984	-2754.1	-4515.7	.63964	2511.8	2154.3	-.14234
1985	-2858.5	-4782.2	.67297	2635.4	2197.7	-.16607
Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15370.7	14689.3	-.04433	2412.4	2203.3	-.08667
1981	19073.7	17936.9	-.05960	2399.0	2097.0	-.12590
1982	19389.5	16707.5	-.13832	2711.5	1969.4	-.27368
1983	20368.3	17385.2	-.14638	2150.8	1408.6	-.34508
1984	24580.7	20320.9	-.17330	2363.9	1415.1	-.40139
1985	25328.6	20210.6	-.20206	2101.6	1012.8	-.51806
Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1057.6	948.3	-.10331	.0	.0	.00000
1981	1852.2	1654.8	-.10661	.0	.0	.00000
1982	1467.5	1041.6	-.29020	.0	.0	.00000
1983	1442.8	980.5	-.32044	.0	.0	.00000
1984	1773.8	1149.7	-.35183	.0	.0	.00000
1985	2223.2	1393.9	-.37303	.0	.0	.00000
Year	NTEX <sub>9</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-18888.3	-16876.7	-.10650	-481.0	-468.9	-.02506
1981	-17092.0	-14620.2	-.14462	-690.3	-665.5	-.03588
1982	-18556.2	-12855.5	-.30721	-548.4	-503.9	-.08110
1983	-15893.8	-10744.6	-.32398	-519.7	-472.3	-.09113
1984	-16554.8	-10367.9	-.37373	-541.2	-481.0	-.11110
1985	-15141.1	-8748.4	-.42221	-269.8	-236.1	-.12495
Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-59.2	-58.7	-.00933	1573.9	1517.2	-.03603
1981	-206.4	-203.6	-.01365	1621.4	1540.4	-.04995
1982	-54.6	-52.7	-.03611	2122.7	1871.8	-.11820
1983	-55.0	-52.8	-.04043	2076.8	1803.5	-.13159
1984	-48.6	-46.2	-.04870	2305.9	1939.2	-.15905
1985	-84.8	-79.5	-.06279	3092.4	2511.2	-.18794
Year	NTX <sub>4</sub>			NTX <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1896.2	1804.7	-.04827	728.2	705.6	-.03103
1981	2090.2	1954.9	-.06470	739.1	705.9	-.04489
1982	2035.1	1730.9	-.14951	843.0	751.4	-.10876
1983	1996.6	1682.7	-.15722	916.8	807.5	-.11922
1984	2147.8	1751.4	-.18456	1018.7	871.6	-.14441
1985	2104.3	1649.8	-.21595	1095.2	907.9	-.17099
Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-81.1	-80.2	-.01076	735.9	732.7	-.00436
1981	176.2	173.4	-.01609	1600.4	1588.4	-.00750
1982	-6.5	-6.2	-.04046	1220.8	1198.7	-.01806
1983	-28.4	-27.2	-.04364	1218.2	1193.8	-.02000
1984	134.0	126.7	-.05415	1590.7	1551.5	-.02467
1985	208.0	194.4	-.06539	1706.6	1655.6	-.02988

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-7: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	NTX <sub>a</sub>			PC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.0	.0	.00000	2.18809	2.16587	-.01016
1981	.0	.0	.00000	2.27503	2.24256	-.01427
1982	.0	.0	.00000	2.22183	2.14932	-.03264
1983	.0	.0	.00000	2.24537	2.16034	-.03787
1984	.0	.0	.00000	2.24797	2.14259	-.04688
1985	.0	.0	.00000	2.23903	2.12189	-.05232
Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.41754	-.00963	2.19336	2.14693	-.02117
1981	2.46801	2.43581	-.01304	2.26082	2.19739	-.02806
1982	2.58456	2.50503	-.03077	2.28679	2.13115	-.06806
1983	2.60061	2.51460	-.03307	2.25391	2.08312	-.07578
1984	2.63820	2.53431	-.03938	2.31924	2.10914	-.09059
1985	2.63564	2.50954	-.04785	2.28769	2.04118	-.10775
Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.41591	2.32396	-.03806	1.59513	1.56293	-.02018
1981	2.57123	2.44400	-.04948	1.69473	1.64659	-.02840
1982	2.54788	2.25183	-.11619	1.72294	1.60493	-.06849
1983	2.49337	2.19351	-.12026	1.74188	1.61346	-.07373
1984	2.50837	2.15517	-.14081	1.75643	1.59459	-.09214
1985	2.39233	1.99562	-.16583	1.72781	1.53653	-.11071
Year	PC <sub>7</sub>			PO <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.35321	2.34273	-.00445	2.19863	2.16440	-.01557
1981	2.47772	2.46241	-.00618	2.28525	2.23561	-.02172
1982	2.49022	2.45365	-.01469	2.24680	2.13555	-.04951
1983	2.53092	2.49135	-.01563	2.25935	2.13309	-.05589
1984	2.59553	2.54722	-.01862	2.26622	2.11208	-.06801
1985	2.63363	2.57734	-.02137	2.26128	2.08727	-.07695
Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.41754	-.00963	2.29629	2.23159	-.02818
1981	2.46801	2.43581	-.01304	2.37722	2.28758	-.03771
1982	2.58456	2.50503	-.03077	2.41073	2.19206	-.09070
1983	2.60061	2.51460	-.03307	2.36052	2.12127	-.10136
1984	2.63820	2.53431	-.03938	2.43442	2.13751	-.12197
1985	2.63564	2.50954	-.04785	2.39565	2.04986	-.14434
Year	PO <sub>4</sub>			PO <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.45627	2.35413	-.04159	1.59765	1.56011	-.02350
1981	2.60139	2.45988	-.05440	1.70949	1.65348	-.03277
1982	2.57929	2.25270	-.12662	1.73993	1.60377	-.07826
1983	2.51934	2.18831	-.13140	1.75451	1.60685	-.08416
1984	2.52979	2.14072	-.15379	1.76969	1.58526	-.10422
1985	2.42228	1.98531	-.18040	1.74924	1.53222	-.12407
Year	PO <sub>6</sub>			PO <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.68883	2.67693	-.00443	2.35258	2.33954	-.00555
1981	2.90042	2.88251	-.00618	2.47924	2.46022	-.00767
1982	2.99949	2.95467	-.01494	2.49584	2.45054	-.01815
1983	3.00006	2.95185	-.01607	2.53997	2.49096	-.01929
1984	3.07317	3.01332	-.01947	2.60318	2.54339	-.02297
1985	3.13162	3.05741	-.02370	2.64057	2.57072	-.02645

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。

表 E-8: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	RGDE			RI		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	107984.6	108666.4	.00631	11.25071	10.40148	-.07548
1981	114351.2	114911.1	.00490	10.67069	9.55279	-.10476
1982	115428.2	116425.0	.00864	8.95387	6.88147	-.23145
1983	118999.2	119533.2	.00449	8.23062	6.19720	-.24706
1984	126370.1	126611.0	.00191	8.55856	6.04778	-.29336
1985	130231.6	129660.2	-.00439	6.93751	4.61414	-.33490
Year	TH			TL		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2312.8	2285.1	-.01200	5854.3	5854.3	-.00000
1981	2360.7	2317.6	-.01824	5948.3	5948.1	-.00003
1982	2318.2	2217.2	-.04355	6017.0	6015.9	-.00018
1983	2329.5	2217.1	-.04824	6081.8	6080.2	-.00025
1984	2383.9	2241.4	-.05980	6176.0	6174.1	-.00030
1985	2296.6	2131.6	-.07187	6267.2	6264.3	-.00045
Year	V			V <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	254827.5	253511.6	-.00516	8625.6	8515.9	-.01272
1981	281880.5	278952.1	-.01039	9058.7	8875.5	-.02023
1982	288021.2	280233.3	-.02704	9013.3	8603.4	-.04547
1983	300064.6	290146.7	-.03305	9106.5	8592.1	-.05649
1984	323536.8	309607.6	-.04305	9732.1	9028.7	-.07228
1985	336257.8	317777.8	-.05496	10033.4	9206.8	-.08238
Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	22931.5	23264.2	.01451	27905.6	27175.5	-.02616
1981	24789.7	25196.8	.01642	31204.0	29919.9	-.04115
1982	24200.6	24944.1	.03072	32420.4	29130.1	-.10149
1983	22919.5	23694.7	.03382	32988.8	29004.0	-.12079
1984	23414.3	24387.2	.04155	34739.1	29696.3	-.14516
1985	23296.8	24143.1	.03633	35169.3	28923.8	-.17758
Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	28144.5	27129.3	-.03607	24326.6	23812.0	-.02116
1981	32200.6	30608.1	-.04946	27750.9	26780.0	-.03499
1982	30060.1	26357.4	-.12318	28549.8	25892.3	-.09308
1983	30157.6	26075.1	-.13537	31075.7	27755.1	-.10686
1984	34696.4	29003.1	-.16409	35555.7	30796.0	-.13387
1985	32798.5	26090.9	-.20451	37807.2	31594.4	-.16433
Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	20969.0	21321.9	.01683	110439.5	110724.7	.00258
1981	23312.3	23715.6	.01730	121266.1	121435.6	.00140
1982	23922.1	24771.7	.03551	126950.8	127332.4	.00301
1983	25560.3	26183.9	.02439	134901.7	135155.6	.00188
1984	27813.5	28466.6	.02348	143624.6	143851.8	.00158
1985	29682.5	30031.0	.01174	152912.8	152720.1	-.00126
Year	V <sub>8</sub>			VBC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	11485.1	11568.1	.00723	118.2	116.7	-.01272
1981	12298.2	12420.6	.00995	96.7	94.8	-.02023
1982	12904.2	13202.0	.02308	122.8	117.2	-.04547
1983	13354.5	13686.2	.02484	119.3	112.5	-.05649
1984	13961.0	14377.9	.02986	124.4	115.4	-.07228
1985	14557.3	15067.7	.03506	196.8	180.6	-.08238

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-9: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	VBC <sub>2</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1295.2	1314.0	.01451	1519.2	1479.4	-.02616
1981	1450.2	1474.0	.01642	1790.7	1717.0	-.04115
1982	1253.1	1291.6	.03072	1697.7	1525.4	-.10149
1983	1259.1	1301.6	.03382	1680.2	1477.3	-.12079
1984	1272.1	1325.0	.04155	1800.1	1538.8	-.14516
1985	1062.0	1100.6	.03633	2094.2	1722.3	-.17758
Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1757.1	1693.7	-.03607	1224.9	1199.0	-.02116
1981	2361.4	2244.6	-.04946	1662.7	1604.5	-.03499
1982	1915.2	1679.3	-.12318	1460.0	1324.1	-.09308
1983	1851.3	1600.6	-.13537	1599.8	1428.8	-.10686
1984	1977.1	1652.7	-.16409	1841.2	1594.7	-.13387
1985	1955.9	1555.9	-.20451	2238.9	1871.0	-.16433
Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	711.9	723.9	.01683	3577.8	3587.1	.00258
1981	878.7	893.9	.01730	4037.9	4043.6	.00140
1982	796.5	824.8	.03551	3973.5	3985.4	.00301
1983	814.8	834.7	.02439	4276.7	4284.7	.00188
1984	871.5	892.0	.02348	4571.5	4578.7	.00158
1985	1170.4	1184.2	.01174	5283.7	5277.1	-.00126
Year	VBC <sub>8</sub>			VM <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	361.7	364.3	.00723	.05685	.05798	.01989
1981	380.7	384.5	.00995	.05709	.05863	.02712
1982	409.8	419.3	.02308	.05553	.05916	.06539
1983	428.5	439.1	.02484	.05666	.06046	.06715
1984	444.7	458.0	.02986	.05625	.06077	.08017
1985	353.4	365.8	.03506	.05584	.06115	.09510
Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	.05311	.05953	.12079
1981	.00000	.00000	.00000	.05236	.06124	.16959
1982	.00000	.00000	.00000	.05069	.07117	.40422
1983	.00000	.00000	.00000	.05754	.07893	.37160
1984	.00000	.00000	.00000	.05956	.08496	.42650
1985	.00000	.00000	.00000	.06028	.08980	.48962
Year	VM <sub>4</sub>			VM <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.05776	.05776	.00000	.03896	.03969	.01880
1981	.05776	.05776	.00000	.03742	.03842	.02668
1982	.05776	.05776	.00000	.03719	.03949	.06202
1983	.05776	.05776	.00000	.03783	.04026	.06427
1984	.05776	.05776	.00000	.03778	.04063	.07543
1985	.05776	.05776	.00000	.03658	.03988	.09017
Year	VM <sub>6</sub>			VM <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.04235	.04436	.04748	.01120	.01120	.00000
1981	.04271	.04547	.06464	.01120	.01120	.00000
1982	.04253	.04899	.15201	.01120	.01120	.00000
1983	.04304	.04989	.15914	.01120	.01120	.00000
1984	.04325	.05141	.18877	.01120	.01120	.00000
1985	.04452	.05408	.21468	.01120	.01120	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-10: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	VM <sub>0</sub>			X <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	7761.0	7644.1	-.01505
1981	.00000	.00000	.00000	7848.1	7676.0	-.02192
1982	.00000	.00000	.00000	8012.1	7610.7	-.05010
1983	.00000	.00000	.00000	7994.4	7551.8	-.05536
1984	.00000	.00000	.00000	8557.3	7980.7	-.06738
1985	.00000	.00000	.00000	8614.5	7954.3	-.07664
Year	X <sub>2</sub>			X <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	23458.5	23465.4	.00030	36364.3	35812.3	-.01518
1981	24128.3	24113.4	-.00062	37634.0	36786.1	-.02253
1982	22947.6	22821.2	-.00551	37950.4	35908.6	-.05380
1983	22830.8	22657.0	-.00761	39000.9	36645.5	-.06039
1984	23198.6	22973.4	-.00971	40253.4	37223.1	-.07528
1985	22898.0	22538.6	-.01570	40407.6	36776.3	-.08987
Year	X <sub>4</sub>			X <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43582.0	43119.6	-.01061	48093.4	47561.0	-.01107
1981	43270.8	42577.8	-.01601	51182.6	50313.8	-.01697
1982	41996.2	40413.1	-.03769	51120.3	48910.5	-.04323
1983	42791.6	40994.2	-.04200	54885.5	52189.8	-.04911
1984	45992.8	43650.6	-.05092	63197.1	59558.8	-.05757
1985	45868.9	43112.7	-.06009	66859.9	62327.6	-.06779
Year	X <sub>6</sub>			X <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15022.9	14861.2	-.01076	73806.0	73813.1	.00010
1981	15532.3	15282.4	-.01609	76229.5	76128.0	-.00133
1982	15396.8	14773.9	-.04046	80094.0	79819.3	-.00343
1983	16034.2	15334.5	-.04364	83852.6	83480.3	-.00444
1984	16783.2	15874.3	-.05415	87550.5	87010.6	-.00617
1985	16897.8	15792.8	-.06539	90199.3	89414.7	-.00870
Year	X <sub>8</sub>			Y <sub>E</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	4082.6	4090.9	.00202	160798.3	158991.8	-.01123
1981	4251.0	4262.6	.00273	177137.4	174054.8	-.01740
1982	4163.3	4190.2	.00646	183592.9	175822.2	-.04233
1983	4304.9	4334.2	.00681	190345.5	181407.3	-.04696
1984	4425.9	4461.4	.00803	205139.0	193299.7	-.05771
1985	4485.0	4525.8	.00909	209196.7	194525.4	-.07013
Year	Y <sub>E1</sub>			Y <sub>E2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	6630.4	6503.3	-.01917	16990.1	16998.3	.00048
1981	6667.5	6479.3	-.02822	18074.9	18056.9	-.00099
1982	6695.2	6270.1	-.06350	18949.0	18789.5	-.00842
1983	6429.8	5953.3	-.07410	19505.6	19287.3	-.01119
1984	6717.0	6098.0	-.09216	20425.3	20132.2	-.01435
1985	6722.7	6028.9	-.10321	19590.4	19129.9	-.02351
Year	Y <sub>E3</sub>			Y <sub>E4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	17942.3	17370.7	-.03186	11314.7	10808.1	-.04478
1981	18552.6	17705.5	-.04566	13675.2	12849.6	-.06038
1982	19278.6	17161.4	-.10982	13390.1	11489.5	-.14194
1983	19134.9	16736.7	-.12533	13879.7	11786.9	-.15078
1984	21237.0	18018.9	-.15153	14680.4	12068.2	-.17794
1985	21472.7	17576.3	-.18146	14210.6	11201.3	-.21176

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 E-11: 為替レート調整政策 シミュレーション

Year	YE <sub>5</sub>			YE <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	14383.7	13980.9	-.02800	14178.3	13963.5	-.01515
1981	17111.4	16392.4	-.04202	16057.4	15696.3	-.02249
1982	18428.2	16501.3	-.10456	16321.7	15417.6	-.05540
1983	19531.3	17266.1	-.11598	17167.3	16141.0	-.05978
1984	21151.7	18150.8	-.14187	18296.6	16895.9	-.07656
1985	22885.6	18997.0	-.16991	18019.1	16330.3	-.09372
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68137.9	.00012	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	74790.8	-.00165	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	77544.6	-.00433	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	81187.8	-.00565	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	88201.5	-.00782	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	90593.7	-.01128	14667.9	14667.9	.00000
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	68137.9	.00012	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	74790.8	-.00165	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	77544.6	-.00433	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	81187.8	-.00565	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	88201.5	-.00782	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	90593.7	-.01128	14667.9	14667.9	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-1: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	BP			BSD		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3.9	1139.8	-292.99238	79273.9	77238.3	-.02568
1981	6256.0	6914.3	.10522	87357.1	85097.3	-.02587
1982	5775.9	6183.6	-.07060	87442.9	85942.8	-.01715
1983	7151.1	6810.5	-.04763	92323.4	90012.6	-.02503
1984	10854.6	9580.5	-.11738	99416.7	96015.9	-.03421
1985	13238.3	10603.0	-.19907	105389.4	100887.0	-.04272
Year	BSD <sub>1</sub>			BSD <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2367.9	2360.4	-.00317	6000.5	5840.5	-.02667
1981	2969.5	2929.5	-.01348	6921.2	6840.1	-.01172
1982	2760.0	2718.1	-.01516	5306.3	5007.1	-.11323
1983	3094.7	2994.2	-.03248	3469.0	4265.5	.22961
1984	3454.0	3291.3	-.04709	3037.6	4107.5	.35222
1985	3474.4	3295.4	-.05152	3791.2	4912.0	.29561
Year	BSD <sub>3</sub>			BSD <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	7162.1	6832.0	-.04609	14506.7	12882.0	-.11199
1981	9754.5	9153.1	-.06165	16004.1	14258.9	-.10905
1982	9827.8	8723.5	-.11237	14234.8	11993.9	-.15742
1983	10649.2	9161.1	-.13974	13911.7	11557.2	-.16924
1984	10089.1	8473.1	-.16018	17517.5	14101.5	-.19500
1985	9495.6	7615.5	-.19800	16123.6	12356.9	-.23361
Year	BSD <sub>5</sub>			BSD <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9071.7	8480.0	-.06522	6775.7	7584.9	.11942
1981	9747.4	9044.3	-.07213	6972.8	7979.1	.14433
1982	9137.2	8117.5	-.11160	7500.2	9398.8	.25314
1983	10497.9	9144.8	-.12890	8310.5	10091.6	.21431
1984	13254.9	11157.7	-.15823	9265.5	11453.5	.23614
1985	13697.1	11164.1	-.18493	11330.1	13460.0	.18798
Year	BSD <sub>7</sub>			CP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	33389.2	33258.5	-.00391	140224.1	137532.1	-.01920
1981	34987.7	34892.3	-.00273	153432.3	150143.1	-.02144
1982	38676.5	39083.8	.01053	159739.8	154831.5	-.03073
1983	42390.4	42798.3	.00962	167881.3	162390.2	-.03271
1984	42798.1	43431.4	.01480	178986.1	171983.5	-.03912
1985	47477.3	48083.1	.01276	185091.8	176929.7	-.04410
Year	F <sub>1</sub>			F <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2042.0	2022.0	-.00979	21422.2	20612.2	-.03781
1981	2014.1	2003.4	-.00533	22051.8	21263.8	-.03573
1982	2103.3	2119.6	.00773	20714.1	20058.0	-.03167
1983	2046.7	2070.6	.01166	20481.9	19828.9	-.03189
1984	2178.1	2213.7	.01634	20773.0	20076.1	-.03355
1985	2398.8	2454.7	.02333	20311.3	19612.9	-.03439
Year	F <sub>3</sub>			F <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15862.4	15857.3	-.00032	2339.8	2315.8	-.01028
1981	16517.9	16532.6	.00089	2762.0	2737.4	-.00892
1982	16382.9	16618.1	.01436	3037.9	3045.5	.00248
1983	16834.3	17083.5	.01480	3383.5	3393.3	.00290
1984	17020.7	17314.6	.01727	3903.5	3922.5	.00485
1985	17087.7	17425.0	.01974	4185.4	4214.9	.00706

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-2: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$F_5$			$F_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	16640.8	15942.8	-.04194	4752.1	4751.5	-.00012
1981	16415.7	15724.0	-.04213	4867.9	4874.6	.00138
1982	16516.0	15832.7	-.04138	4371.4	4435.8	.01473
1983	17621.0	16787.8	-.04729	4407.9	4477.3	.01575
1984	20031.8	19063.5	-.04834	4344.4	4424.3	.01839
1985	21350.2	20341.1	-.04726	4318.6	4409.2	.02099
Year	$F_7$			$F_8$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43475.6	43453.0	-.00052	4014.1	4027.5	.00333
1981	45538.3	45582.0	.00096	4183.0	4199.3	.00390
1982	47714.7	48360.7	.01354	4089.7	4120.8	.00759
1983	49647.0	50391.3	.01499	4227.4	4260.8	.00790
1984	52064.1	52980.0	.01759	4344.5	4384.3	.00917
1985	54432.4	55543.1	.02041	4402.7	4447.2	.01012
Year	$F_9$			$G_{BC}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	57.9	61.5	.06323	4357.1	4430.9	.01695
1981	35.1	37.4	.06656	4817.1	4908.8	.01902
1982	30.4	34.3	.12951	4430.7	4594.5	.03697
1983	13.2	15.0	.13587	4503.9	4674.0	.03775
1984	23.1	26.0	.12586	4648.5	4849.5	.04324
1985	24.4	27.5	.12788	5259.1	5504.4	.04665
Year	$G_{CP}$			$G_{CN}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	59514.0	59552.7	.00065	614.2	620.2	.00991
1981	61772.7	61913.9	.00229	657.5	665.0	.01139
1982	63012.1	64037.0	.01627	631.3	644.7	.02133
1983	65200.9	66347.5	.01759	681.6	696.8	.02229
1984	67691.8	69080.0	.02051	722.4	741.2	.02604
1985	69141.0	70739.4	.02312	760.3	782.4	.02916
Year	$G_{CG}$			$G_{IP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	8633.0	8662.2	.00338	27448.1	25296.0	-.07841
1981	9024.6	9060.1	.00393	28507.3	26276.6	-.07825
1982	9206.3	9274.6	.00742	28714.5	26314.4	-.08359
1983	9480.5	9553.6	.00772	29829.6	27329.9	-.08380
1984	9735.8	9823.0	.00896	32657.3	29781.2	-.08807
1985	9921.9	10019.9	.00988	33895.1	30815.7	-.09085
Year	$G_{IO}$			$G_z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	9891.4	10213.4	.03256	858.5	913.0	.06350
1981	10129.4	10483.0	.03491	731.7	781.5	.06808
1982	10112.0	10633.2	.05154	618.5	702.0	.13500
1983	9883.7	10399.6	.05220	114.4	132.6	.15957
1984	9549.8	10127.1	.06046	602.0	687.4	.14179
1985	9064.4	9684.4	.06839	1255.0	1439.6	.14706
Year	$G_{DE}$			$G_{DEP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	246243.0	238559.9	-.03120	2.28035	2.23269	-.02090
1981	271986.0	262732.3	-.03402	2.37852	2.32266	-.02348
1982	278931.3	266215.7	-.04559	2.41649	2.31393	-.04244
1983	290558.9	275972.4	-.05020	2.44169	2.33420	-.04402
1984	313649.8	294672.2	-.06051	2.48199	2.35298	-.05198
1985	324496.8	301879.2	-.06970	2.49169	2.34826	-.05756

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 F-3: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$H_1$			$H_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2165.44	2094.34	-.03283	2404.66	2264.54	-.05827
1981	2242.05	2151.54	-.04037	2370.45	2239.91	-.05507
1982	2242.86	2081.88	-.07177	2381.45	2269.53	-.04700
1983	2229.51	2047.33	-.08171	2432.29	2321.57	-.04552
1984	2287.49	2059.68	-.09959	2456.81	2337.42	-.04860
1985	2216.65	1976.46	-.10836	2310.92	2193.60	-.05077
Year	$H_3$			$H_4$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2642.24	2500.39	-.05368	2522.14	2303.25	-.08679
1981	2706.84	2530.45	-.06517	2708.19	2445.95	-.09683
1982	2676.03	2342.78	-.12453	2556.02	2127.11	-.16780
1983	2592.82	2232.15	-.13910	2593.35	2139.08	-.17517
1984	2708.38	2262.24	-.16472	2741.47	2189.58	-.20131
1985	2607.48	2106.83	-.19201	2557.73	1969.87	-.22984
Year	$H_5$			$H_6$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2369.45	2210.02	-.06729	2398.10	2328.06	-.02921
1981	2345.98	2167.18	-.07622	2496.29	2407.35	-.03563
1982	2275.43	1979.33	-.13013	2429.74	2271.18	-.06526
1983	2353.27	2022.94	-.14037	2411.31	2244.32	-.06925
1984	2450.14	2045.73	-.16505	2464.87	2252.08	-.08633
1985	2339.97	1901.41	-.18742	2419.44	2173.71	-.10156
Year	$H_7$			HMFG		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2217.31	2190.27	-.01219	2257.8	2208.0	-.02204
1981	2263.53	2234.84	-.01268	2299.7	2243.3	-.02453
1982	2217.15	2189.09	-.01265	2247.1	2167.4	-.03548
1983	2234.88	2205.47	-.01316	2269.3	2183.6	-.03779
1984	2267.76	2233.35	-.01517	2313.4	2208.0	-.04556
1985	2200.70	2163.67	-.01683	2242.0	2125.2	-.05211
Year	$IM_1$			$IM_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-486.1	-526.7	.08344	-2026.7	-2354.7	.16184
1981	-501.2	-563.2	.12384	-2044.4	-2557.4	.25097
1982	-440.3	-594.8	.35092	-1945.9	-3359.4	.72634
1983	-491.7	-671.9	.36652	-2496.2	-4242.3	.69951
1984	-505.6	-732.1	.44785	-2735.0	-5038.6	.84222
1985	-487.9	-759.9	.55758	-2812.8	-5668.3	1.01517
Year	$IM_4$			$IM_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1632.8	-1666.3	.02053	-1257.8	-1326.7	.05477
1981	-1746.1	-1830.7	.04847	-995.8	-1099.5	.10408
1982	-1650.3	-1944.3	.17814	-951.6	-1281.3	.34644
1983	-1790.1	-2128.9	.18929	-1130.5	-1539.6	.36193
1984	-1994.0	-2462.6	.23501	-1255.0	-1827.4	.45611
1985	-1863.4	-2397.5	.28665	-1146.0	-1790.9	.56281
Year	$IM_6$			$IM_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-595.5	-682.4	.14592	-822.0	-895.0	.08881
1981	-631.5	-763.6	.20918	-775.9	-877.2	.13052
1982	-599.7	-948.8	.58206	-708.4	-962.7	.35904
1983	-681.3	-1099.1	.61331	-659.7	-913.6	.38482
1984	-716.2	-1262.9	.76337	-726.0	-1071.9	.47637
1985	-803.2	-1546.2	.92505	-765.1	-1211.3	.58323

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-4: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	IM <sub>0</sub>			IP		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-3916.8	-3839.9	-.01963	56136.1	50001.3	-.10929
1981	-3452.1	-3366.6	-.02477	59018.3	52395.5	-.11222
1982	-3496.4	-3343.2	-.04382	59304.6	51089.5	-.13852
1983	-3446.2	-3279.2	-.04845	61543.8	52789.0	-.14225
1984	-3697.5	-3485.4	-.05738	67747.1	57046.2	-.15795
1985	-3521.1	-3292.5	-.06492	69094.5	57274.2	-.17107
Year	K <sub>1</sub>			K <sub>2</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	40107.2	39853.3	-.00633	11687.3	11589.1	-.00840
1981	44172.0	43938.2	-.00529	13027.9	12926.8	-.00776
1982	48048.4	47835.1	-.00444	14220.7	14128.8	-.00646
1983	51806.0	51590.0	-.00417	15411.4	15314.4	-.00630
1984	55646.1	55401.9	-.00439	16584.3	16475.1	-.00659
1985	59063.9	58822.8	-.00408	17040.0	16954.6	-.00501
Year	K <sub>3</sub>			K <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	25682.9	25544.8	-.00538	49954.2	49717.9	-.00473
1981	27681.9	27552.6	-.00467	53022.7	52780.7	-.00456
1982	29583.8	29465.3	-.00400	56342.2	56101.6	-.00427
1983	31798.2	31662.3	-.00427	59766.0	59510.8	-.00427
1984	34202.1	34041.5	-.00469	63381.2	63086.7	-.00465
1985	36793.4	36612.7	-.00491	66604.6	66306.6	-.00448
Year	K <sub>5</sub>			K <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	27501.7	27284.4	-.00790	70166.4	69711.0	-.00649
1981	31773.9	31512.5	-.00823	77147.4	76677.8	-.00609
1982	35884.9	35638.5	-.00687	83614.5	83185.9	-.00513
1983	39944.0	39686.5	-.00645	88340.4	87964.8	-.00425
1984	45020.4	44683.6	-.00748	93698.5	93251.1	-.00478
1985	51219.7	50800.4	-.00819	100585.7	100033.8	-.00549
Year	K <sub>7</sub>			L <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	60845.4	60408.1	-.00719	747.2	748.7	.00196
1981	68717.3	68261.7	-.00663	725.3	726.5	.00163
1982	76664.8	76226.9	-.00571	706.8	707.8	.00137
1983	85637.0	85137.4	-.00583	690.6	691.5	.00129
1984	95603.1	94997.3	-.00634	675.6	676.5	.00135
1985	106722.1	106016.3	-.00661	663.3	664.1	.00126
Year	L <sub>2</sub>			L <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	573.8	573.0	-.00139	613.9	614.0	.00005
1981	584.2	583.5	-.00129	599.4	599.4	.00005
1982	592.7	592.1	-.00107	607.6	607.7	.00004
1983	600.7	600.0	-.00104	606.1	606.1	.00004
1984	608.0	607.3	-.00109	611.8	611.8	.00005
1985	610.7	610.2	-.00083	607.1	607.1	.00005
Year	L <sub>4</sub>			L <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	322.7	322.7	.00006	462.0	461.6	-.00081
1981	332.8	332.8	.00006	498.1	497.8	-.00073
1982	324.4	324.4	.00006	512.0	511.1	-.00177
1983	320.1	320.1	.00006	516.1	514.9	-.00226
1984	317.3	317.3	.00006	542.5	541.4	-.00216
1985	323.5	323.5	.00006	578.8	577.4	-.00240

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F- 5: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$L_6$			$L_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	367.9	368.0	.00021	2552.5	2548.2	-.00169
1981	366.6	366.6	.00019	2626.5	2622.4	-.00156
1982	362.8	363.0	.00049	2694.8	2691.2	-.00134
1983	366.1	366.3	.00064	2765.8	2762.0	-.00137
1984	366.3	366.5	.00061	2838.2	2834.0	-.00149
1985	359.3	359.6	.00067	2912.5	2908.0	-.00156
Year	$\mu_{BC}$			$\mu_{CG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.33789	2.29892	-.01667	2.72995	2.72074	-.00337
1981	2.45813	2.41225	-.01866	2.83500	2.82390	-.00391
1982	2.50914	2.41969	-.03565	2.91067	2.88922	-.00737
1983	2.54976	2.45700	-.03638	2.95303	2.93042	-.00766
1984	2.61311	2.50480	-.04145	3.02481	2.99795	-.00888
1985	2.64885	2.53079	-.04457	3.09269	3.06245	-.00978
Year	$\mu_{CN}$			$\mu_{CP}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.95998	2.93093	-.00982	2.35615	2.30942	-.01984
1981	3.06166	3.02717	-.01127	2.48382	2.42503	-.02367
1982	3.14077	3.07517	-.02089	2.53506	2.41784	-.04624
1983	3.20239	3.13256	-.02180	2.57483	2.44757	-.04942
1984	3.28064	3.19738	-.02538	2.64413	2.48963	-.05843
1985	3.32100	3.22692	-.02833	2.67702	2.50115	-.06570
Year	$\mu_{EX}$			$\mu_{IG}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.00882	1.93270	-.03789	2.31396	2.24100	-.03153
1981	2.10673	2.01776	-.04223	2.39686	2.31602	-.03373
1982	2.13239	1.96967	-.07631	2.38754	2.27051	-.04902
1983	2.10647	1.94035	-.07886	2.38639	2.26800	-.04961
1984	2.11291	1.91676	-.09283	2.41946	2.28153	-.05701
1985	2.07890	1.86211	-.10428	2.38384	2.23124	-.06402
Year	$\mu_{IP}$			$\mu_Z$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.04517	1.97665	-.03351	1.87863	1.76646	-.05971
1981	2.07029	1.99400	-.03685	1.91724	1.79503	-.06374
1982	2.06532	1.94150	-.05995	1.92295	1.69423	-.11894
1983	2.06318	1.93155	-.06380	1.90062	1.63907	-.13761
1984	2.07449	1.91551	-.07663	1.88994	1.65523	-.12419
1985	2.03848	1.85861	-.08824	1.79580	1.56557	-.12821
Year	$NEX$			$NIM$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	34543.4	33201.6	-.03884	-34547.3	-32061.8	-.07194
1981	39804.6	37681.9	-.05333	-33548.6	-30767.7	-.08289
1982	40499.5	35442.5	-.12487	-34723.6	-29258.8	-.15738
1983	40604.8	35232.5	-.13231	-33453.7	-28422.0	-.15041
1984	46526.5	39189.8	-.15769	-35671.9	-29609.3	-.16995
1985	47544.7	38767.1	-.18462	-34306.3	-28164.1	-.17904
Year	$NTEX_1$			$NTEX_2$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-938.5	-919.2	-.02060	.0	.0	.00000
1981	-957.3	-938.0	-.02008	.0	.0	.00000
1982	-979.4	-958.0	-.02193	.0	.0	.00000
1983	-1000.4	-971.4	-.02906	.0	.0	.00000
1984	-1066.8	-1027.4	-.03689	.0	.0	.00000
1985	-1050.9	-1017.7	-.03162	.0	.0	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-6: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	NTEX <sub>3</sub>			NTEX <sub>4</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-1859.9	-2154.7	.15851	2842.2	2941.5	.03493
1981	-1942.5	-2455.6	.26416	2922.8	2962.7	.01366
1982	-1769.5	-3135.7	.77207	3512.6	3215.8	-.08449
1983	-2426.3	-3767.1	.55264	2511.7	2331.2	-.07184
1984	-2754.1	-4377.7	.58952	2511.8	2273.2	-.09502
1985	-2858.5	-4676.2	.63587	2635.4	2283.3	-.13360
Year	NTEX <sub>5</sub>			NTEX <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15370.7	14791.5	-.03768	2412.4	2221.5	-.07913
1981	19073.7	18031.4	-.05465	2399.0	2116.5	-.11777
1982	19389.5	16782.7	-.13445	2711.5	1985.4	-.26777
1983	20366.3	17465.1	-.14245	2150.8	1424.9	-.33750
1984	24580.7	20408.7	-.16973	2363.9	1433.0	-.39381
1985	25328.6	20280.5	-.19930	2101.6	1027.8	-.51096
Year	NTEX <sub>7</sub>			NTEX <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1057.6	975.4	-.07767	.0	.0	.00000
1981	1852.2	1681.0	-.09243	.0	.0	.00000
1982	1467.5	1062.3	-.27612	.0	.0	.00000
1983	1442.8	1000.3	-.30670	.0	.0	.00000
1984	1773.8	1170.4	-.34020	.0	.0	.00000
1985	2223.2	1410.0	-.36578	.0	.0	.00000
Year	NTEX <sub>9</sub>			NTX <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-18888.3	-16716.2	-.11500	-481.0	-461.2	-.04110
1981	-17092.0	-14483.7	-.15260	-690.3	-655.8	-.05005
1982	-18556.2	-12768.9	-.31188	-548.4	-498.6	-.09076
1983	-15893.8	-10672.6	-.32851	-519.7	-467.7	-.09990
1984	-16554.8	-10299.7	-.37784	-541.2	-476.5	-.11952
1985	-15141.1	-8704.7	-.42509	-269.8	-234.5	-.13088
Year	NTX <sub>2</sub>			NTX <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-59.2	-55.4	-.06442	1573.9	1485.0	-.05649
1981	-206.4	-193.1	-.06423	1621.4	1511.0	-.06811
1982	-54.6	-50.7	-.07202	2122.7	1845.1	-.13076
1983	-55.0	-51.0	-.07269	2076.8	1779.7	-.14305
1984	-48.6	-44.6	-.08063	2305.9	1914.2	-.16987
1985	-84.8	-77.4	-.08777	3092.4	2486.6	-.19590
Year	NTX <sub>4</sub>			NTX <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1896.2	1739.4	-.08267	728.2	679.0	-.06765
1981	2090.2	1891.2	-.09518	739.1	682.3	-.07691
1982	2035.1	1688.3	-.17043	843.0	731.0	-.13290
1983	1996.6	1643.2	-.17702	916.8	786.4	-.14225
1984	2147.8	1710.6	-.20353	1018.7	849.3	-.16628
1985	2104.3	1619.7	-.23026	1095.2	889.5	-.18780
Year	NTX <sub>6</sub>			NTX <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	-81.1	-79.4	-.02057	735.9	722.4	-.01831
1981	176.2	171.8	-.02531	1600.4	1568.4	-.01995
1982	-6.5	-6.2	-.04730	1220.8	1187.4	-.02732
1983	-28.4	-27.0	-.05019	1218.2	1183.6	-.02835
1984	134.0	125.8	-.06066	1590.7	1538.5	-.03278
1985	208.0	193.3	-.07038	1706.6	1645.2	-.03596

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-7: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	NTX <sub>s</sub>			PC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.0	.0	.00000	2.18809	2.15376	-.01569
1981	.0	.0	.00000	2.27503	2.23121	-.01926
1982	.0	.0	.00000	2.22183	2.14160	-.03611
1983	.0	.0	.00000	2.24537	2.15263	-.04130
1984	.0	.0	.00000	2.24797	2.13491	-.05029
1985	.0	.0	.00000	2.23903	2.11646	-.05474
Year	PC <sub>2</sub>			PC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.36808	-.02989	2.19336	2.12300	-.03208
1981	2.46801	2.39049	-.03141	2.26082	2.17584	-.03759
1982	2.58456	2.47362	-.04292	2.28679	2.11510	-.07508
1983	2.60061	2.48781	-.04337	2.25301	2.06828	-.08236
1984	2.63820	2.50706	-.04971	2.31924	2.09463	-.09684
1985	2.63564	2.48778	-.05610	2.28769	2.03030	-.11251
Year	PC <sub>4</sub>			PC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.41591	2.26249	-.06350	1.59513	1.52830	-.04190
1981	2.57123	2.38757	-.07143	1.69473	1.61456	-.04731
1982	2.54788	2.21180	-.13190	1.72294	1.57967	-.08316
1983	2.49337	2.15683	-.13497	1.74188	1.58934	-.08757
1984	2.50837	2.11949	-.15503	1.75643	1.57032	-.10596
1985	2.39233	1.96941	-.17678	1.72781	1.51757	-.12168
Year	PC <sub>7</sub>			PO <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.35321	2.33255	-.00878	2.19863	2.15277	-.02086
1981	2.47772	2.45339	-.00982	2.28525	2.22474	-.02648
1982	2.49022	2.44672	-.01747	2.24680	2.12820	-.05279
1983	2.53092	2.48490	-.01818	2.25935	2.12579	-.05911
1984	2.59553	2.54086	-.02107	2.26622	2.10483	-.07121
1985	2.63363	2.57232	-.02328	2.26128	2.08216	-.07921
Year	PO <sub>2</sub>			PO <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.44104	2.36808	-.02989	2.29629	2.20521	-.03967
1981	2.46801	2.39049	-.03141	2.37722	2.26373	-.04774
1982	2.58456	2.47362	-.04292	2.41073	2.17476	-.09788
1983	2.60061	2.48781	-.04337	2.36052	2.10560	-.10800
1984	2.63820	2.50706	-.04971	2.43442	2.12233	-.12820
1985	2.63564	2.48778	-.05610	2.39565	2.03867	-.14901
Year	PO <sub>4</sub>			PO <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.45627	2.29542	-.06549	1.59765	1.52662	-.04446
1981	2.60139	2.40633	-.07498	1.70949	1.62225	-.05103
1982	2.57929	2.21495	-.14126	1.73993	1.57930	-.09232
1983	2.51934	2.15382	-.14508	1.75451	1.58358	-.09742
1984	2.52979	2.10731	-.16700	1.76969	1.56191	-.11741
1985	2.42228	1.96074	-.19054	1.74924	1.51391	-.13453
Year	PO <sub>6</sub>			PO <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2.68883	2.67693	-.00443	2.35258	2.32949	-.00982
1981	2.90042	2.88251	-.00618	2.47924	2.45131	-.01127
1982	2.99949	2.95467	-.01494	2.49584	2.44370	-.02089
1983	3.00006	2.95185	-.01607	2.53997	2.48459	-.02180
1984	3.07317	3.01332	-.01947	2.60318	2.53711	-.02538
1985	3.13162	3.05741	-.02370	2.64057	2.56576	-.02833

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-8: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	RGDE			RI		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	107984.6	106848.7	-.01052	11.25071	15.72469	.39766
1981	114351.2	113116.8	-.01079	10.67069	14.58103	.36646
1982	115428.2	115049.1	-.00328	8.95387	10.73360	.19877
1983	118999.2	118229.9	-.00646	8.23062	9.71069	.17982
1984	126370.1	125233.6	-.00899	8.55856	9.48406	.10814
1985	130231.6	128554.4	-.01288	6.93751	7.33120	.05675
Year	TH			TL		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	2312.8	2234.3	-.03395	5854.3	5850.4	-.00067
1981	2360.7	2271.2	-.03788	5948.3	5944.3	-.00066
1982	2318.2	2184.2	-.05782	6017.0	6013.0	-.00066
1983	2329.5	2186.6	-.06136	6081.8	6077.3	-.00073
1984	2383.9	2210.7	-.07265	6176.0	6171.1	-.00079
1985	2296.6	2109.1	-.08165	6267.2	6261.8	-.00085
Year	V			V <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	254827.5	247301.0	-.02954	8625.6	8419.9	-.02385
1981	281880.5	272838.1	-.03208	9058.7	8783.8	-.03035
1982	288021.2	275710.0	-.04274	9013.3	8540.1	-.05249
1983	300064.6	285891.1	-.04723	9106.5	8531.9	-.06310
1984	323536.8	305110.5	-.05695	9732.1	8964.5	-.07888
1985	336257.8	314245.9	-.06546	10033.4	9160.4	-.08700
Year	V <sub>2</sub>			V <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	22931.5	21797.0	-.04947	27905.6	26537.1	-.04904
1981	24789.7	23737.5	-.04244	31204.0	29299.8	-.06102
1982	24200.6	23924.3	-.01142	32420.4	28669.5	-.11570
1983	22919.5	22841.3	-.00341	32988.8	28577.3	-.13373
1984	23414.3	23505.3	.00388	34739.1	29275.1	-.15729
1985	23296.8	23440.6	.00617	35169.3	28609.4	-.18652
Year	V <sub>4</sub>			V <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	28144.5	25385.8	-.09802	24326.6	22707.4	-.06656
1981	32200.6	28937.5	-.10134	27750.9	25675.0	-.07480
1982	30060.1	25234.6	-.16053	28549.8	24999.7	-.12435
1983	30157.6	25027.9	-.17009	31075.7	26828.7	-.13667
1984	34696.4	27898.9	-.19591	35555.7	29772.2	-.16266
1985	32798.5	25293.5	-.22882	37807.2	30750.1	-.18666
Year	V <sub>6</sub>			V <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	20969.0	21369.2	.01909	110439.5	109463.8	-.00883
1981	23312.3	23746.4	.01862	121266.1	120188.3	-.00889
1982	23922.1	24763.8	.03519	126950.8	126338.3	-.00482
1983	25560.3	26162.3	.02355	134901.7	134199.3	-.00521
1984	27813.5	28424.4	.02196	143624.6	142855.9	-.00535
1985	29682.5	29980.0	.01002	152912.8	151914.2	-.00653
Year	V <sub>8</sub>			VBC <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	11485.1	11620.7	.01181	118.2	115.4	-.02385
1981	12298.2	12469.8	.01395	96.7	93.8	-.03035
1982	12904.2	13239.6	.02599	122.8	116.4	-.05249
1983	13354.5	13722.3	.02754	119.3	111.7	-.06310
1984	13961.0	14414.3	.03247	124.4	114.6	-.07888
1985	14557.3	15097.6	.03712	196.8	179.6	-.08700

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-9: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	VBC <sub>2</sub>			VBC <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1295.2	1231.2	-.04947	1519.2	1444.7	-.04904
1981	1450.2	1388.7	-.04244	1790.7	1681.4	-.06102
1982	1253.1	1238.8	-.01142	1697.7	1501.2	-.11570
1983	1259.1	1254.8	-.00341	1680.2	1455.5	-.13373
1984	1272.1	1277.1	.00388	1800.1	1517.0	-.15729
1985	1062.0	1068.6	.00617	2094.2	1703.6	-.18652
Year	VBC <sub>4</sub>			VBC <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	1757.1	1584.9	-.09802	1224.9	1143.4	-.06656
1981	2361.4	2122.1	-.10134	1662.7	1538.3	-.07480
1982	1915.2	1607.7	-.16053	1460.0	1278.4	-.12435
1983	1851.3	1536.4	-.17009	1599.8	1381.1	-.13667
1984	1977.1	1589.8	-.19591	1841.2	1541.7	-.16266
1985	1955.9	1508.3	-.22882	2238.9	1821.0	-.18666
Year	VBC <sub>6</sub>			VBC <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	711.9	725.5	.01909	3577.8	3546.2	-.00883
1981	878.7	895.1	.01862	4037.9	4002.0	-.00889
1982	796.5	824.6	.03519	3973.5	3954.3	-.00482
1983	814.8	834.0	.02355	4276.7	4254.4	-.00521
1984	871.5	890.7	.02196	4571.5	4547.0	-.00535
1985	1170.4	1182.2	.01002	5283.7	5249.2	-.00653
Year	VBC <sub>8</sub>			VM <sub>1</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	361.7	366.0	.01181	.05685	.05791	.01868
1981	380.7	386.0	.01395	.05709	.05857	.02603
1982	409.8	420.5	.02599	.05553	.05911	.06459
1983	428.5	440.3	.02754	.05666	.06042	.06638
1984	444.7	459.2	.03247	.05625	.06072	.07939
1985	353.4	366.5	.03712	.05584	.06112	.09454
Year	VM <sub>2</sub>			VM <sub>3</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	.05311	.05864	.10406
1981	.00000	.00000	.00000	.05236	.06046	.15467
1982	.00000	.00000	.00000	.05069	.07057	.39240
1983	.00000	.00000	.00000	.05754	.07836	.36175
1984	.00000	.00000	.00000	.05956	.08442	.41732
1985	.00000	.00000	.00000	.06028	.08937	.48259
Year	VM <sub>4</sub>			VM <sub>5</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.05776	.05776	.00000	.03896	.03949	.01366
1981	.05776	.05776	.00000	.03742	.03824	.02198
1982	.05776	.05776	.00000	.03719	.03935	.05821
1983	.05776	.05776	.00000	.03783	.04013	.06071
1984	.05776	.05776	.00000	.03778	.04049	.07180
1985	.05776	.05776	.00000	.03658	.03977	.08714
Year	VM <sub>6</sub>			VM <sub>7</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.04235	.04436	.04748	.01120	.01120	.00000
1981	.04271	.04547	.06464	.01120	.01120	.00000
1982	.04253	.04899	.15201	.01120	.01120	.00000
1983	.04304	.04989	.15914	.01120	.01120	.00000
1984	.04325	.05141	.18877	.01120	.01120	.00000
1985	.04452	.05408	.21468	.01120	.01120	.00000

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。

表 F-10: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	$vM_0$			$X_1$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	.00000	.00000	.00000	7761.0	7560.6	-.02581
1981	.00000	.00000	.00000	7848.1	7601.7	-.03139
1982	.00000	.00000	.00000	8012.1	7557.9	-.05670
1983	.00000	.00000	.00000	7994.4	7505.8	-.06112
1984	.00000	.00000	.00000	8557.3	7933.5	-.07289
1985	.00000	.00000	.00000	8614.5	7920.6	-.08055
Year	$X_2$			$X_3$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	23458.5	22623.4	-.03560	36364.3	35447.3	-.02522
1981	24128.3	23310.7	-.03389	37634.0	36440.5	-.03171
1982	22947.6	22249.8	-.03041	37950.4	35665.7	-.06020
1983	22830.8	22131.1	-.03065	39000.9	36421.5	-.06614
1984	23198.6	22443.6	-.03254	40253.4	36998.8	-.08085
1985	22898.0	22129.7	-.03355	40407.6	36610.8	-.09396
Year	$X_4$			$X_5$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	43582.0	42690.1	-.02047	48003.4	46800.4	-.02688
1981	43270.8	42163.8	-.02558	51182.6	49502.4	-.03107
1982	41996.2	40132.2	-.04438	51120.3	48346.9	-.05425
1983	42791.6	40711.7	-.04861	54885.5	51596.9	-.05992
1984	45992.8	43352.7	-.05740	63197.1	58933.2	-.06747
1985	45868.9	42888.8	-.06497	66859.9	61826.7	-.07528
Year	$X_6$			$X_7$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	15022.9	14713.9	-.02057	73806.0	73096.4	-.00961
1981	15532.3	15139.3	-.02531	76229.5	75449.2	-.01024
1982	15396.8	14668.4	-.04730	80094.0	79291.0	-.01003
1983	16034.2	15229.4	-.05019	83852.6	82983.8	-.01036
1984	16783.2	15765.2	-.06066	87550.5	86502.4	-.01197
1985	16897.8	15708.5	-.07038	90199.3	89028.5	-.01298
Year	$X_8$			$Y_E$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	4082.6	4095.3	.00311	160798.3	155454.9	-.03323
1981	4251.0	4266.5	.00365	177137.4	170538.0	-.03726
1982	4163.3	4193.1	.00717	183592.9	173162.1	-.05682
1983	4304.9	4337.0	.00746	190345.5	178873.1	-.06027
1984	4425.9	4464.2	.00865	205139.0	190650.0	-.07063
1985	4485.0	4528.0	.00958	209196.7	192476.2	-.07993
Year	$Y_{E_1}$			$Y_{E_2}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	6630.4	6412.5	-.03287	16990.1	16011.9	-.05758
1981	6667.5	6398.1	-.04041	18074.9	17090.6	-.05446
1982	6695.2	6214.2	-.07185	18949.0	18067.9	-.04650
1983	6429.8	5903.8	-.08181	19505.6	18626.9	-.04505
1984	6717.0	6047.3	-.09970	20425.3	19442.5	-.04812
1985	6722.7	5993.5	-.10848	19590.4	18606.0	-.05025
Year	$Y_{E_3}$			$Y_{E_4}$		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	17942.3	16992.8	-.05292	11314.7	10337.5	-.08637
1981	18552.6	17360.2	-.06427	13675.2	12356.2	-.09645
1982	19278.6	16909.5	-.12288	13390.1	11152.2	-.16713
1983	19134.9	16508.6	-.13725	13879.7	11458.0	-.17448
1984	21237.0	17780.7	-.16275	14680.4	11735.9	-.20057
1985	21472.7	17398.7	-.18973	14210.6	10956.9	-.22896

TOTALは、トータル・テストの結果、SIMLはシミュレーションの結果を示す。



表 F- 11: 金融引締め・為替レート調整政策 シミュレーション

Year	YE <sub>5</sub>			YE <sub>6</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	14383.7	13405.4	-.06801	14178.3	13767.7	-.02896
1981	17111.4	15795.4	-.07691	16057.4	15489.6	-.03536
1982	18428.2	16009.9	-.13123	16321.7	15264.6	-.06477
1983	19531.3	16767.9	-.14149	17167.3	15986.8	-.06876
1984	21151.7	17634.8	-.16627	18296.6	16727.7	-.08575
1985	22885.6	18567.2	-.18870	18019.1	16201.4	-.10088
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	67298.0	-.01220	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	73963.9	-.01269	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	76895.6	-.01267	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	80573.1	-.01317	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	87546.9	-.01518	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	90084.7	-.01684	14667.9	14667.9	.00000
Year	YE <sub>7</sub>			YE <sub>8</sub>		
	TOTAL	SIML	変化率	TOTAL	SIML	変化率
1980	68129.5	67298.0	-.01220	11229.1	11229.1	.00000
1981	74914.4	73963.9	-.01269	12084.0	12084.0	.00000
1982	77882.0	76895.6	-.01267	12648.1	12648.1	.00000
1983	81648.8	80573.1	-.01317	13048.0	13048.0	.00000
1984	88896.7	87546.9	-.01518	13734.2	13734.2	.00000
1985	91627.7	90084.7	-.01684	14667.9	14667.9	.00000

TOTAL は、トータル・テストの結果、SIML はシミュレーションの結果を示す。